

平成 24 年度

裾野市市民意識調査
報告書



平成 25 年 2 月

裾野市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果のまとめ	2
III	調査結果	3
	回答者の属性.....	3
1	満足度・重要度調査.....	6
	お住まいの周辺環境について（住環境）.....	8
	裾野市の取り組みについて（市施策）.....	48
2	特集調査.....	102
	議会の公開について.....	102
	広報紙「広報すその」について.....	107
	インターネットの利用状況について.....	110
	外出について.....	119
	市民協働について.....	128
	スポーツ活動と健康について.....	137
	住宅用火災警報器について.....	140
IV	参考資料	142
1	追加クロス集計.....	142
2	調査票.....	148

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 24 年度の裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、諸施策推進のための基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象

本調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 1,000 人を対象に実施しました。

3 調査期間

平成 24 年 9 月 12 日に発送し、平成 24 年 9 月 30 日を投函締め切りとしました。


4 調査方法

郵送配布、郵送回収

5 回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
1,000 票	612	61.2%

6 調査結果の表示方法

- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果のまとめ

《重要度・満足度調査》

■住環境改善の重要課題は鉄道・バス、道路網・歩道、地震災害対策。

「鉄道やバスの便利さ」、「道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況」、「地震災害に強いまちづくり」については、昨年同様に満足度が低く重要度が高い項目であり、重要課題として検討する必要があると考えられます。なかでも鉄道・バスについては、必要性が高まっています。

■市施策について水道水と産業活性化の分野で満足度が下がっている。

昨年度の調査結果との比較では、リサイクルや子育て環境、市民参加などをはじめとした市施策への満足度は全体に高まっていますが、豊富な水道水と工業などの産業活性化の分野で低下しています。

■市施策の重要課題は土地利用、行政効率化、青少年育成。

「市内の土地利用のバランスの良さ」、「市の予算の使い方、対応の早さなど行政の効率化」、「小・中学校の学力の育成や人間の育成についての取組」については、満足度が低く重要度が高い項目であり、重要課題として検討する必要があると考えられます。

《特集調査》

■議会を傍聴してみたいと思っている方は23%。

議会を傍聴してみたいと思っている方は全体の 23.0%で、女性に比べて男性の割合が高い状況です。

■「広報すその」を読んでいる方は約6割。

「広報すその」を読んでいる方は6割強で、ご年配の方ほど高くなる傾向です。

■インターネットを利用していない方は、33.5%。

20～44歳でのインターネット利用率は9割前後と非常に高いですが、70歳以上では14.1%と低く、世代間の差があります。

■外出の主な手段は車（自分で運転）が77.9%。

外出の主な手段は自分で運転する車が多く77.9%です。車20～24歳、70歳以上の外出の手段は、他の世代に比べて車（家族の送迎）などの割合がやや高い傾向です。

■機会があれば協働事業に参加したい方は約4割。

市民協働に少しでも関心がある人は全体の5割で、その中の39.5%の方が機会があれば協働事業に参加したいと答えています。また「高齢者福祉」「子育て」「防犯・災害」の各分野で必要性が高い傾向です。

■あまり健康でないと感じている方は17%。

自分があまり健康ではないと感じている方は、全体の17.0%です。またこの1年間で運動をほとんどしなかった方の割合は38.7%です。

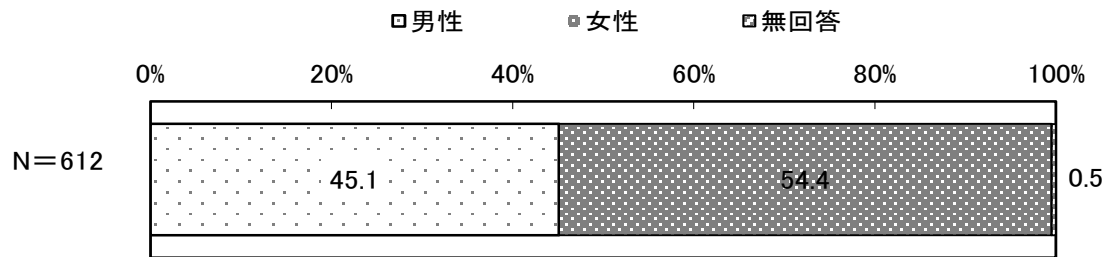
■住宅用火災報知器が設置されていない住宅は25%。

住宅用火災報知器が設置されていない住宅は25.2%です。一戸建て住宅では設置されていない割合が3割を超えています。

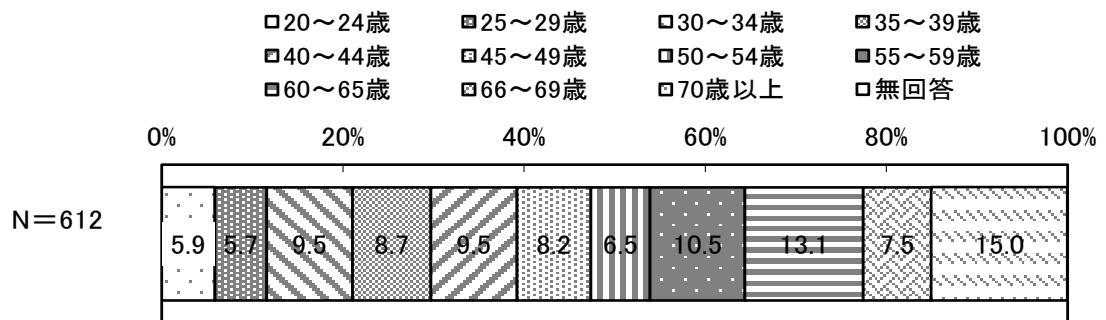
Ⅲ 調査結果

回答者の属性

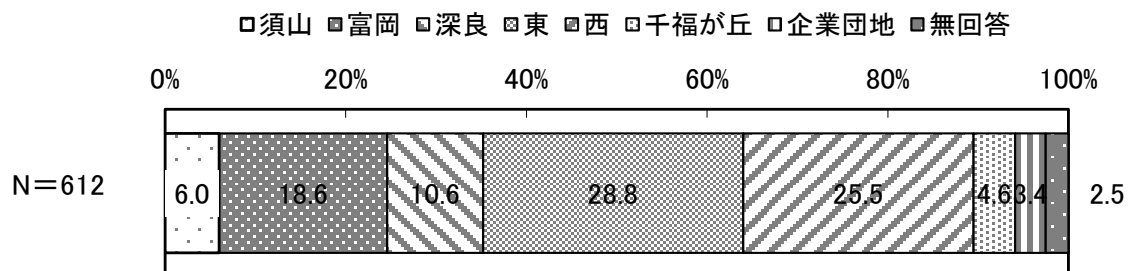
F1 性別



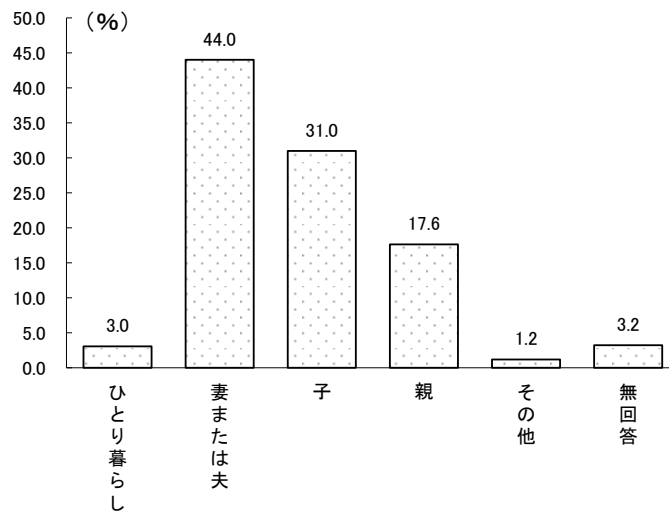
F2 年代



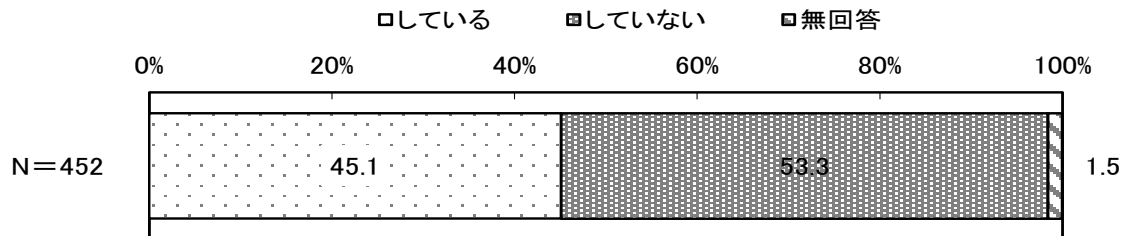
F3 居住地区



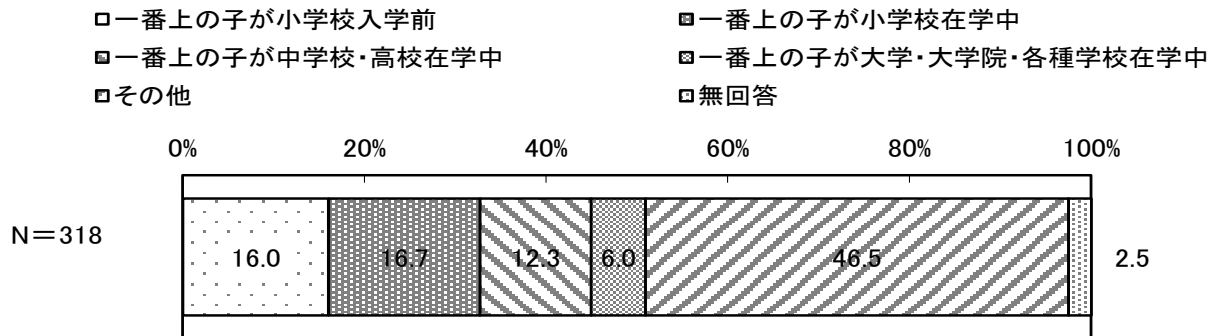
F4 同居の状況



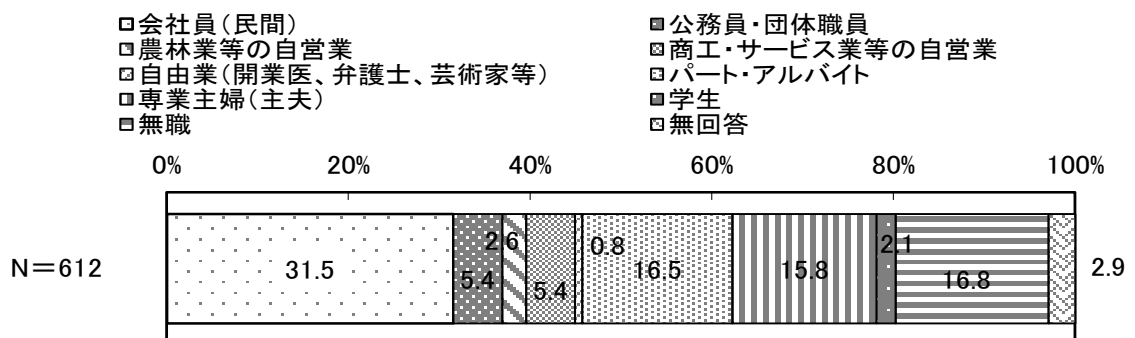
F5 共働きの状況



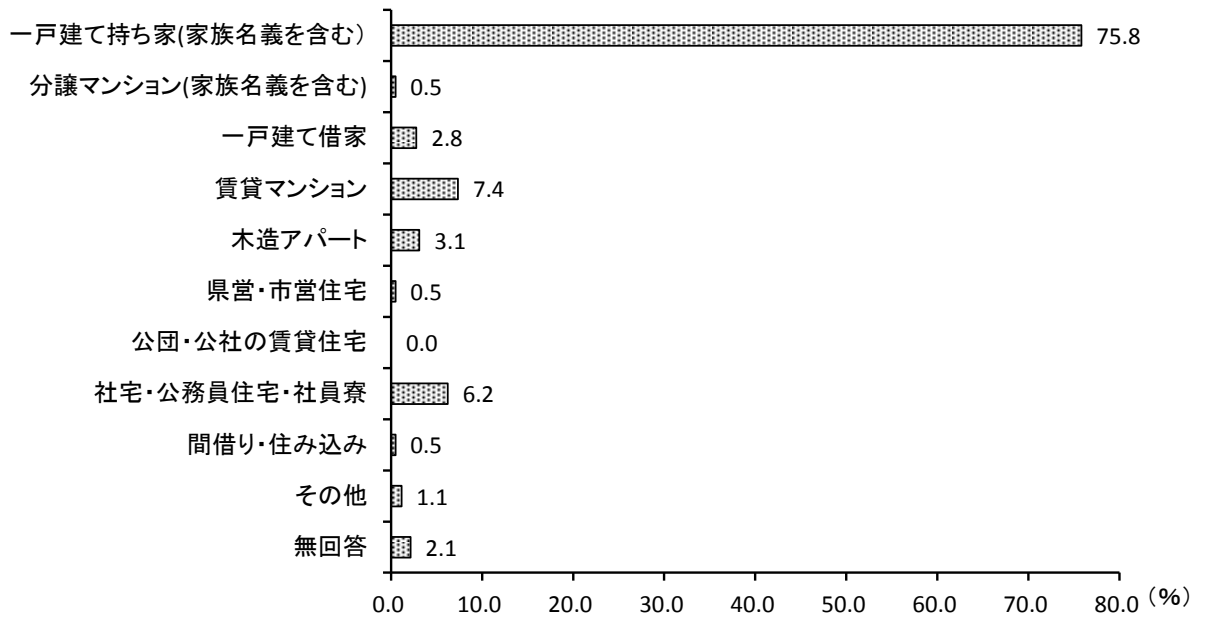
F6 子どもの状況



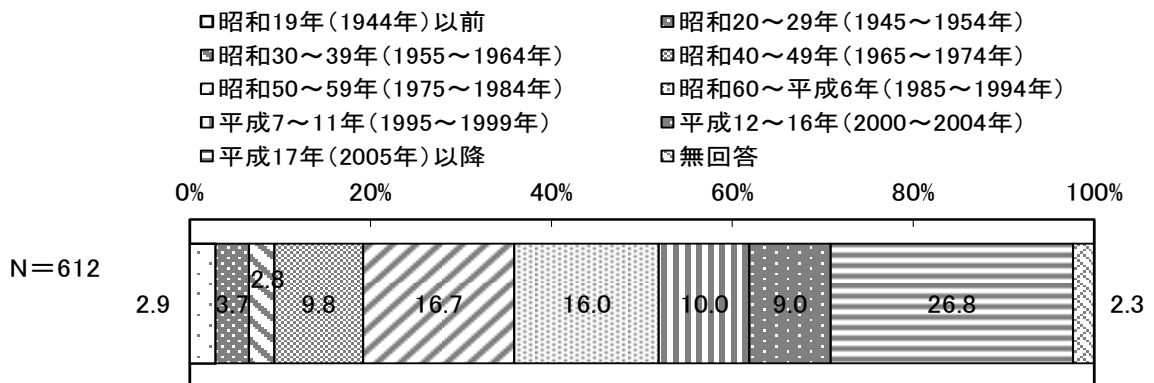
F7 就労の状況



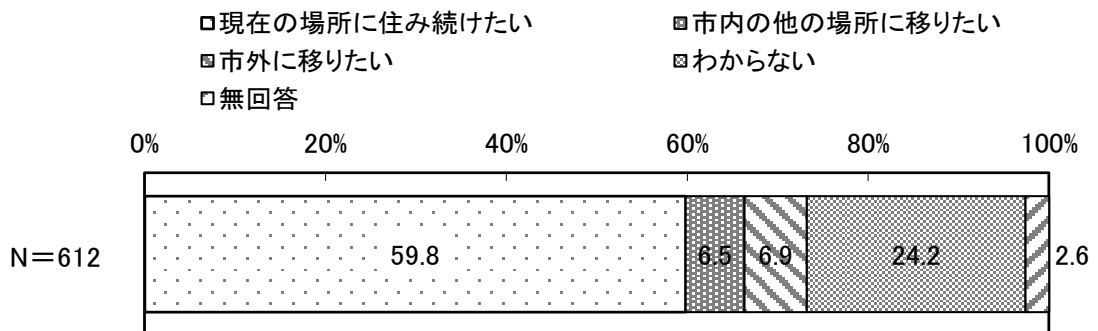
F8 住宅の状況



F9 居住年数の状況



F10 移転希望の状況



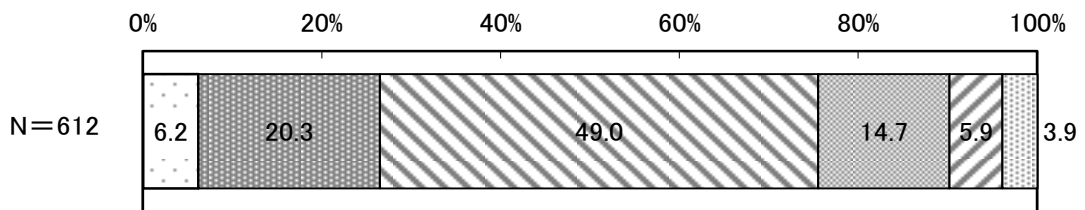
■市の政策全体について

市の政策全体について、どのように感じていますか。

市の施策全体の満足度については、「満足」と「まあ満足している」をあわせた割合が 26.5% です。一方、「不満」と「やや不満である」をあわせた割合が 20.6% となり、満足している人の割合の方が高くなっています。

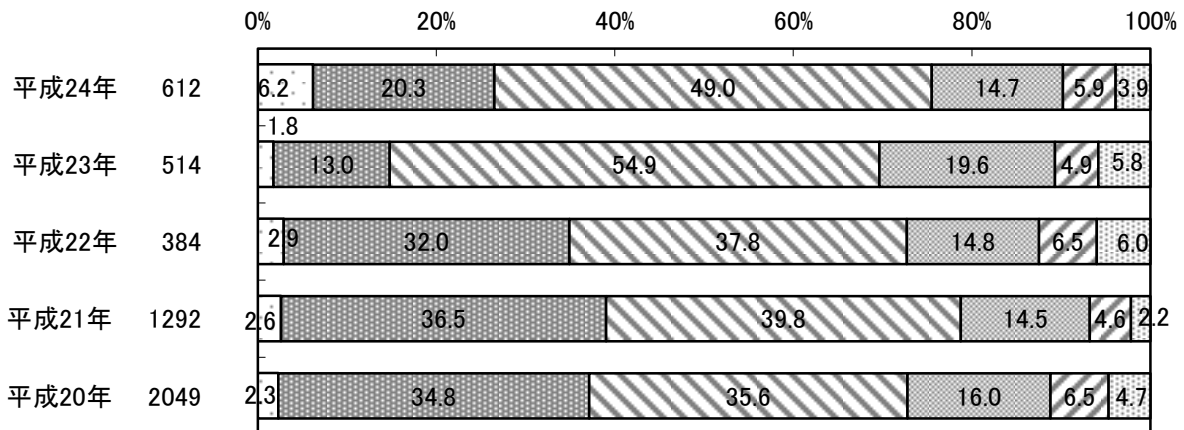
満足度を比較すると、平成 22 年から平成 23 年に 19.2% 低くなりましたが、平成 24 年には 11.7% 高くなっています。不満度はここ数年、2 割前後で推移しています。

□満足している □まあ満足している □普通 □やや不満である □不満である □無回答



【経年比較】

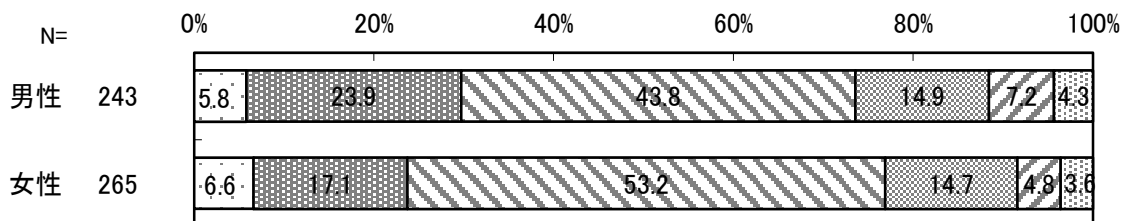
N= □満足 □まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答



【性別】

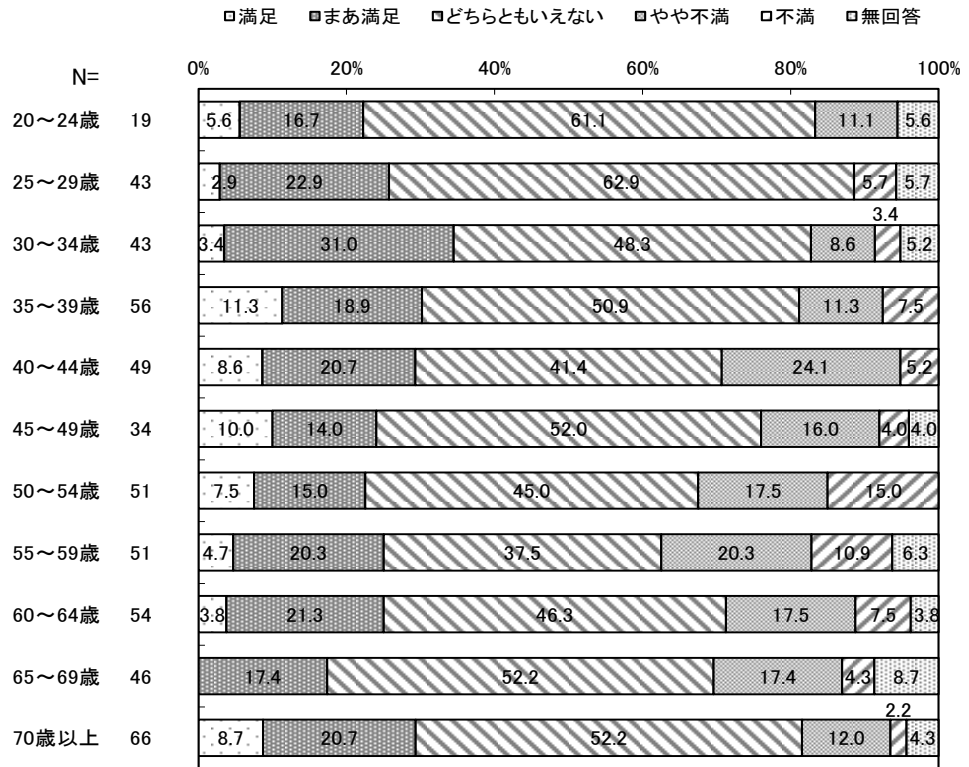
性別でみると、女性に比べ男性の方が、「満足」と「やや満足」をあわせた満足度の割合がやや高い傾向にあります。

□満足 □まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答



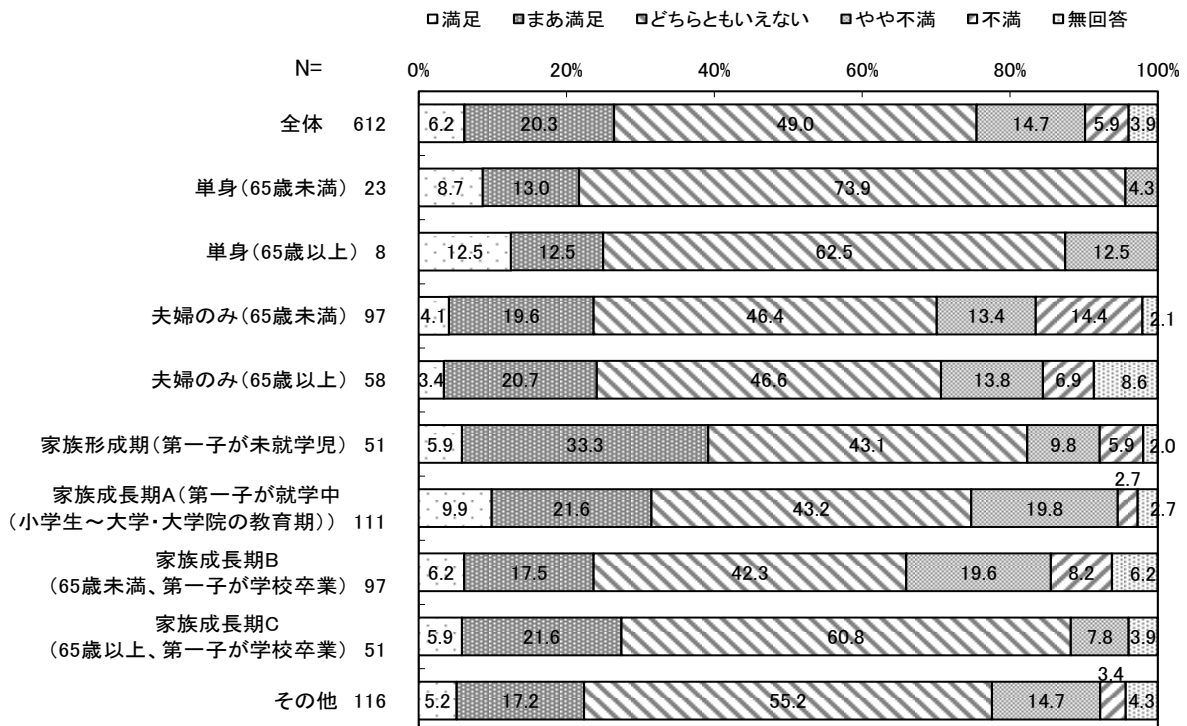
【年代別】

「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が最も高いのは30歳代で、3割を超えています。一方「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が最も高いのは50歳代となっています。



【ライフステージ別】

「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が約4割ともっとも高いのが、家族形成期（第一子が未就学児）です。一方、夫婦のみ（65歳未満）と家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が高い傾向にあります。



1 満足度・重要度調査

お住まいの周辺環境について（住環境）

問1 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境について、感じていることをお答えください。（それぞれの設問ごとにあてはまる番号1つに○）

現状の満足度と今後の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

各項目の回答者数に下表の点数をかけて合計を出し、回答者総数で割った平均値を得点とします。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

算出された満足度・重要度得点をもとに、各事業の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

■ 満足度&重要度ベスト3

満足度		順位	重要度	
事業名	得点		得点	事業名
身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.50	1	1.59	必要は時に適切な医療が受けられる環境
必要は時に適切な医療が受けられる環境	0.43	2	1.62	地震災害に強いまちづくり
不安のない消防体制と救急体制の充実	0.32	3	1.51	犯罪のおきにくい安心なまちづくり

■ 満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題の検討が必要）

順位	事業名	満足度	重要度	点数差(※)
1	鉄道やバスの便利さ	-0.84	1.17	-2.01
2	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.48	1.27	-1.75
3	地震災害に強いまちづくり	-0.13	1.52	-1.65

※点数差＝満足度－重要度：満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

■ 満足度・重要度による順位

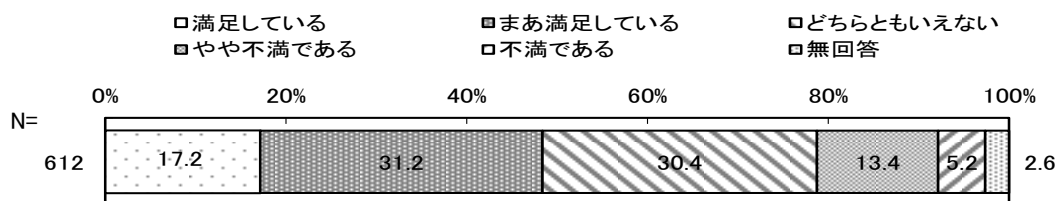
満足度	点数	順位	点数	重要度
チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.50	1	1.59	ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境
ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境	0.43	2	1.52	エ 地震災害に強いまちづくり
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実	0.32	3	1.51	オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり
ソ 空気や河川の水のきれいさ	0.29	4	1.43	ク 不安のない消防体制と救急体制の充実
タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」	0.27	5	1.36	カ 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境	0.26	6	1.30	テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活	0.18	7	1.27	サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況
ス まちなみや自然の景観の美しさ	0.16	8	1.23	タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」
テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度	0.15	9	1.19	ソ 空気や河川の水のきれいさ
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり	0.13	10	1.17	シ 鉄道やバスの便利さ
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域防災訓練など)への参加のしやすさ	0.12	11	1.10	キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活
ツ 河川や水路の整備状況	0.10	12	1.09	イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉	0.09	13	1.08	コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備
カ 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み	-0.06	14	1.06	ツ 河川や水路の整備状況
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	-0.08	15	0.97	ケ 公園などの身近な緑地の環境整備
エ 地震災害に強いまちづくり	-0.13	16	0.97	セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.27	17	0.94	ス まちなみや自然の景観の美しさ
サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.48	18	0.92	ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域防災訓練など)への参加のしやすさ
シ 鉄道やバスの便利さ	-0.84	19	0.83	チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

【問1 満足度】

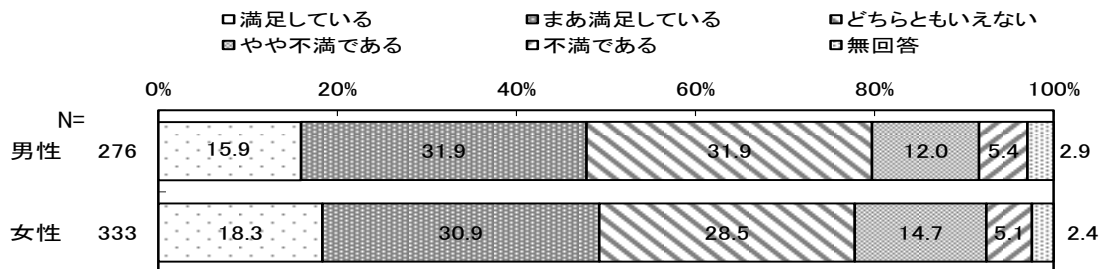
ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境

年代別にみると、30～34歳で、「満足」と「まあ満足している」をあわせた満足度の割合がもっとも高く、約7割となっています。一方、「不満」と「やや不満」をあわせた不満度は、50～54歳でもっとも高い傾向があります。ライフステージ別にみると、家族形成期（第一子が未就学児）で満足度の割合が最も高く、6割以上となっています。

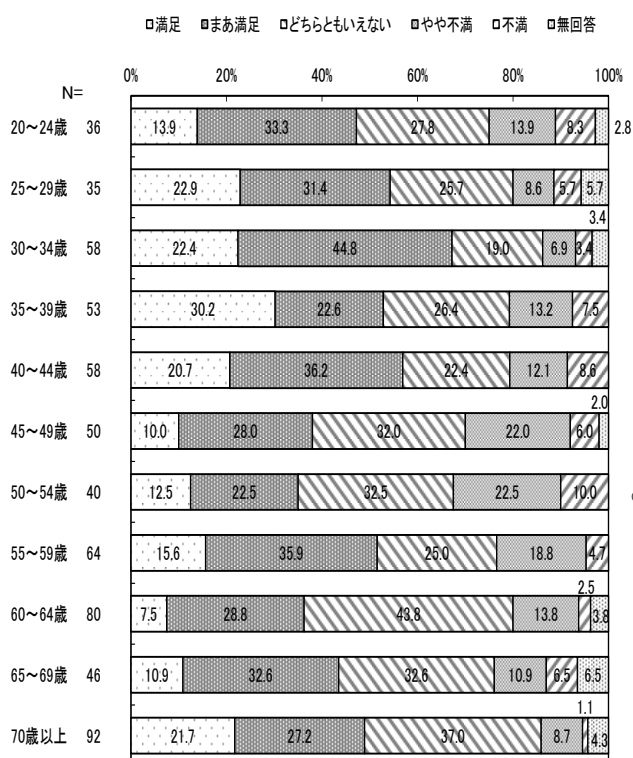
【全体】



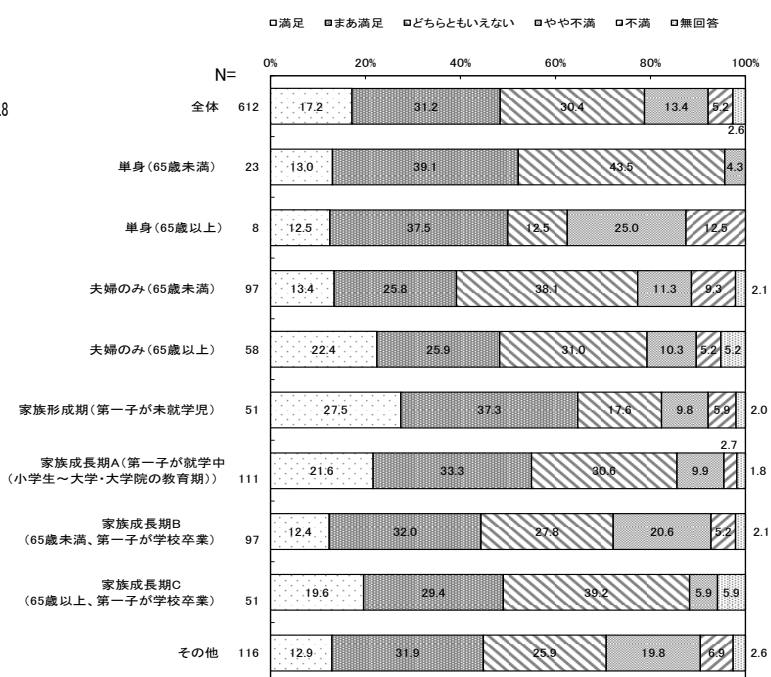
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

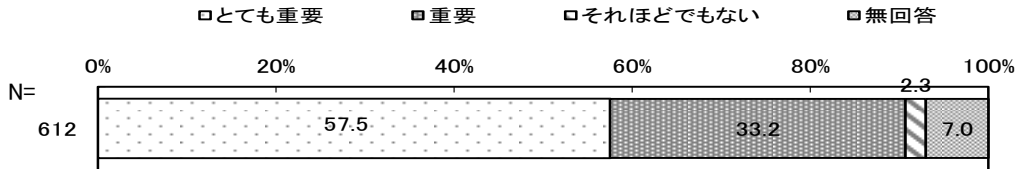


【問1 重要度】

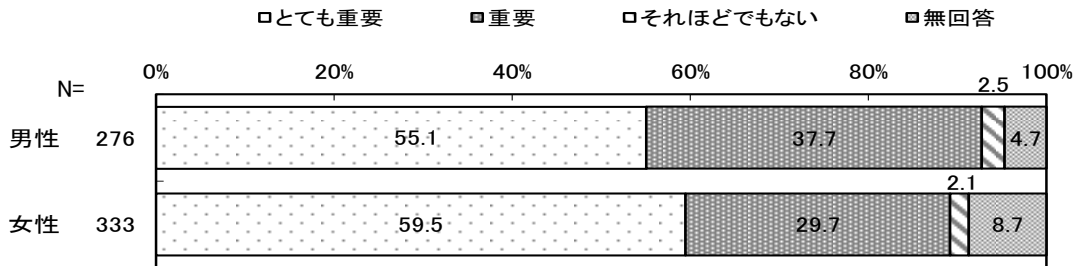
ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が高く、9割以上なっています。年代別で見ても、すべての年代で8割以上が重要だと感じています。

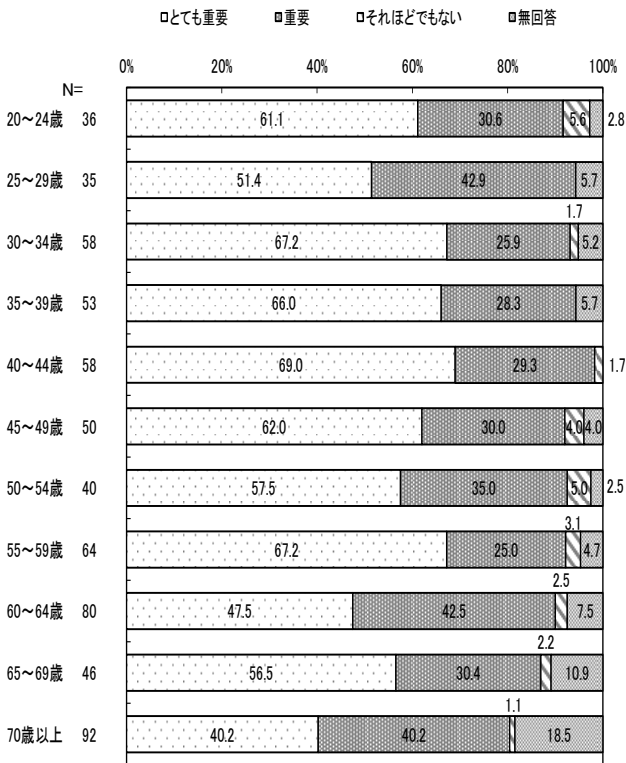
【全体】



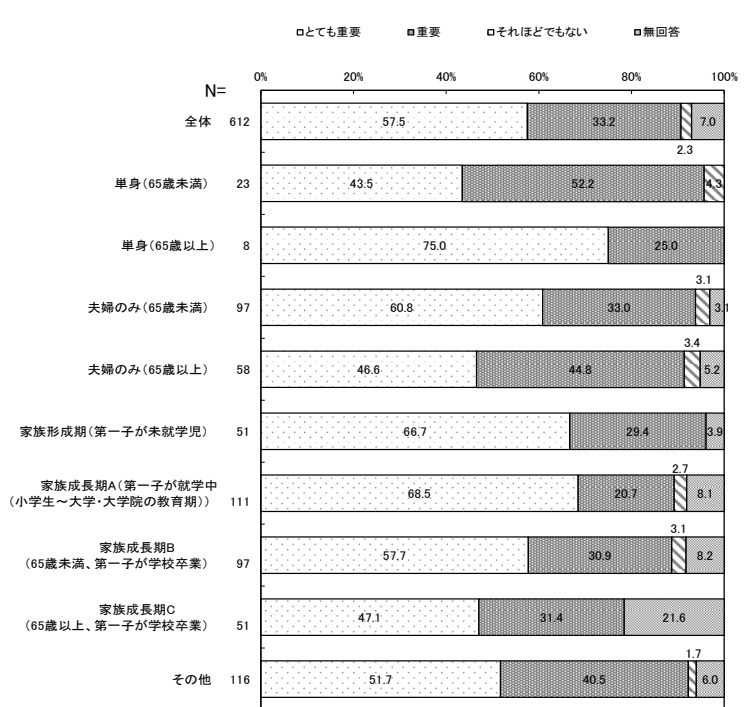
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

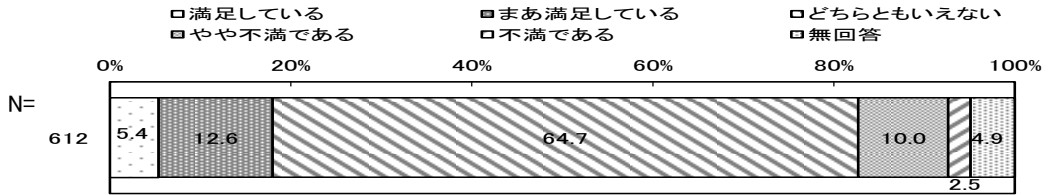


【問1 満足度】

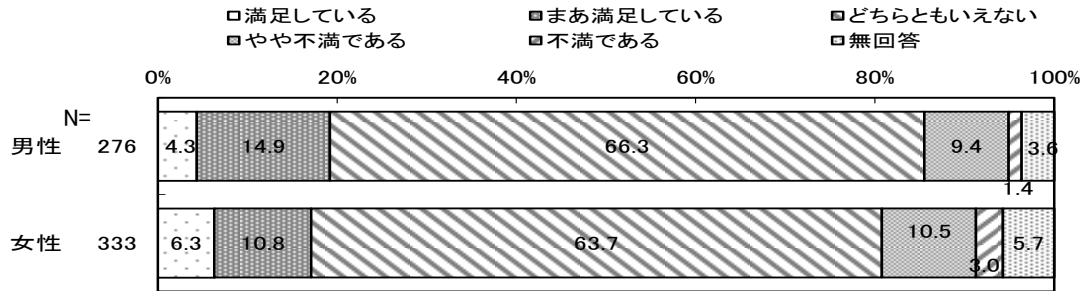
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉

年代別でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は40～44歳でもっとも高く、27.6%となっています。一方、「不満」と「やや不満」をあわせた不満度がもっとも高いのが50～54歳の27.5%です。ライフステージ別でみると、満足度の割合は、単身（65歳以上）と家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で25%以上と高く、夫婦のみ（65歳未満）では11.3%と低い傾向が見られます。

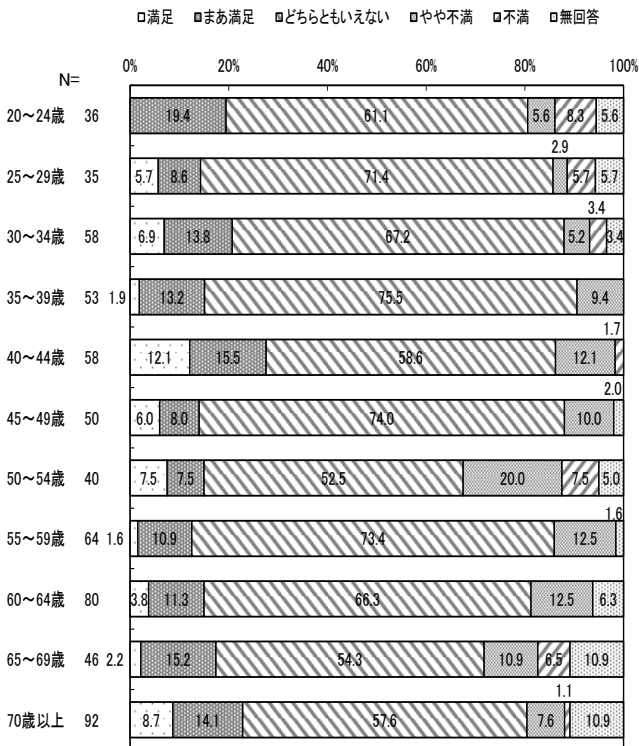
【全体】



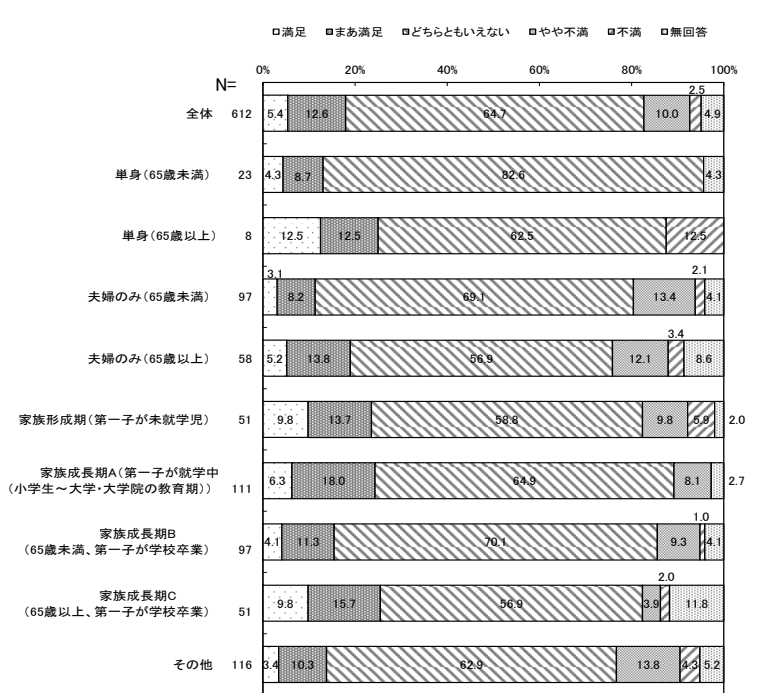
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

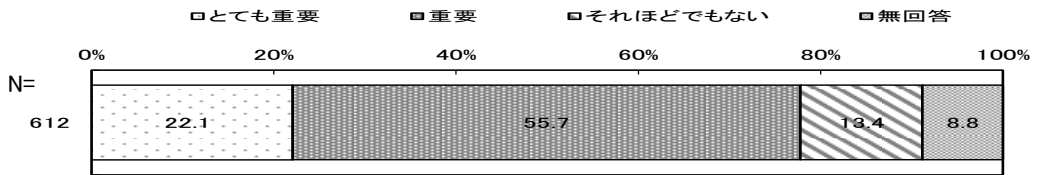


【問1 重要度】

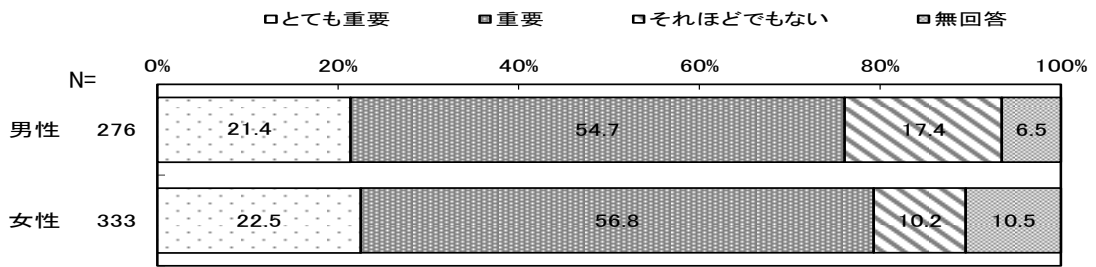
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が高く 77.8%です。年代別で見ると、「それほどでもない」の割合が、25～29歳と35～39歳で2割以上とやや高く、他の年代に比べ、関心が薄い傾向がみられます。ライフステージ別で見ると、「とても重要」と感じている人の割合は、夫婦のみ（65歳以上）でもっとも高く、約3割となっています。

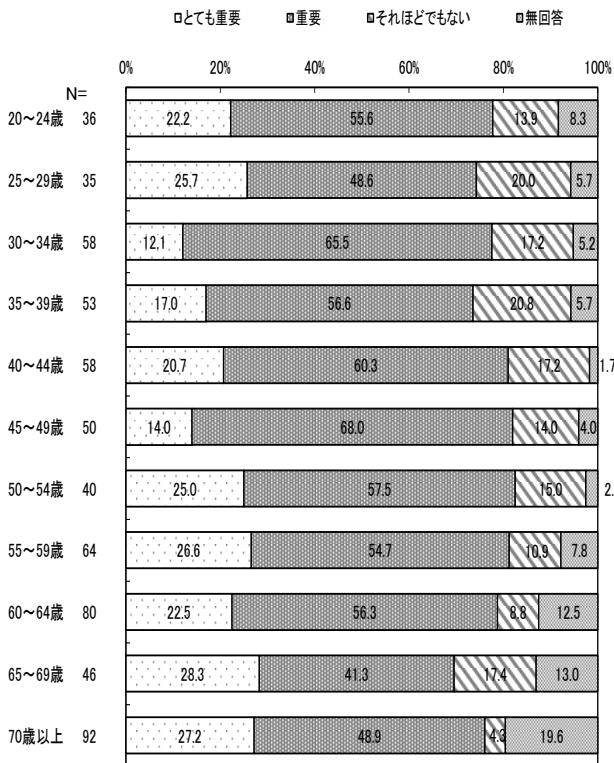
【全体】



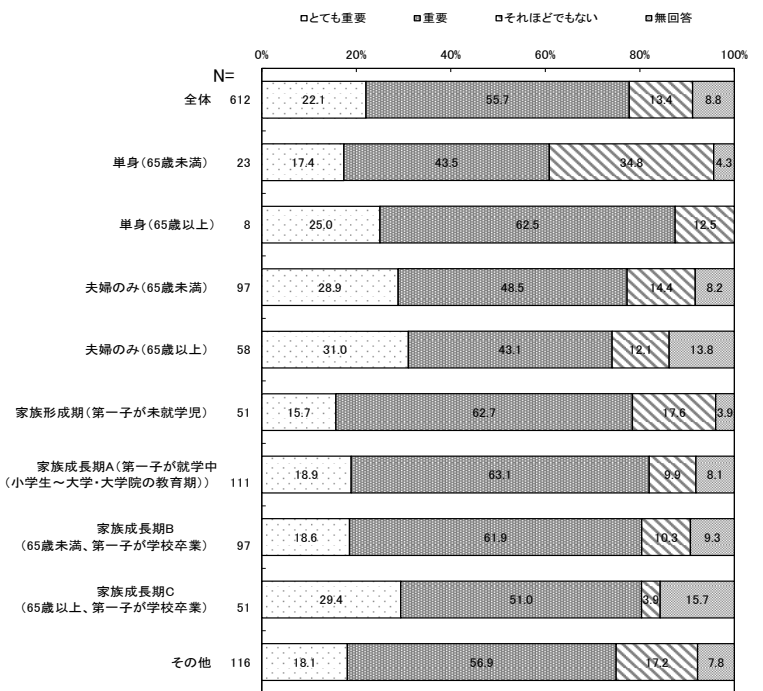
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

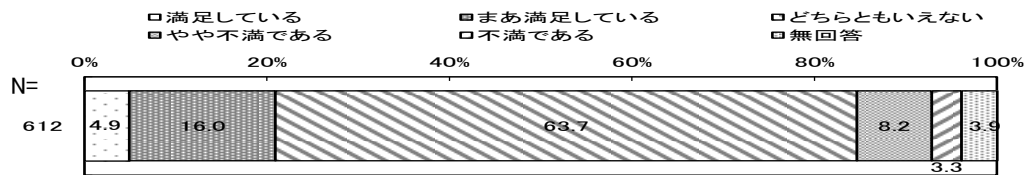


【問1 満足度】

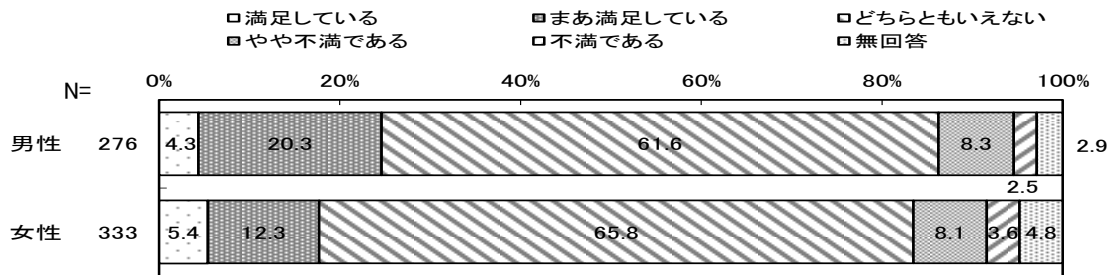
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ

全体でみると、「どちらともいえない」の割合が高く、6割以上となっています。年代別で見ると「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が40～44歳と70歳以上で3割以上となっています。一方、20～24歳と30～34歳では、満足度より「不満」と「やや不満」をあわせた不満度の方が高い傾向にあります。居住地別にみると、深良地区と千福が丘地区で満足度が高い傾向が見られます。

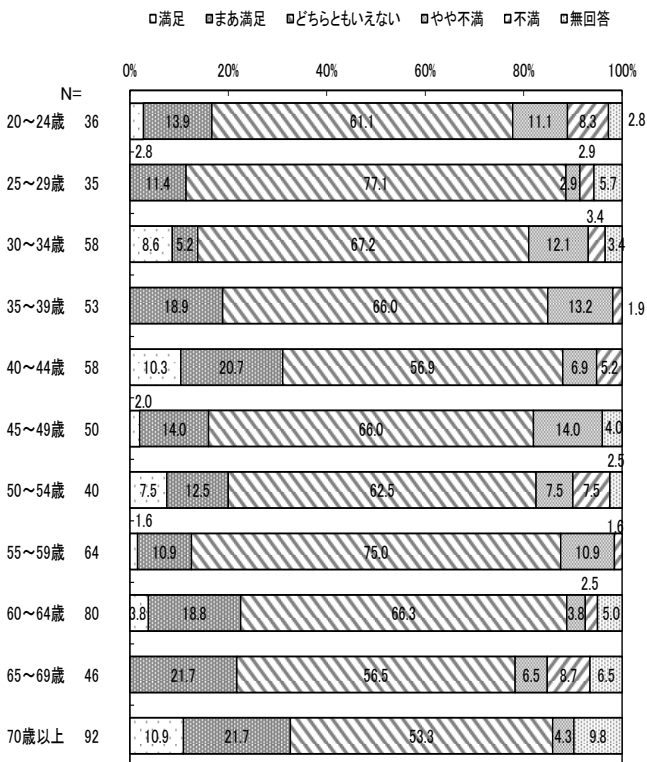
【全体】



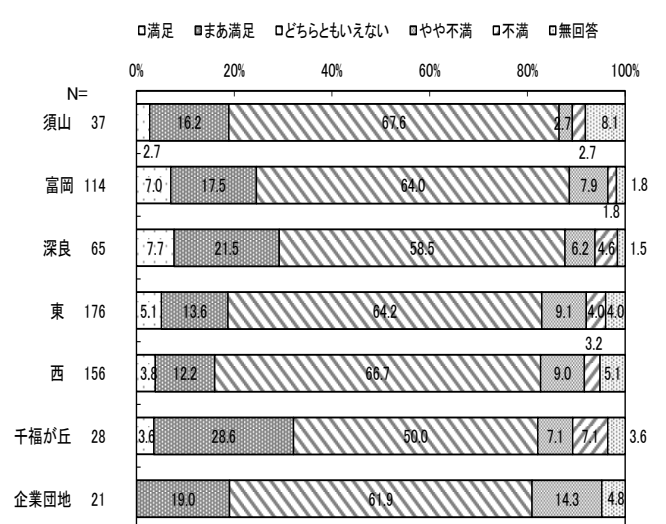
【性別】



【年代別】



【居住地別】

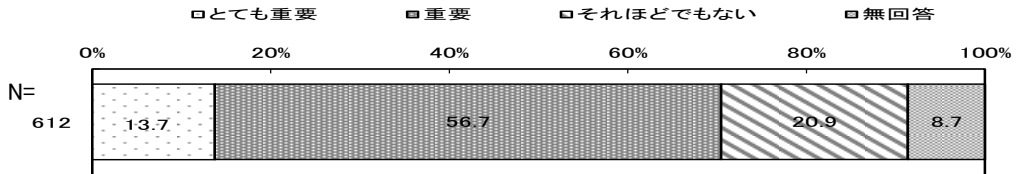


【問 1 重要度】

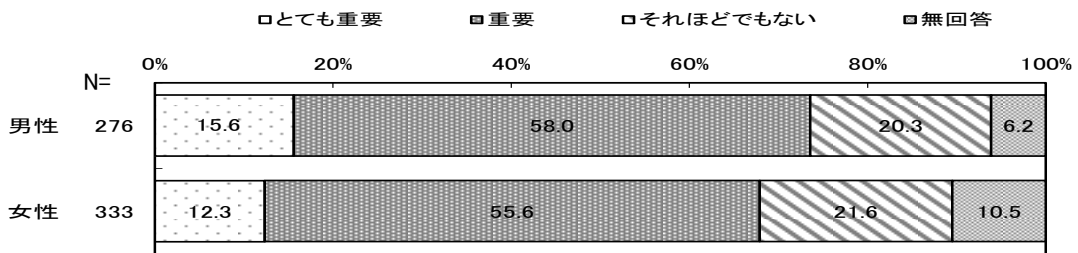
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」の割合が高く、7割以上となっています。年代別で見ると、25～39歳の若い世代で「それほどでもない」の割合が高く、関心が薄い傾向が見られます。居住地別で見ると、富岡地区と深良地区において「とても重要」の割合が高くなっています。

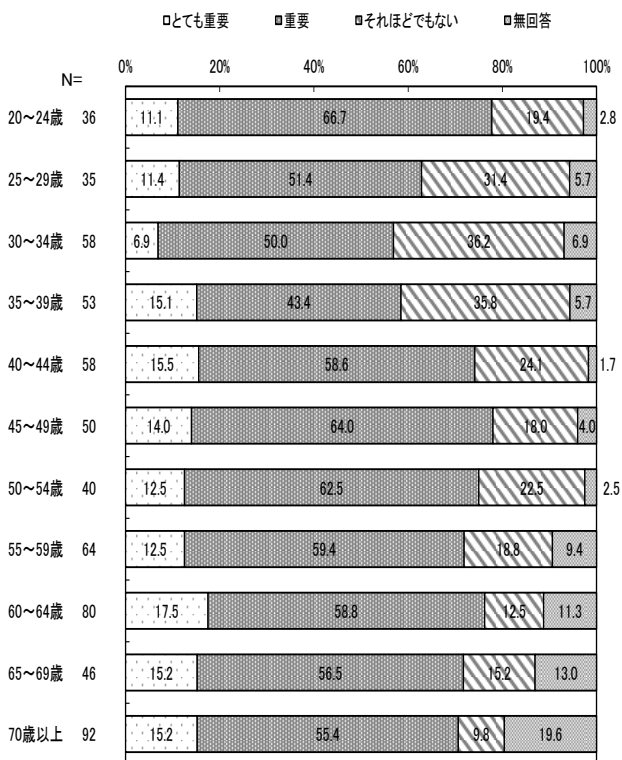
【全体】



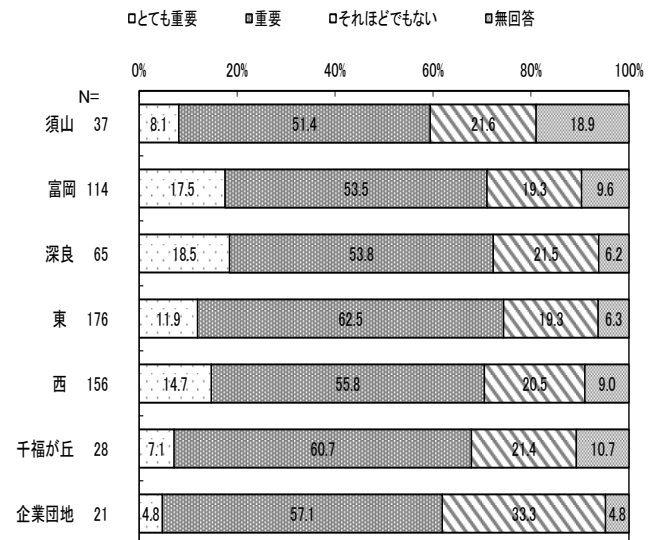
【性別】



【年代別】



【居住地別】

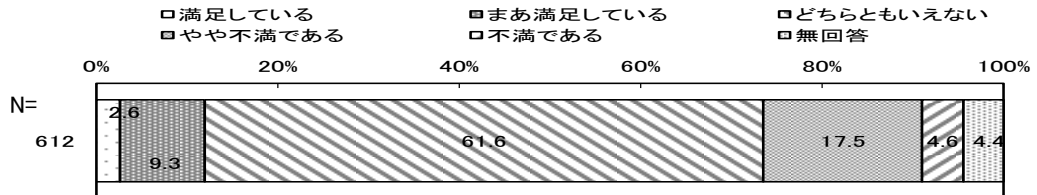


【問1 満足度】

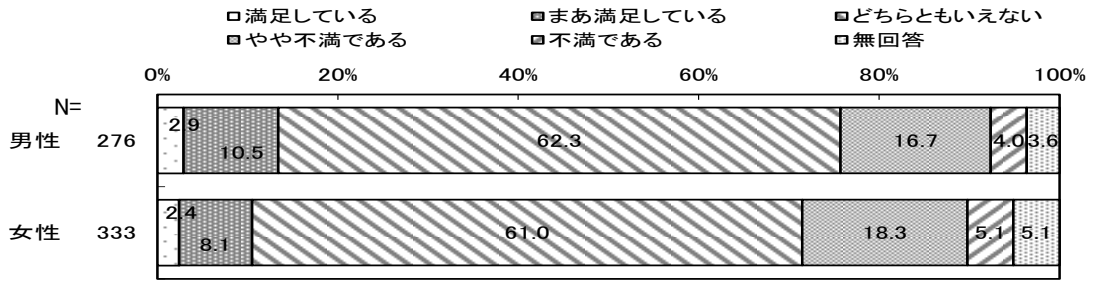
エ 地震災害に強いまちづくり

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合がやや高く、満足度の2倍近くになっています。年代別でみると、40～44歳で32.7%と不満度の割合が特に高くなっています。居住地別でみると、深良地区と千福が丘地区で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は比較的高い一方で、企業団地地区では不満度が33.4%と地区毎で割合に差が見られます。

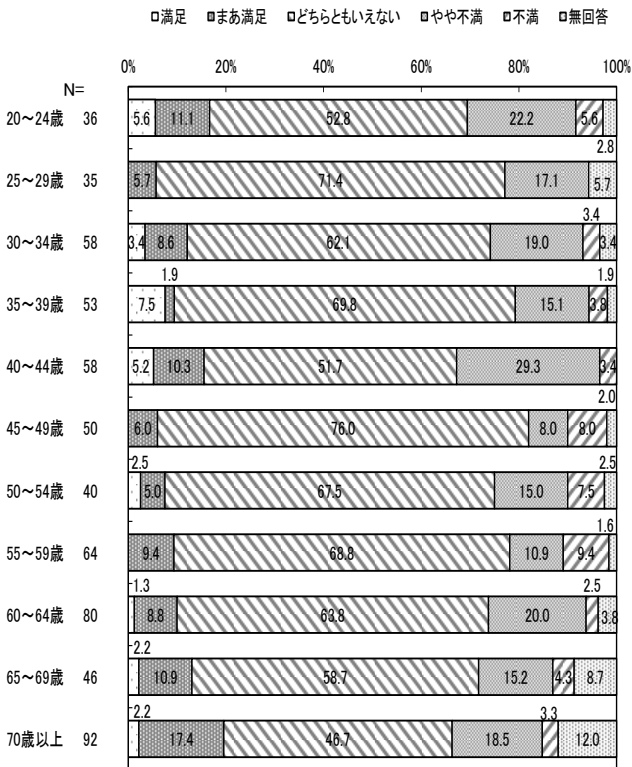
【全体】



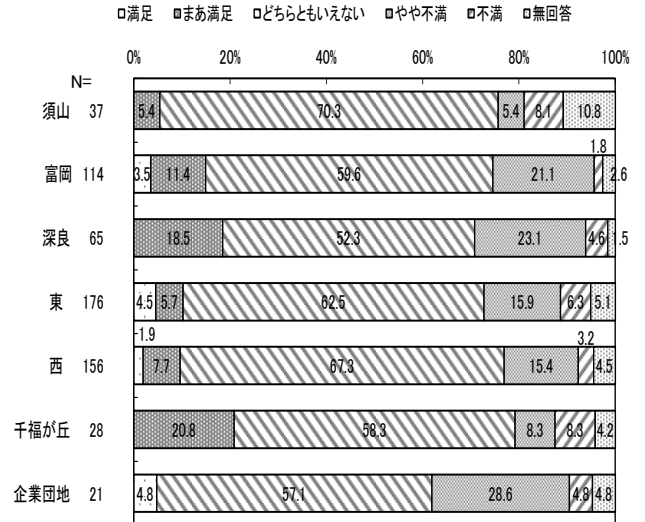
【性別】



【年代別】



【居住地別】

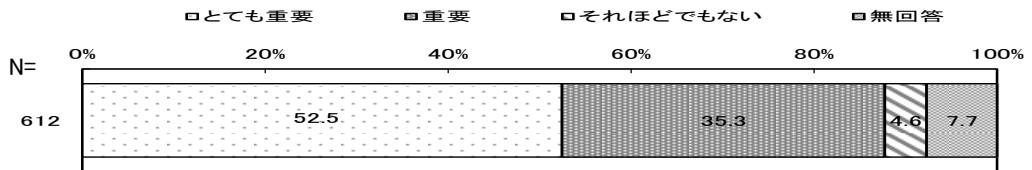


【問1 重要度】

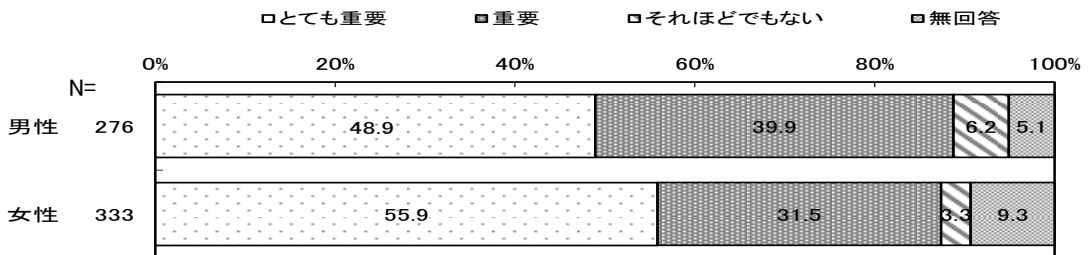
エ 地震災害に強いまちづくり

性別でみると、男性より女性の方が「とても重要」の割合が高くなっています。年代別にみると、若いほど「とても重要」の割合が高い傾向があります。居住地別でみると、企業団地地区で「とても重要」の割合が81%と非常に高い一方、須山地区では43.2%と低く、居住地により差があることがわかります。

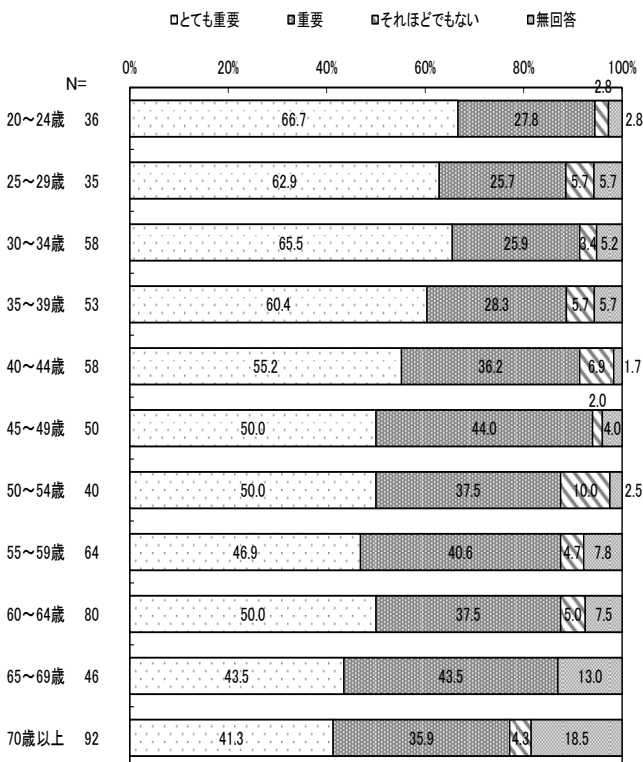
【全体】



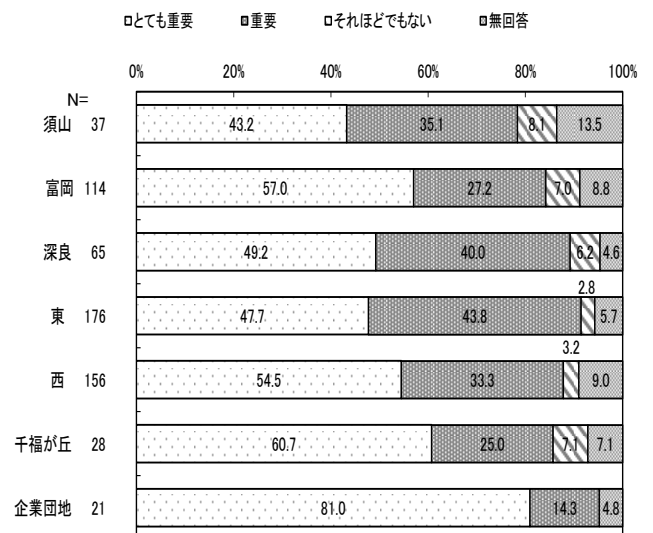
【性別】



【年代別】



【居住地別】

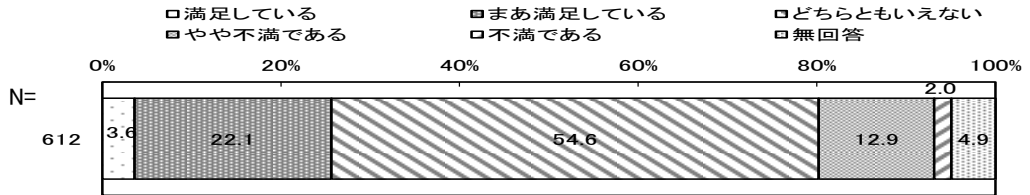


【問1 満足度】

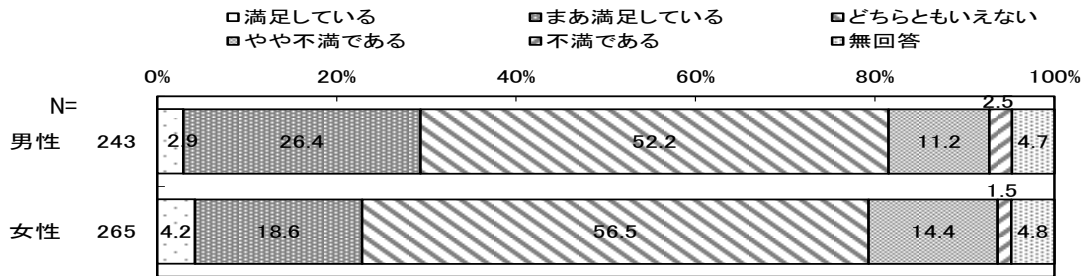
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合より、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合の方が高い傾向が見られます。年代別でみると、40～44歳以外の全ての年代で、満足度の割合が不満度の割合より高くなっています。居住地別でみると、須山地区と企業団地地区で満足度の割合が特に高い傾向があり、約4割となっています。

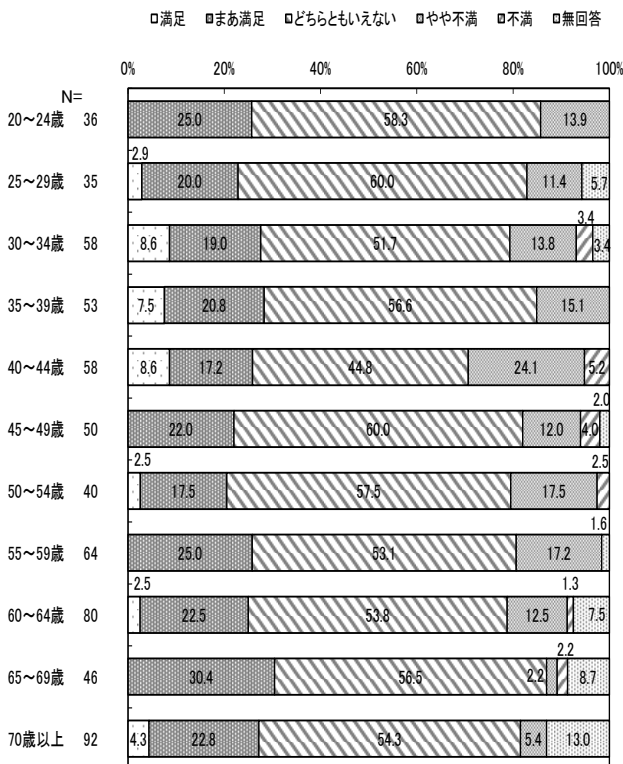
【全体】



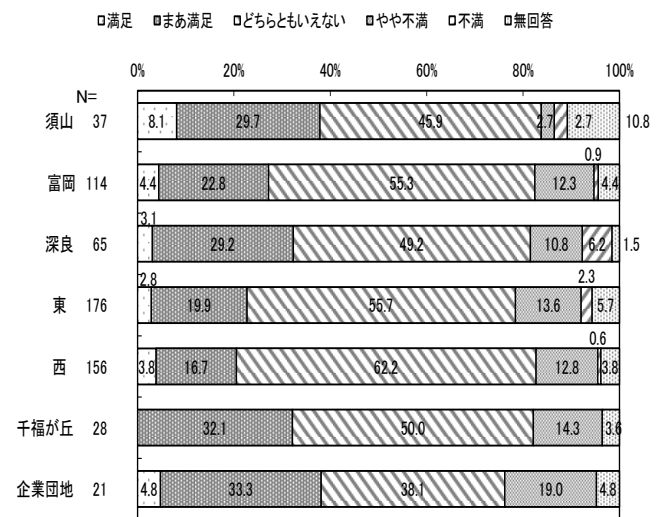
【性別】



【年代別】



【居住地別】

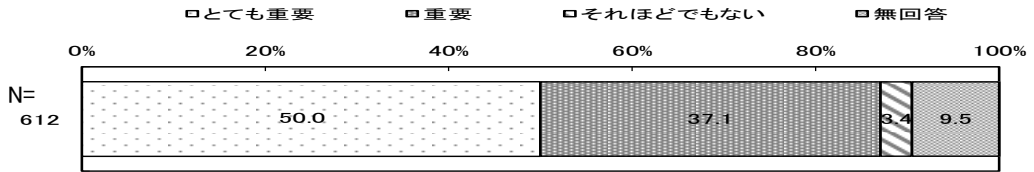


【問1 重要度】

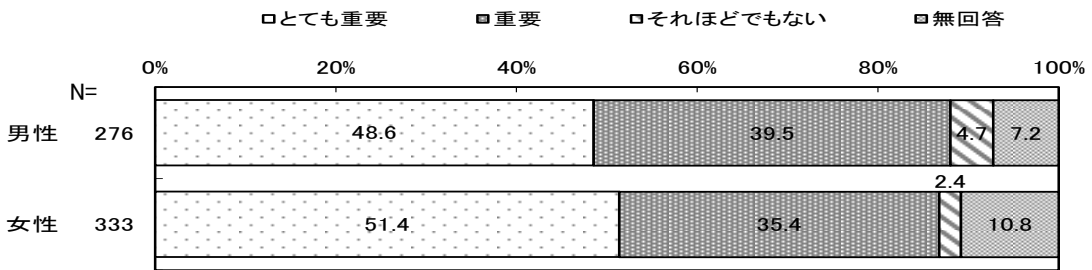
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

全体でみると、「とても重要」の割合が5割と、昨年に引き続き高い値となっています。年代別でみると、「とても重要」の割合が、30～34歳で約7割ともっとも高く、若い世代で特に高い傾向があります。居住地別でみると、企業団地地区での「とても重要」の割合が76.2%と非常に高く、犯罪のおきにくい地域が重要と考えていることがわかります。

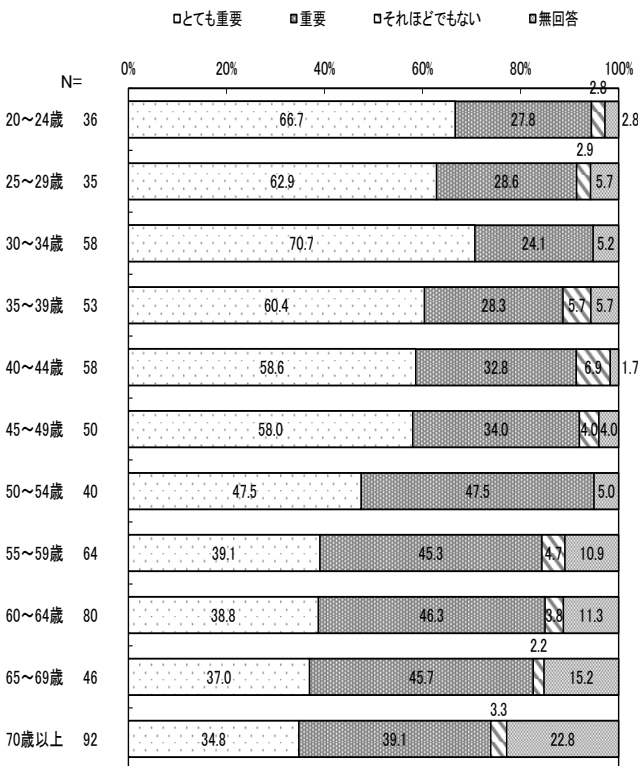
【全体】



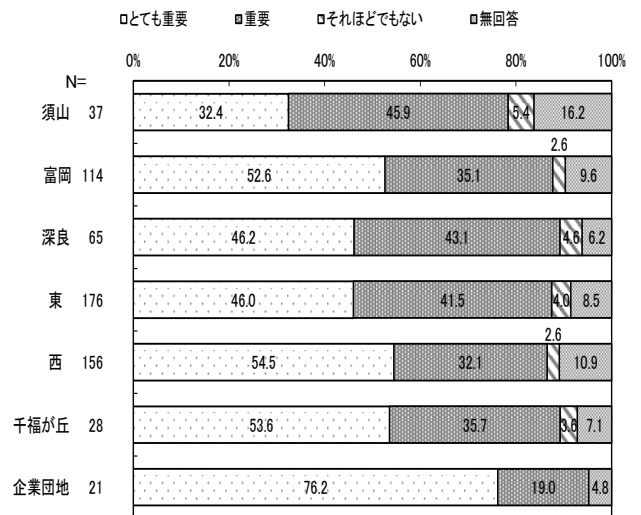
【性別】



【年代別】



【居住地別】

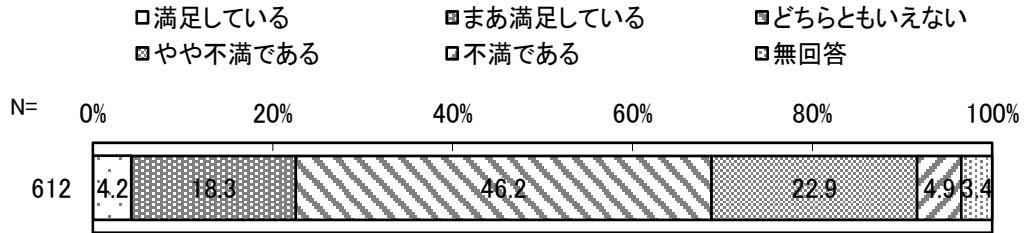


【問 1 満足度】

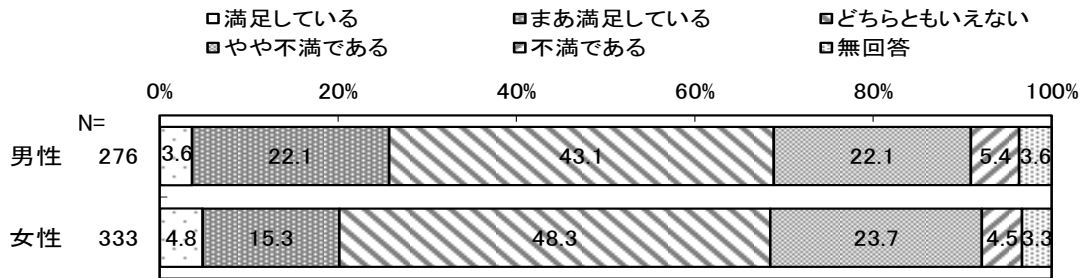
カ 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み

年代別でみると、50～59歳で「やや不満」と「不満」を合わせた不満度の割合が高く、約4割となっています。一方、65～69歳と70歳以上では不満度の割合より「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度の割合の方が高くなっています。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）と家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で満足度の割合が高い傾向が見られます。

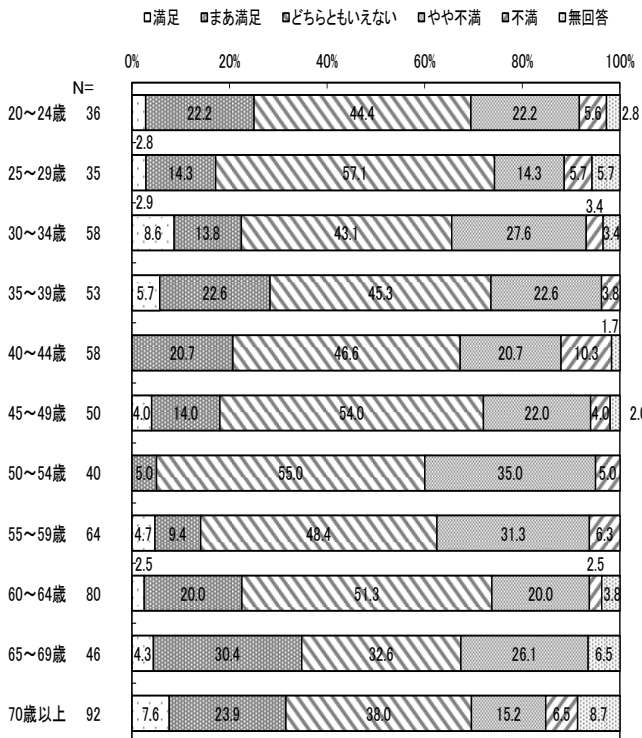
【全体】



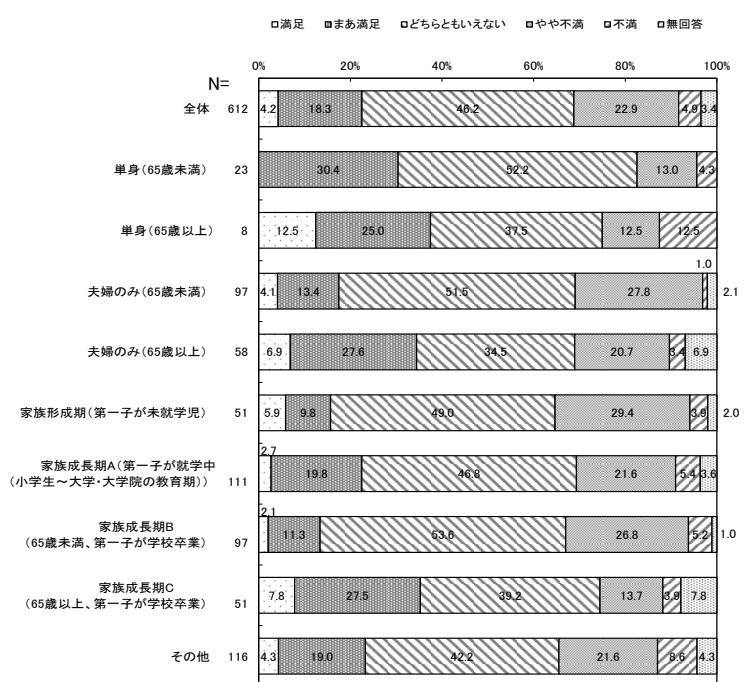
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

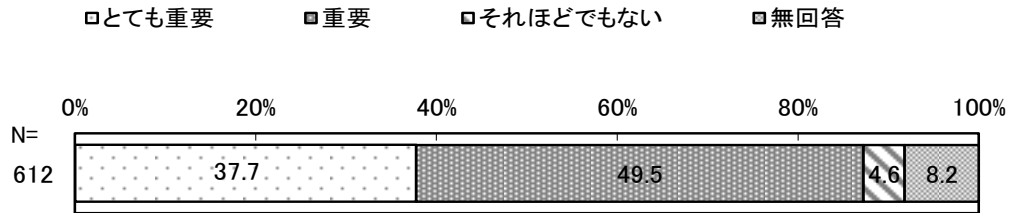


【問1 重要度】

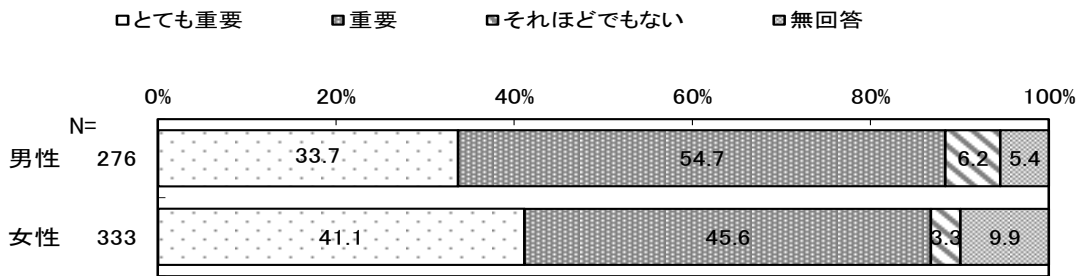
カ 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み

性別でみると、「とても重要」の割合は男性に比べ女性の方が高くなっています。年代別でみると、30～34歳と40～44歳で「とても重要」の割合が5割を超えています。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）と家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高い傾向が見られます。

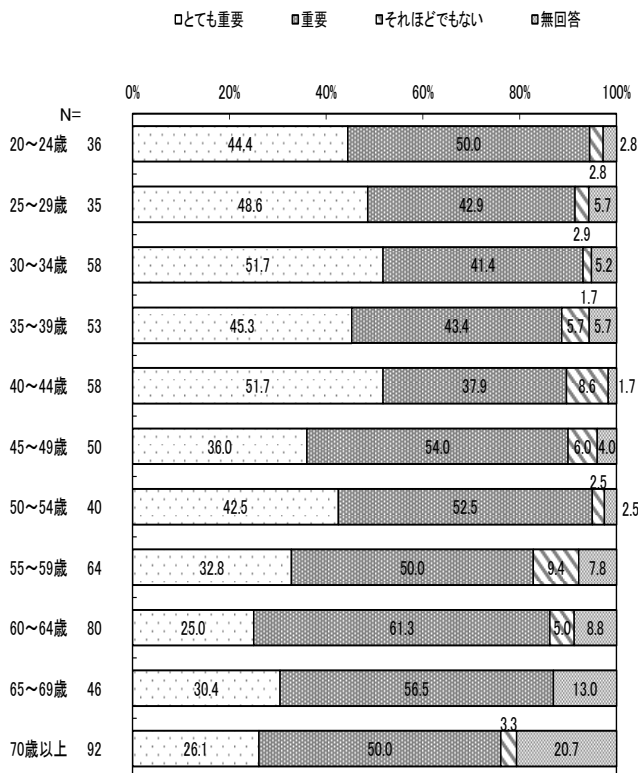
【全体】



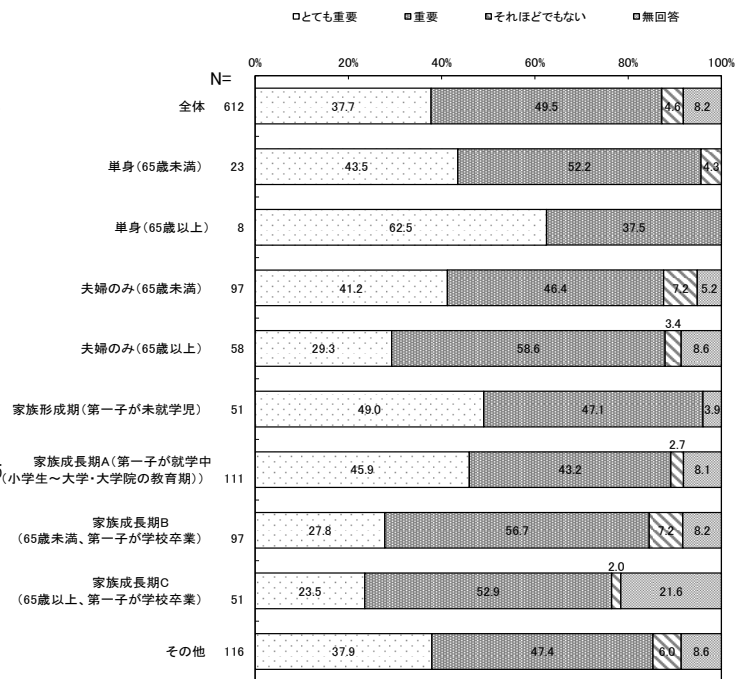
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

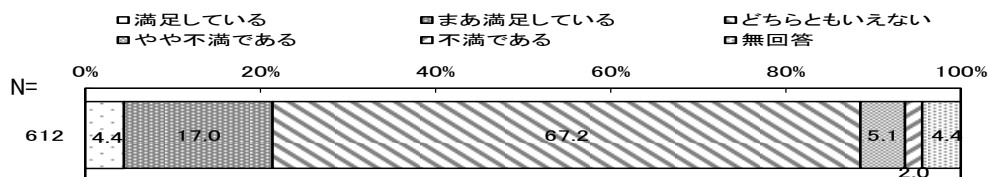


【問1 満足度】

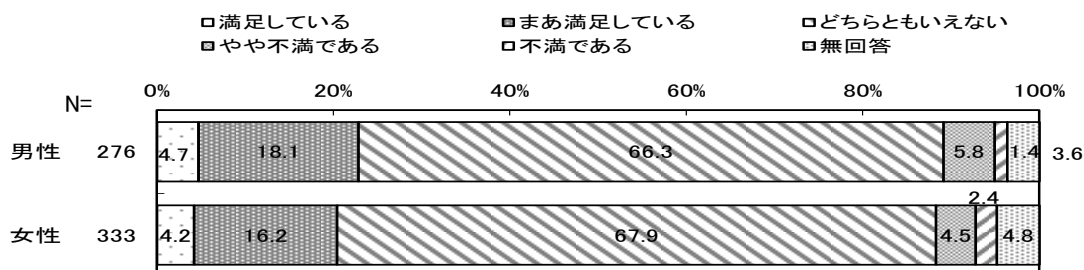
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた不満度の割合の約3倍である一方、「どちらともいえない」が7割近くを占めています。年代別でみると、他の世代に比べて20～24歳と30～34歳で満足度の割合が高い傾向があります。

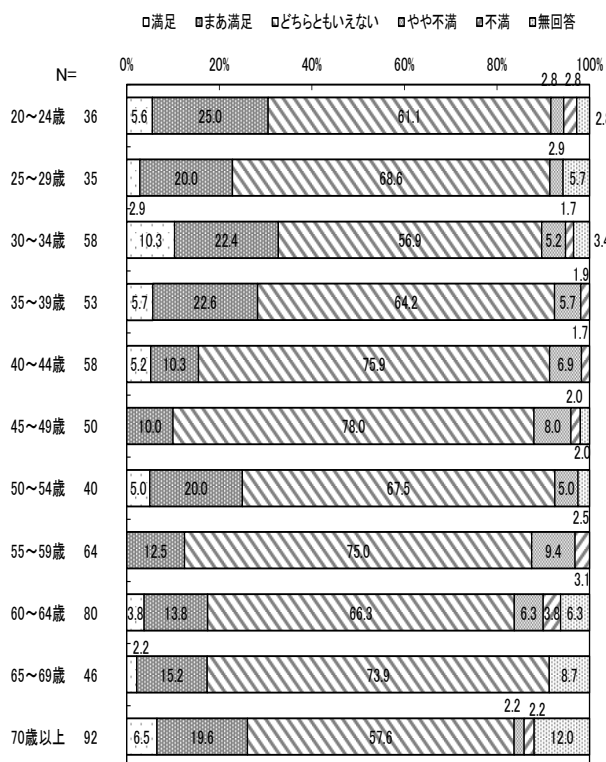
【全体】



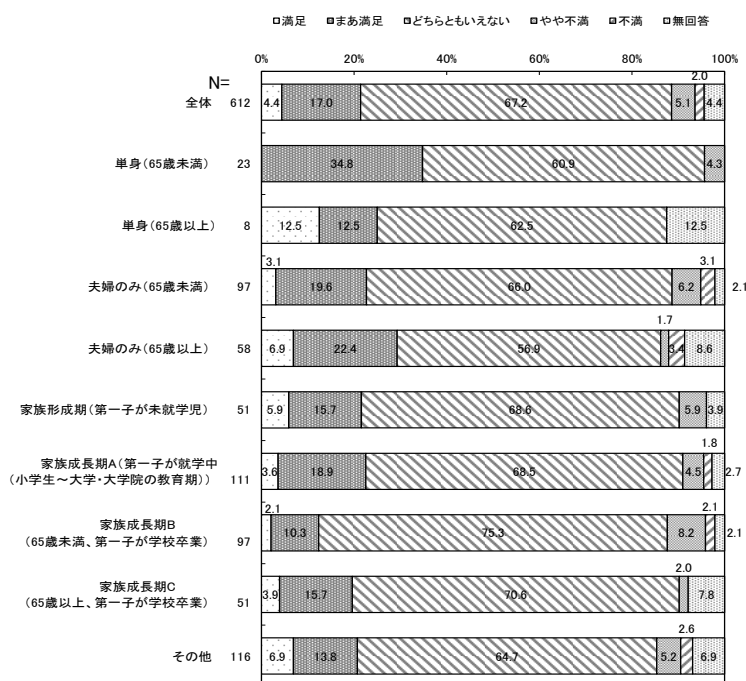
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

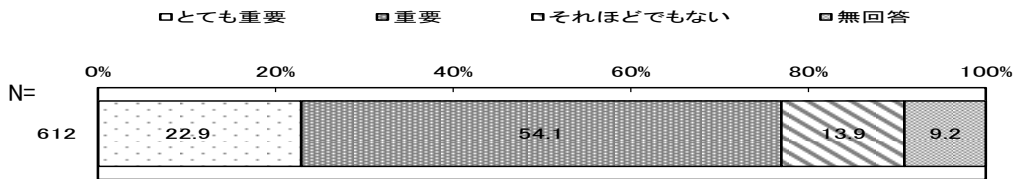


【問1 重要度】

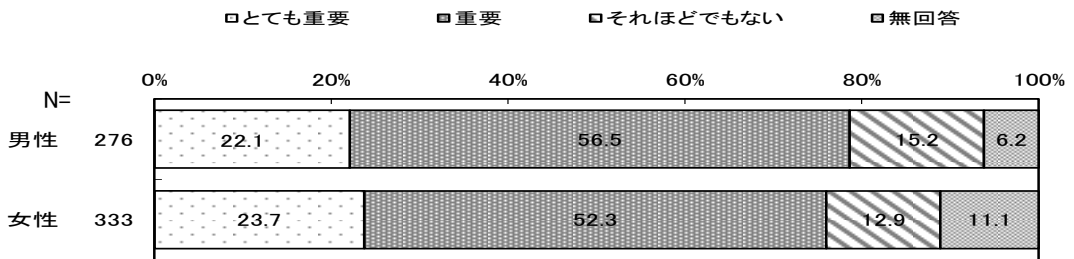
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活

全体で見ると、「とても重要」と「重要」の割合が約8割と高くなっています。年代別で見ると、20～34歳の若い世代で「とても重要」の割合が高い傾向があり、3割を超えています。ライフステージ別で見ると、「とても重要」の割合が単身世帯で高くなっています。

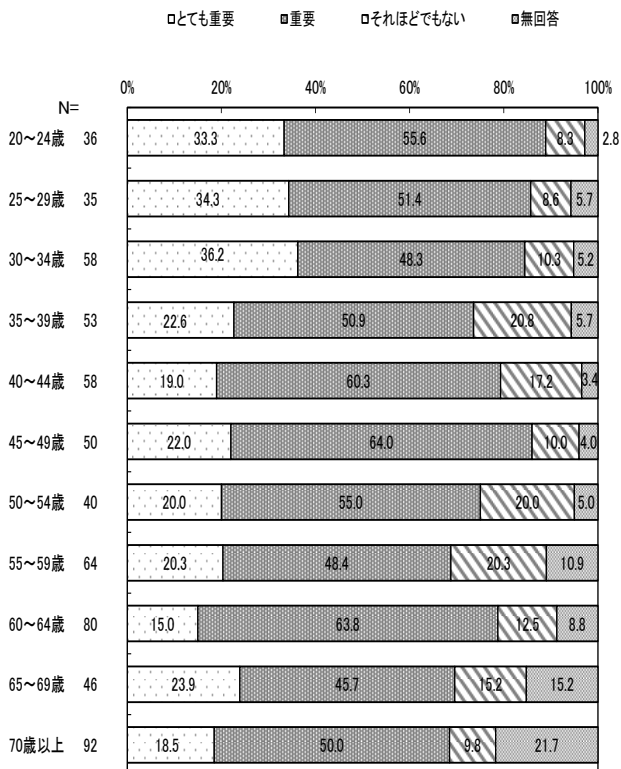
【全体】



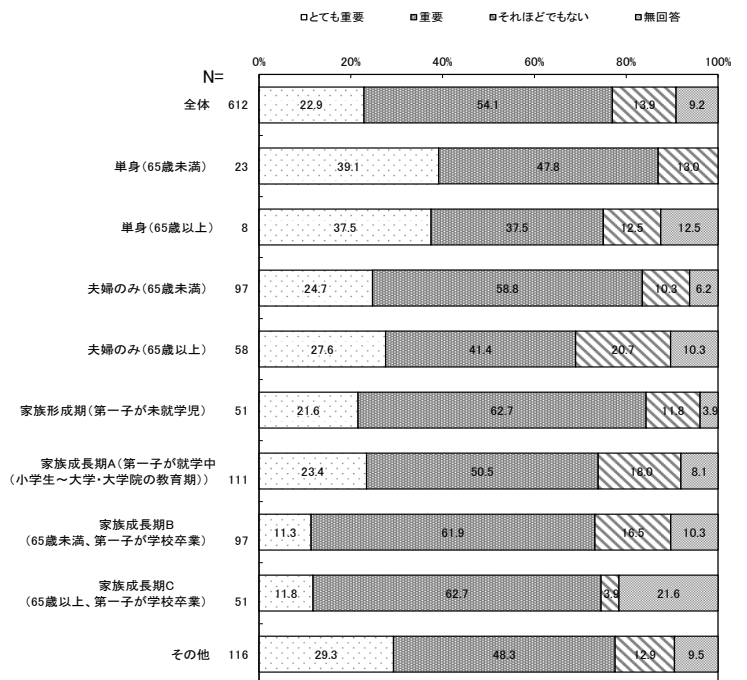
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

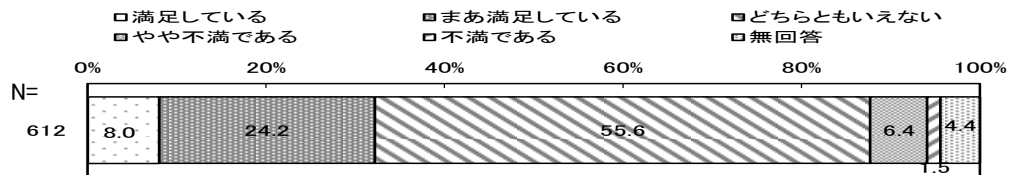


【問1 満足度】

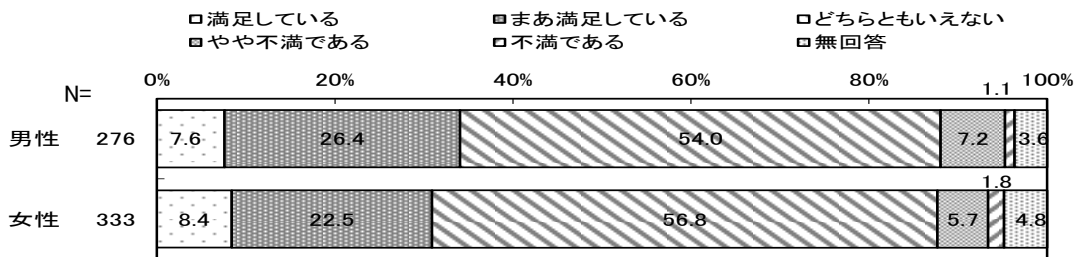
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は、「不満」「やや不満」をあわせた不満度の割合の約4倍と高い満足度となっています。年代別でみると、40～44歳で満足度の割合が約4割と最も高い一方、45～49歳では低くなり、約2割となっています。居住地別でみると須山地区で満足度の割合が最も高くなっていますが、他の地区では「どちらともいえない」割合が高い傾向にあります。

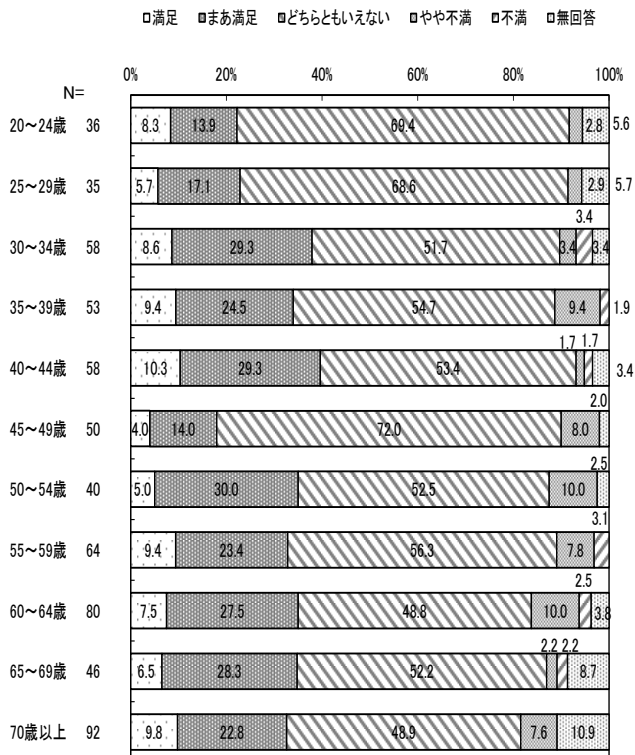
【全体】



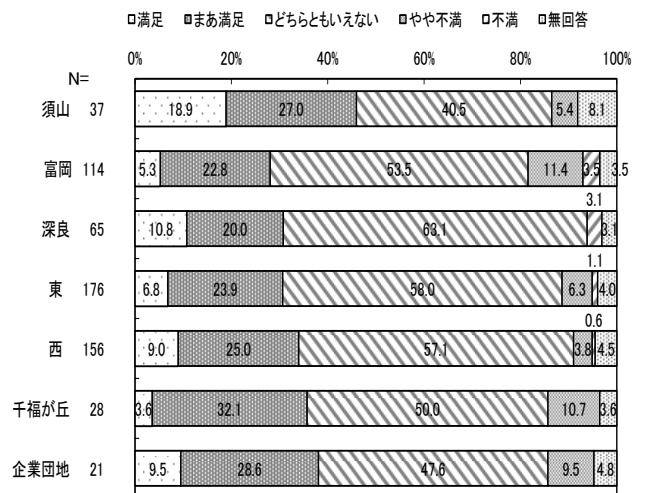
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

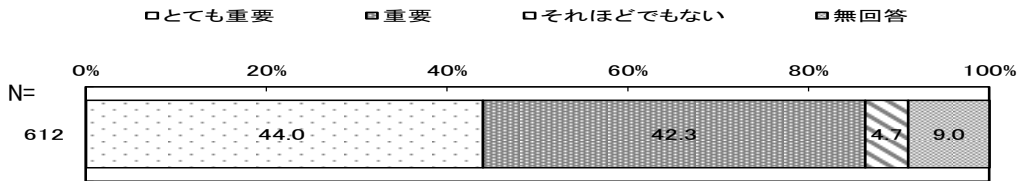


【問1 重要度】

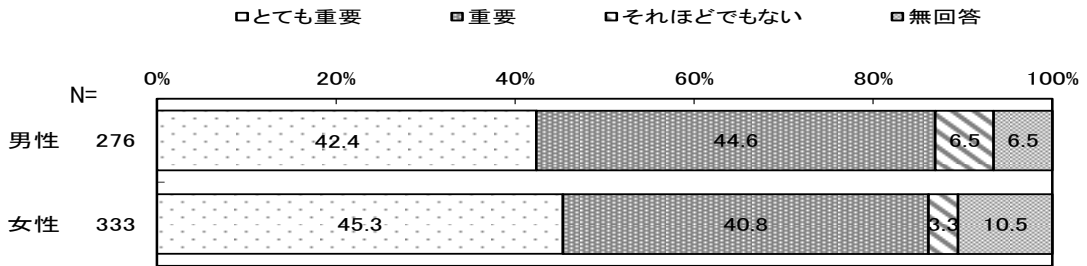
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が 86.3%と、とても高くなっています。年代別でみると、30～34 歳、40～44 歳、65～69 歳でそれぞれ「とても重要」の割合が 5 割となっており、関心が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）、夫婦のみ（65 歳以上）と単身（65 歳以上）でそれぞれ、「とても重要」の割合が 5 割以上と高くなっています。

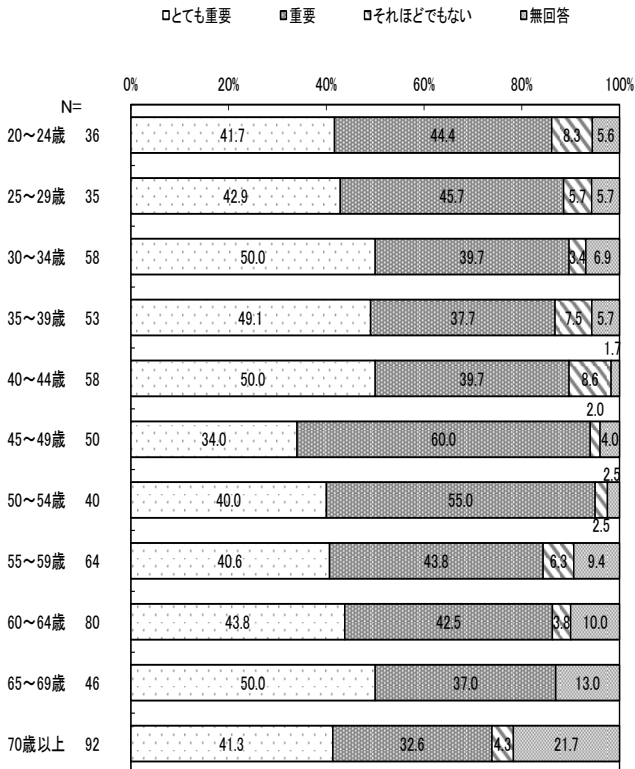
【全体】



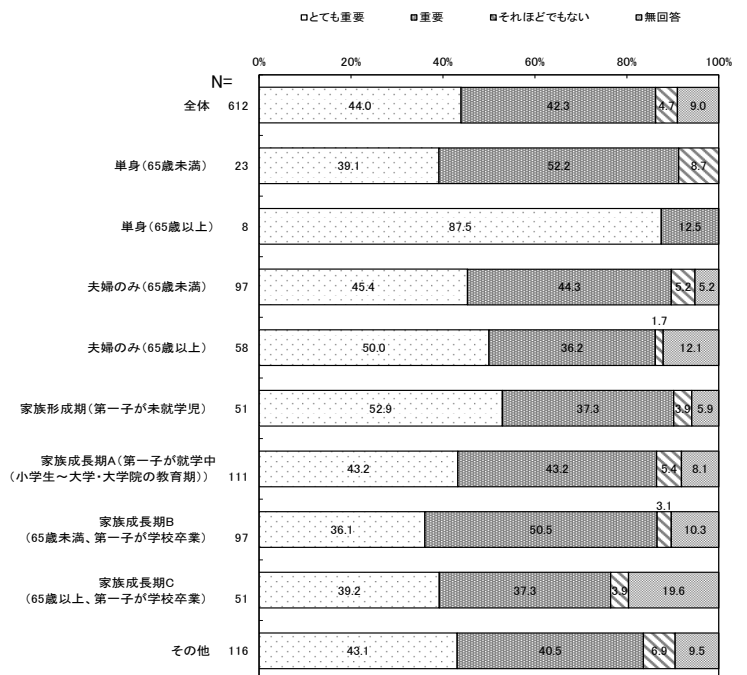
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

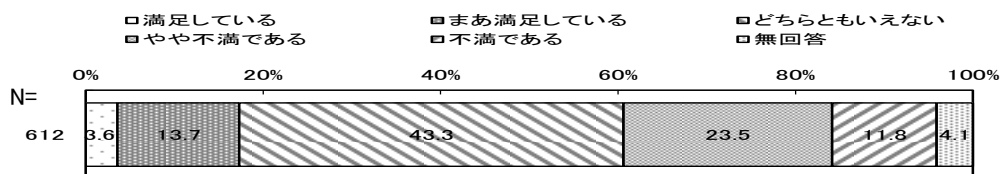


【問1 満足度】

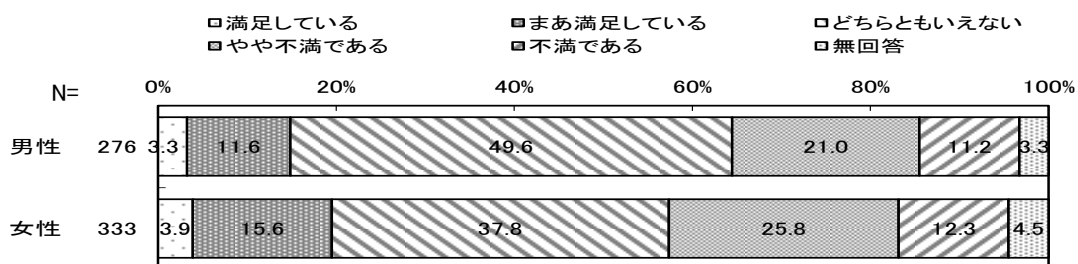
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満度の割合が、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合の約2倍あり、不満度がやや高い傾向があります。性別でみると、男性より女性の方が不満度の割合が高くなっています。年代別でみると40～44歳で不満度がもっとも高くなっています。居住地別でみると深良地区で不満度が高い傾向が見られます。

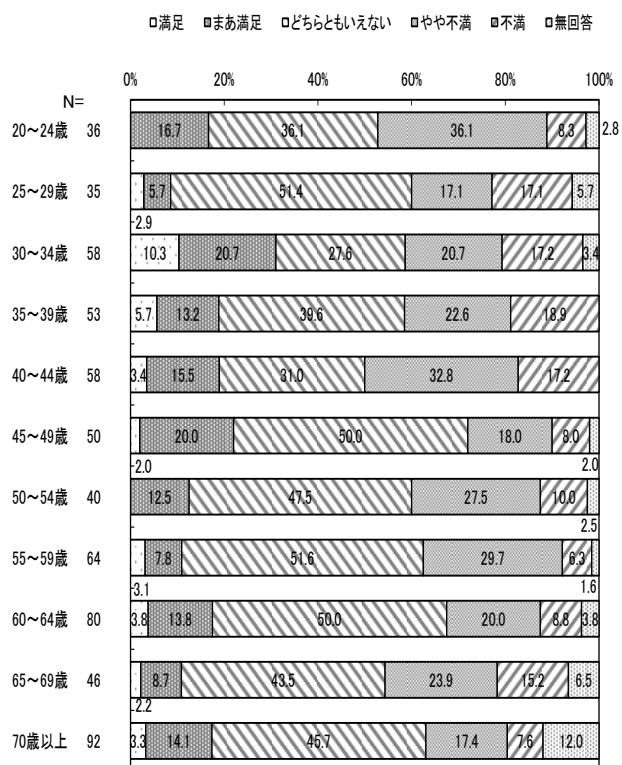
【全体】



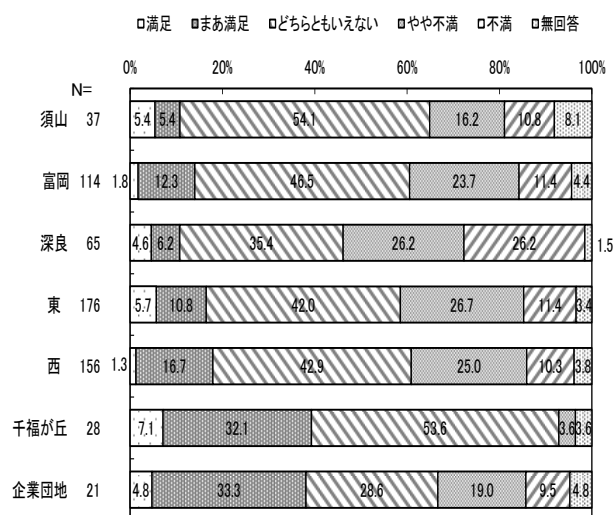
【性別】



【年代別】



【居住地別】

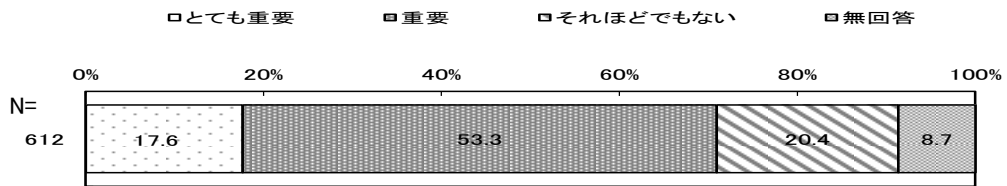


【問1 重要度】

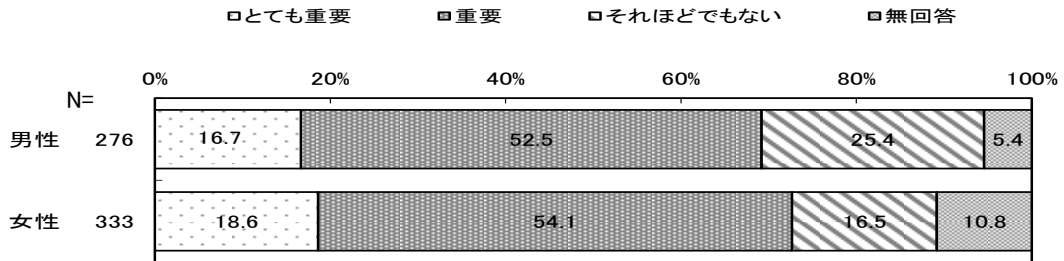
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた重要度の割合がとて高くなっています。性別でみると、男性の「それほどでもない」の割合が25.4%と女性に比べるとやや高く、関心が薄い傾向が見られます。年代別でみると、25～34歳の若い世代で「とても重要」の割合が比較的高くなっています。ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、若い子育て世代が特に重要だと考えていることが分かります。その一方、単身（65歳以上）では「それほどでもない」の割合が高くなっています。

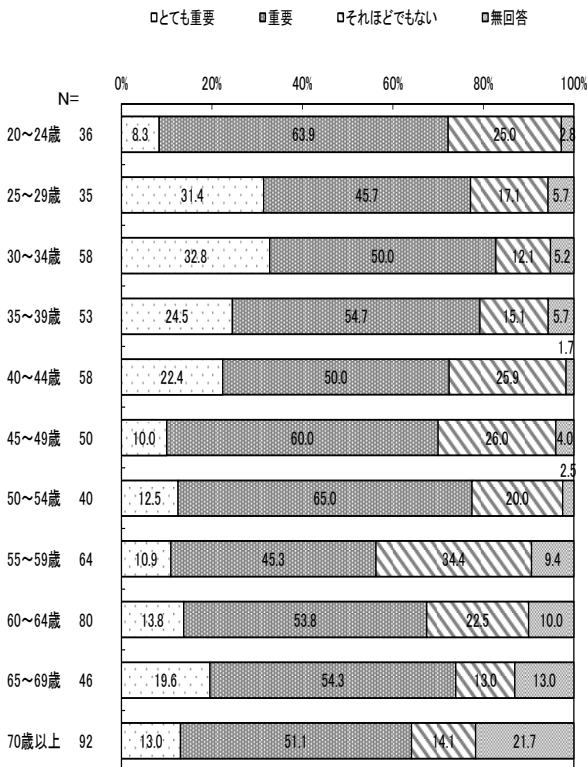
【全体】



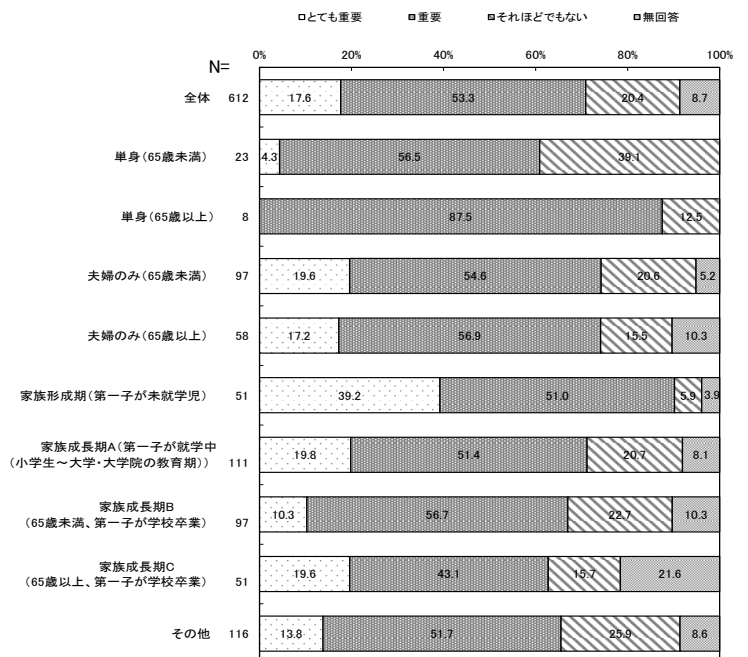
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

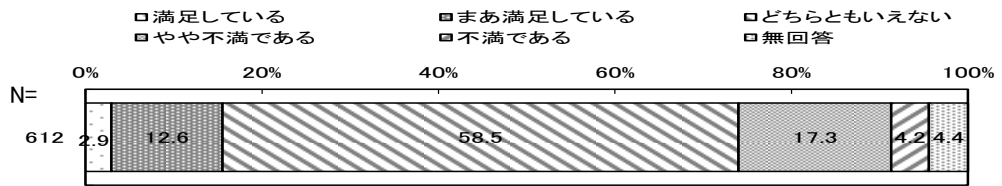


【問1 満足度】

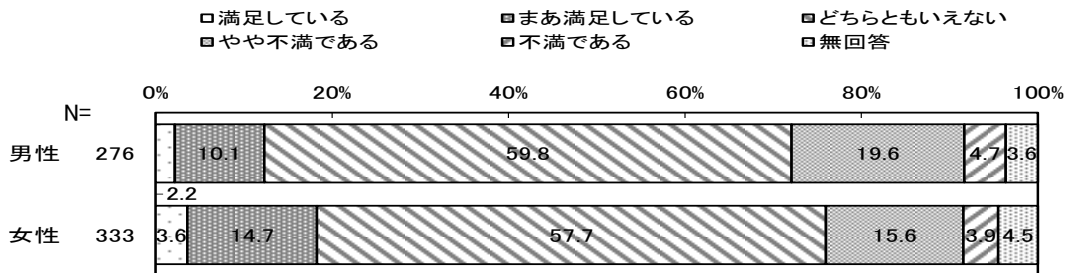
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合よりもやや高くなっています。年代別でみると、25～34歳では満足度の割合が不満度の割合より高い一方、35～44歳では不満度の割合の方が高くなっています。居住地別でみると、千福が丘地区と企業団地地区で満足度の割合がやや高くなっている一方、深良地区では不満度の割合の方がやや高くなっています。

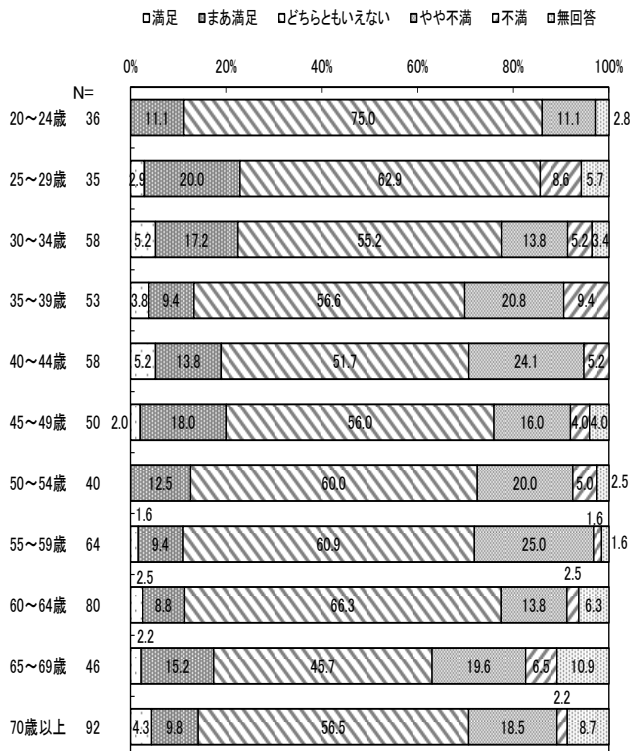
【全体】



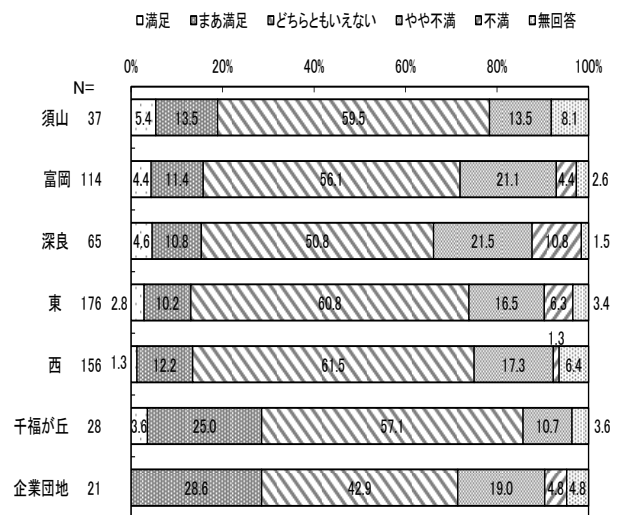
【性別】



【年代別】



【居住地別】

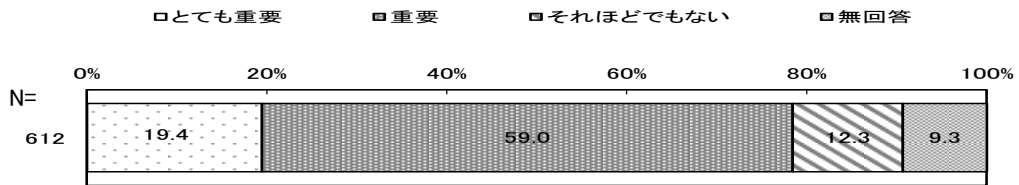


【問1 重要度】

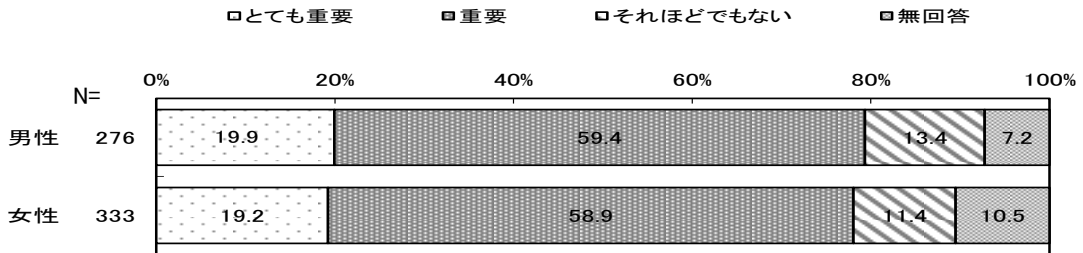
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

年代別でみると、25～34歳で「とても重要」の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）と単身（65歳以上）で「とても重要」の割合が比較的高い一方で、単身（65歳未満）では「それほどでもない」の割合が2割以上とやや高く、関心が薄い傾向が見られます。

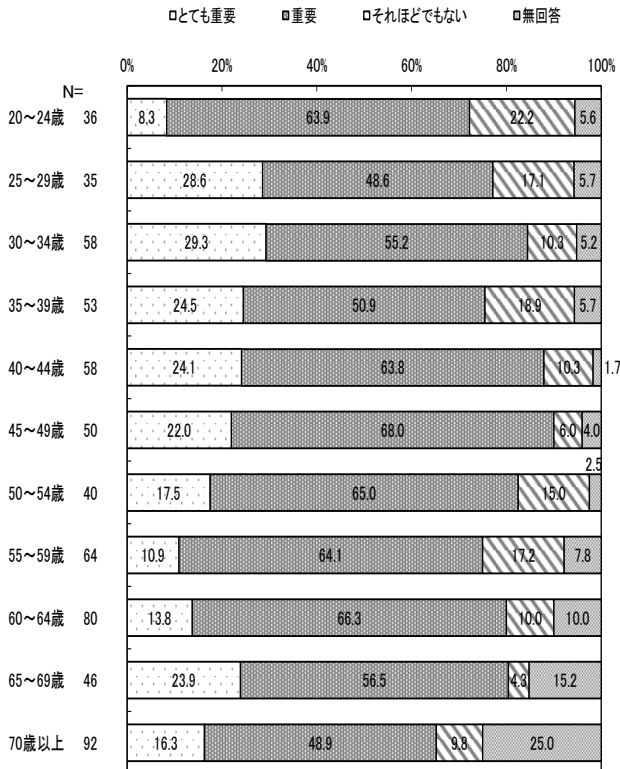
【全体】



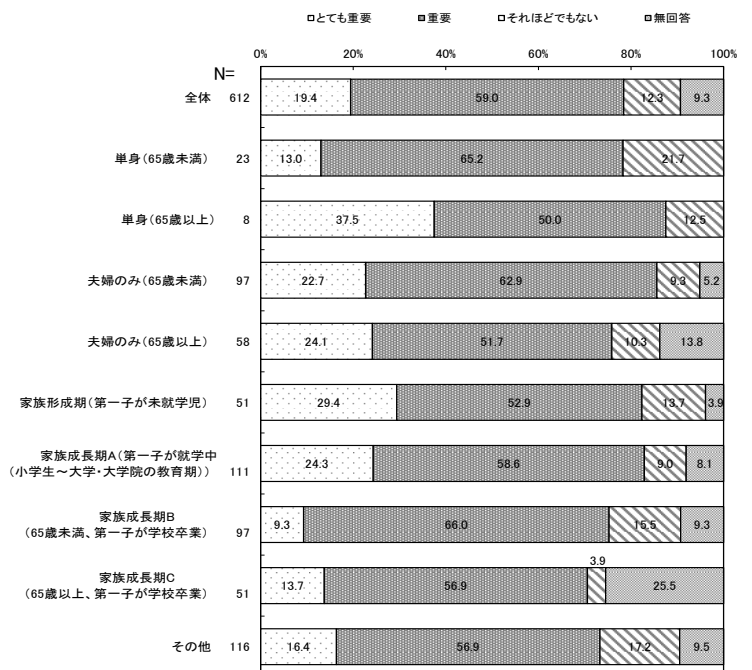
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

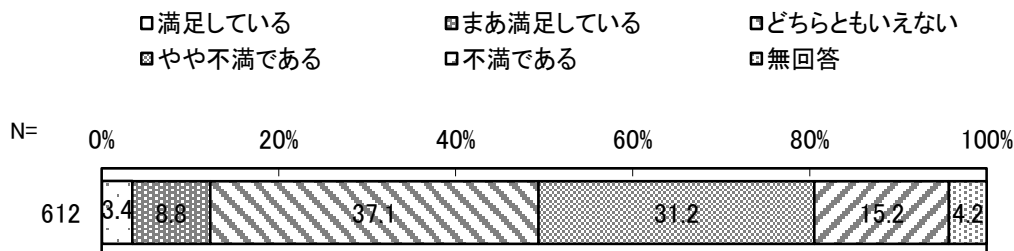


【問 1 満足度】

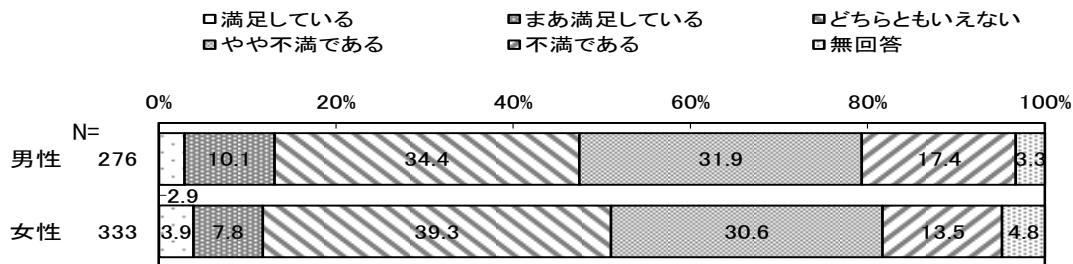
サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が46.4%です。これは、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合の約4倍となっています。年代別でみると、40～44歳、55～59歳、65～69歳でそれぞれ不満度が高く、5割を超えています。居住地別でみると、富岡地区と深良地区でそれぞれ不満度が5割を超えている一方、千福が丘地区では満足度の割合が25%と高い傾向が見られます。

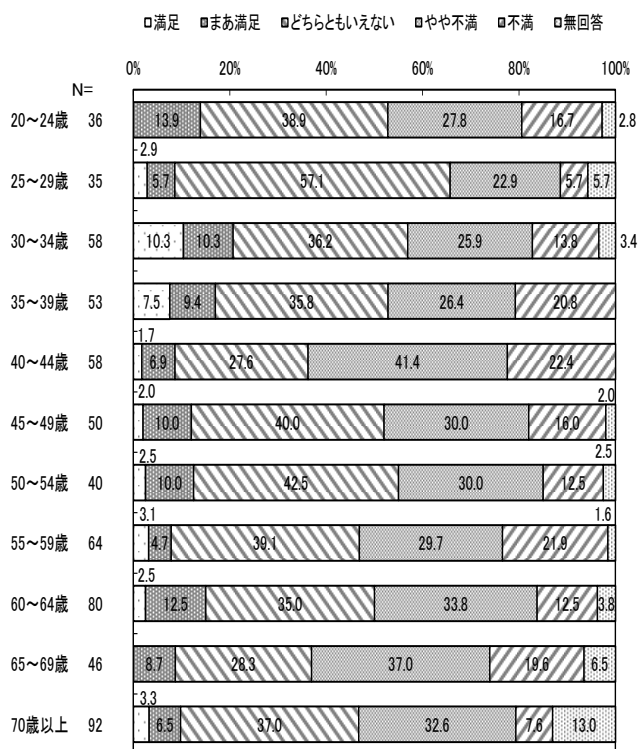
【全体】



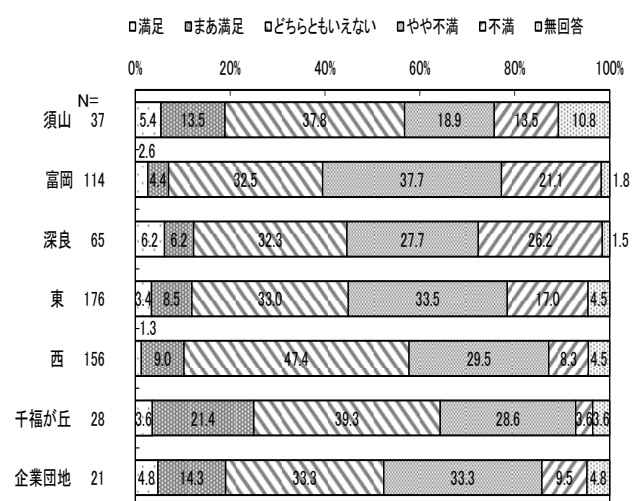
【性別】



【年代別】



【居住地別】

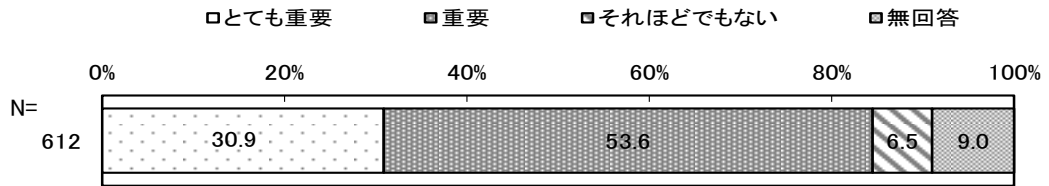


【問 1 重要度】

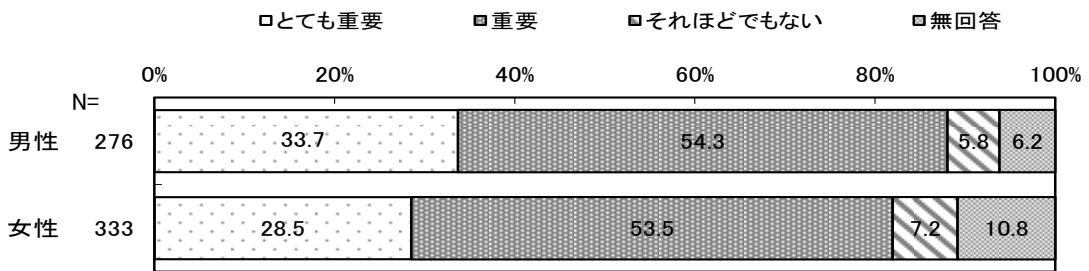
サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

年代別でみると、70歳以上で「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が比較的低い傾向にあります。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」と「重要」をあわせた割合が9割を超えています。

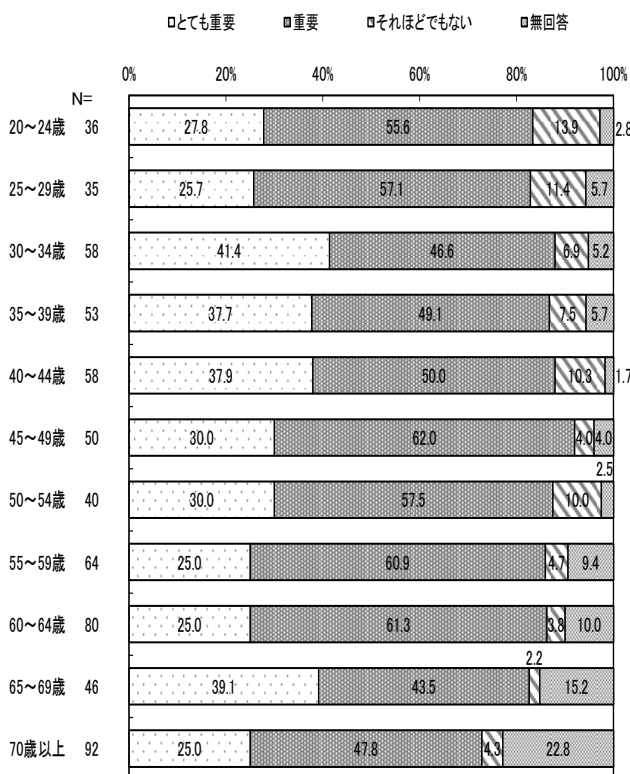
【全体】



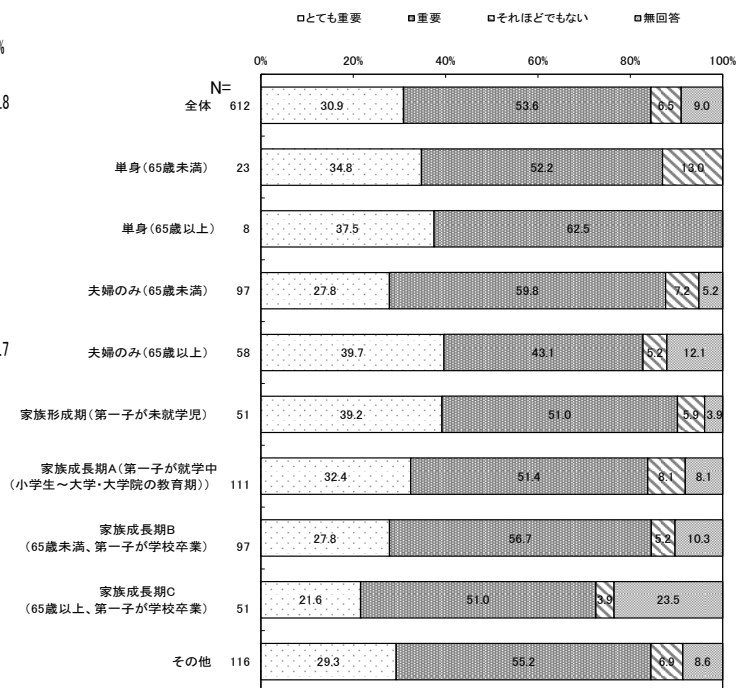
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

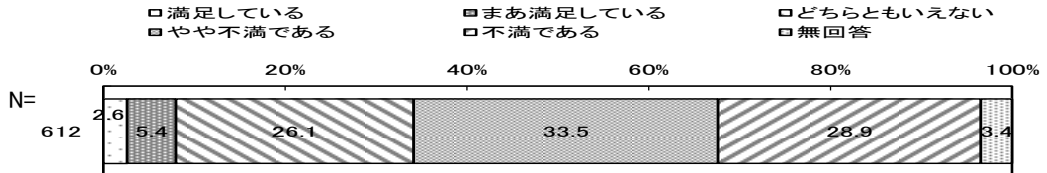


【問1 満足度】

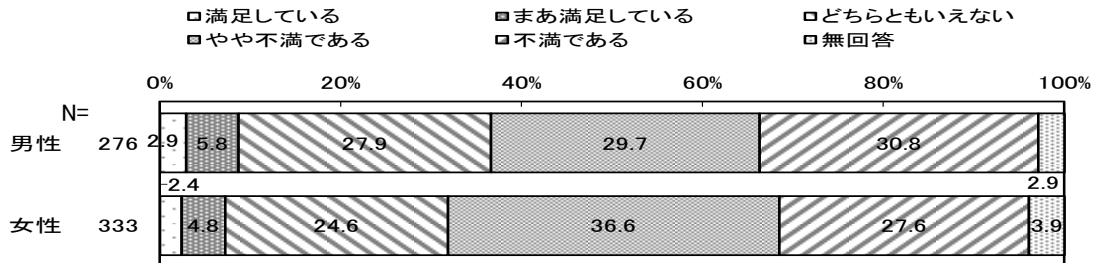
シ 鉄道やバスの便利さ

満足度を全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が6割以上で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合の約8倍と、住環境の質問の中で1番不満度の割合が高い項目です。年代別でみると、20～24歳、45～59歳で不満度の割合が高く、7割を超えています。居住地別の不満度をみてみると、富岡地区と千福が丘地区で高い傾向があります。

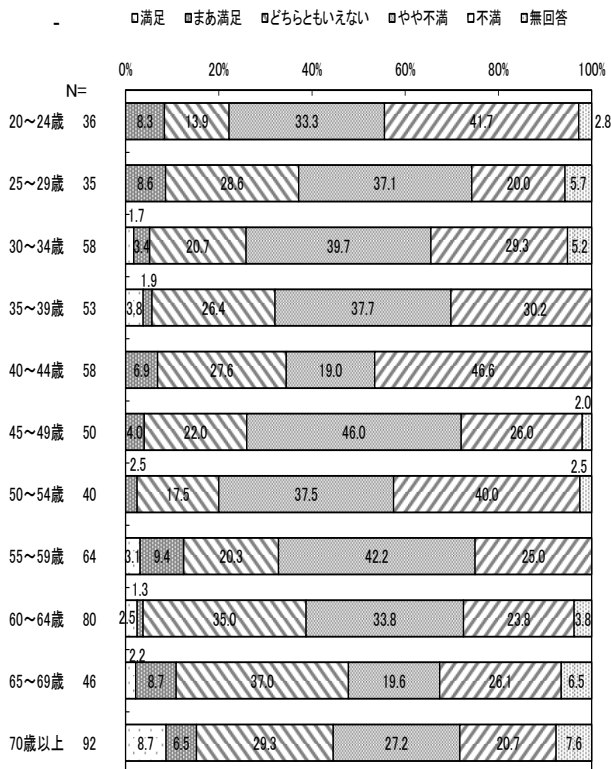
【全体】



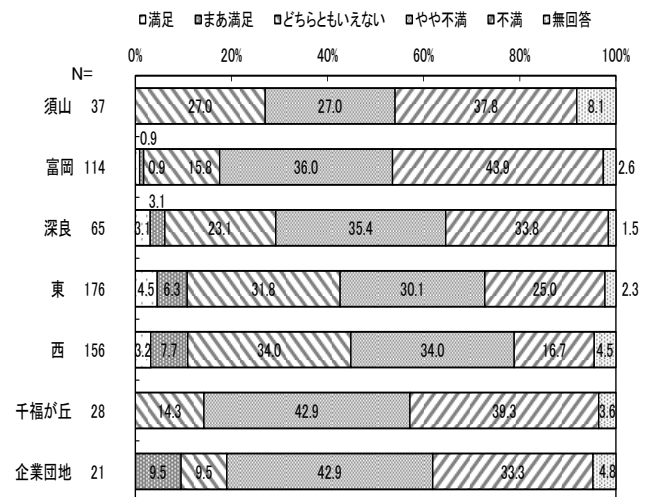
【性別】



【年代別】



【居住地別】

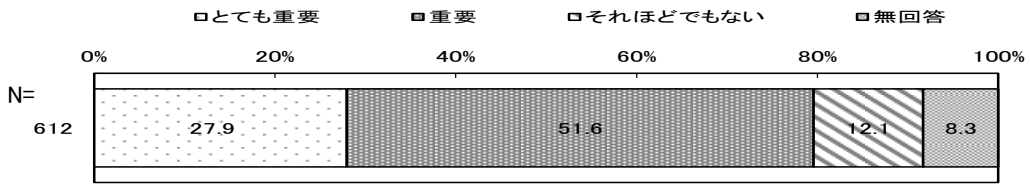


【問1 重要度】

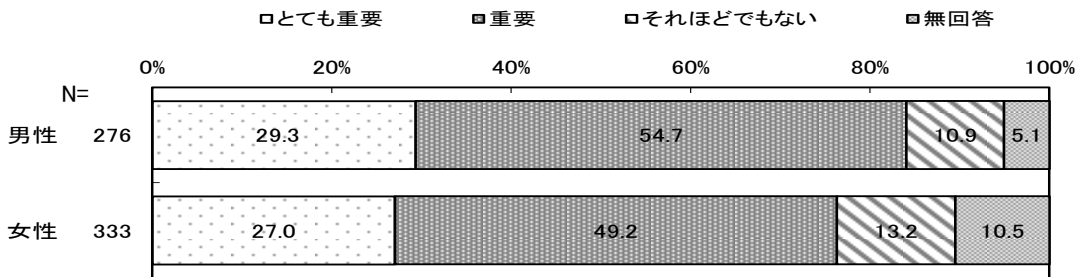
シ 鉄道やバスの便利さ

性別でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は、女性と比べ男性の方が1割ほど高くなっています。年代別でみると、45～49歳で重要度の割合が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、単身世帯で重要度の割合が高く、約9割となっています。

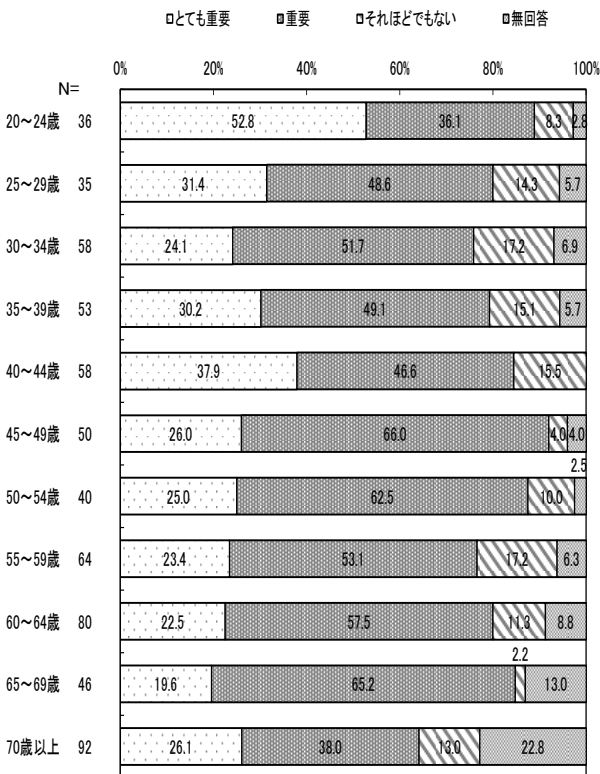
【全体】



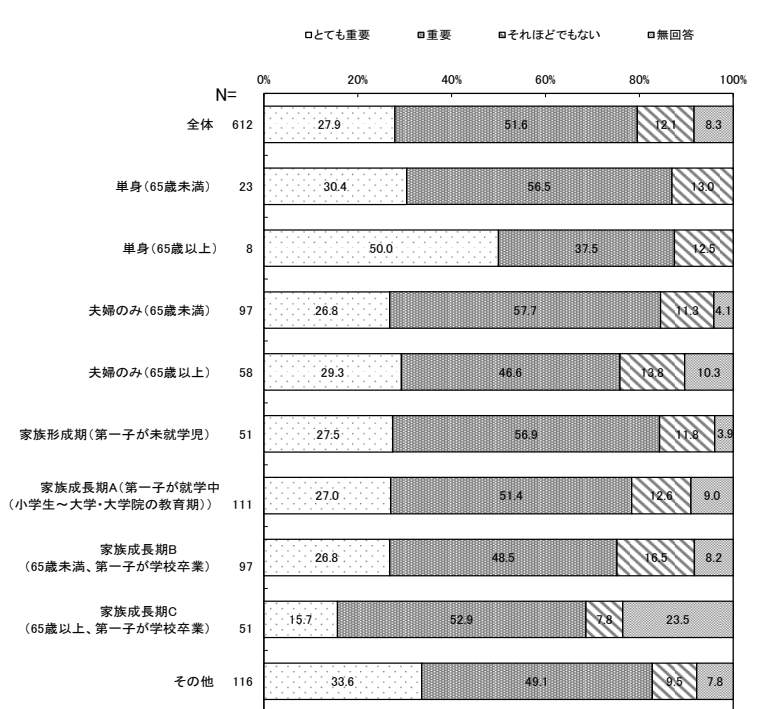
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

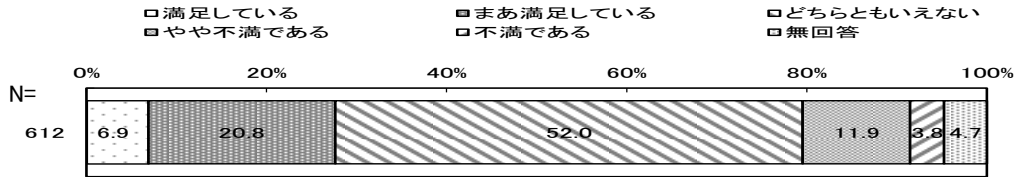


【問1 満足度】

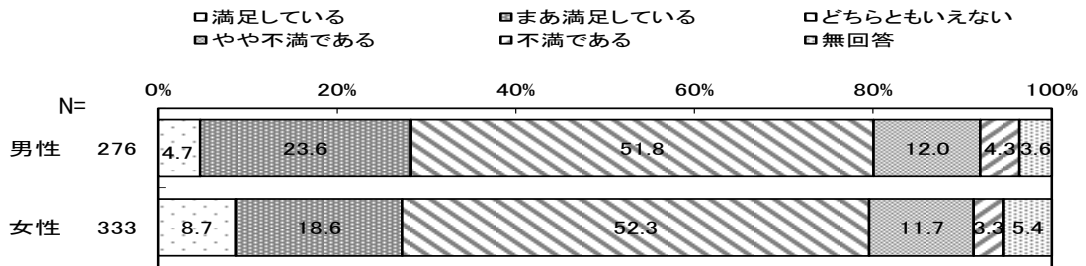
ス まちなみや自然の景観の美しさ

年代別でみると、20～24歳、30～34歳でそれぞれ「まあ満足」と「満足」をあわせた満足度の割合が4割近くある一方、55～59歳では、満足度より「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合の方が高くなっています。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学）の満足度の割合が高い一方、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）では、満足度の割合より不満度の割合の方が高い傾向が見られます。

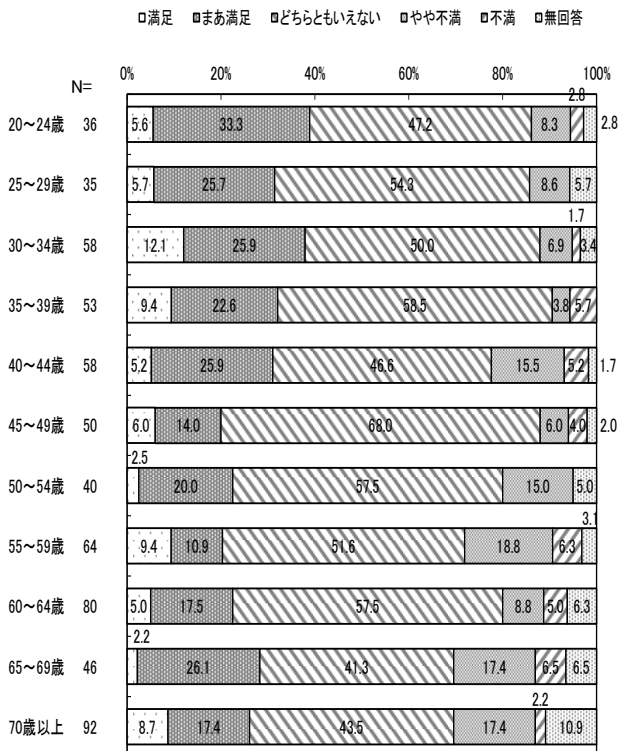
【全体】



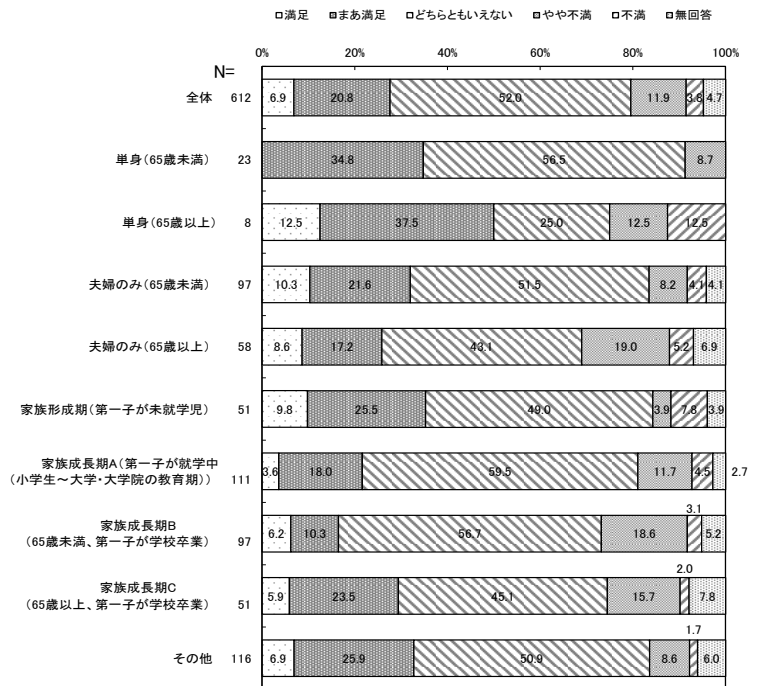
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

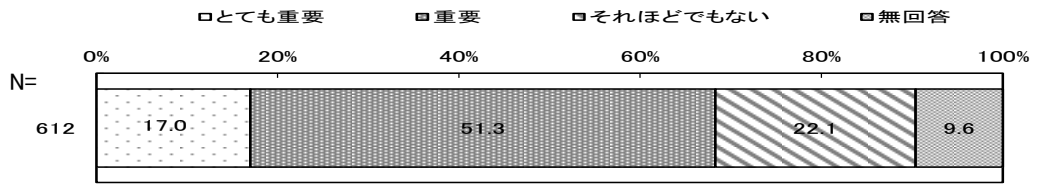


【問1 重要度】

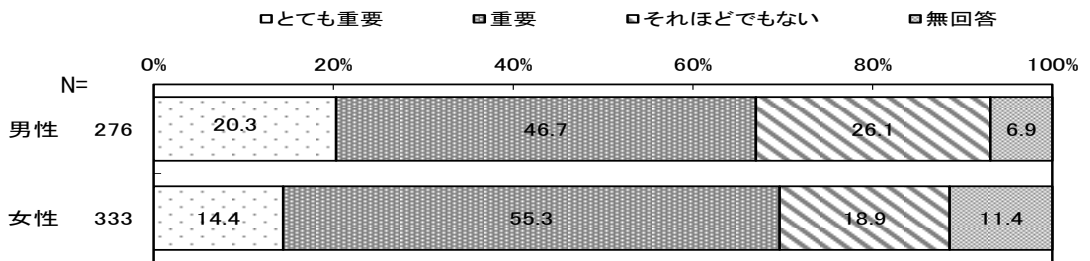
ス まちなみや自然の景観の美しさ

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が約7割となっています。年代別で見ると、20～24歳、45～49歳で重要度が75%以上と高い一方、30～34歳では「それほどでもない」と答えた割合が36.2%と高く、関心の薄さが見られます。ライフステージ別で見ると、「とても重要」の割合がもっとも高いのは、夫婦のみ（65歳以上）で、約3割となっています。

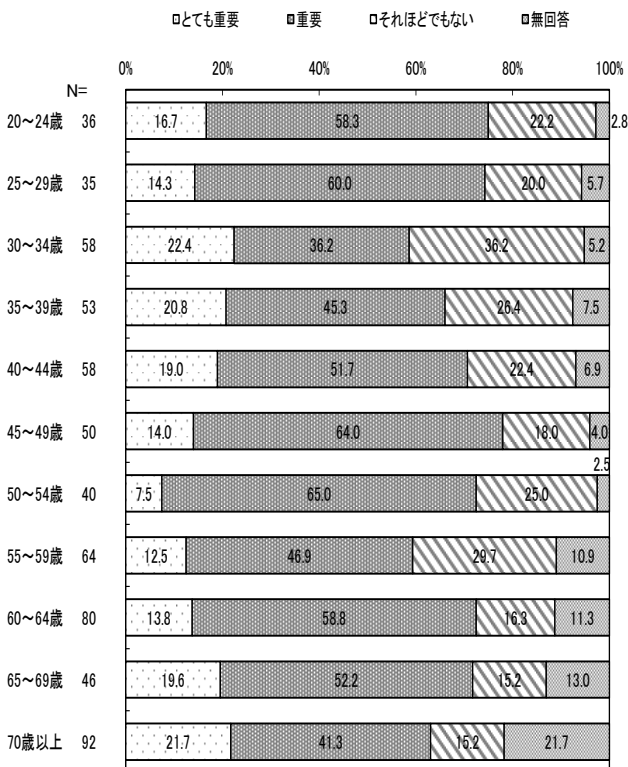
【全体】



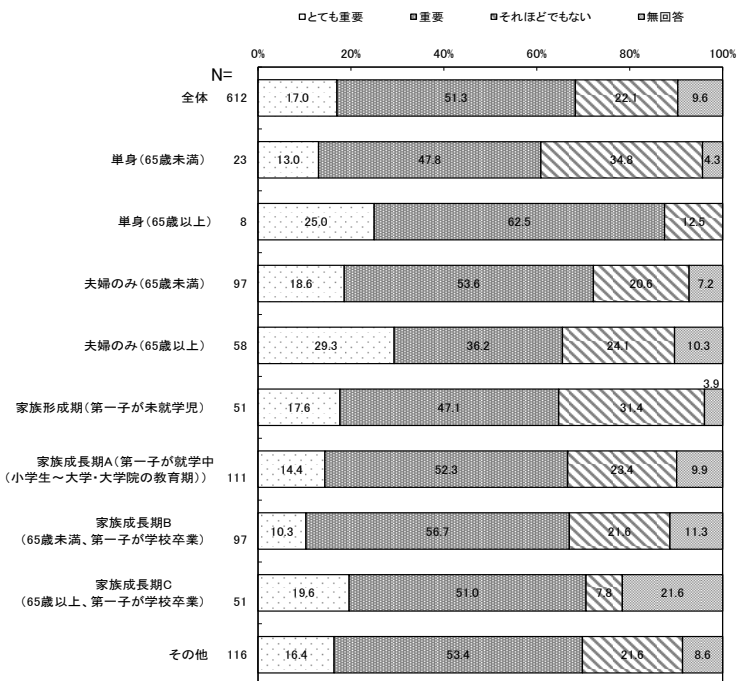
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

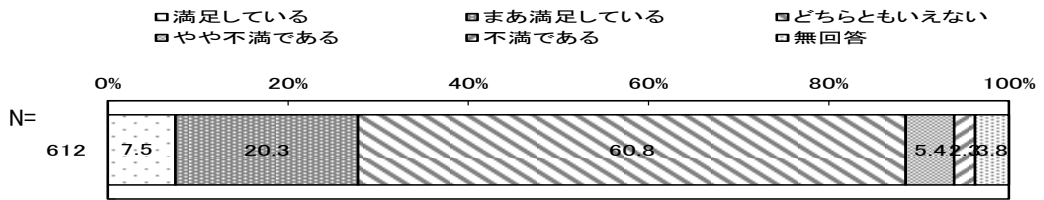


【問1 満足度】

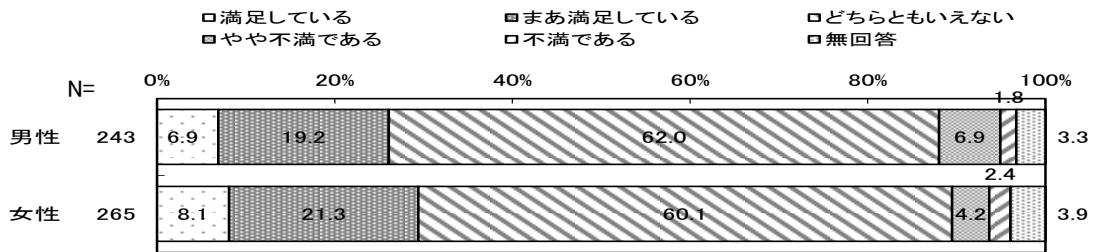
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合の3.6倍と、満足感が見られます。年代別でみると、35～39歳で満足度の割合が高い傾向です。一方、50～54歳では不満度の割合が比較的高い傾向もあります。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）と夫婦のみ（65歳以上）で満足度の割合が高いです。

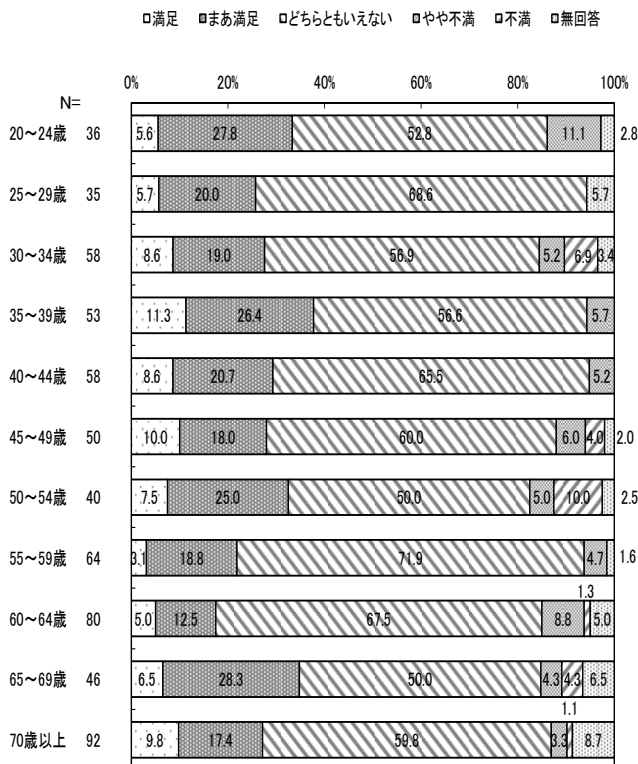
【全体】



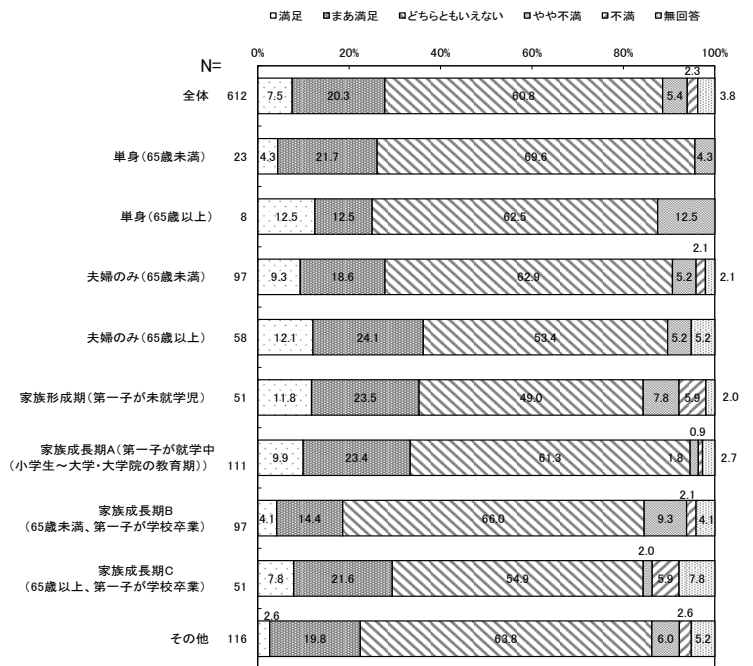
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

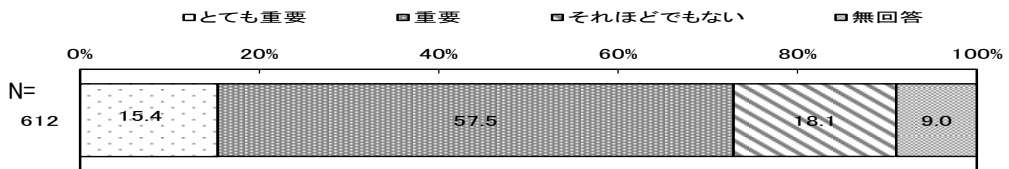


【問1 重要度】

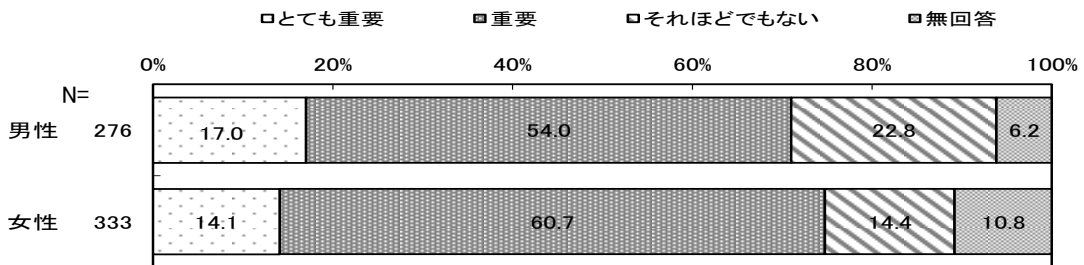
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境

年代別でみると、45～49歳では「とても重要」と「重要」をあわせ重要度の割合が86%と高くなっています。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）と夫婦のみ（65歳以上）で重要度の割合が非常に高い傾向が見られます。

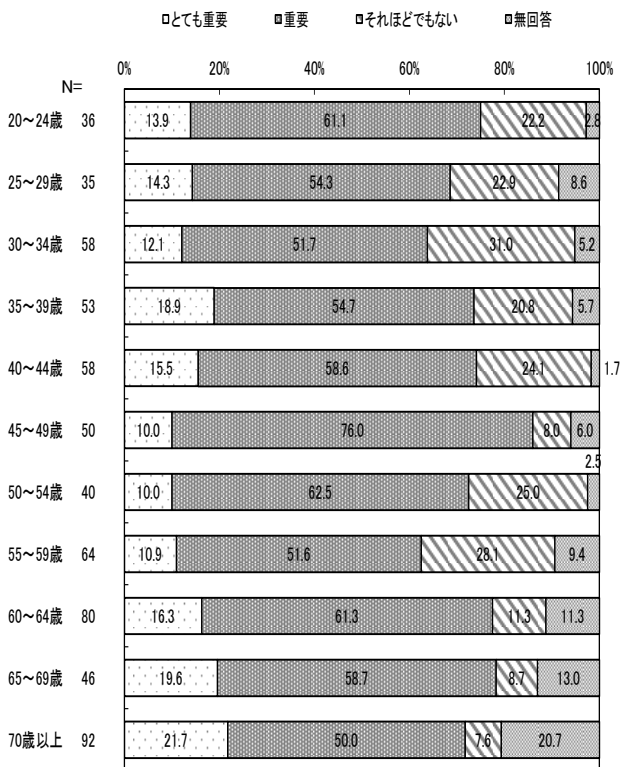
【全体】



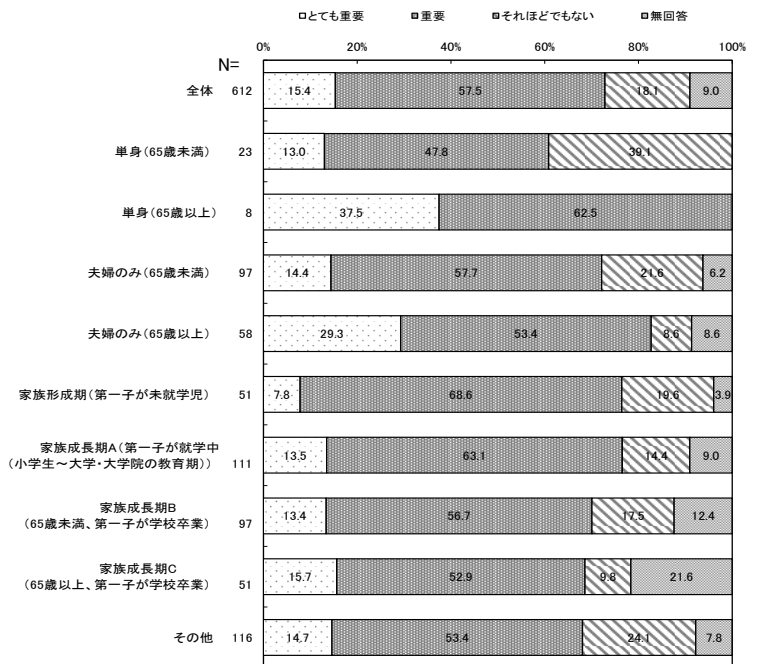
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

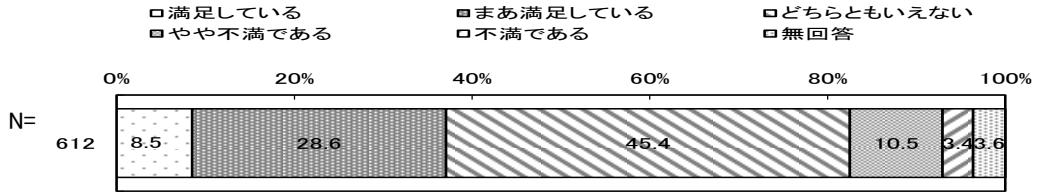


【問1 満足度】

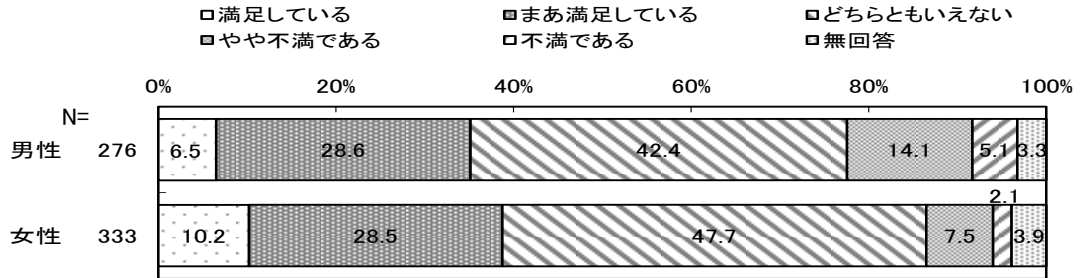
ソ 空気や河川の水のきれいさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度が37.1%と高く、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の2.6倍あります。年代別でみると、20～24歳、30～34歳で満足度が高い一方、55～59歳では不満度がやや高い傾向にあります。居住地別でみると、千福が丘地区と企業団地地区では満足度が5割以上ありますが、西地区の満足度はやや低く、地域差が見受けられます。

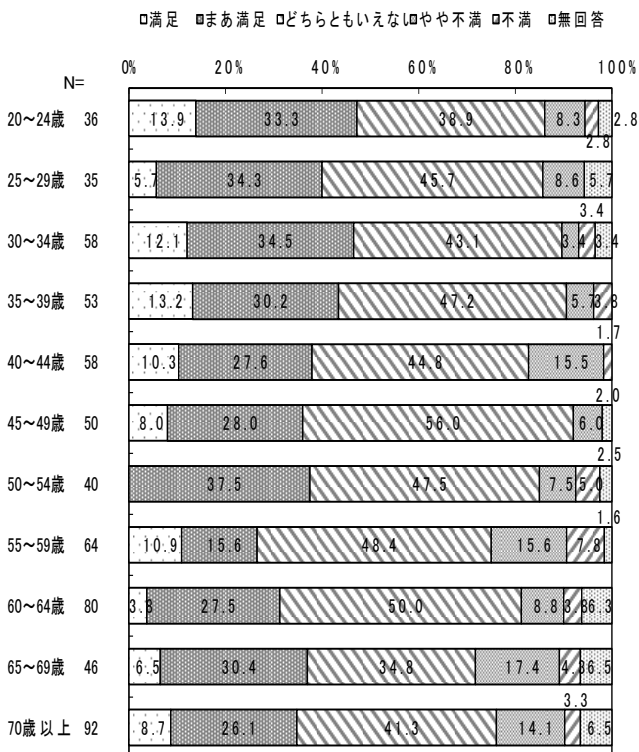
【全体】



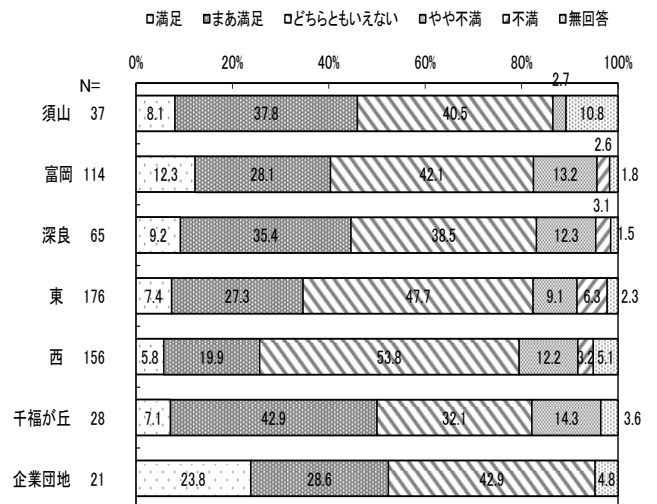
【性別】



【年代別】



【居住地別】

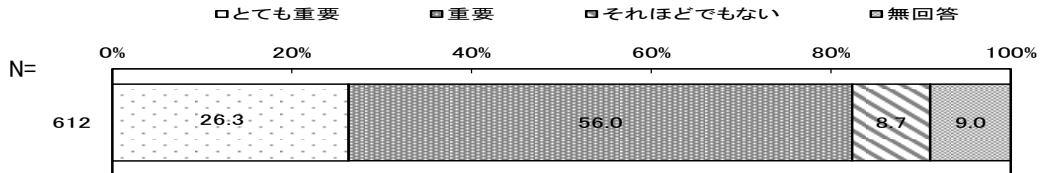


【問1 重要度】

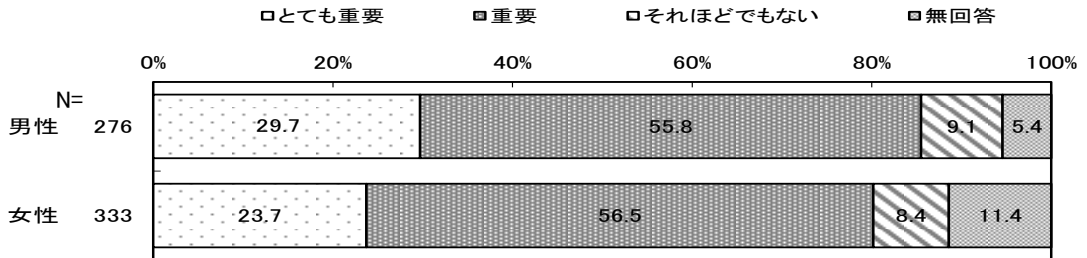
ソ 空気や河川の水のきれいさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が約8割と高くなっています。年代別でみると、40～44歳、65～69歳で「とても重要」の割合が約4割と高く、居住地別でみると、深良地区で「とても重要」の割合が高い傾向があります。

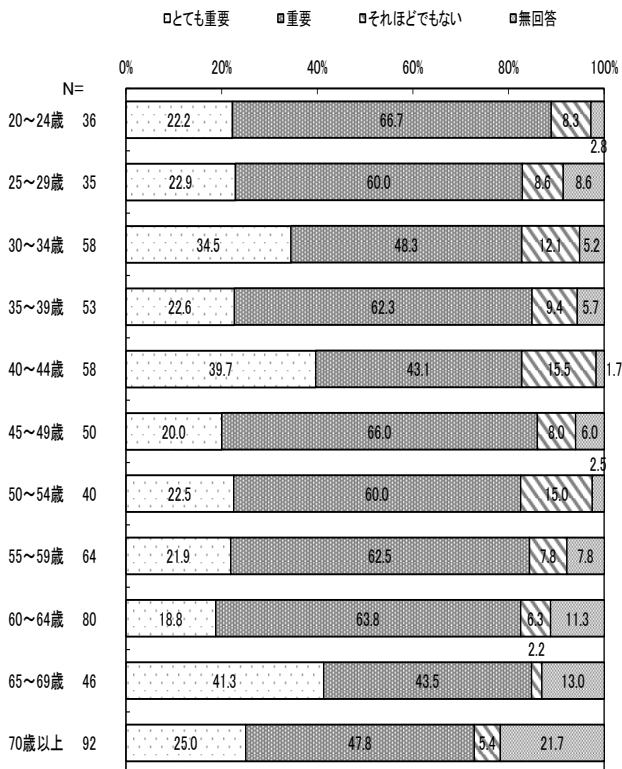
【全体】



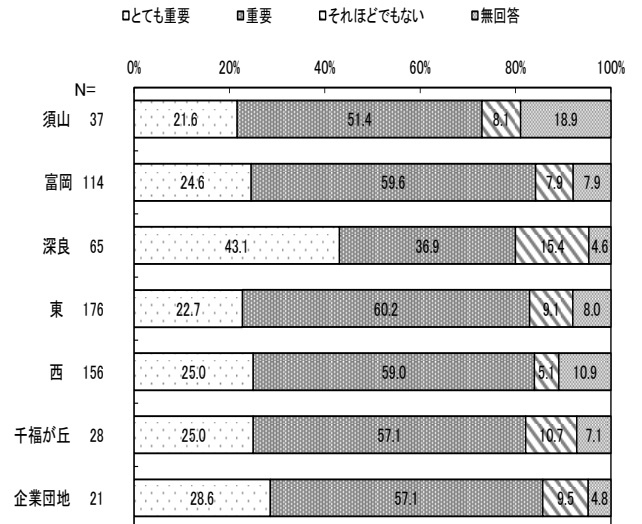
【性別】



【年代別】



【居住地別】

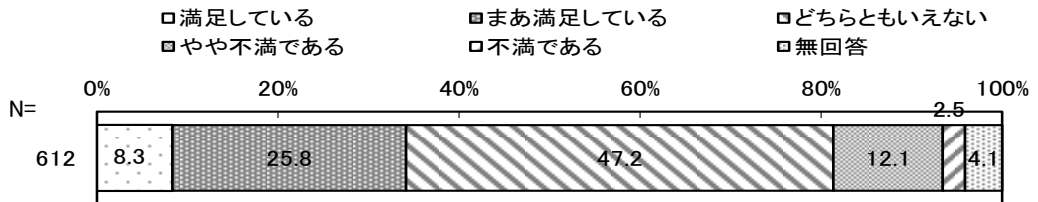


【問1 満足度】

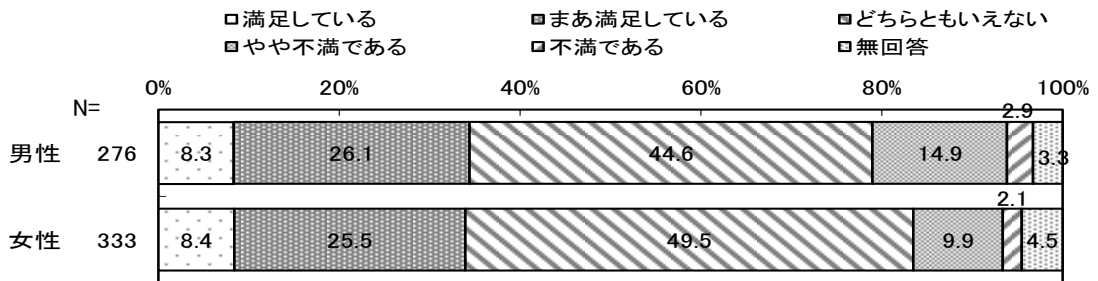
タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合より2割近く高くなっています。年代別でみると、30～34歳で満足度が約5割と最も高く、若い世代で満足度が高い傾向があります。居住地別でみると、企業団地地区での満足度は52.4%と高い一方、西地区での満足度は25.7%と、地域での差があります。

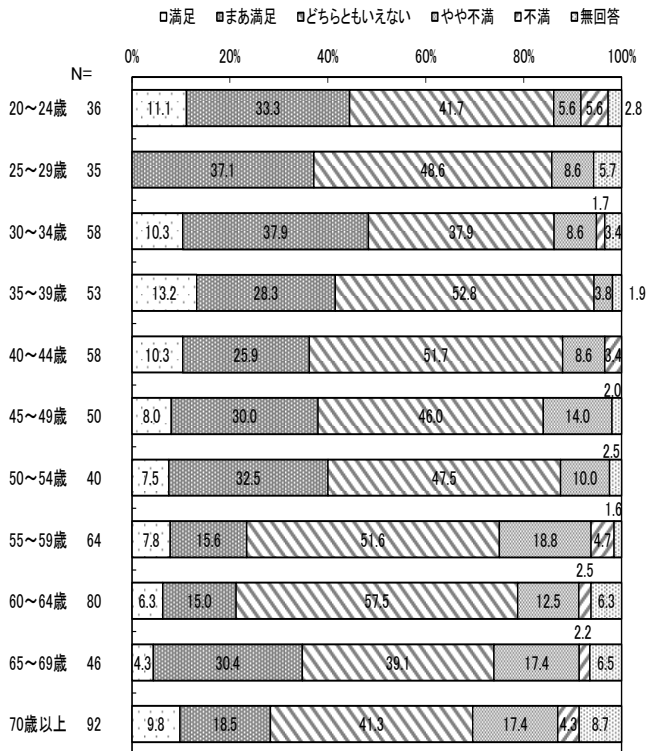
【全体】



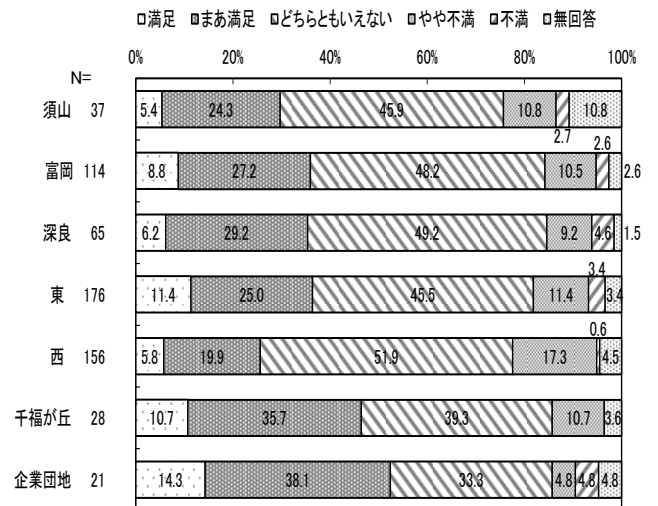
【性別】



【年代別】



【居住地別】

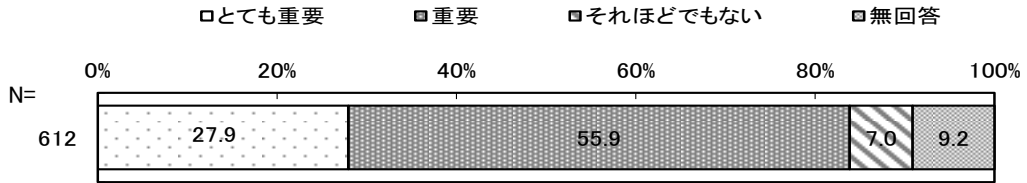


【問1 重要度】

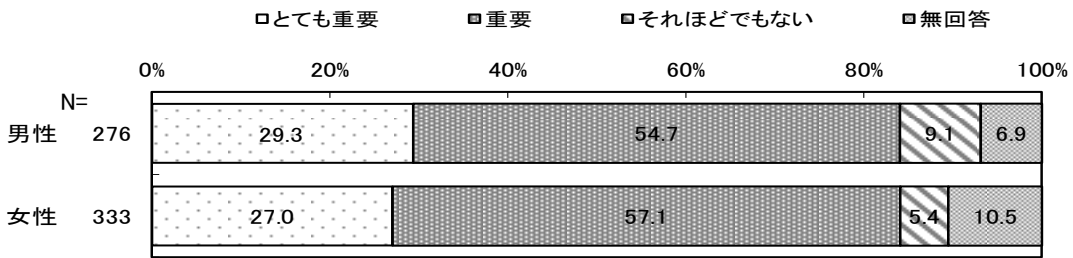
タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

年代別でみると、45～49歳で「とても重要」と「重要」をあわせ重要度の割合が高い傾向にあります。ステージ別でみると、単身世帯で重要度が高くなっています。

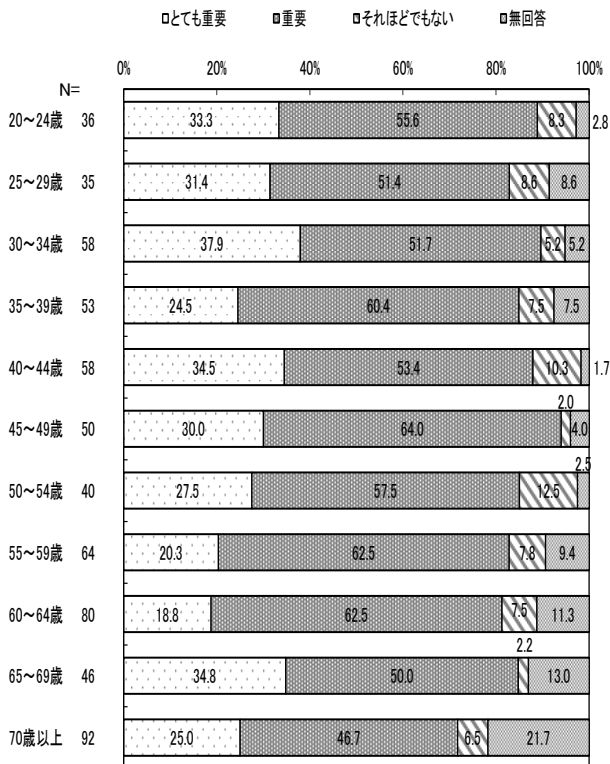
【全体】



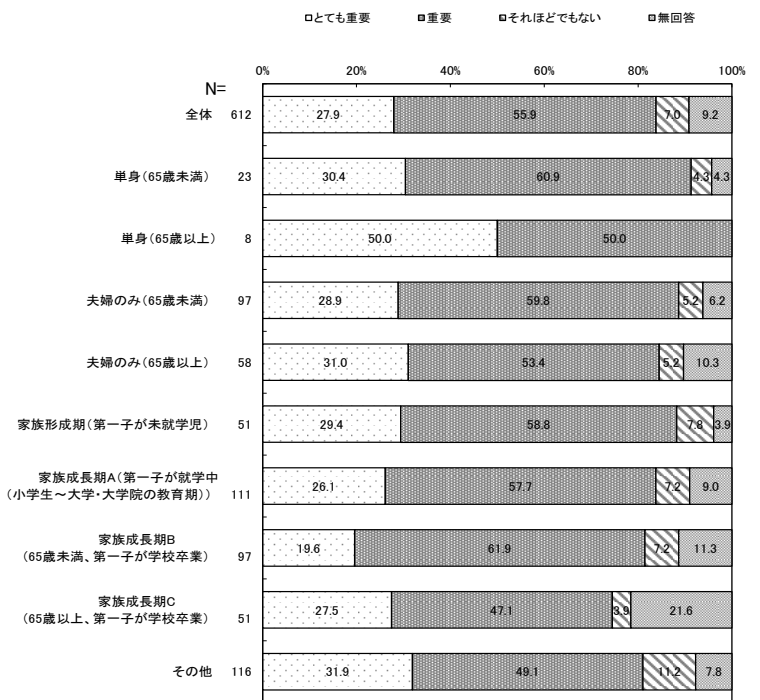
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

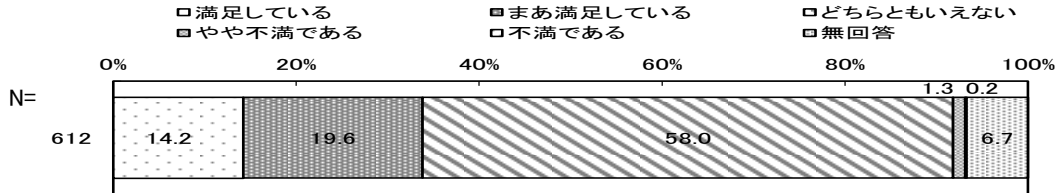


【問1 満足度】

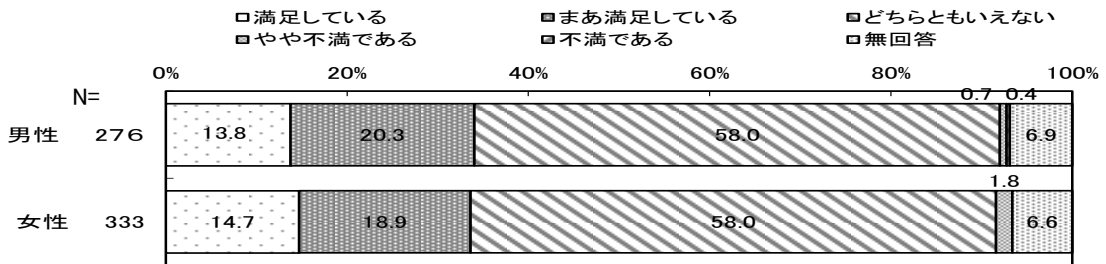
チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

人口統計では、裾野市の外国人の割合はここ10年間1%台となっています。ライフステージ別で見ると、第1子が未就学児の家族世帯の不満がやや高くなっています。

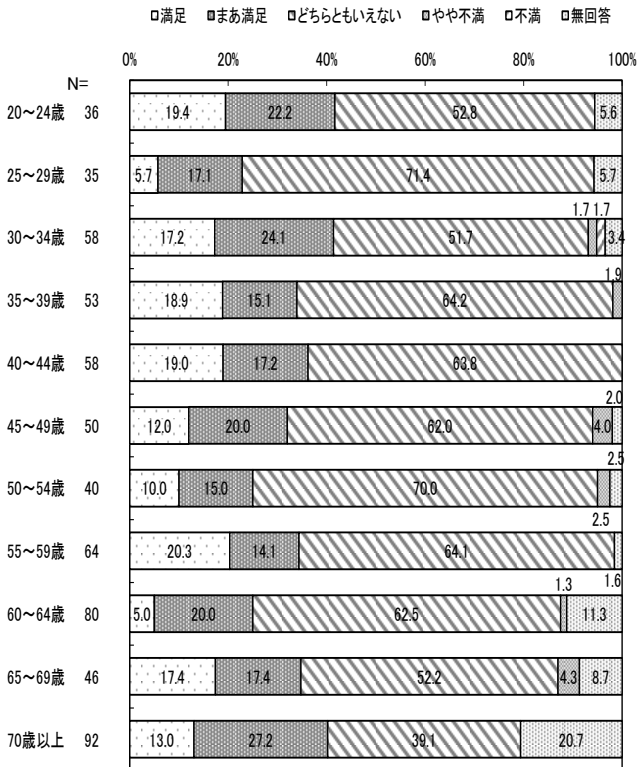
【全体】



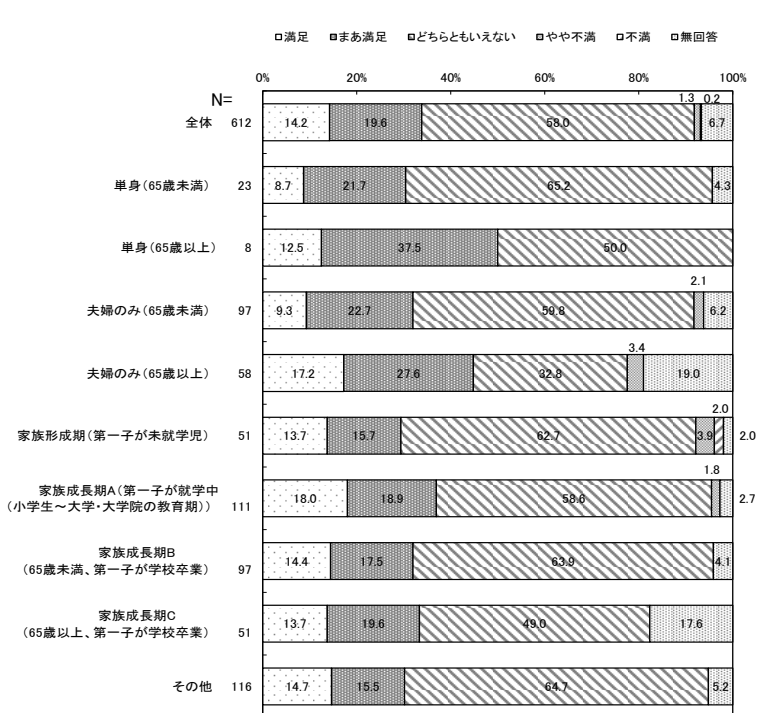
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

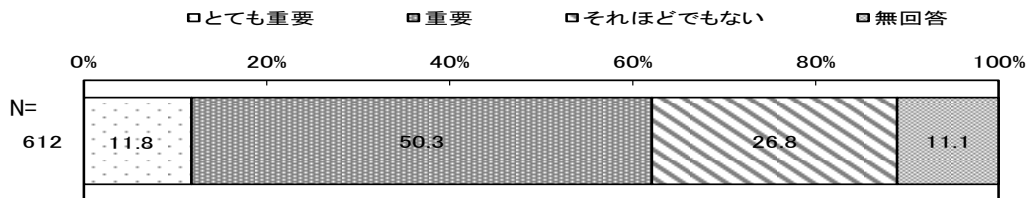


【問1 重要度】

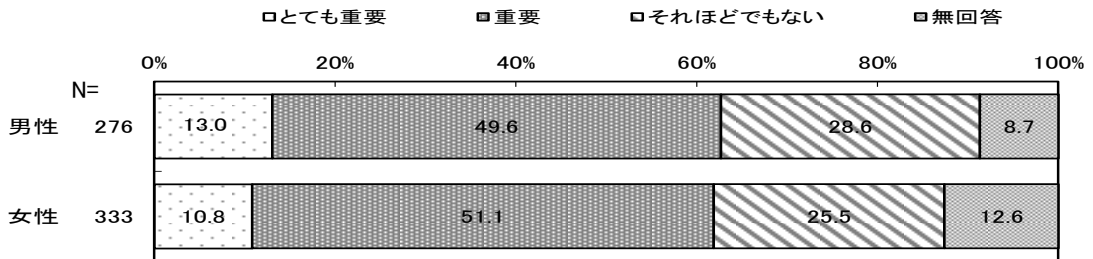
チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

全体で見ると、「とても重要」の割合が11.8%とやや低くなっています。年代別で見ると、45～49歳で「とても重要」と「重要」の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、単身世帯で重要度が高い傾向が見られます。

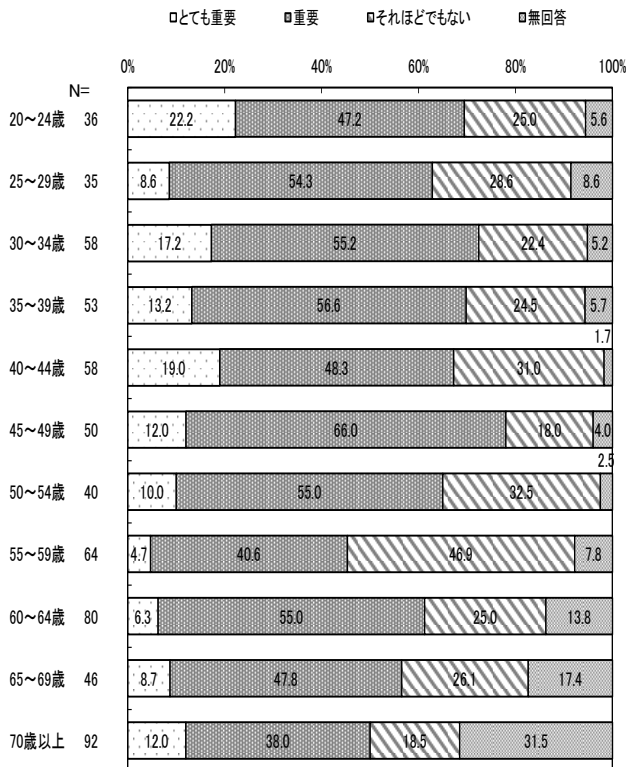
【全体】



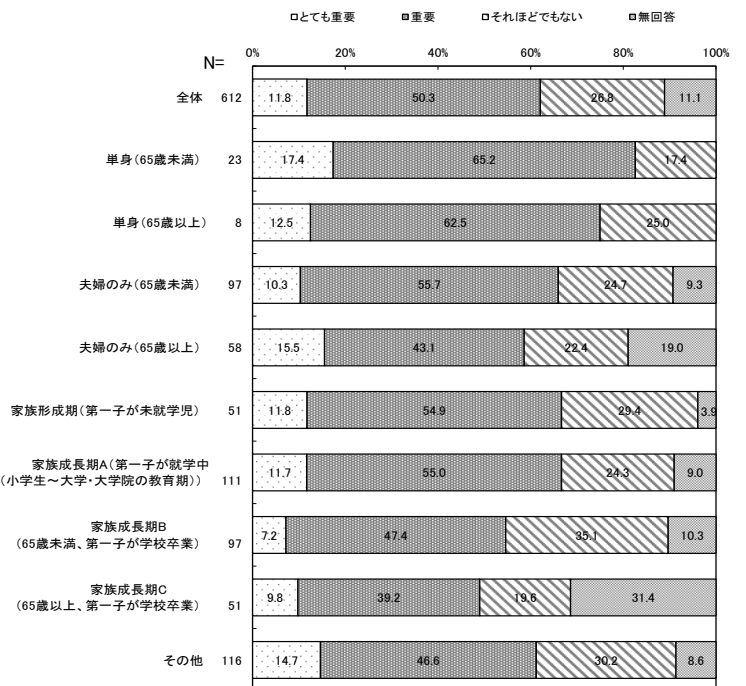
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

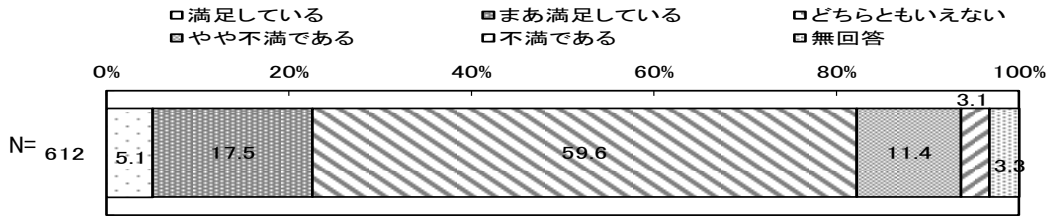


【問1 満足度】

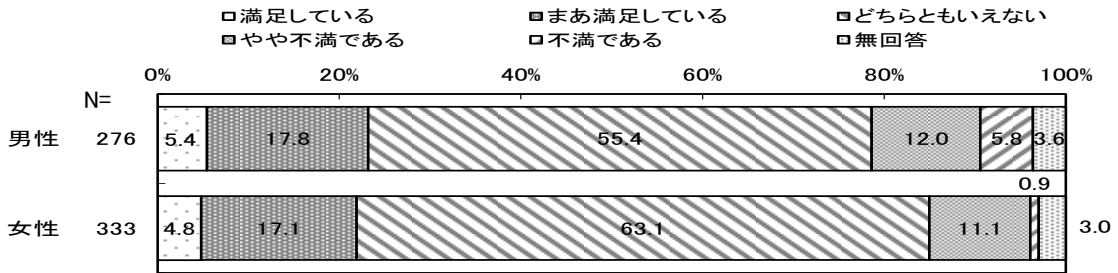
ツ 河川や水路の整備状況

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合よりも高くなっています。年代別でみると、若い世代で満足度が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳以上）で満足度が34.5%と高い一方、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で不満度がやや高くなっています。

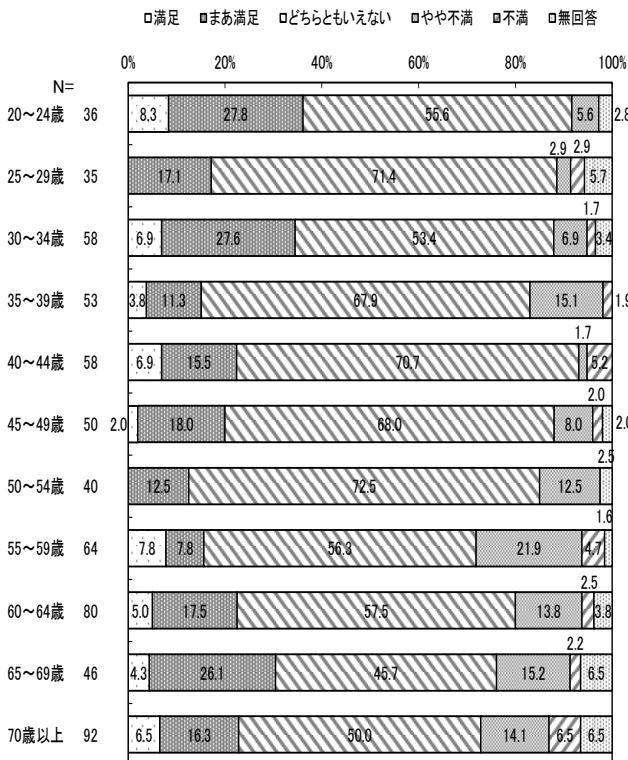
【全体】



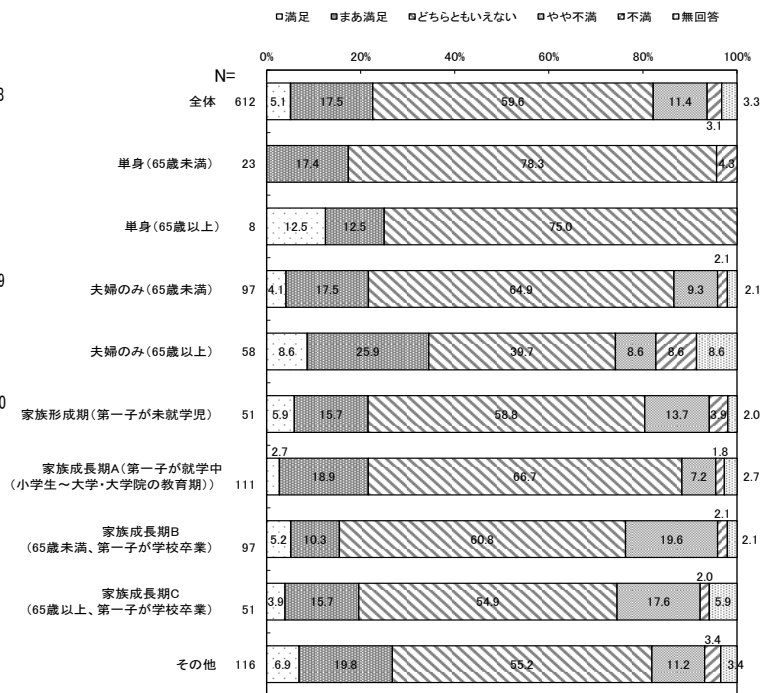
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

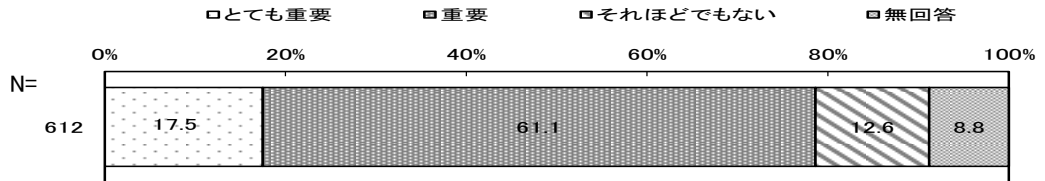


【問1 重要度】

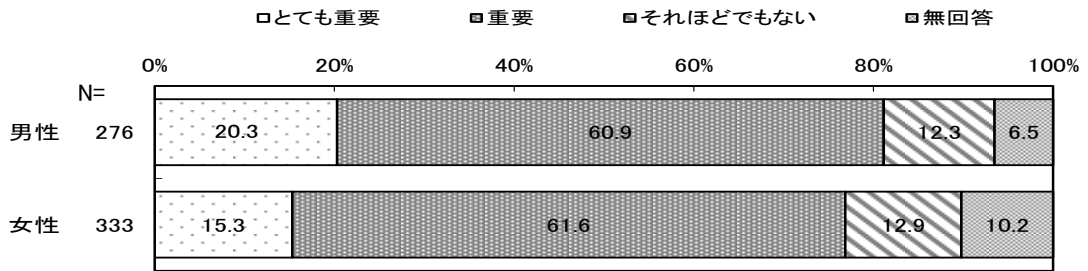
ツ 河川や水路の整備状況

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせ重要度の割合が8割近くあります。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）で重要度が特に高い傾向が見られます。

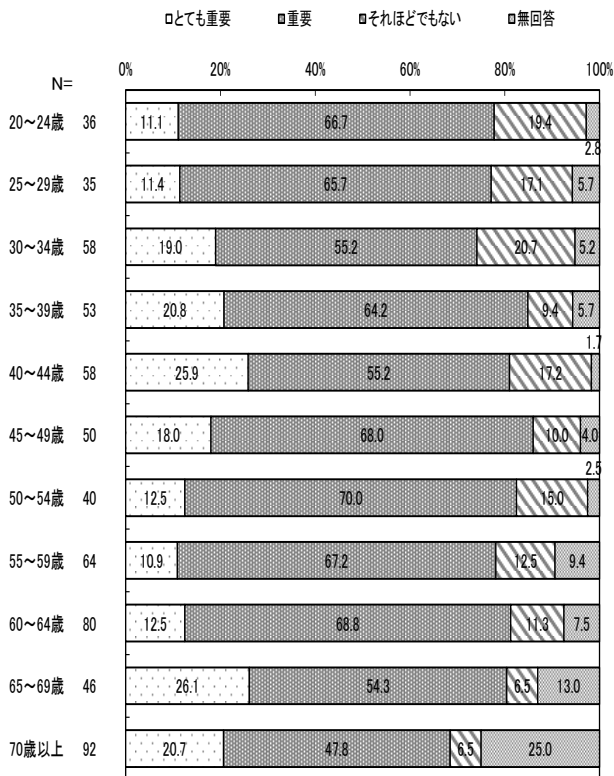
【全体】



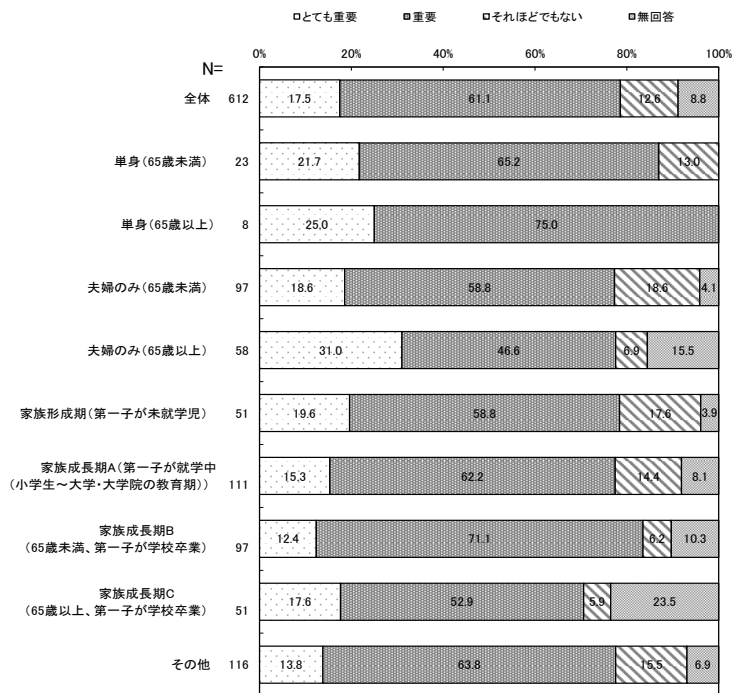
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

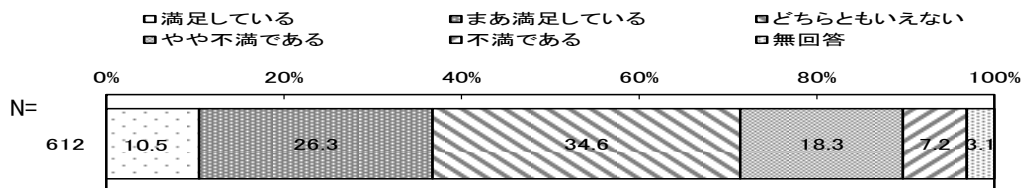


【問1 満足度】

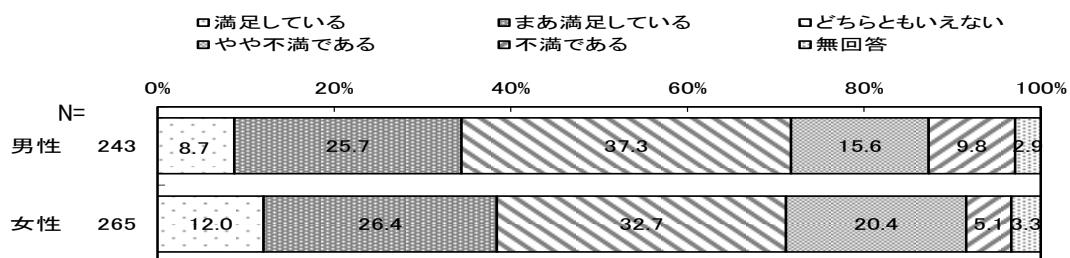
テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

年代別で見ると、30～34歳と65～69歳で「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が高くなっています。一方、20～24歳、55～64歳では「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が満足度の割合よりも高い傾向が見られます。居住地別で見ると、企業団地地区での満足度が66.7%と高い一方、須山地区、富岡地区、深良地区、千福が丘地区では不満度の割合がやや高くなっています。

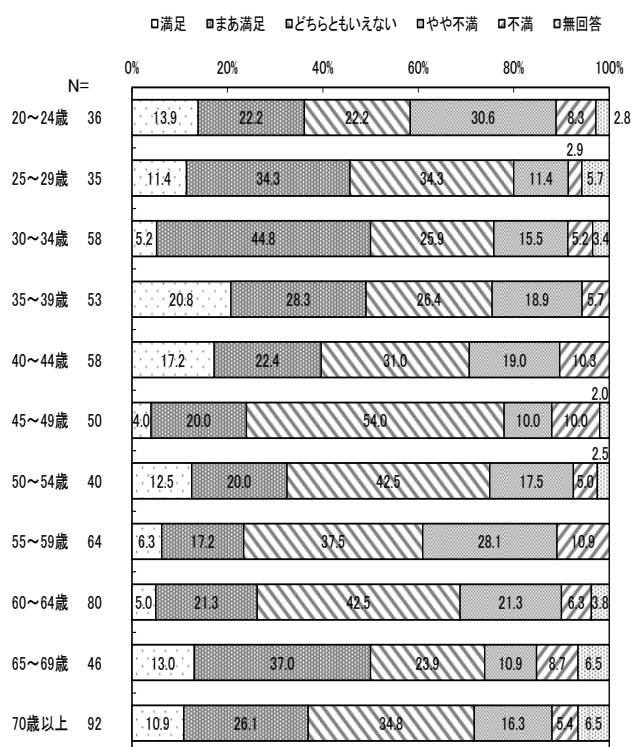
【全体】



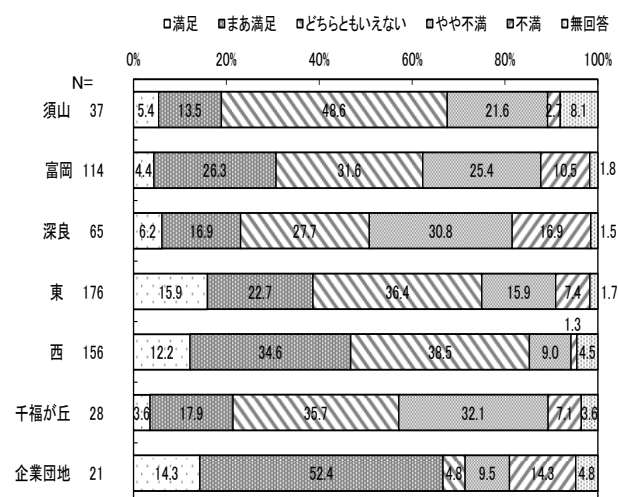
【性別】



【年代別】



【居住地別】

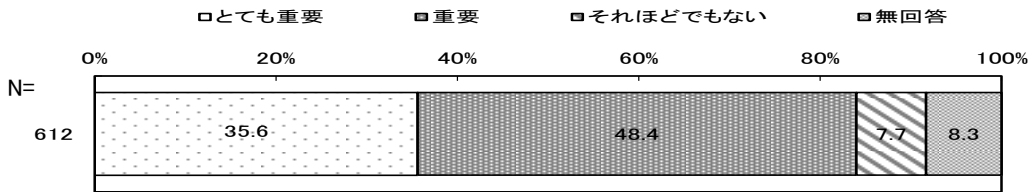


【問1 重要度】

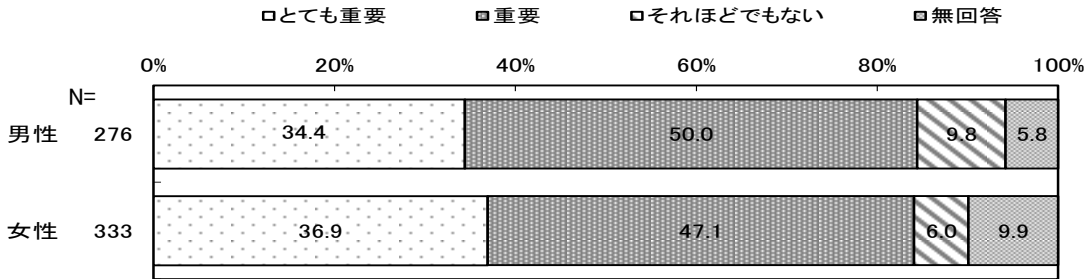
テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

年代別でみると、20～24歳と30～34歳で「とても重要」と答えた割合が高く、5割以上となっています。一方、70歳以上で「とても重要」の割合は低い傾向があります。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高くなっています。

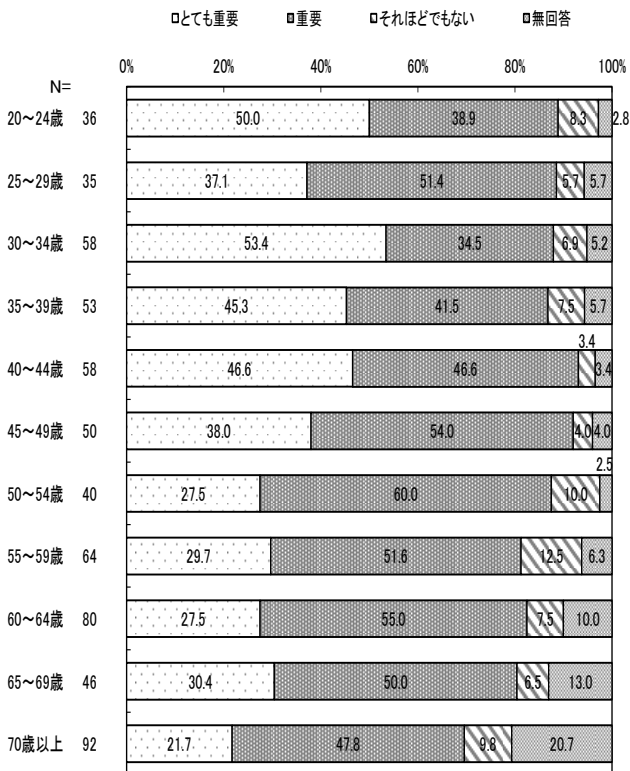
【全体】



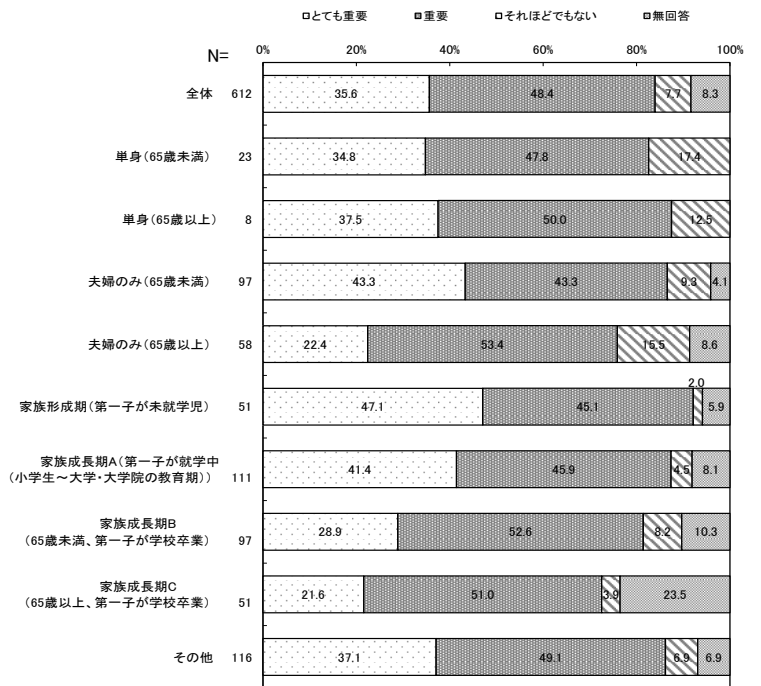
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



裾野市の取り組みについて（市施策）

問 2 裾野市行政の取り組みについて、感じていることをお答えください。（それぞれの設問ごとにあてはまる番号1つに○）

現状の満足度と今後の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。
各項目の回答者数に下表の点数をかけて合計を出し、回答者総数で割った平均値を得点とします。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

■ 満足度 & 重要度ベスト3

満足度		
順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	0.53
2	リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.19
3	安心して子育てができる環境の充実	0.12

重要度		
順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	1.45
2	安心して子育てができる環境の充実	1.42
3	小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	1.40

■ 満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題の検討が必要）

順位	事業名	満足度	重要度	点数差（※）
1	市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政の効率化	-0.31	1.29	-1.60
2	市内の土地利用のバランスの良さ	-0.48	1.08	-1.56
3	小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取組	-0.01	1.40	-1.41

※点数差＝満足度－重要度：満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

■ 満足度・重要度による順位

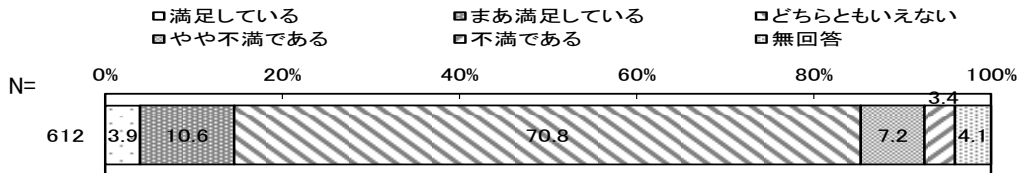
満足度	点数	順位	点数	重要度
チ 豊かで良質な水道水の確保	0.53	1	1.45	チ 豊かで良質な水道水の確保
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.19	2	1.42	エ 安心して子育てができる環境の充実
エ 安心して子育てができる環境の充実	0.12	3	1.40	オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み
又 市が行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.10	4	1.30	ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況	0.05	5	1.29	ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	0.05	6	1.29	ス ごみの不法投棄や公害への対策
テ 工業を中心とした産業の活性化	0.04	7	1.22	セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」	0.03	8	1.22	ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度	0.02	9	1.19	キ 次世代を担う青少年の育成
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応	0.01	10	1.17	ウ 障がいのある人の社会参加と自立
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	-0.01	11	1.13	サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.02	12	1.11	イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感
ウ 障がいのある人の社会参加と自立	-0.07	13	1.11	テ 工業を中心とした産業の活性化
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備	-0.09	14	1.10	ソ 公園などの身近な緑地の環境整備
キ 次世代を担う青少年の育成	-0.09	15	1.08	タ 市内の土地利用のバランスの良さ
ス ごみの不法投棄や公害への対策	-0.09	16	1.04	又 市が行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」
ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進	-0.13	17	1.02	ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進
ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.14	18	1.01	ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進の利用推進
コ 市民が関わることのできるまちづくり	-0.15	19	0.98	ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランド
ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進の利用推進	-0.15	20	0.95	シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.18	21	0.94	ニ 新たな観光資源の創出と観光情報の発信
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.20	22	0.91	コ 市民が関わることのできるまちづくり
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化	-0.31	23	0.89	ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備
ニ 新たな観光資源の創出と観光情報の発信	-0.39	24	0.88	カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度
ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランド	-0.42	25	0.84	ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感
タ 市内の土地利用のバランスの良さ	-0.48	26	0.79	ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

【問2 満足度】

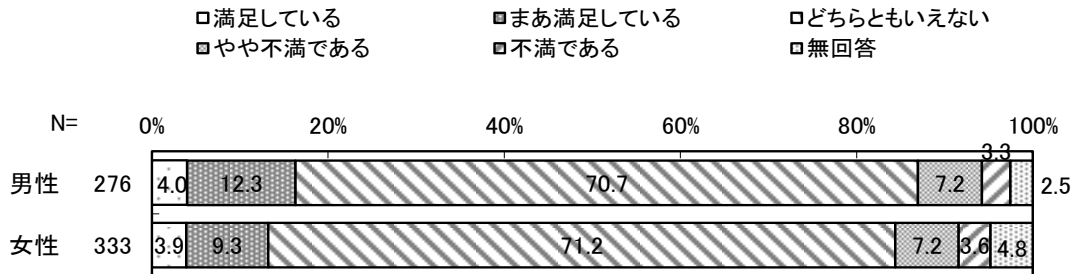
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合よりも高くなっています。年代別でみると、70歳以上の満足度が高くなっています。ライフステージ別でみると、65歳以上の単身で満足度がもっとも高く、5割となっています。

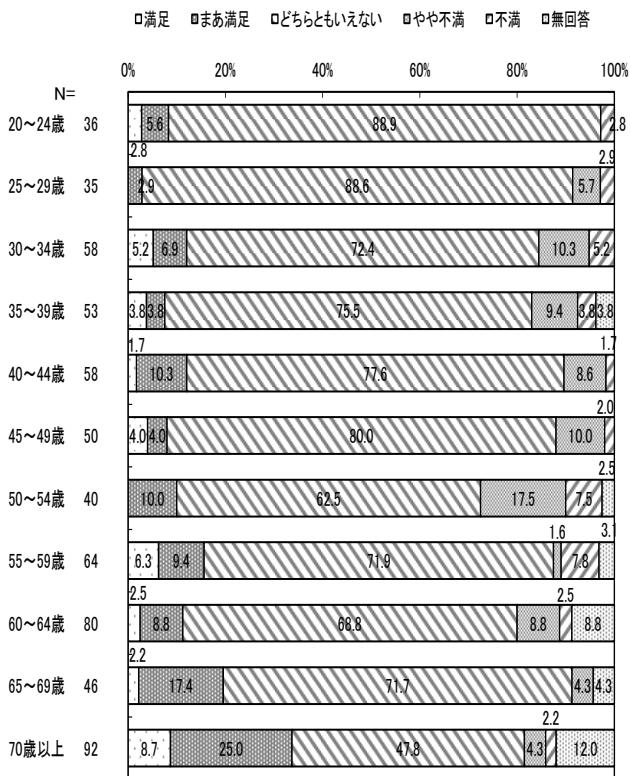
【全体】



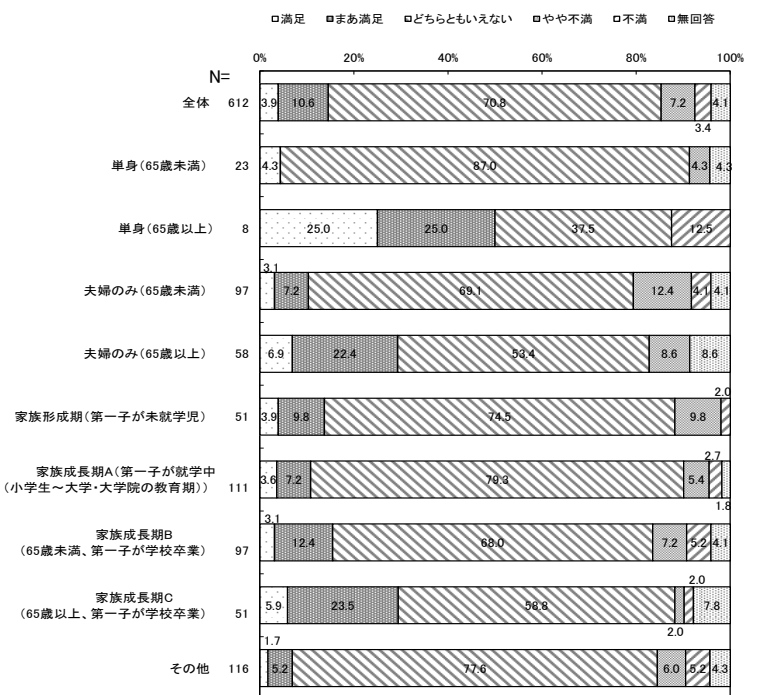
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

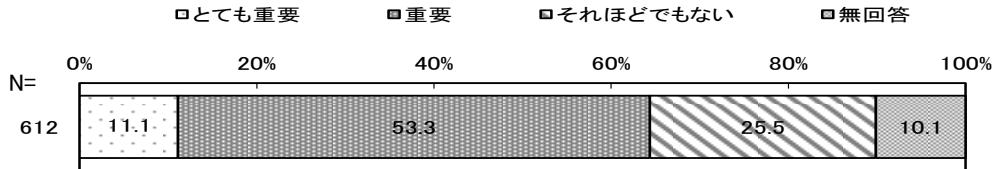


【問 2 重要度】

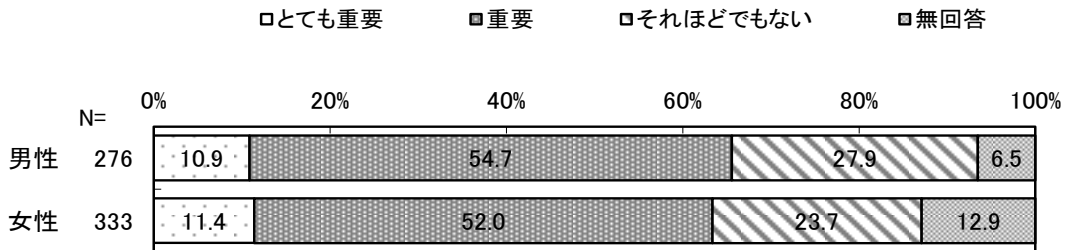
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

年代別でみると、45～54歳と65～69歳で「とても重要」と「重要」をあわせ重要度の割合が7割以上と高くなっています。ライフステージ別でみると、65歳以上の単身と夫婦のみの世帯で重要度の割合が高い傾向が見られます。

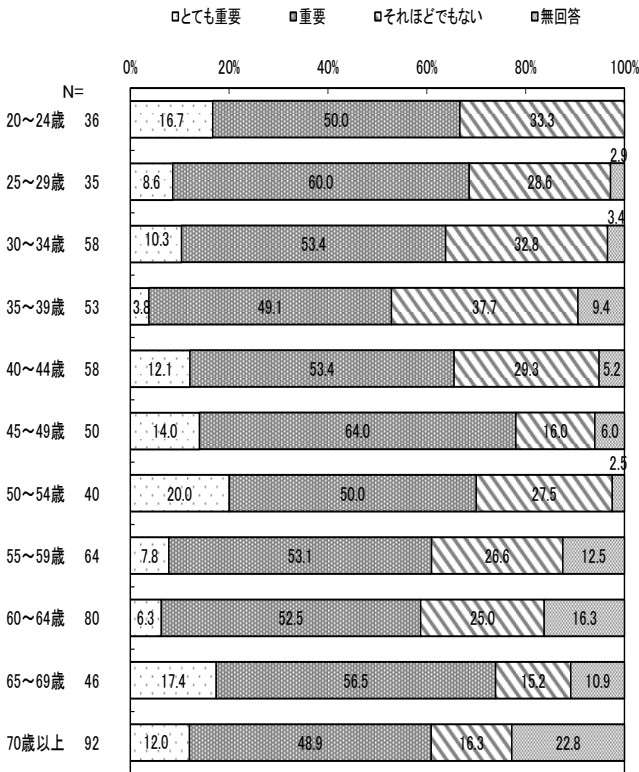
【全体】



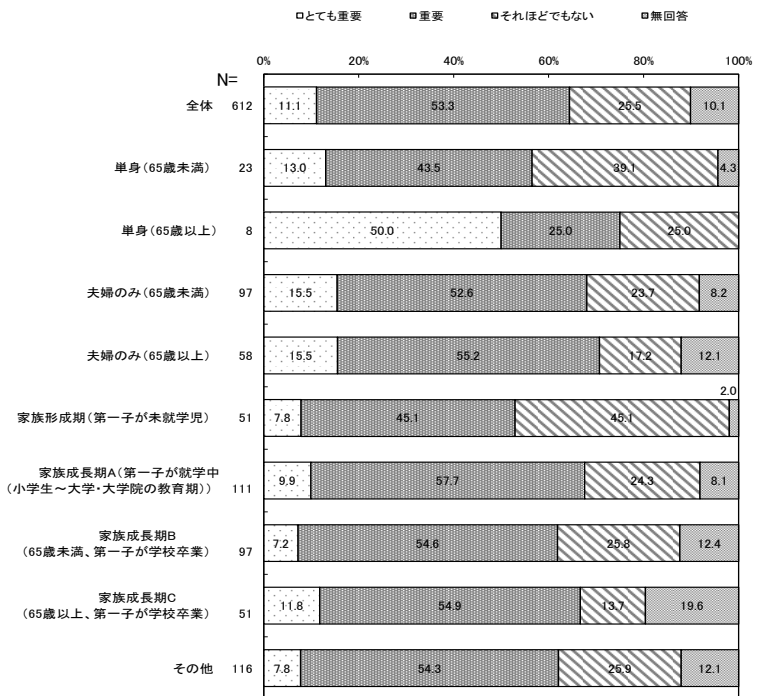
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

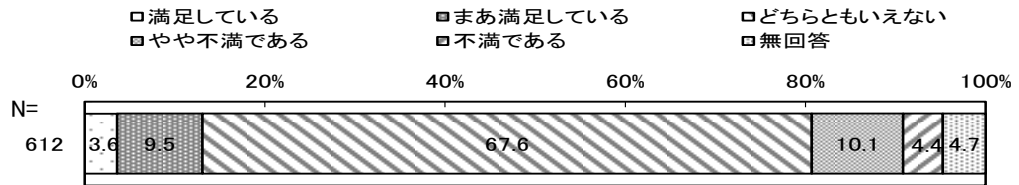


【問2 満足度】

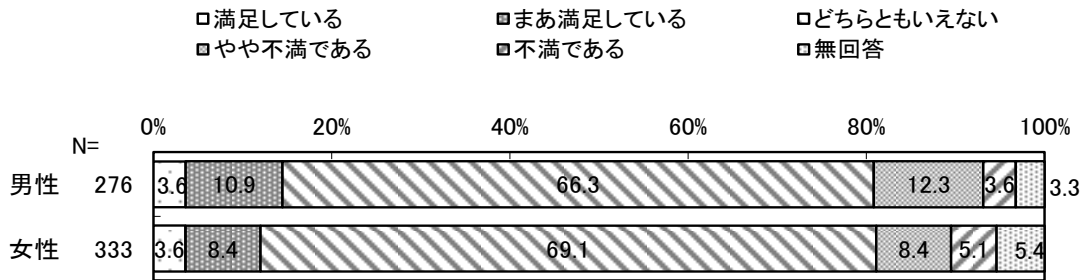
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合よりやや高くなっています。年代別でみると、65～69歳と70歳以上で満足度が高い一方、そのほかの年代では不満度の方が高い傾向が見られます。ライフステージ別でみると、65歳以上の単身で満足度が特に高くなっています。

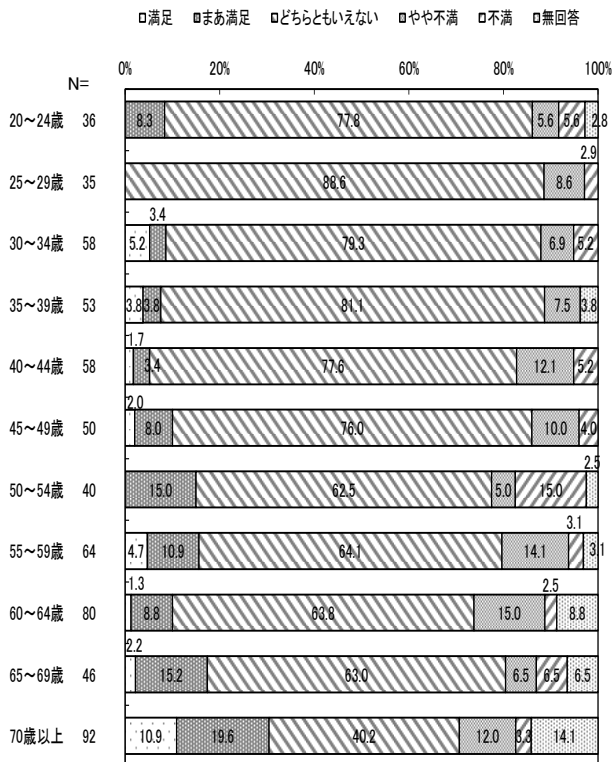
【全体】



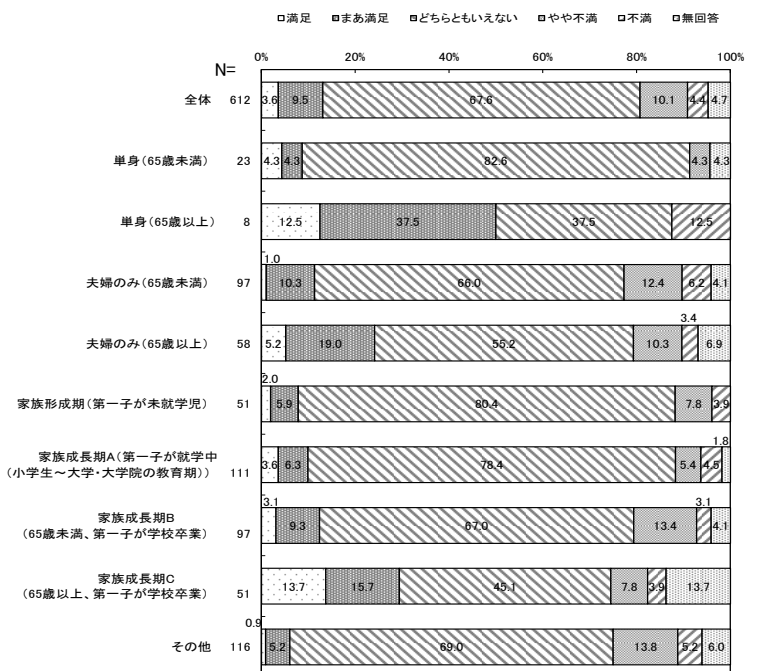
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

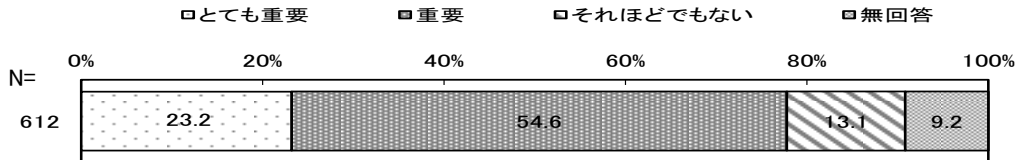


【問 2 重要度】

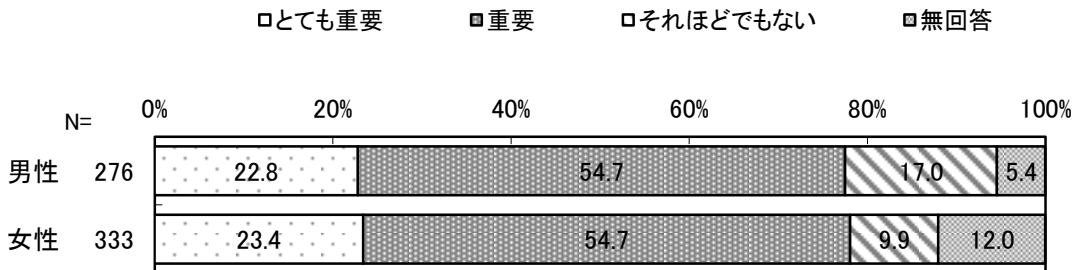
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

年代別でみると、全世代で「とても重要」と「重要」を合わせた重要度の割合が高く、特に50歳以上で「とても重要」の割合が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳以上）と家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で「とても重要」と答えた割合が高く、3割を超えています。

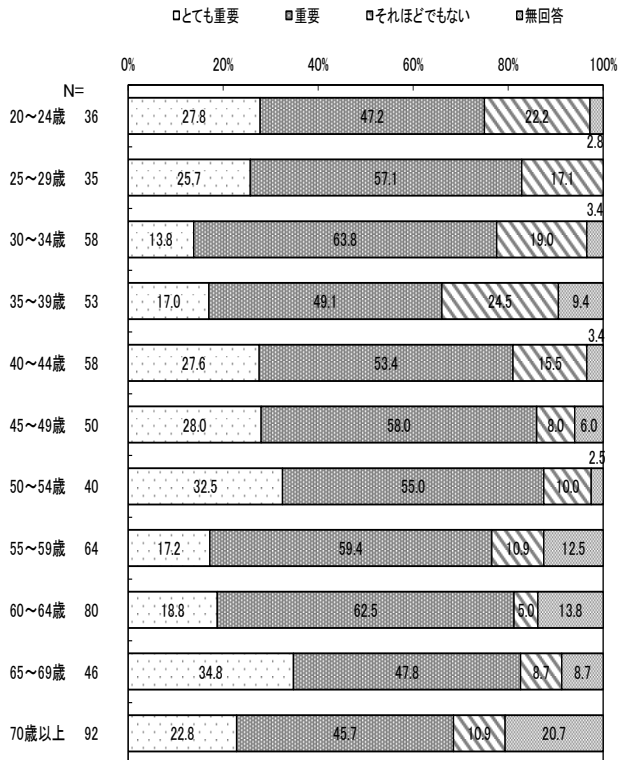
【全体】



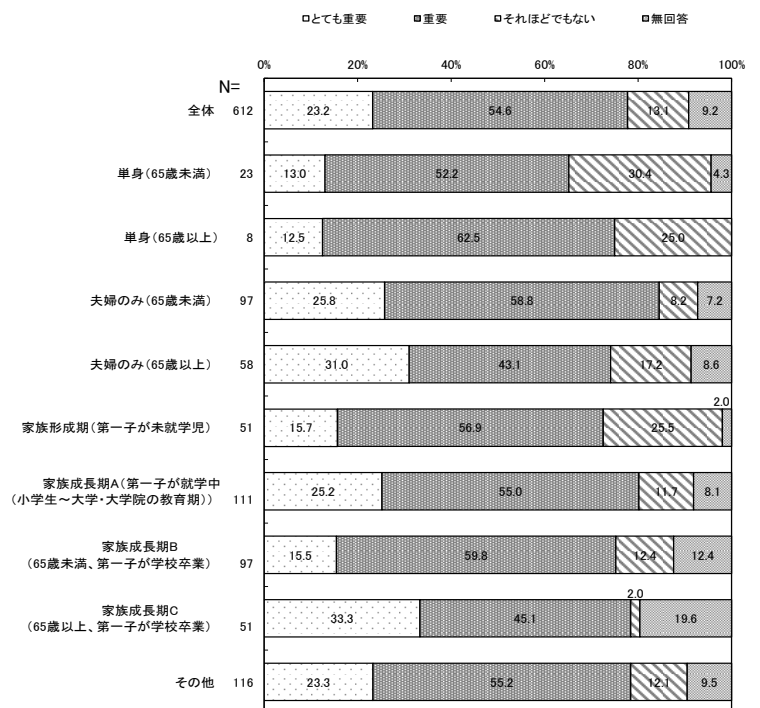
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

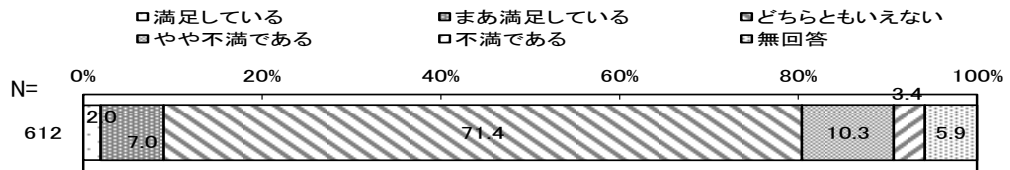


【問2 満足度】

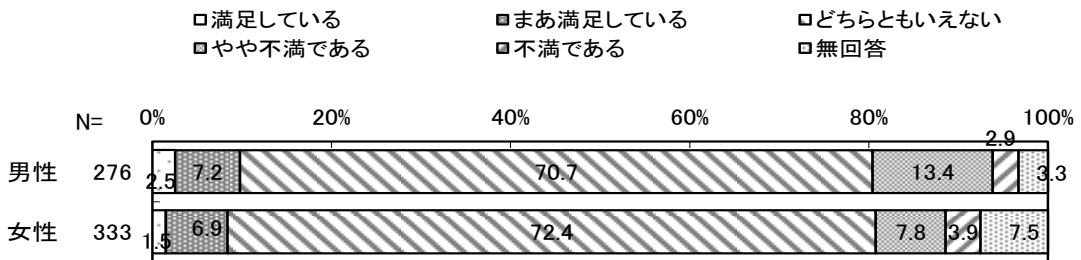
ウ 障がいのある人の社会参加と自立

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合よりやや高くなっています。年代別でみると、40～44歳、55～59歳で不満度の割合がやや高い傾向があります。ライフステージ別でみると、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で不満度の割合が高い一方、夫婦のみ（65歳以上）と家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）では、満足度の割合が不満度の割合よりも高くなっています。

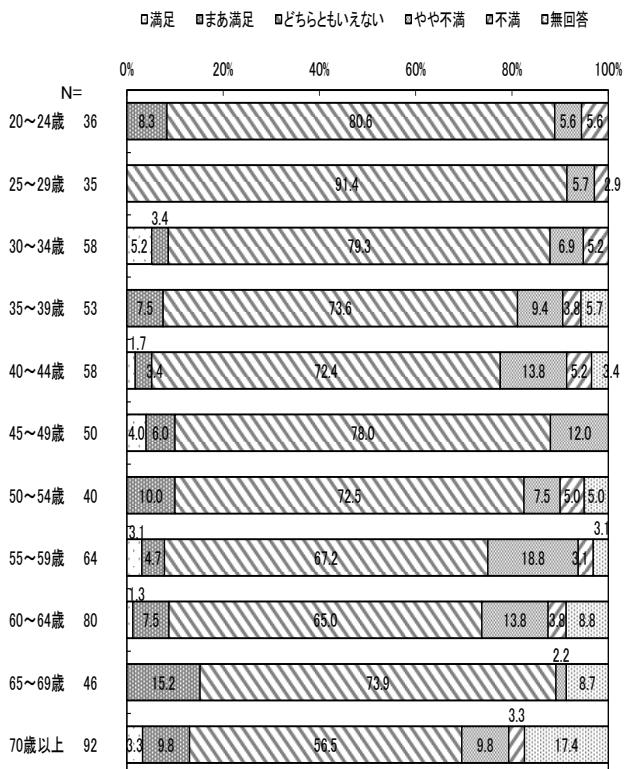
【全体】



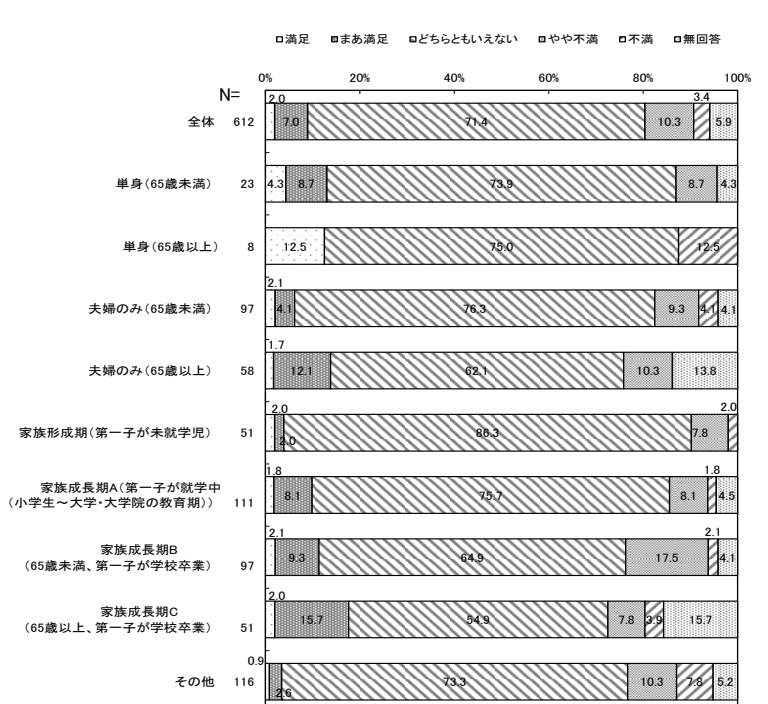
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

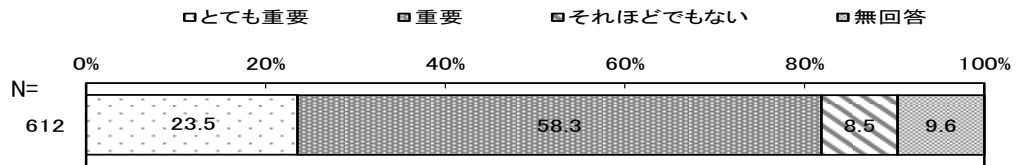


【問 2 重要度】

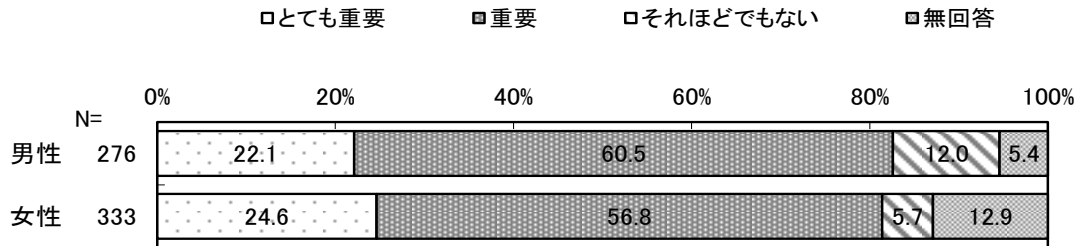
ウ 障がいのある人の社会参加と自立

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が8割以上と高くなっています。年代別でみると、「とても重要」と答えた割合が、20～24歳と65～69歳で特に高い傾向が見られます。

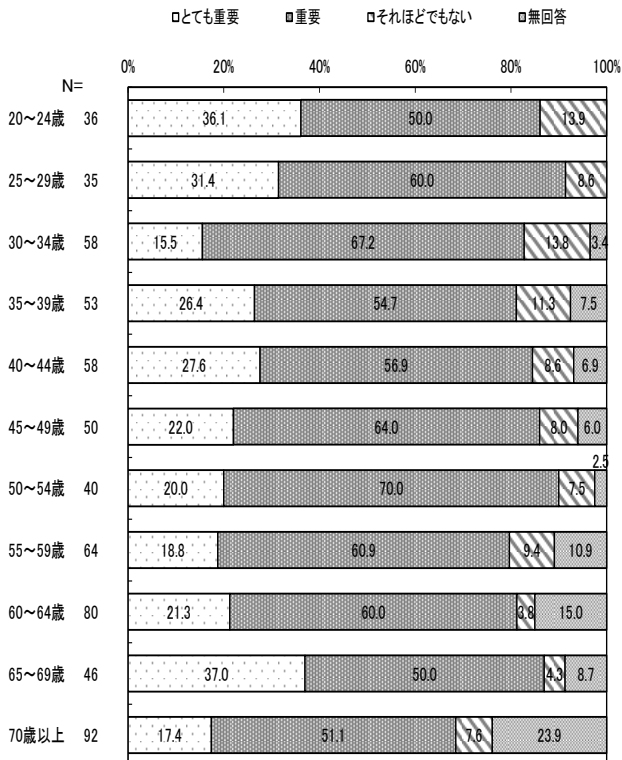
【全体】



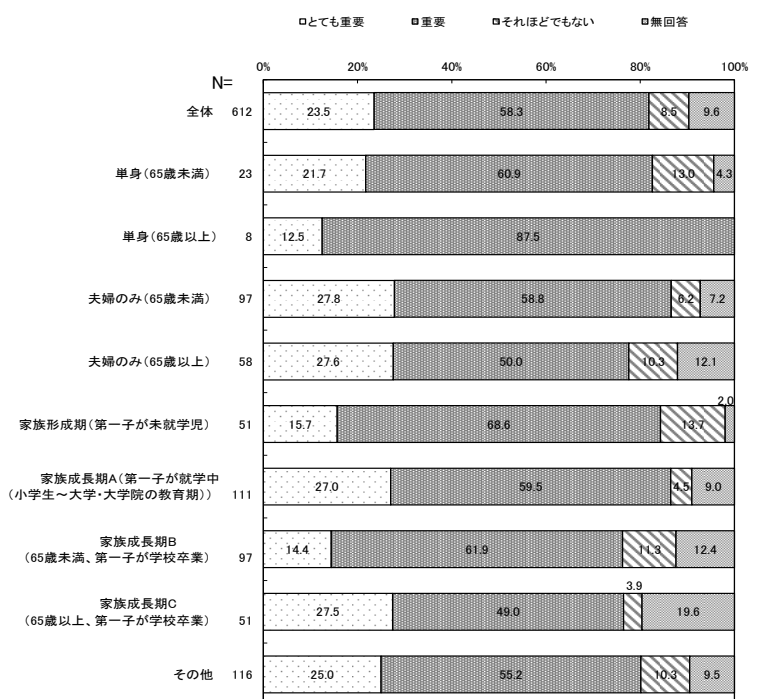
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

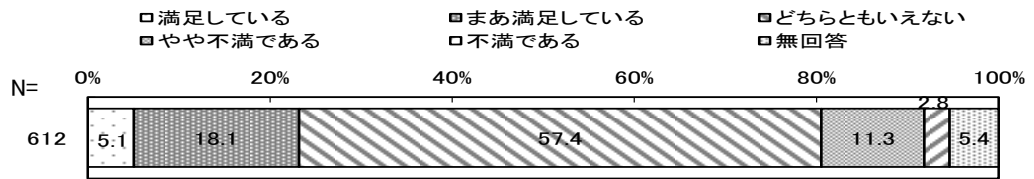


【問2 満足度】

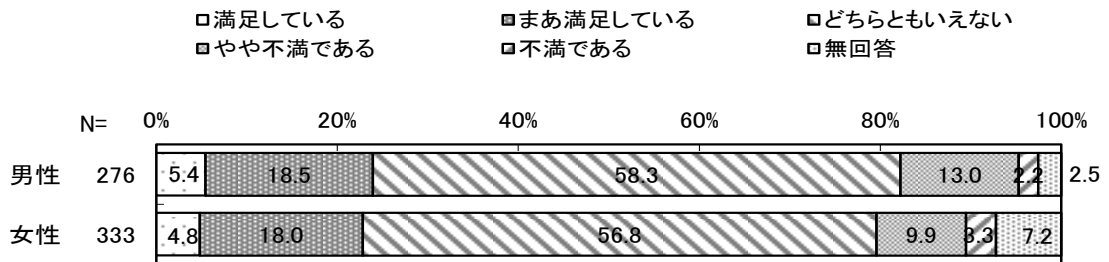
エ 安心して子育てができる環境の充実

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合よりも高くなっています。年代別でみると、若い世代で満足度が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）と家族形成期（第一子が未就学）で、満足度が高くなっています。

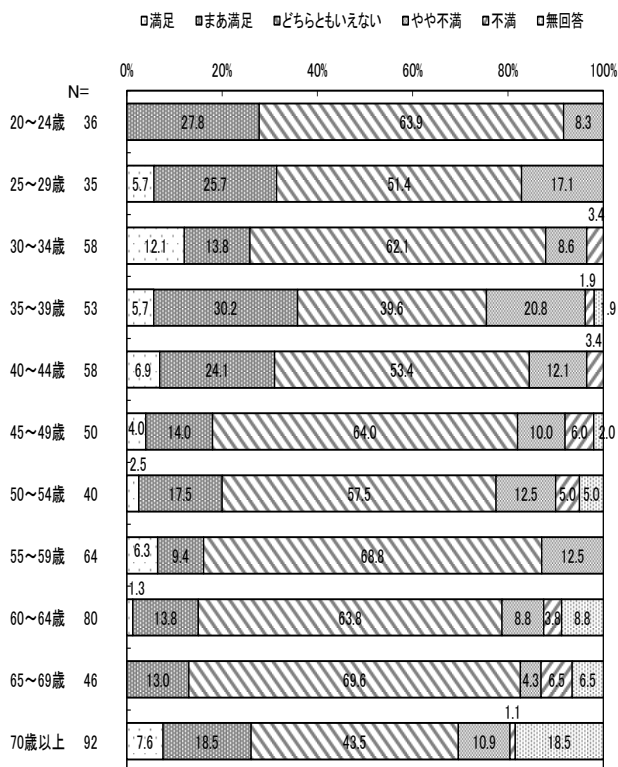
【全体】



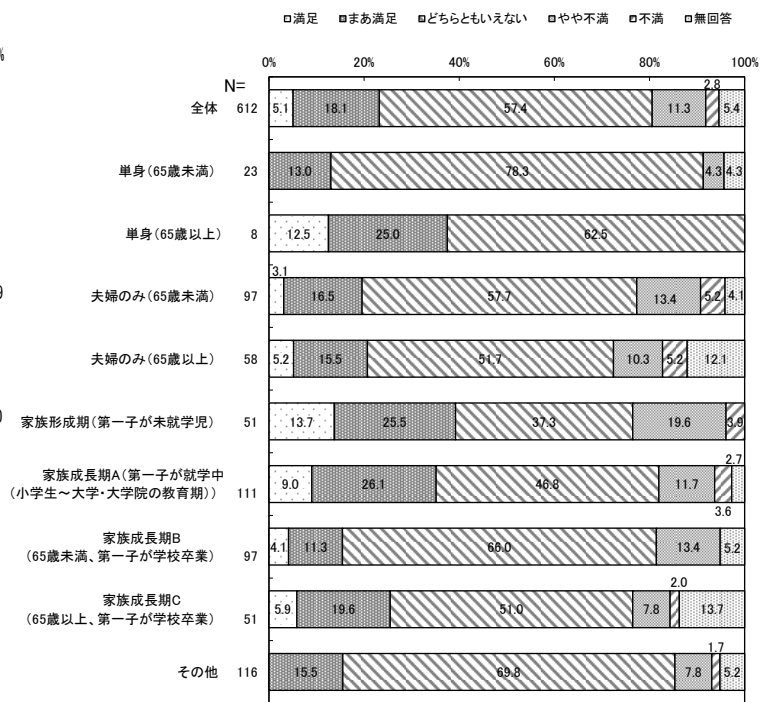
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

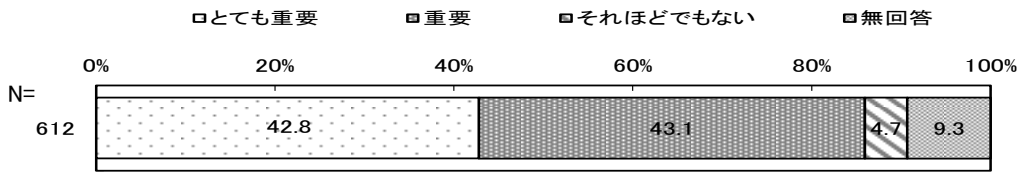


【問 2 重要度】

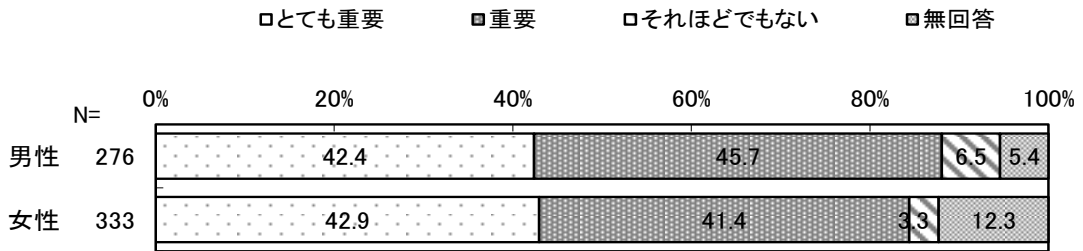
エ 安心して子育てができる環境の充実

年代別でみると、25～39歳で「とても重要」の割合が6割以上となっています。ライフステージ別でみると、「とても重要」の割合は、家族形成期（第一子が未就学児）が76.5%と特に高くなっています。

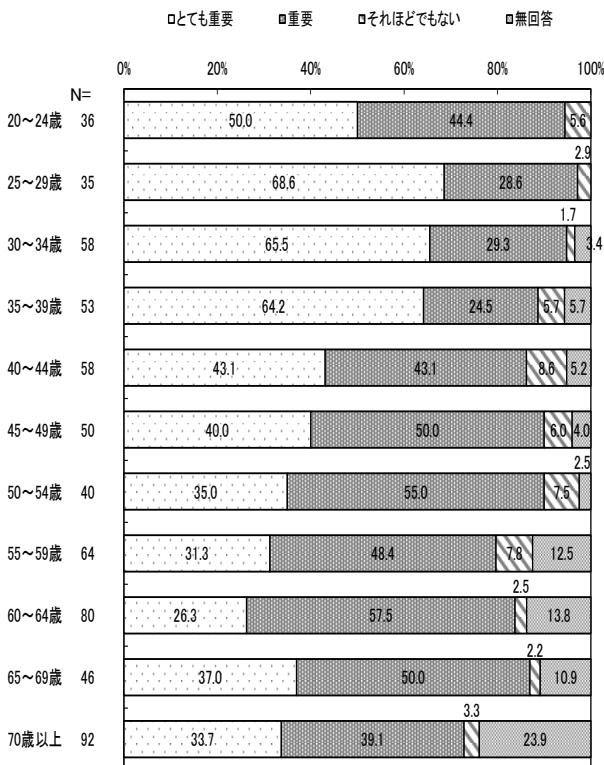
【全体】



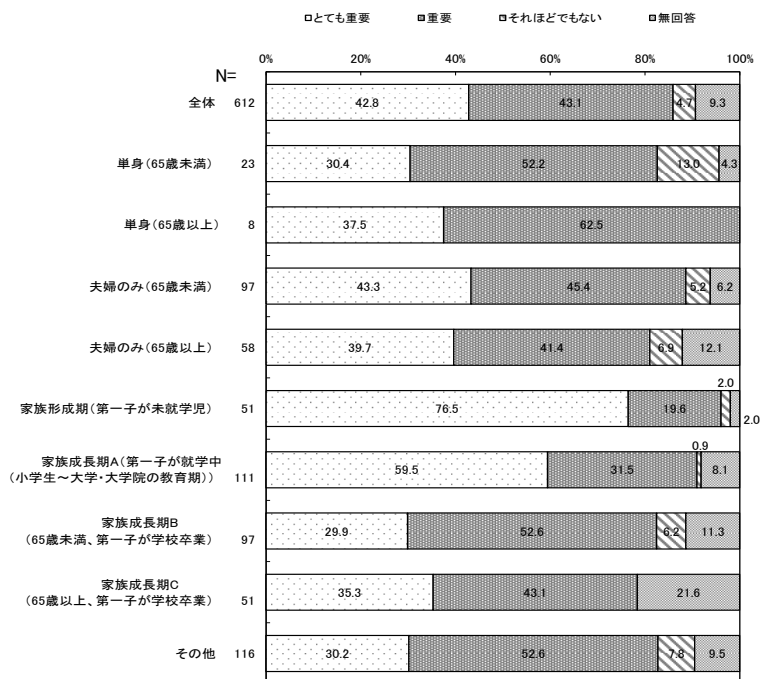
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

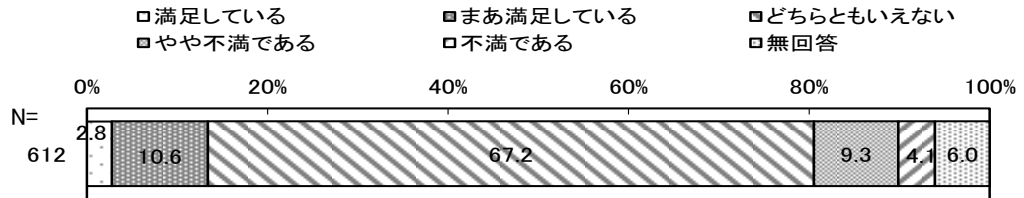


【問2 満足度】

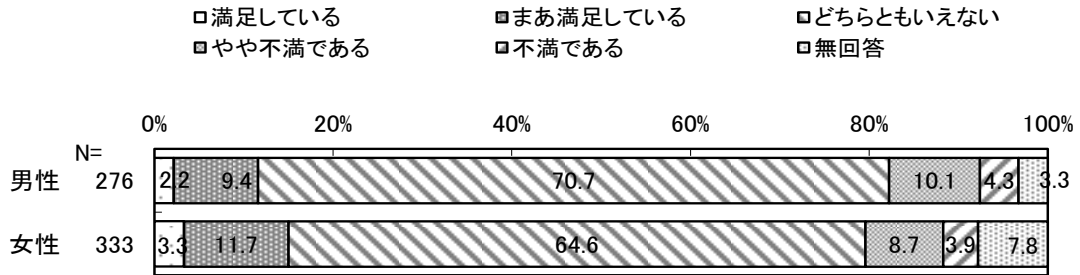
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合と、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は、ほぼ同じ割合となっています。年代別でみると、20～24歳、45～49歳、55～59歳で「どちらともいえない」の割合が、75.0%以上と高い傾向です。ライフステージ別でみると、家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）での不満度が比較的高くなっています。

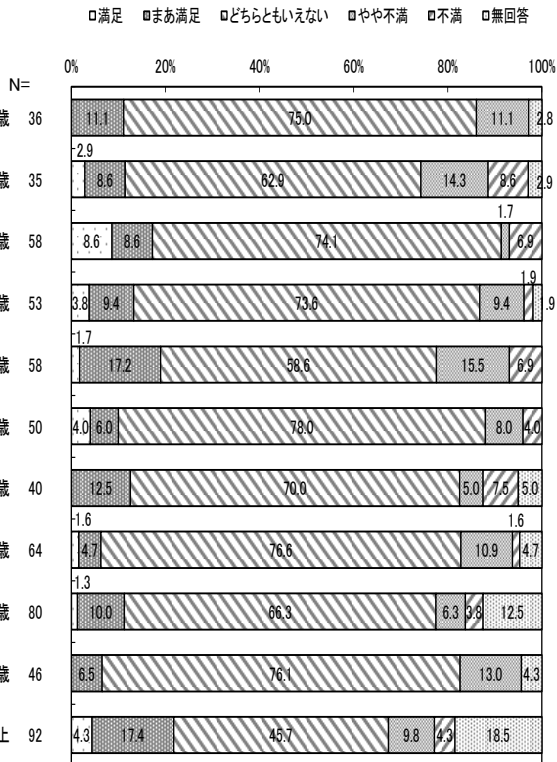
【全体】



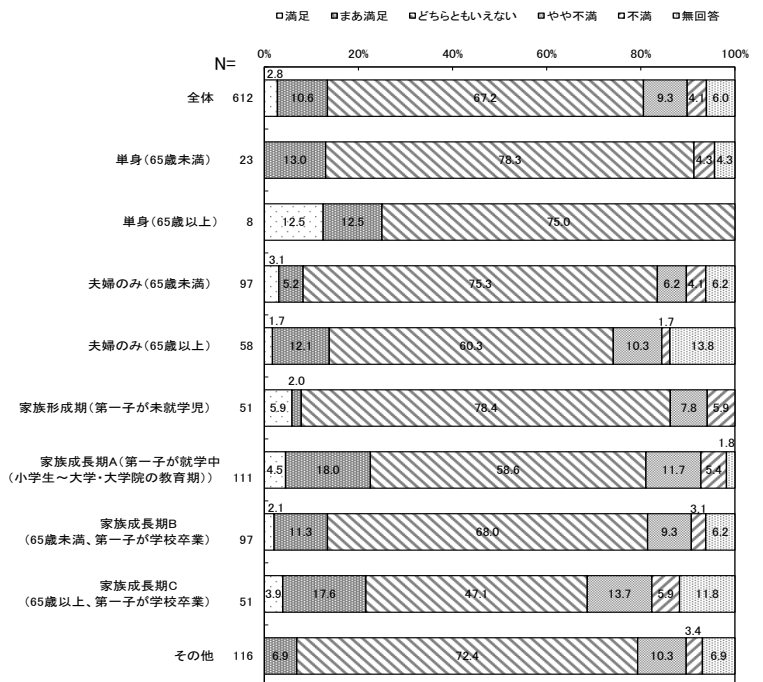
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

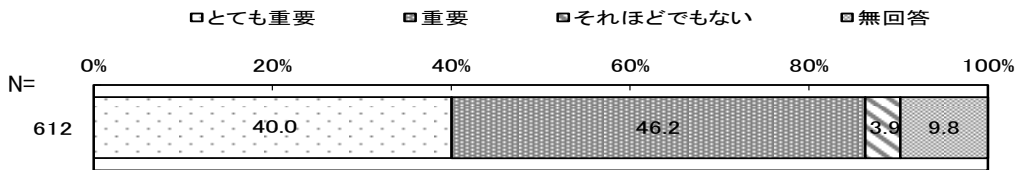


【問 2 重要度】

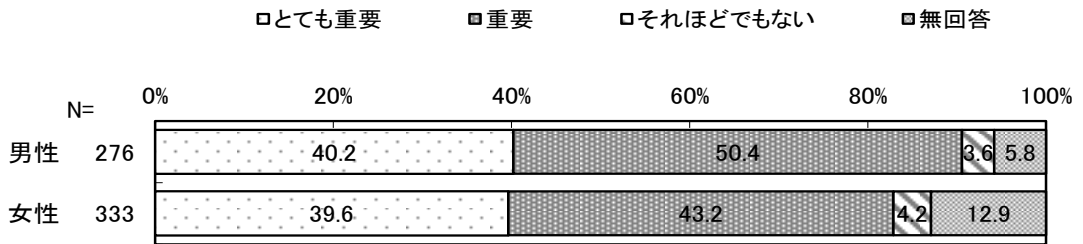
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が 86.2%と高い傾向にあります。年代別で見ると「とても重要」の割合が 35～39 歳で特に高く、5 割を超えています。ライフステージ別にみると、家族形成期（第一子が未就学児）と家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で「とても重要」と感じている人の割合が特に高くなっています。

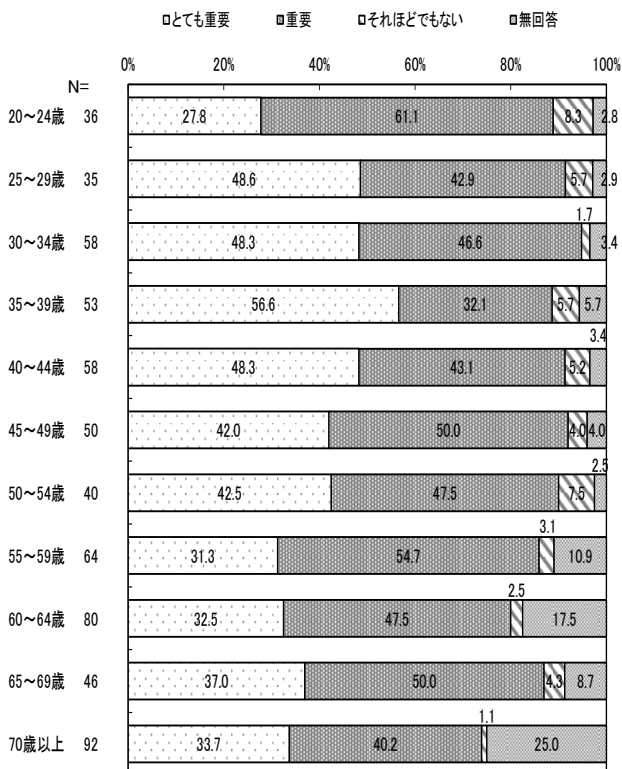
【全体】



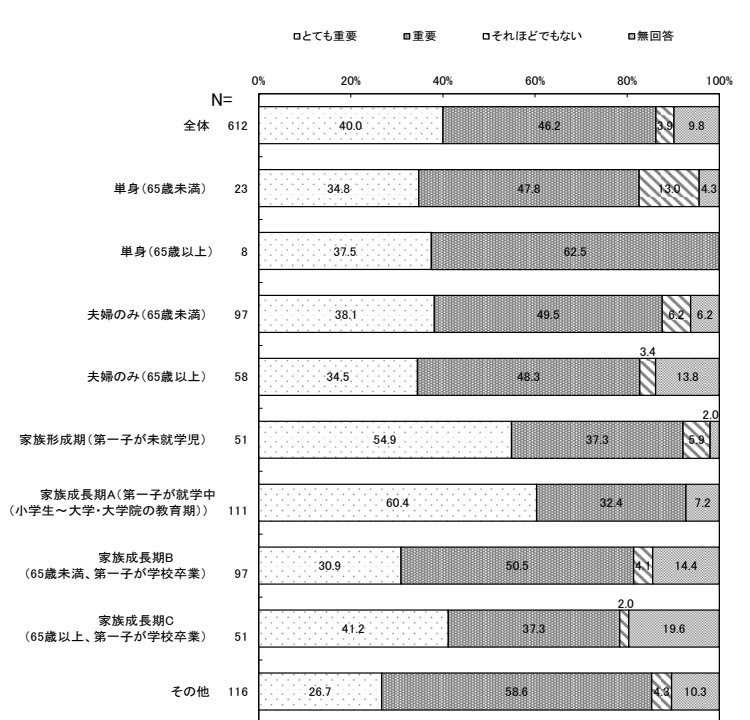
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

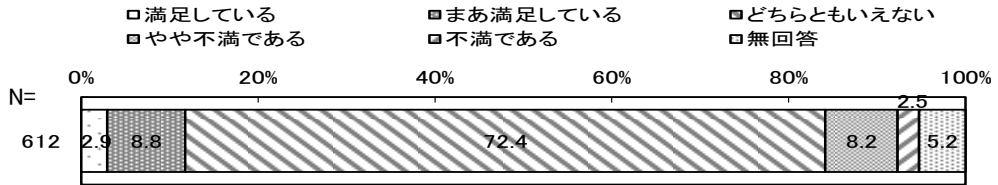


【問2 満足度】

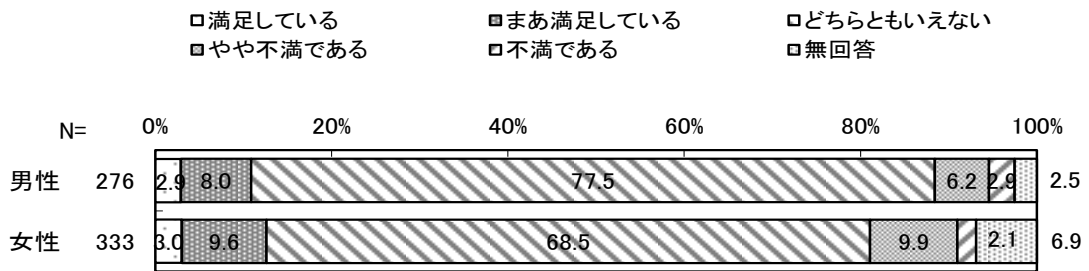
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合と、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は、ほぼ同じ割合となっています。年代別でみると、50～54歳で不満度の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみと単身（65歳以上）のそれぞれの世帯の満足度の割合が高い傾向が見られます。

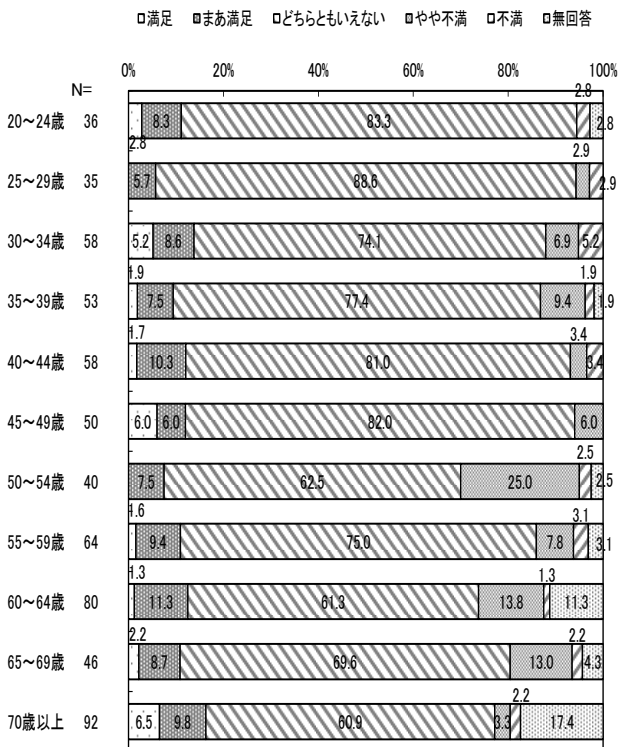
【全体】



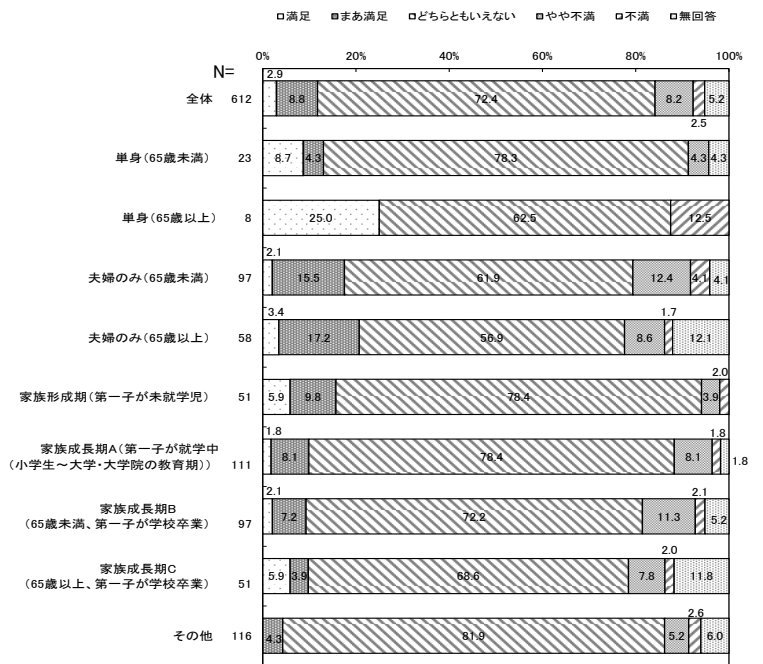
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

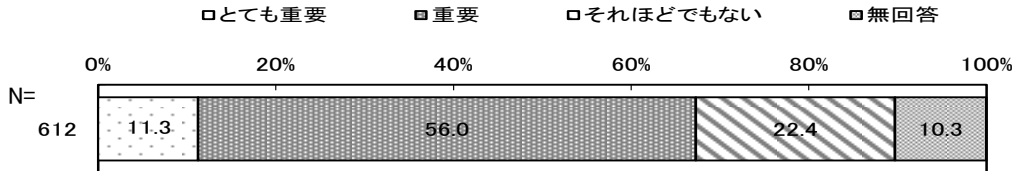


【問2 重要度】

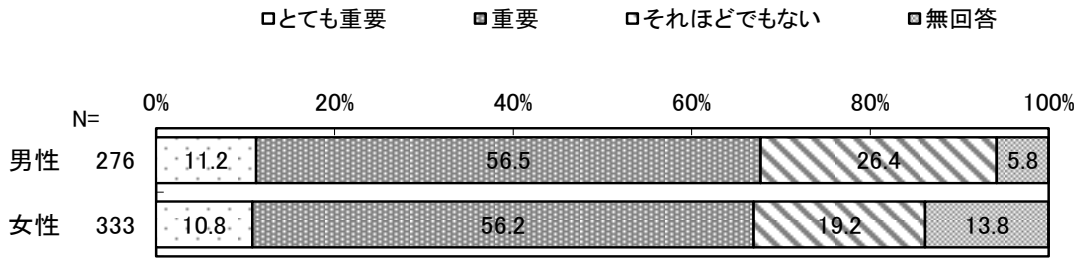
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度

全体で見ると、「とても重要」の割合が11.3%とやや低くなっています。年代別で見ると、「それほどでもない」の割合が、25～29歳で一番高く37.1%となっています。ライフステージ別で見ると、単身（65歳以上）では重要度の割合が特に高くなっています。

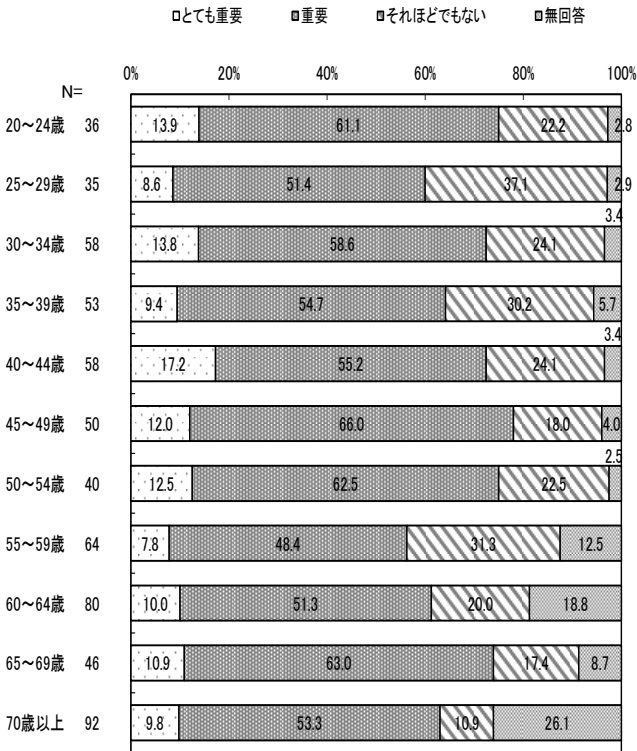
【全体】



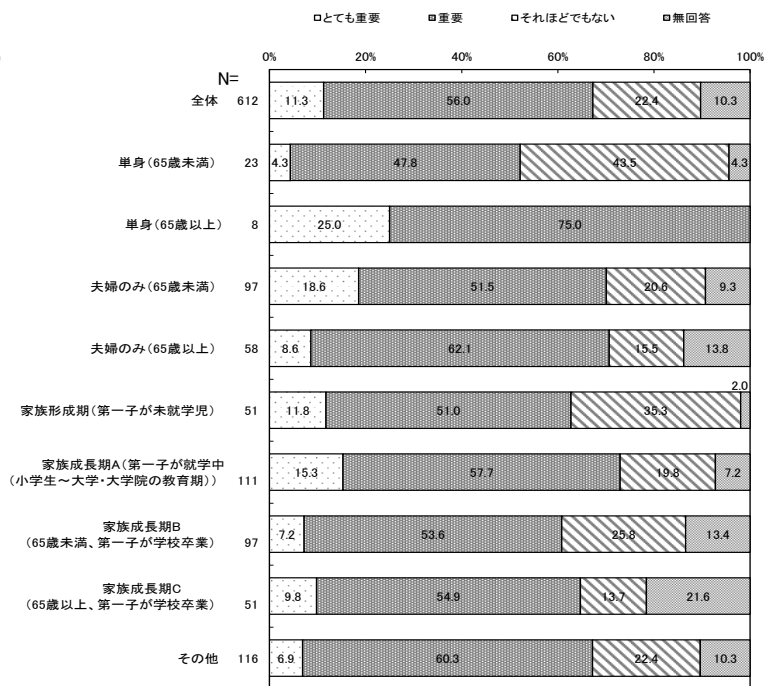
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

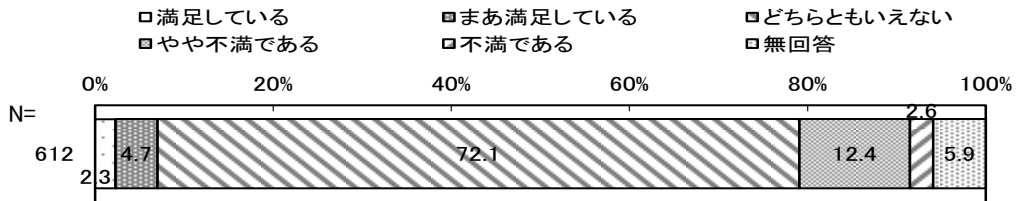


【問2 満足度】

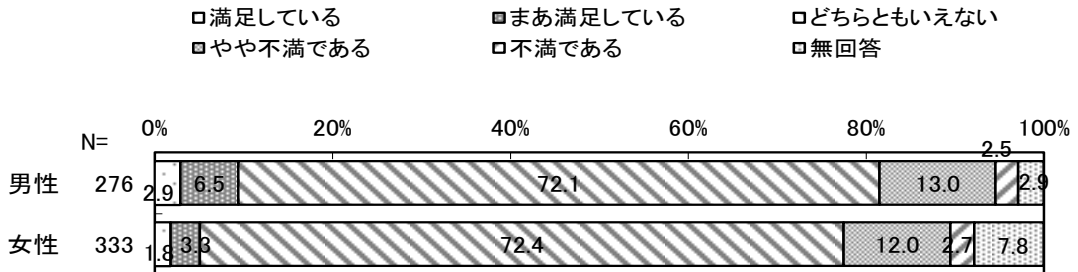
キ 次世代を担う青少年の育成

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合の方が、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合よりも高くなっています。年代別にみても全ての世代で満足度の割合より不満度の割合が上まわっており、特に50～54歳では不満度の割合が25.0%と比較的高い傾向があります。

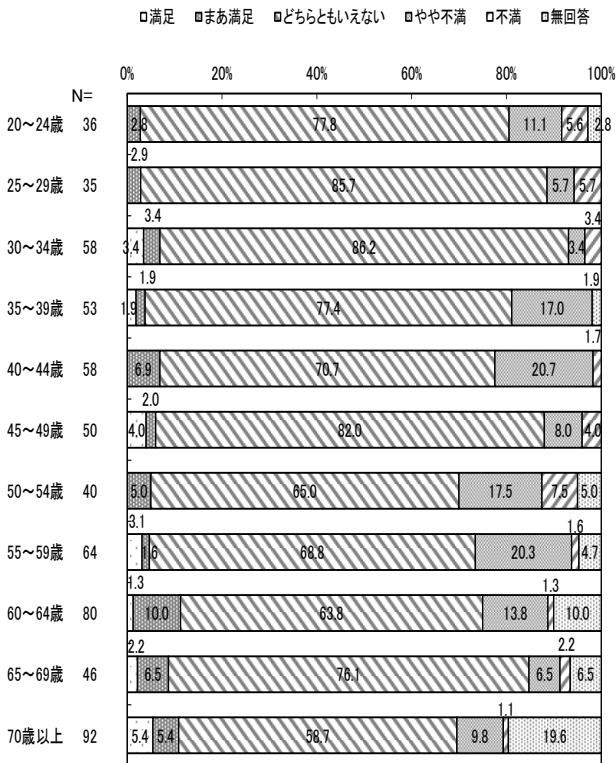
【全体】



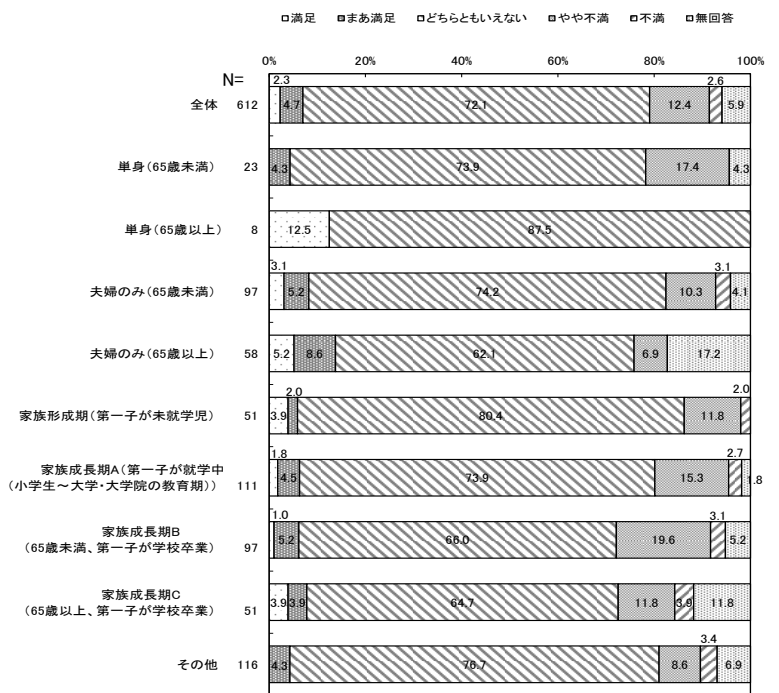
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

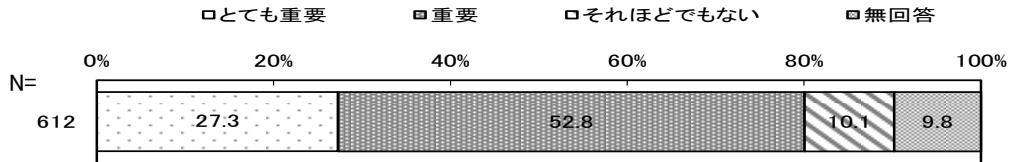


【問 2 重要度】

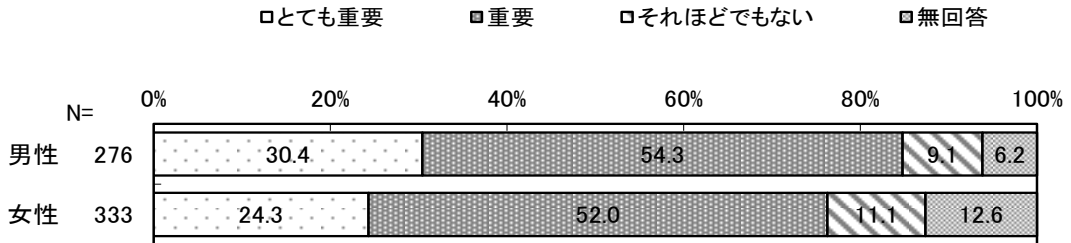
キ 次世代を担う青少年の育成

全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は約8割です。性別で見ると、女性に比べ男性の方が重要度が高い傾向があります。年代別で見ると、「とても重要」の割合は、65～69歳で一番高く、若い世代では、やや重要度の割合が低くなっています。

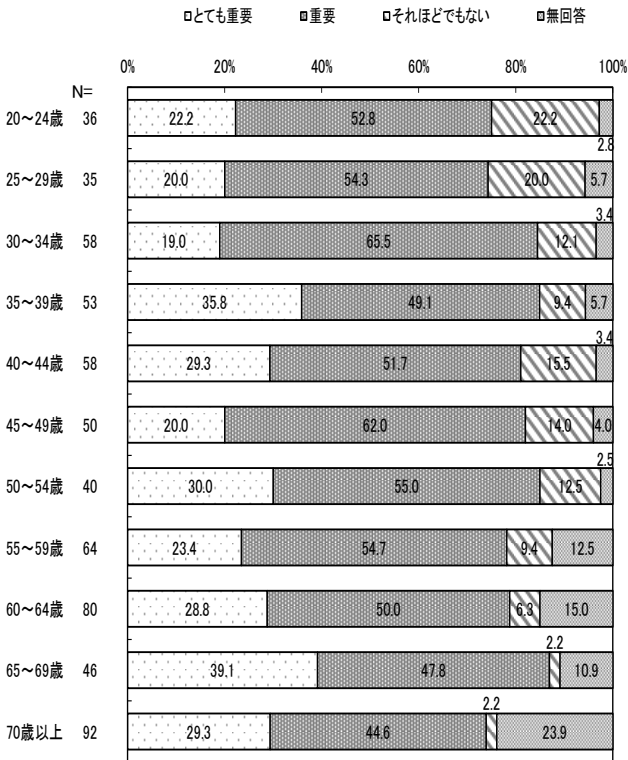
【全体】



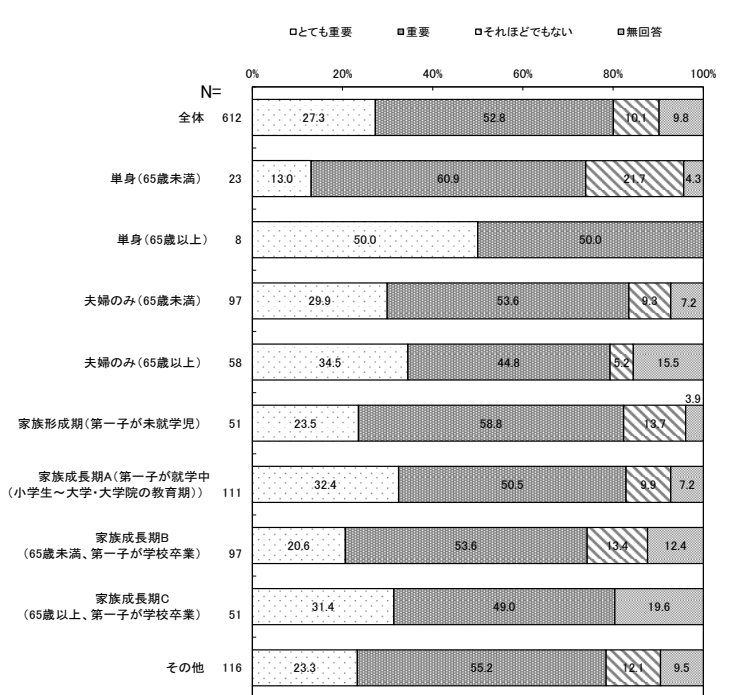
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

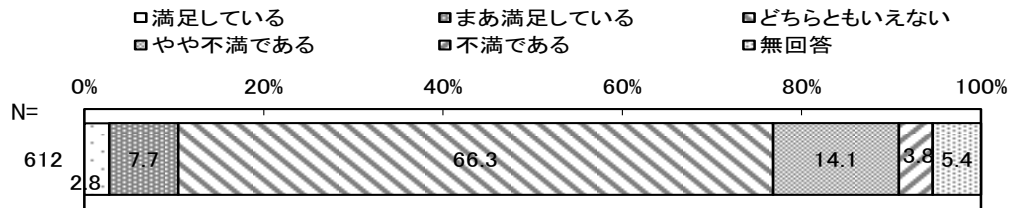


【問2 満足度】

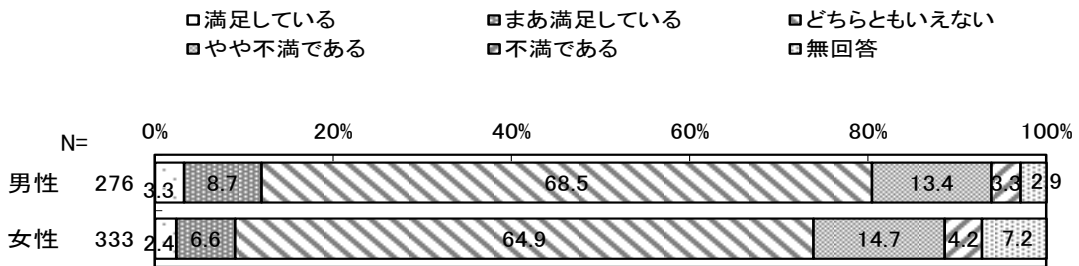
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合の方が、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。年代別にみると、30～34歳と70歳以上で、満足度の割合が不満度の割合よりも高いですが、他の世代では不満度の割合の方が高い傾向が見られます。

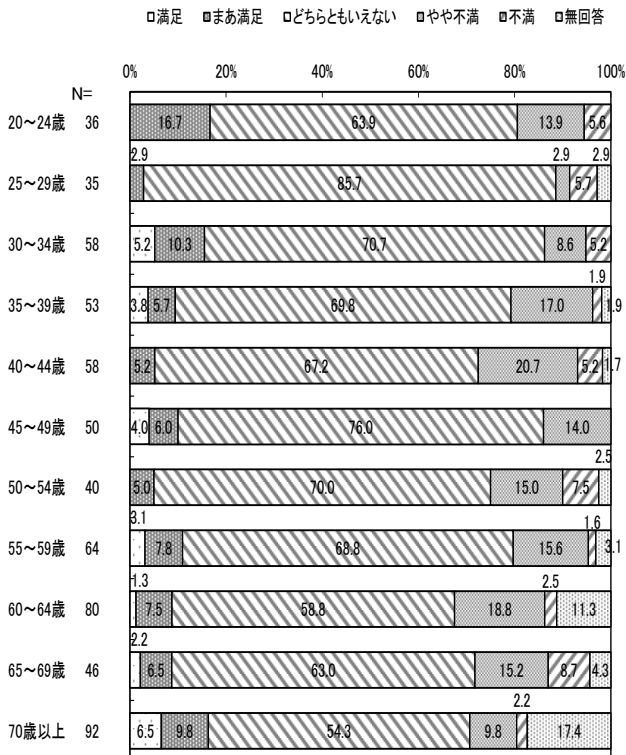
【全体】



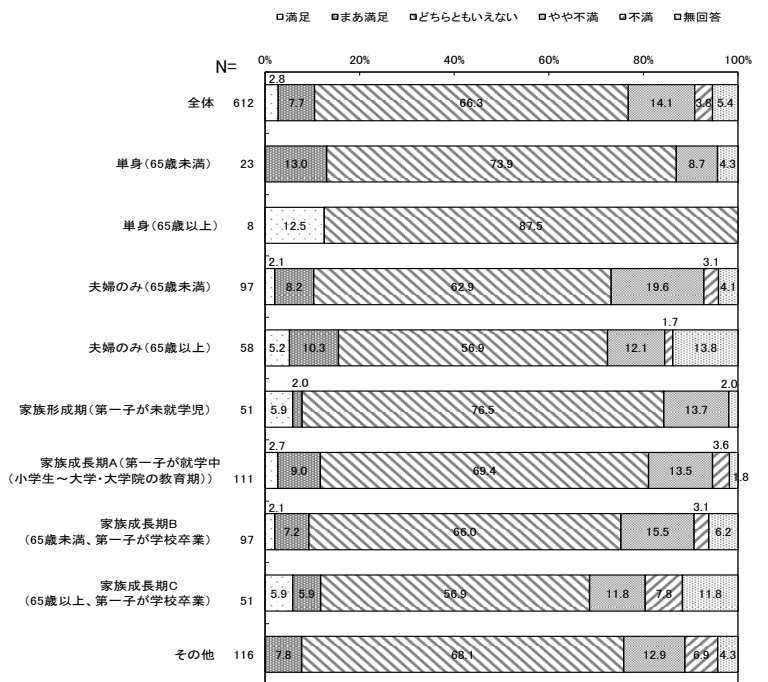
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

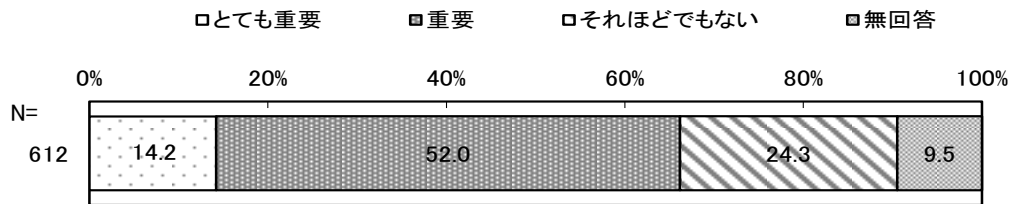


【問 2 重要度】

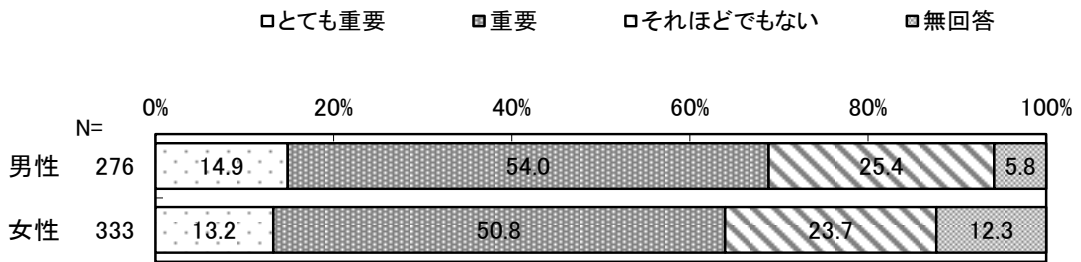
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は66.2%です。年代別で見ると、重要度の割合が55～59歳でやや低くなっています。

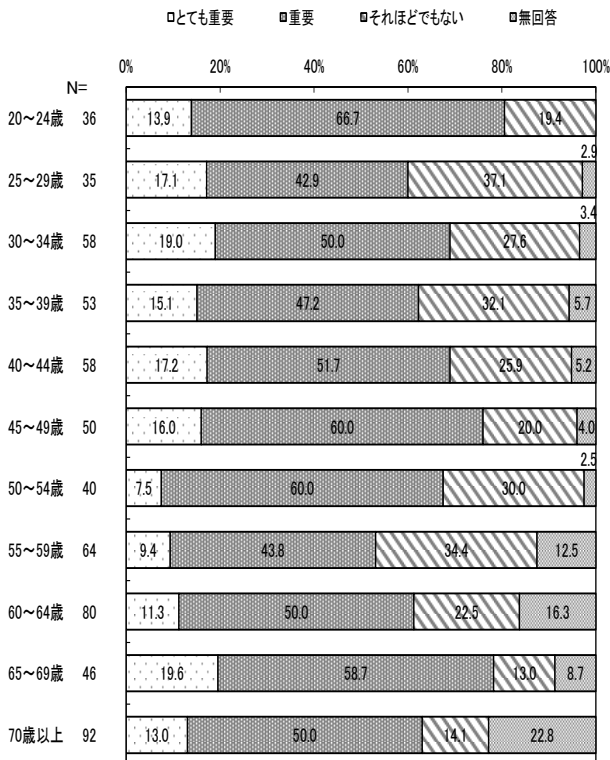
【全体】



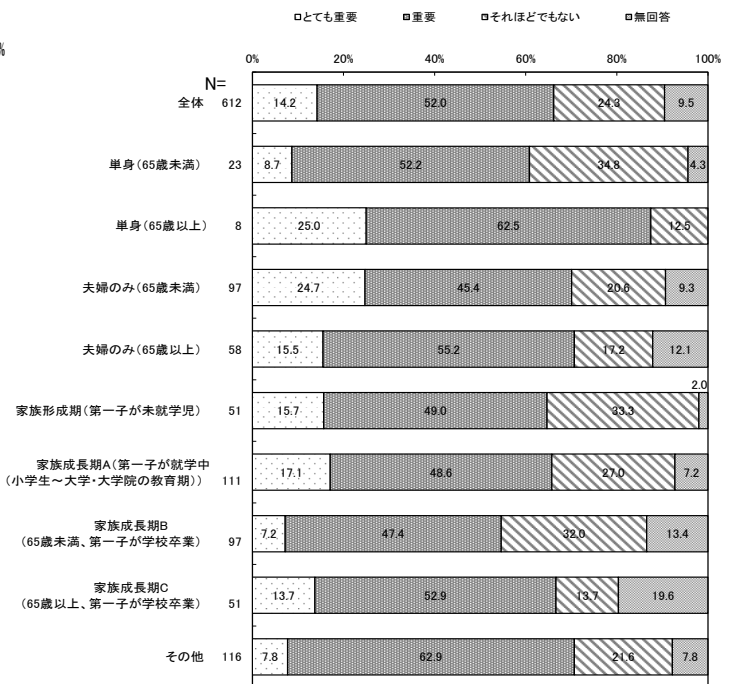
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

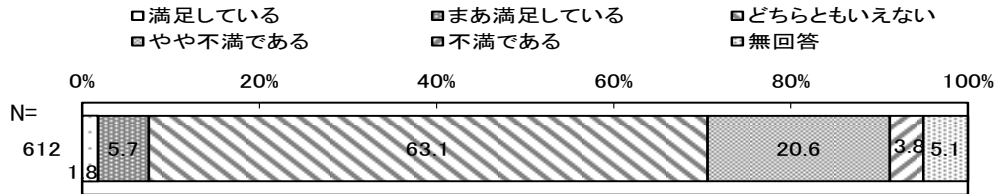


【問2 満足度】

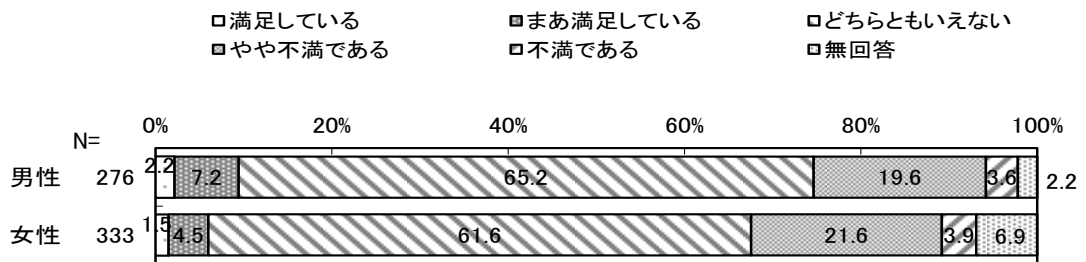
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は24.4%で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。年代別にみると、20～24歳以外では不満度の割合が高い傾向があります。居住地別でみると、須山地区で不満度の割合が低く、企業団地地区では満足度の割合が比較的高くなっています。

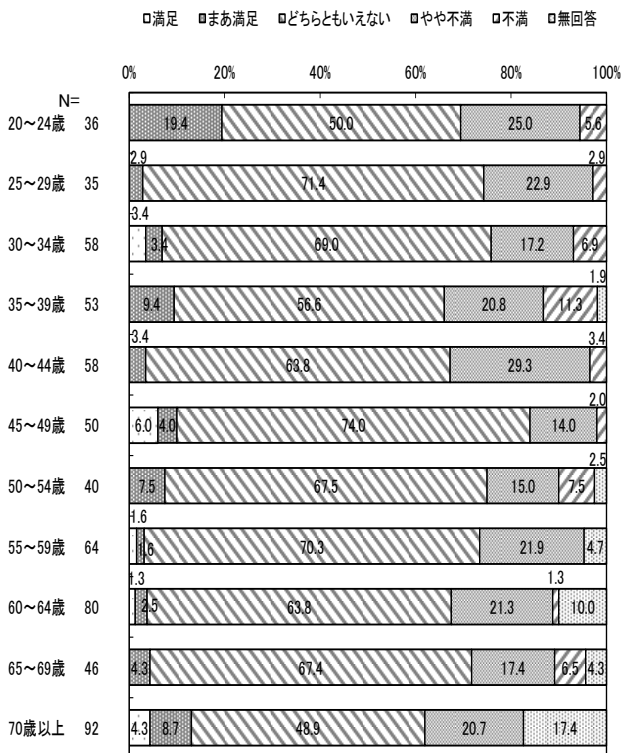
【全体】



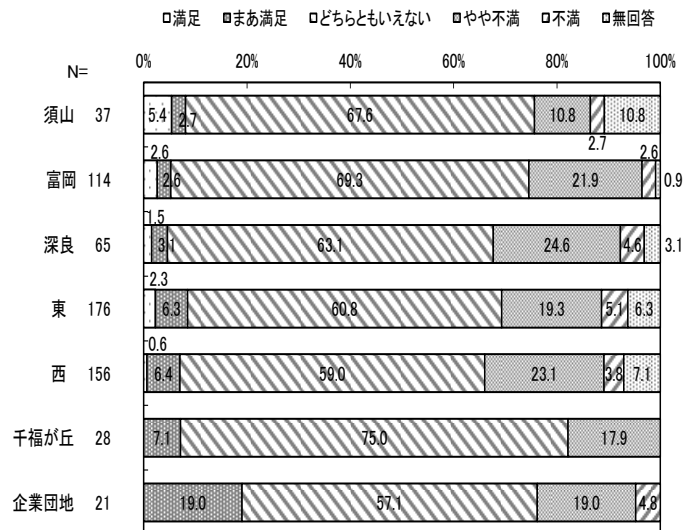
【性別】



【年代別】



【居住地別】

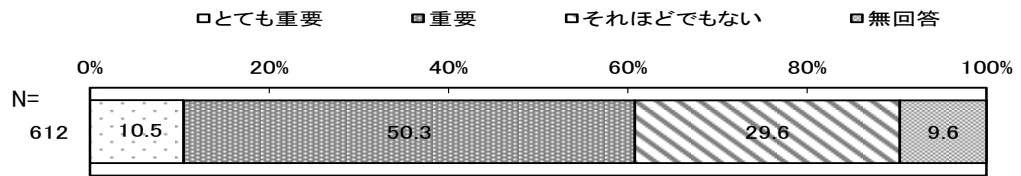


【問 2 重要度】

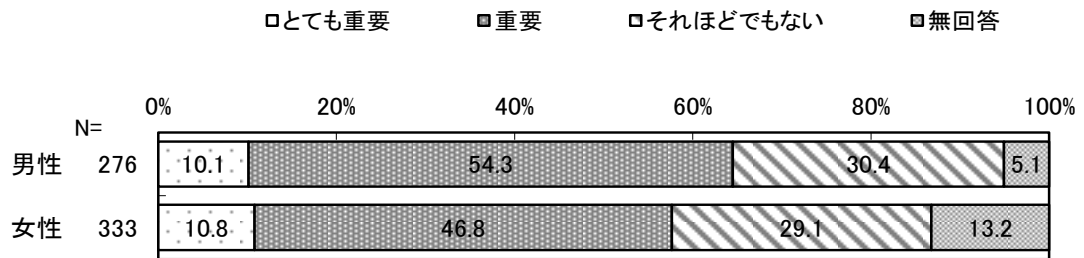
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は約 6 割です。年代別で見ると、20～24 歳で重要度の割合が非常に高い一方で、25～29 歳と 55～59 歳では低い傾向が見られます。居住地別で見ると、千福が丘地区で重要度の割合がやや低くなっています。

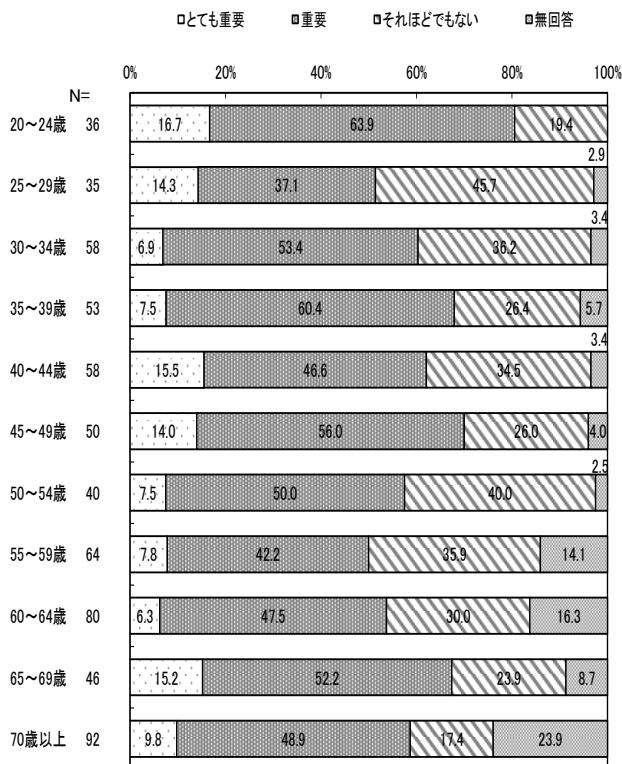
【全体】



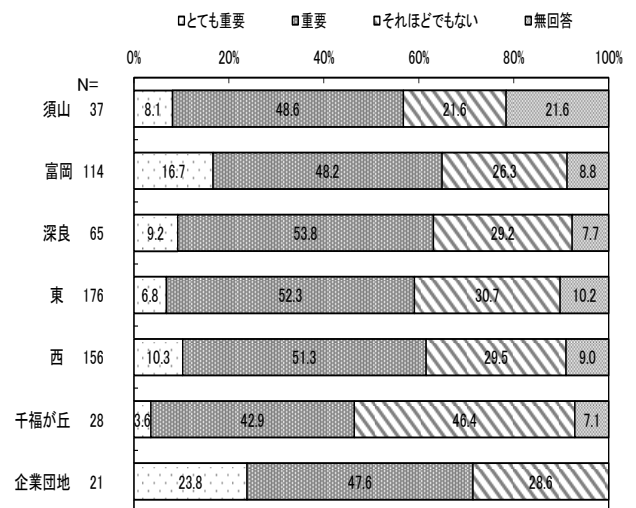
【性別】



【年代別】



【居住地別】

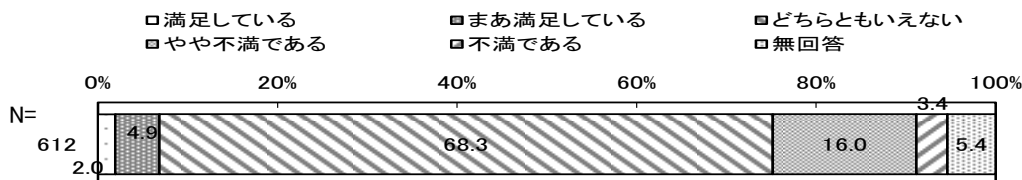


【問2 満足度】

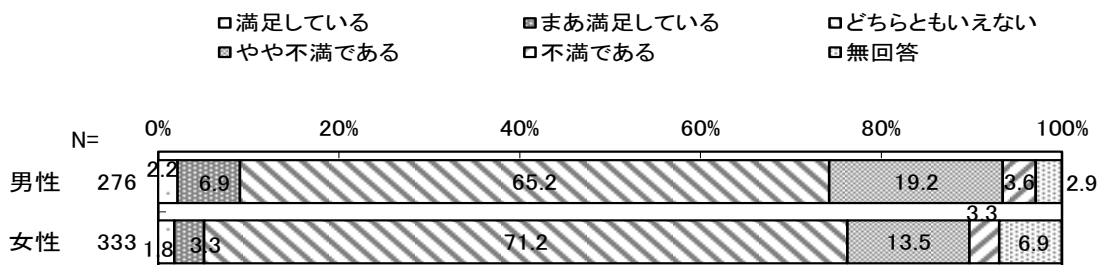
コ 市民が関わることのできるまちづくり

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は約2割で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。年代別にみても、全ての世代で不満度の割合が満足度の割合を上まわっています。ライフステージ別でみると、単身（65歳未満）世帯で不満度が比較的低い傾向が見られます。

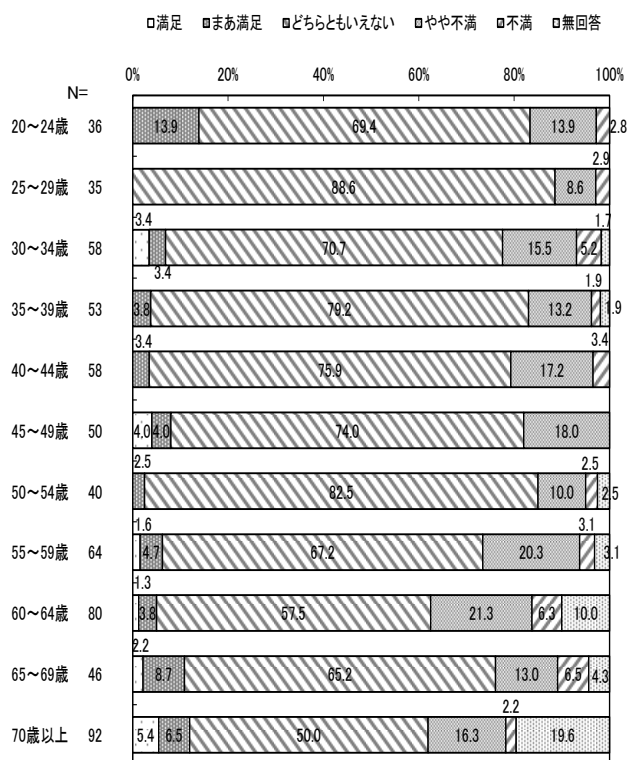
【全体】



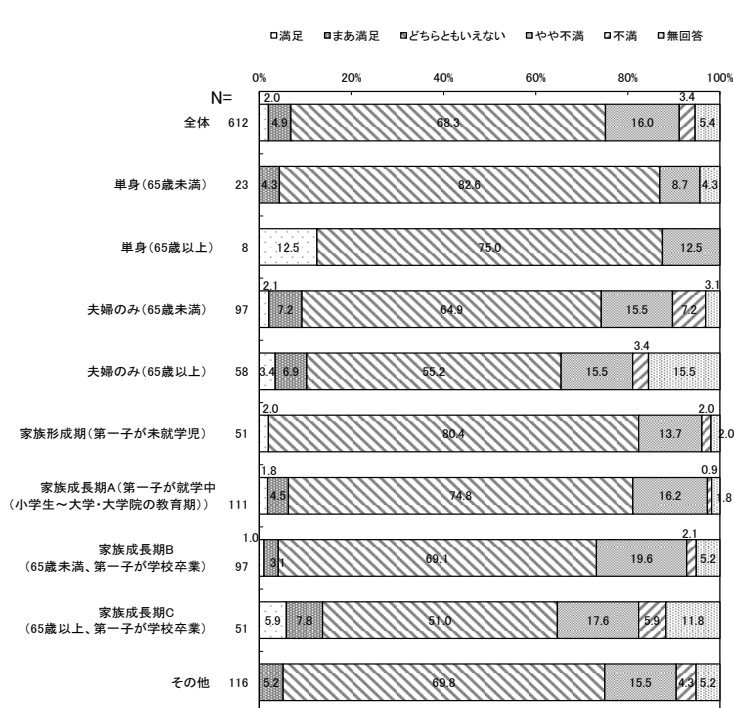
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

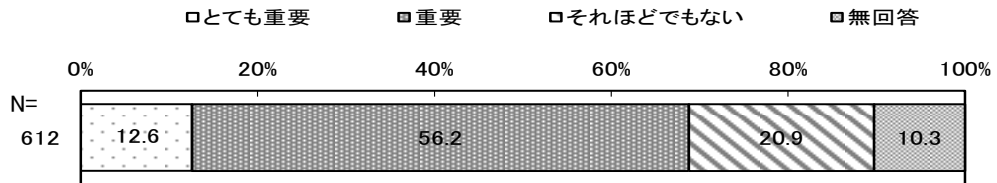


【問 2 重要度】

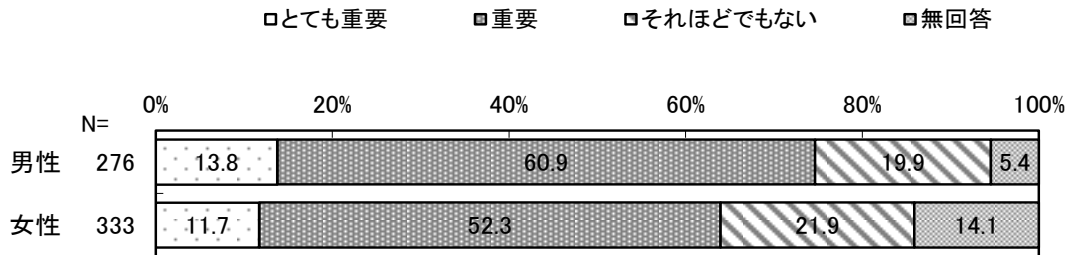
コ 市民が関わることのできるまちづくり

性別で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は、男性の方が女性よりも1割ほど高くなっています。年代別で見ると、20～24歳と45～49歳で重要度の割合が8割以上と非常に高い傾向があります。居住地別で見ると、企業団地地区で重要度の割合が特に高く85.7%となっています。

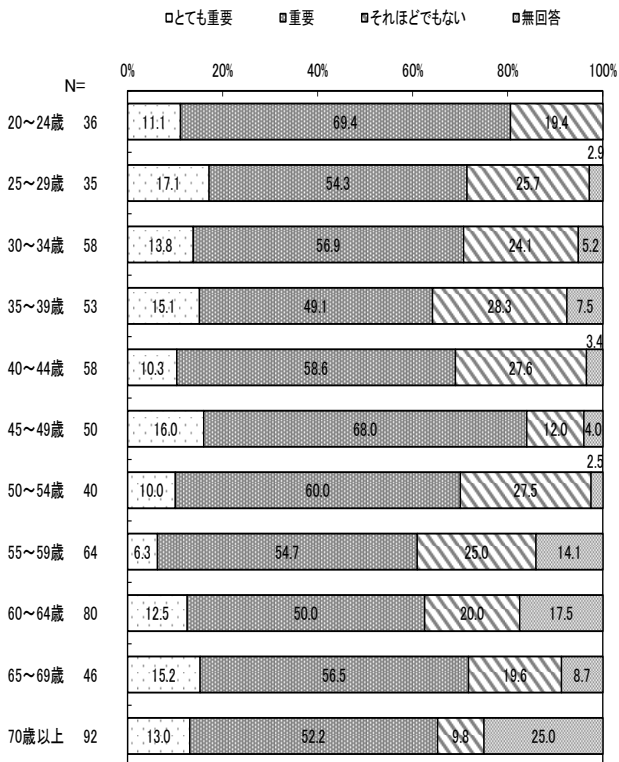
【全体】



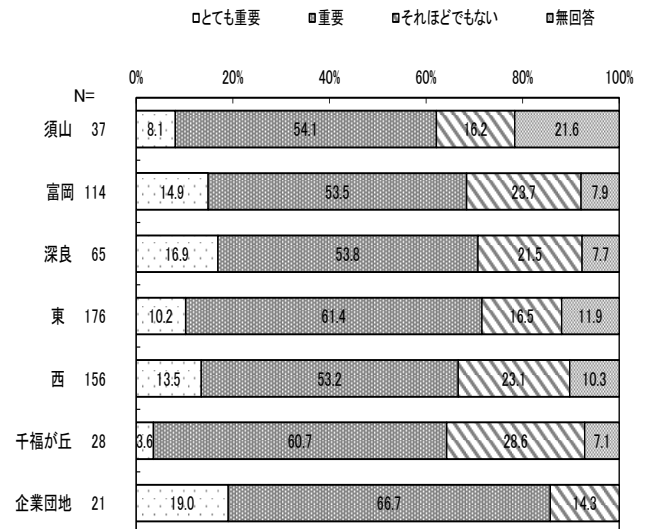
【性別】



【年代別】



【居住地別】

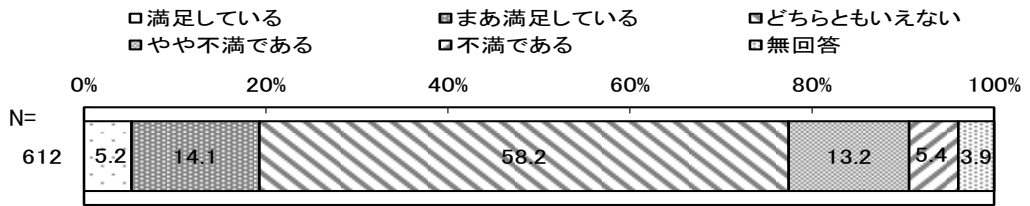


【問2 満足度】

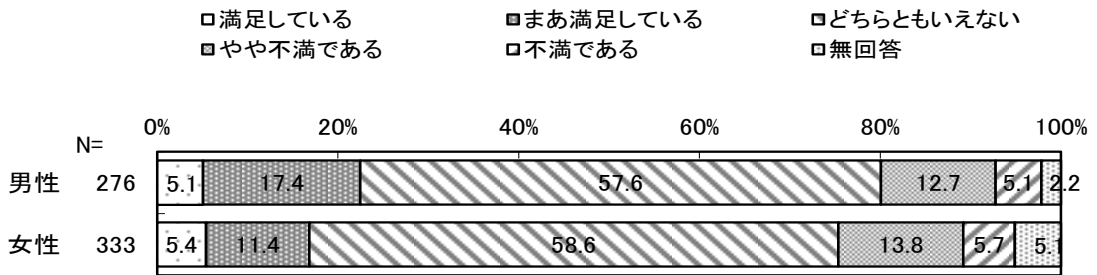
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合と、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合はほぼ同じです。年代別にみると、70歳以上と30～34歳で満足度の割合が比較的高い一方、50～54歳では不満度の割合が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、65歳以上の夫婦のみと家族成長期Cの満足度は約3割と高い一方、65歳未満の夫婦のみでは不満度が高くなっています。

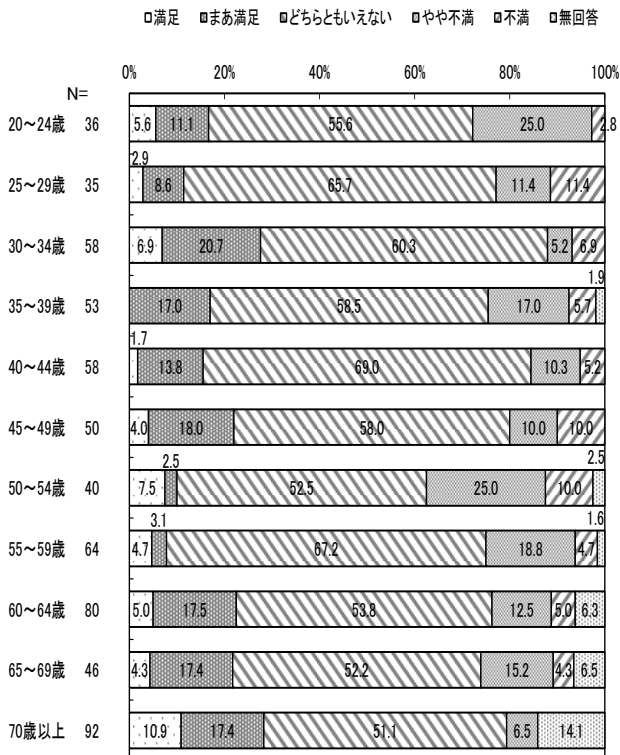
【全体】



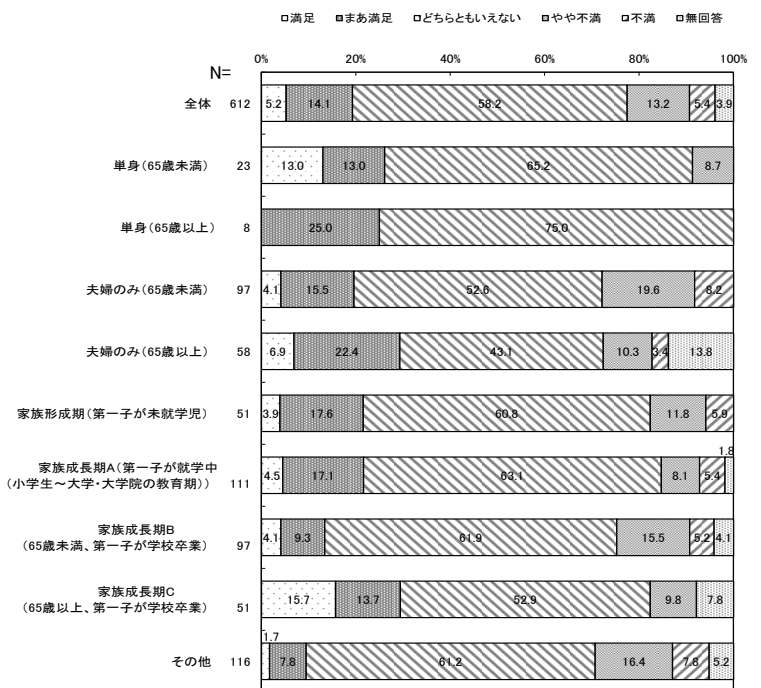
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

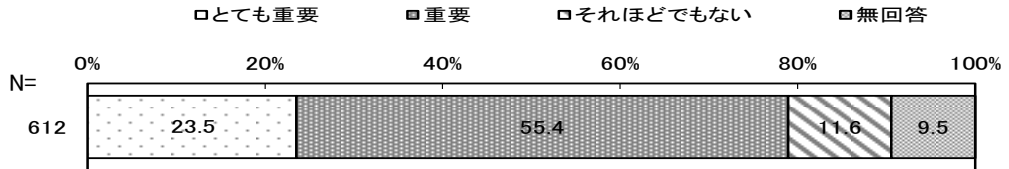


【問 2 重要度】

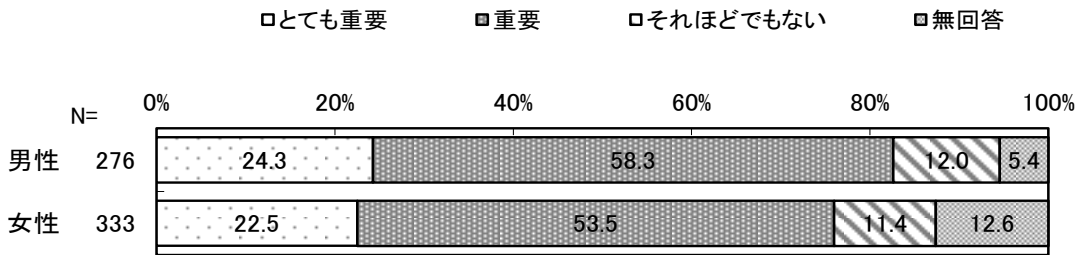
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は約 8 割です。年代別で見ると、55～59 歳で重要度の割合がやや低い傾向が見られます。

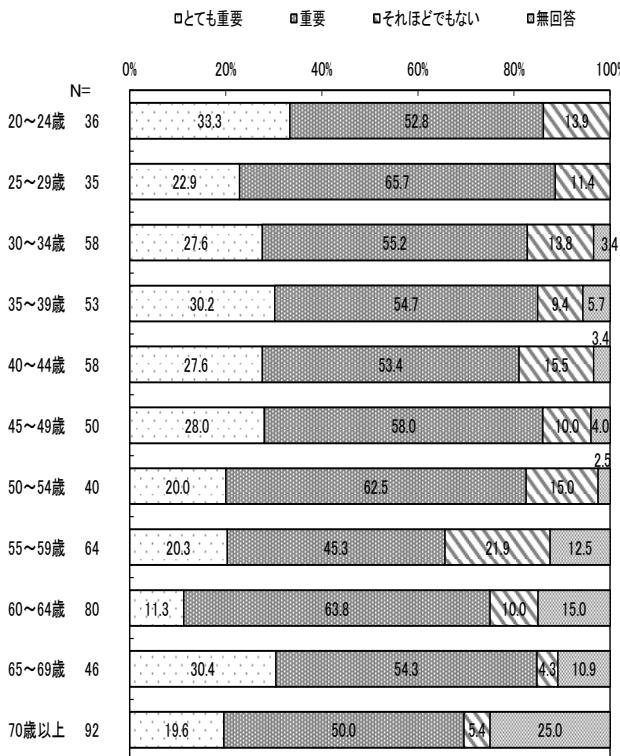
【全体】



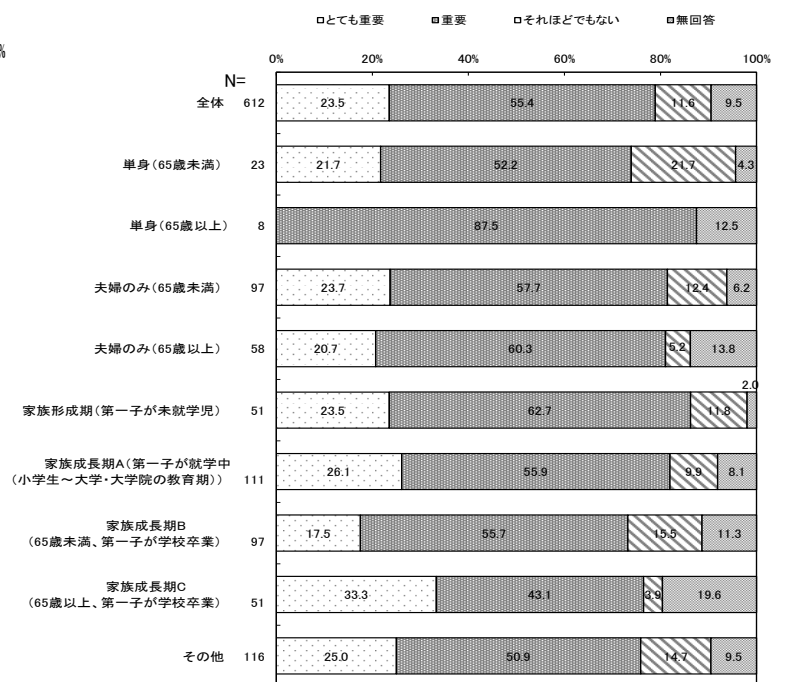
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

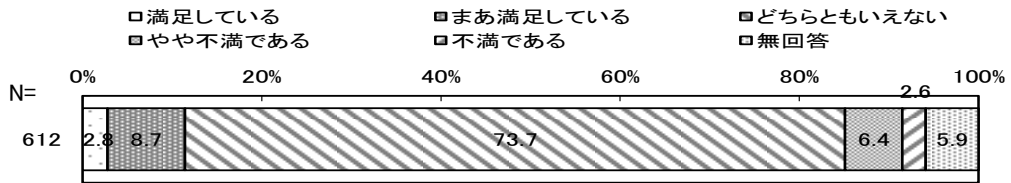


【問2 満足度】

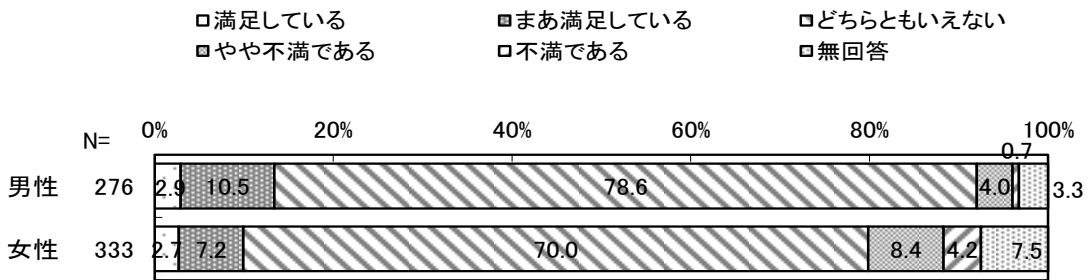
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

全体で見ると、「どちらともいえない」が7割を超えています。年代別にみると、45～64歳の年代で「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合満足の方が高いです。一方、30～34歳では満足度が比較的高い傾向が見られます。ライフステージ別では、単身（65歳未満）で満足度の割合が高いです。

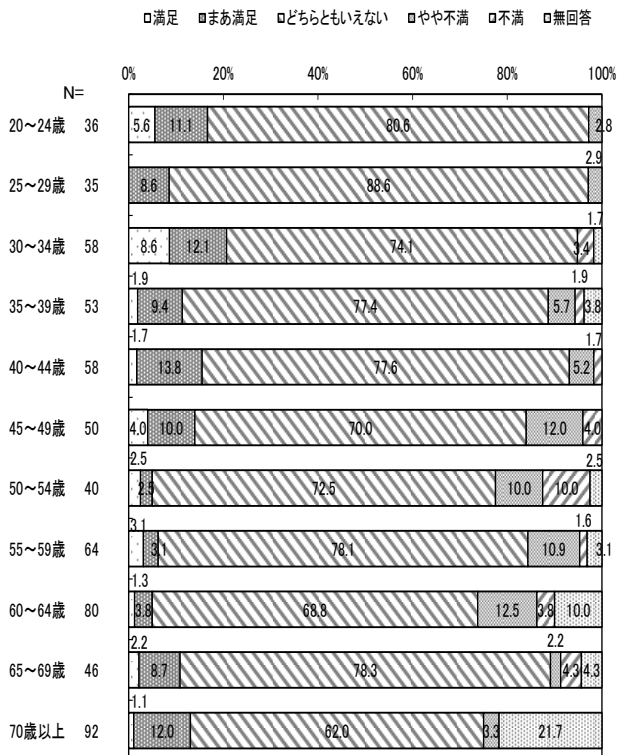
【全体】



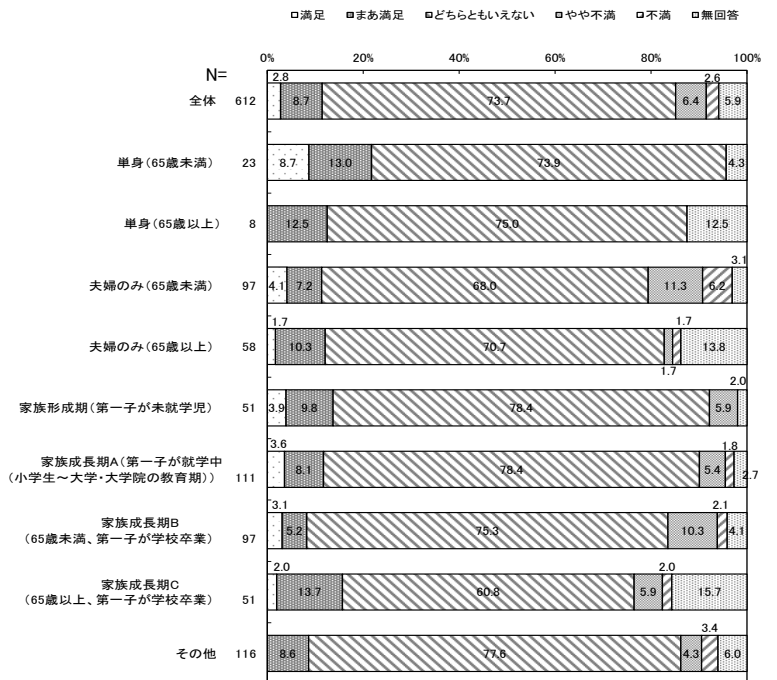
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

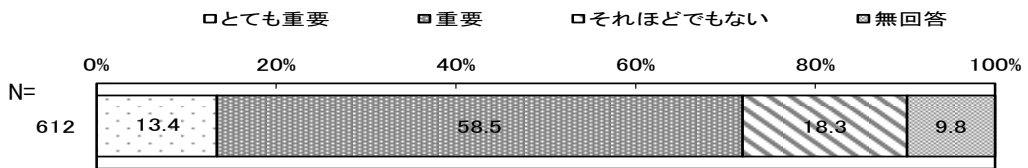


【問 2 重要度】

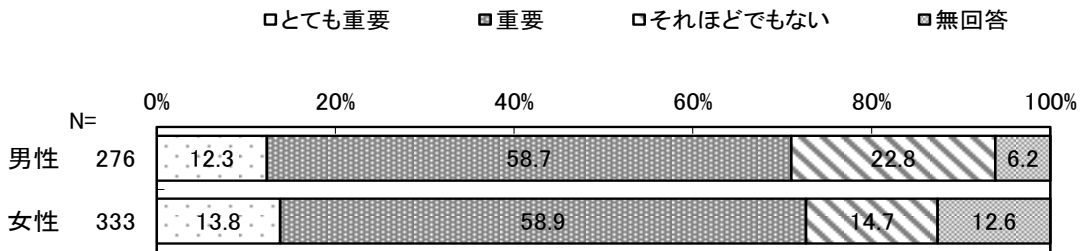
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

全体で見ると、「とても重要」の割合が 13.4%と少し低くなっています。年代別で見ると、20～29歳と45～54歳で「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が高く、特に25～29歳では「とても重要」の割合が25.7%と高い傾向が見られます。

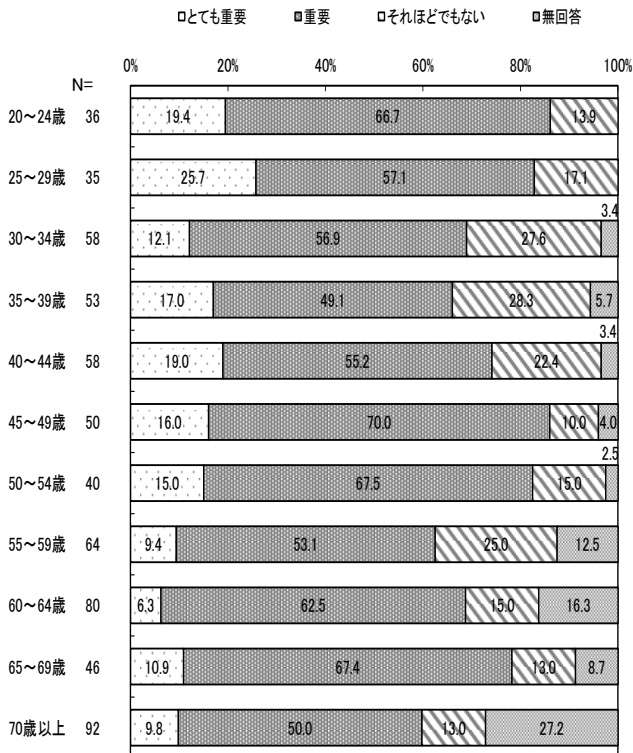
【全体】



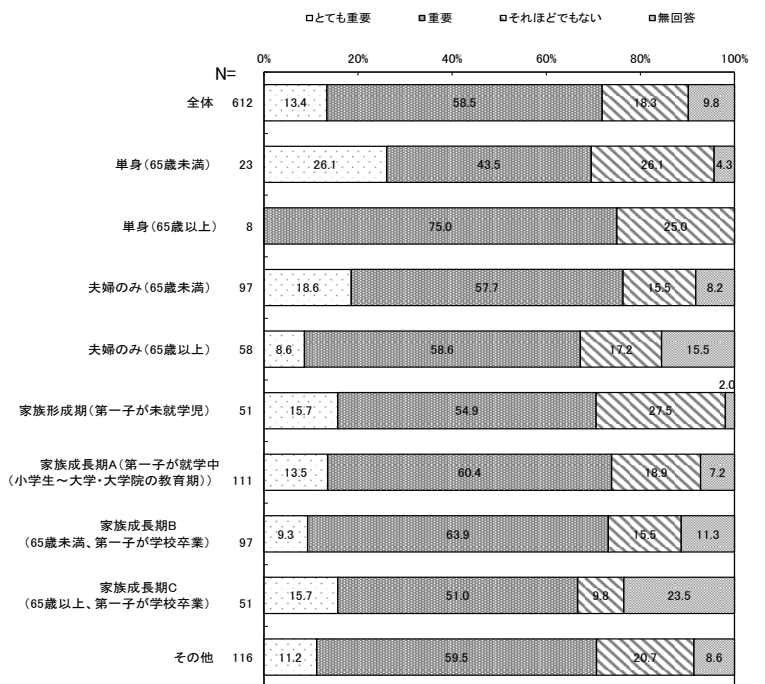
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

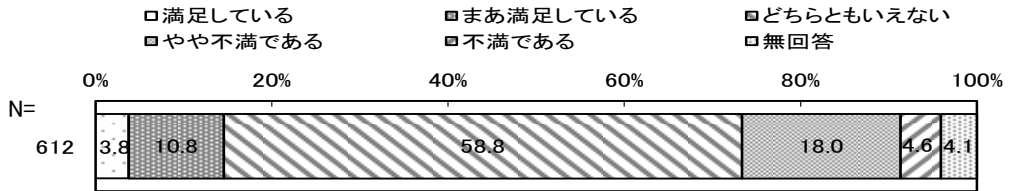


【問2 満足度】

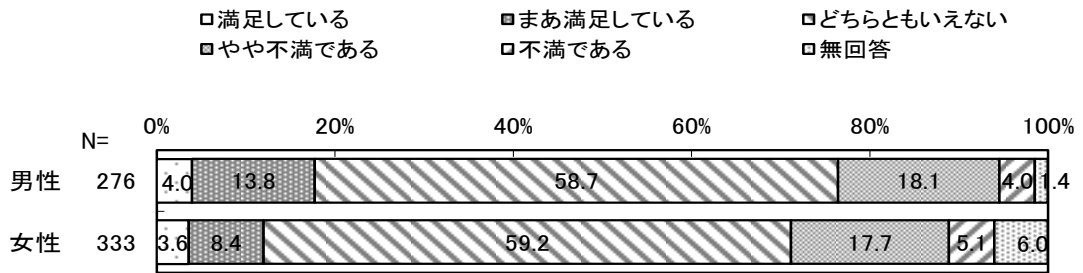
ス ごみの不法投棄や公害への対策

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は22.6%で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。性別でみると、女性より男性の方が満足度が高いです。年代別にみると、30～39歳では、不満度の割合より満足度の割合の方が高いです。居住地別によると、企業団地地区での満足度の割合は38.1%と高いですが、他の地域では満足度の割合より不満度の割合が高く、特に千福が丘地区では不満度が3割を超えています。

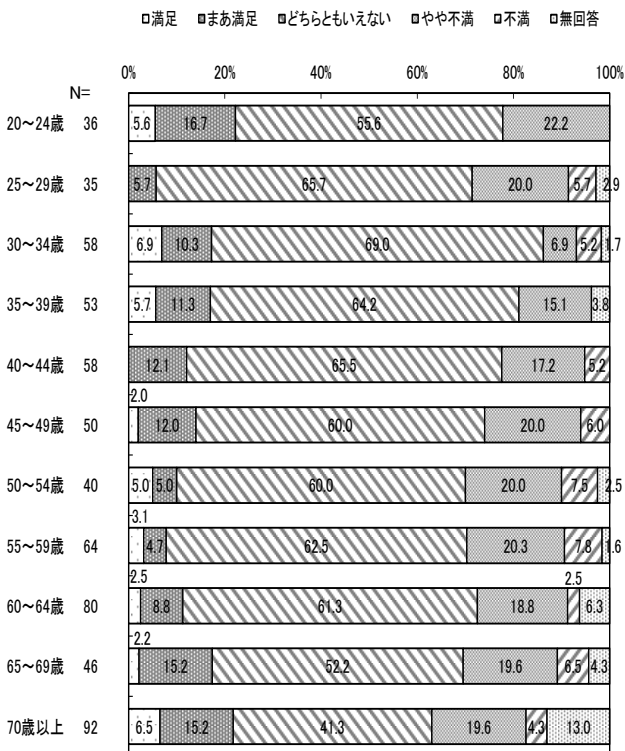
【全体】



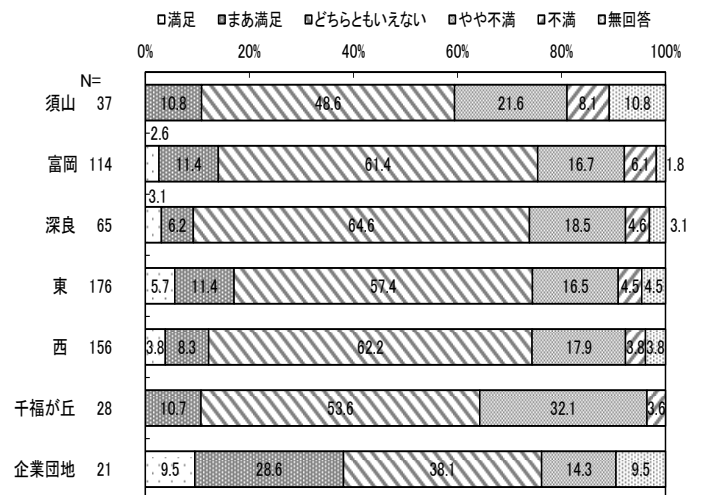
【性別】



【年代別】



【居住地別】

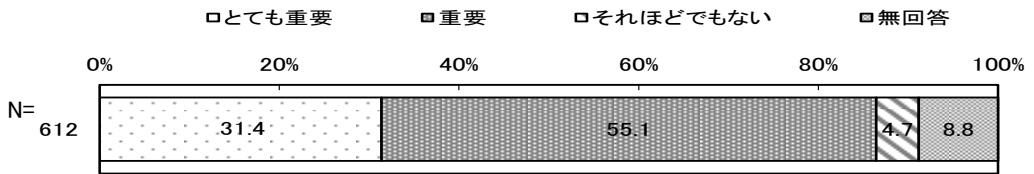


【問 2 重要度】

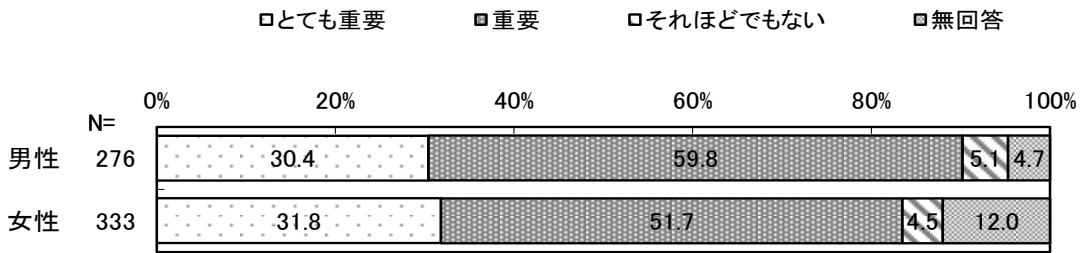
ス ごみの不法投棄や公害への対策

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は 86.5%です。年代別で見ると、20～34 歳と 45～54 歳で重要度の割合が非常に高く、9 割を超えています。居住地別で見ると、重要度の割合が、千福が丘地区と企業団地地区で約 9 割と非常に高い一方、須山地区では 7 割に届かず、比較的低い傾向が見られます。

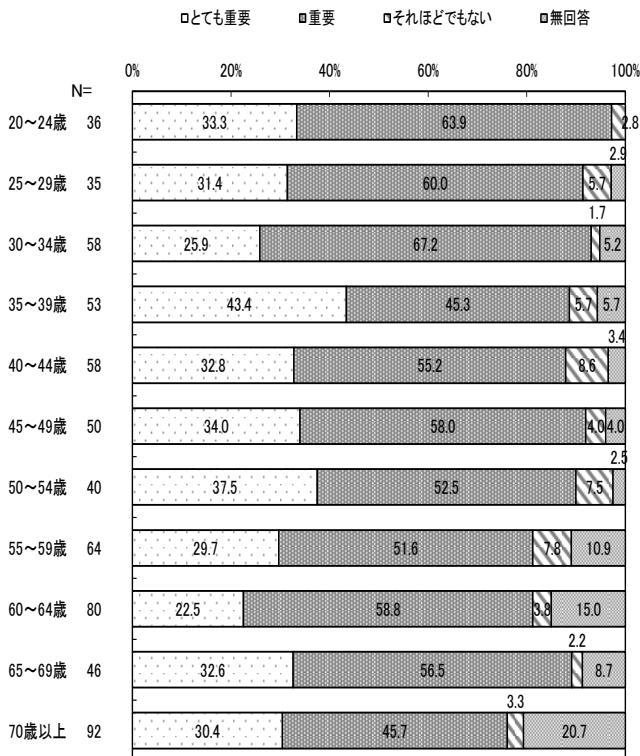
【全体】



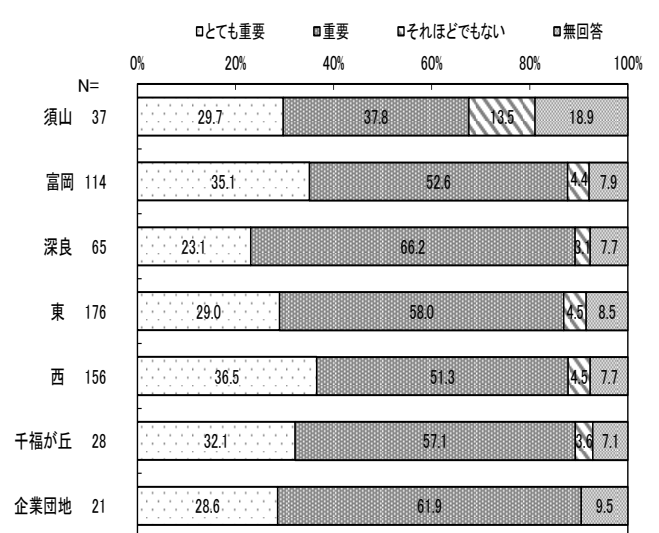
【性別】



【年代別】



【居住地別】

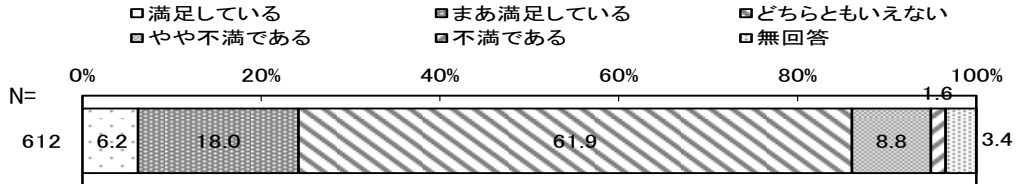


【問2 満足度】

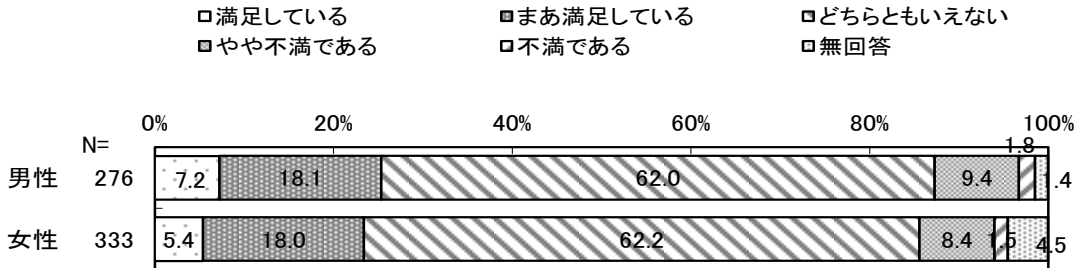
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は24.2%で、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度より高くなっています。年代別でみると、20～24歳と65歳以上で満足度が3割以上と高い傾向です。ライフステージ別でみると、65歳以上の単身と家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）の世帯での満足度が4割以上と高くなっています。

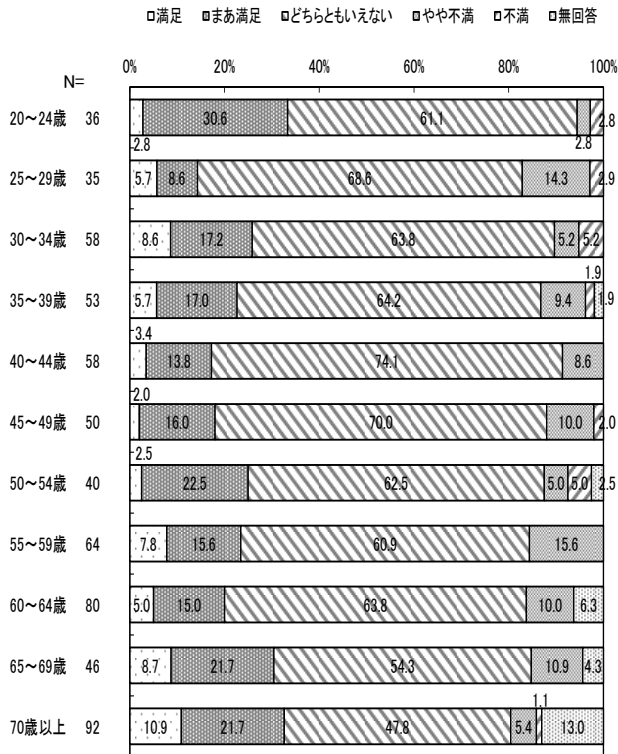
【全体】



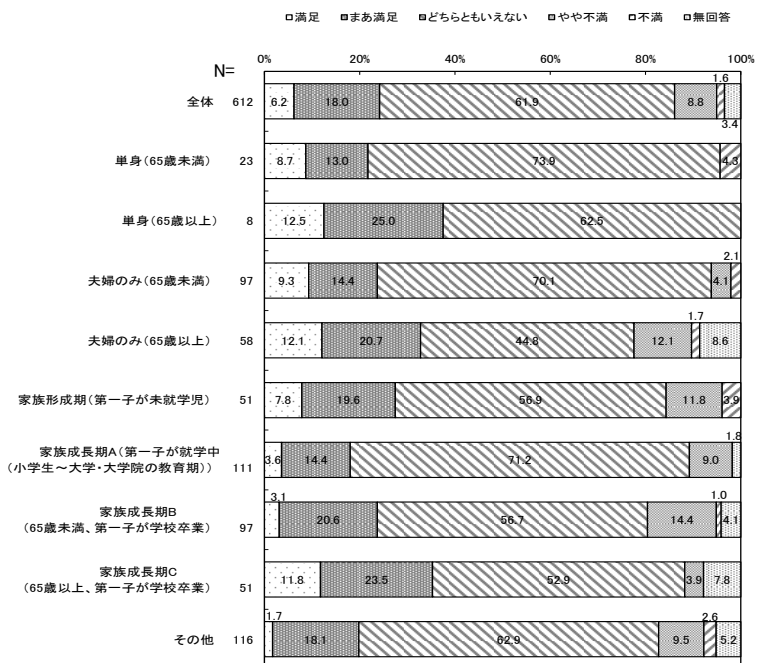
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

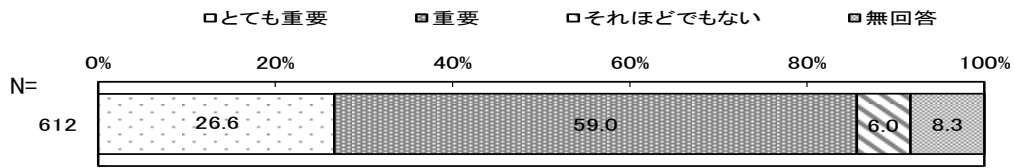


【問2 重要度】

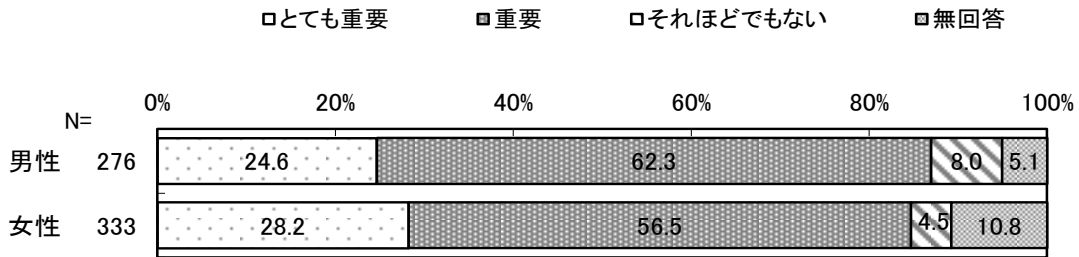
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は85.6%です。ライフステージ別で見ると、65歳以上の単身と家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）の世帯で重要度の割合が高く、35%以上となっています。

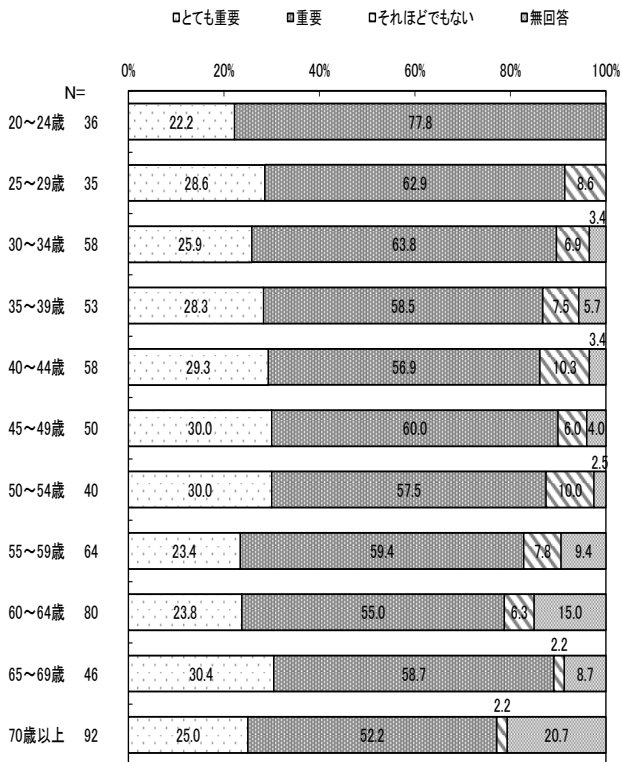
【全体】



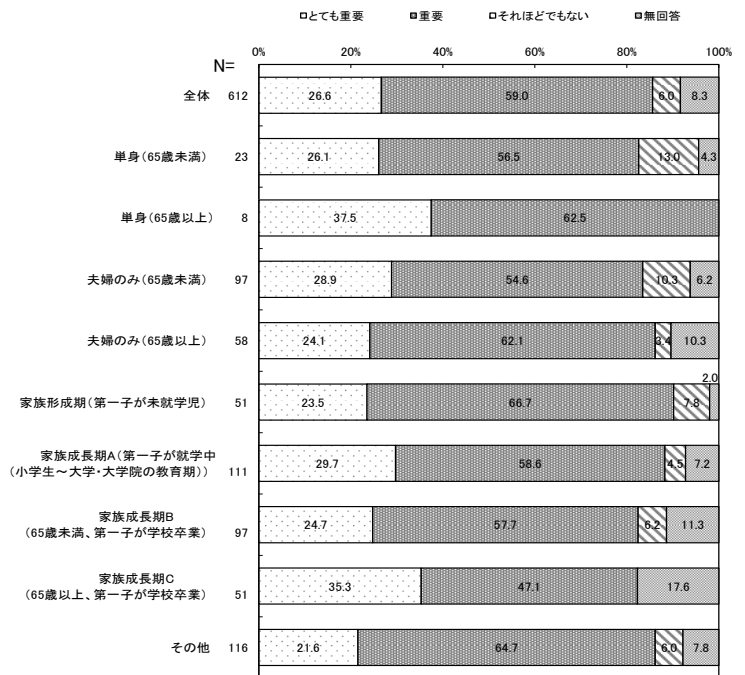
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

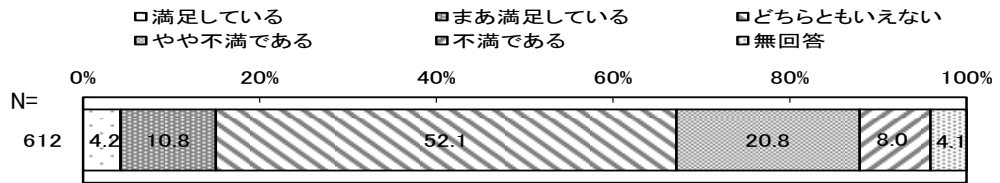


【問2 満足度】

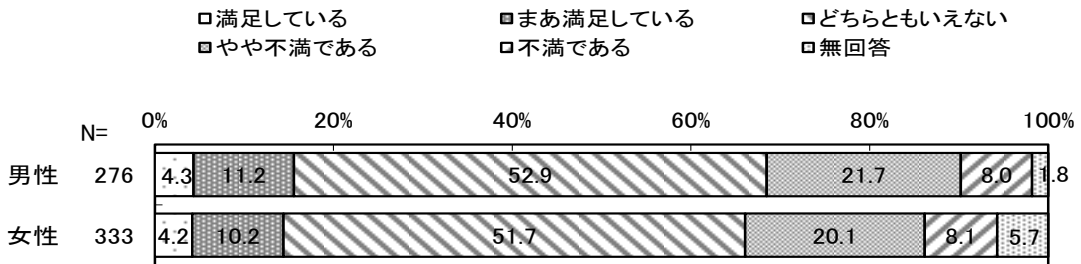
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は28.8%で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。年代別でみると、20～24歳以外では満足度の割合より不満度の割合が高く、特に35～44歳と50～54歳での不満度は4割を超えています。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学）で不満度の割合が特に高い傾向が見られます。

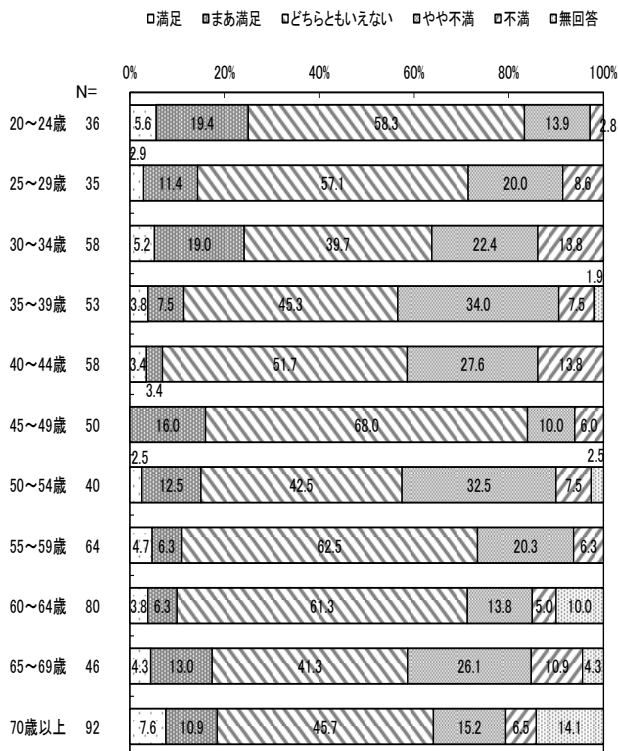
【全体】



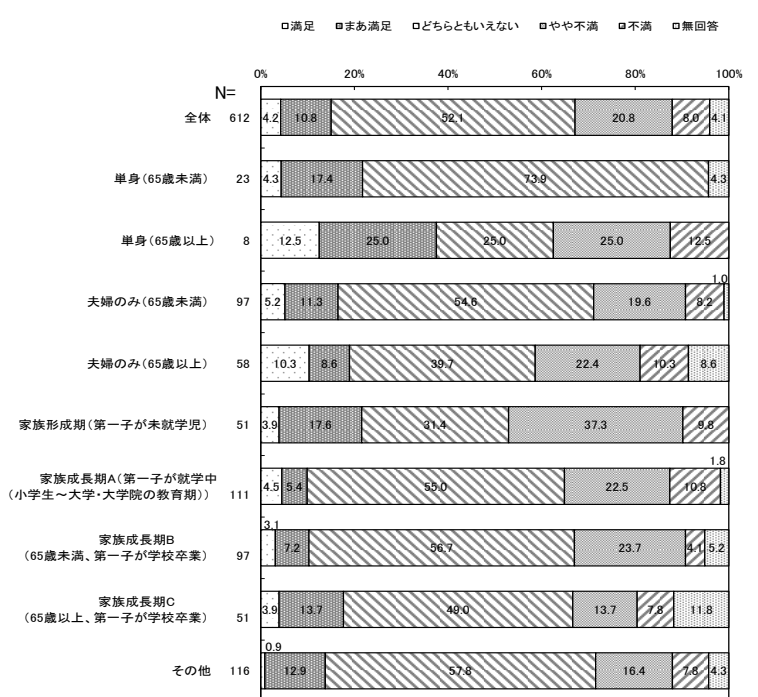
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

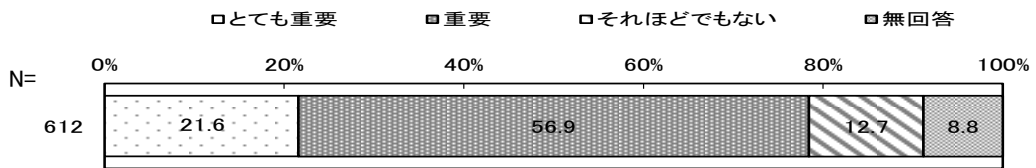


【問 2 重要度】

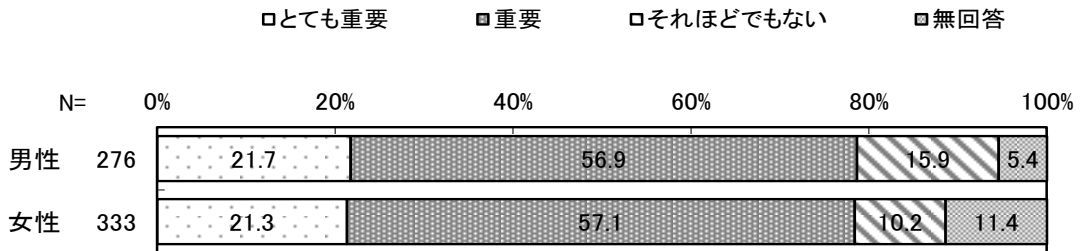
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は約 8 割です。年代別で見ると、30～34 歳で、ライフステージ別で見ると家族形成期（第一子が未就学）でそれぞれ、「とても重要」の割合が 4 割以上あります。

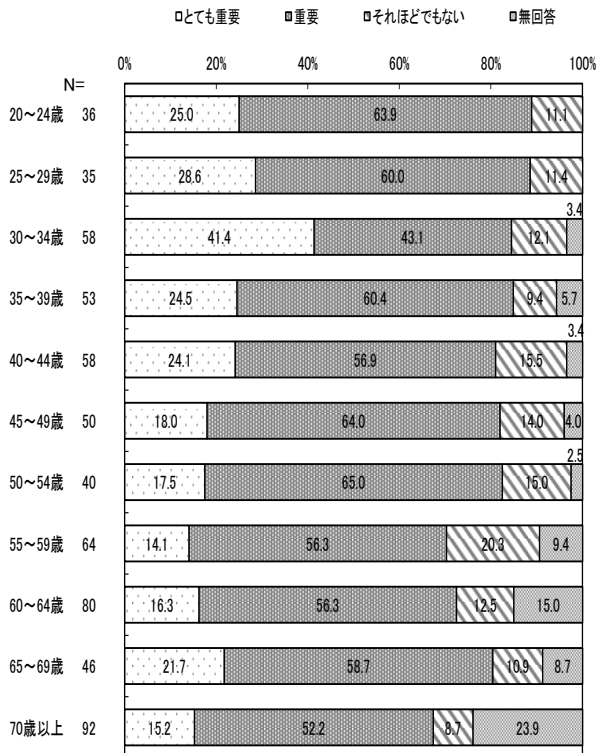
【全体】



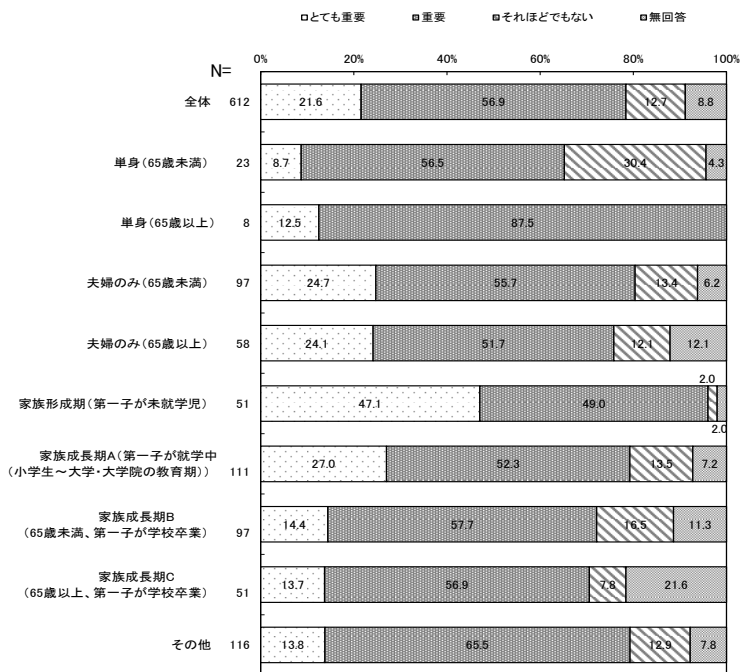
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

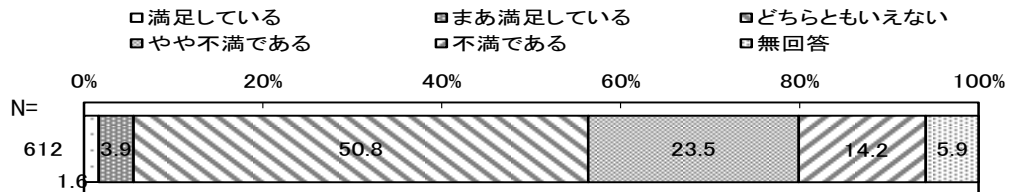


【問 2 満足度】

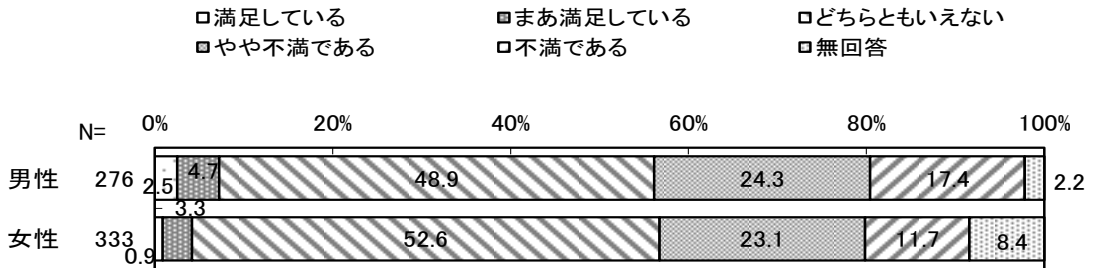
タ 市内の土地利用のバランスの良さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は 37.7%で、高い傾向にあります。年代別にみると、40～44 歳、65～69 歳で不満度の割合が 5 割以上と高い一方、25～29 歳での不満度の割合は 17.2%と低くなっています。居住地別でみると、深良地区での不満度の割合は 5 割以上と高い一方、須山地区での不満度の割合は 24.3%となり、地域で差が見られます。

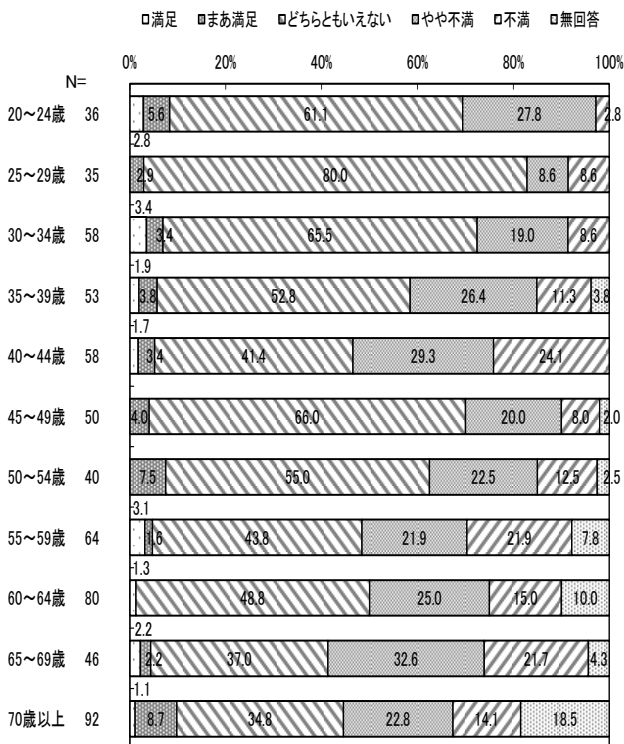
【全体】



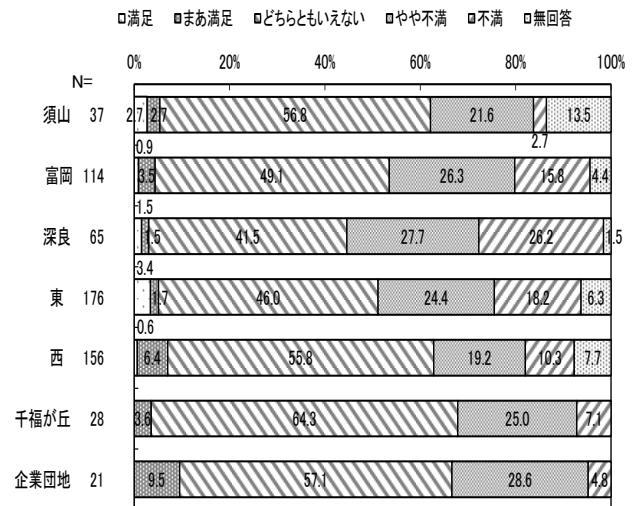
【性別】



【年代別】



【居住地別】

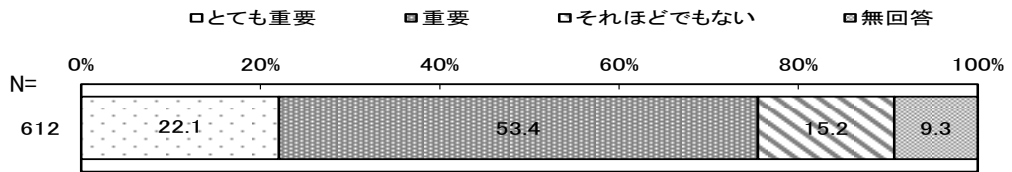


【問 2 重要度】

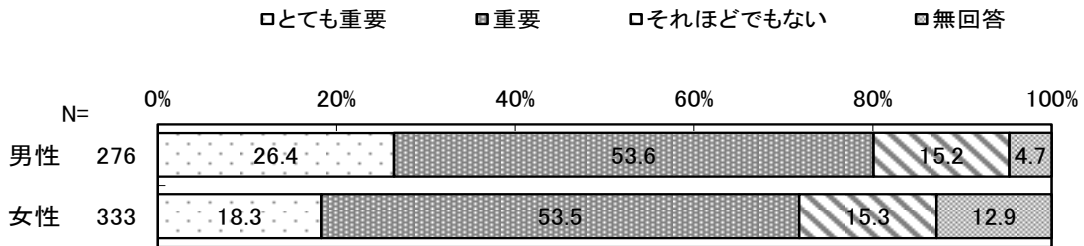
タ 市内の土地利用のバランスの良さ

性別でみると、女性に比べ男性で「とても重要」と答えた割合が高くなっています。年代別でみると、65～69歳で「とても重要」の割合がもっとも高く、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合も約9割と非常に高い傾向です。居住地別でみると、深良地区で「とても重要」の割合が高くなっています。

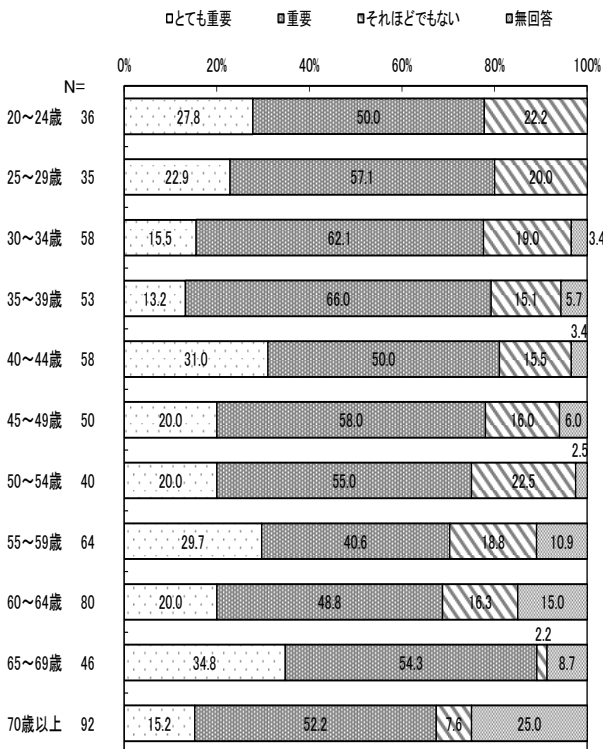
【全体】



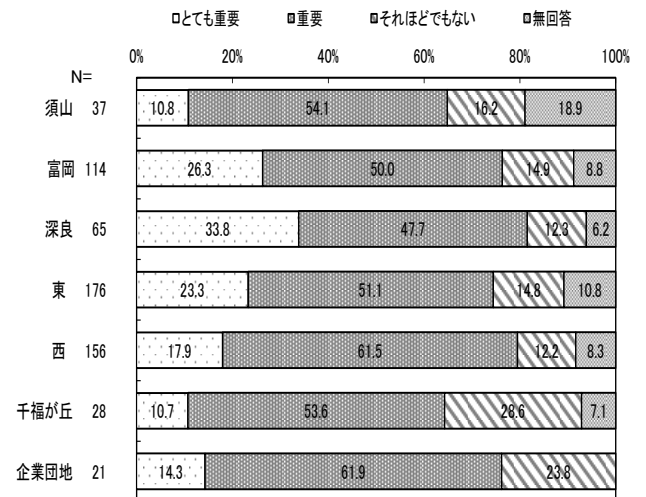
【性別】



【年代別】



【居住地別】

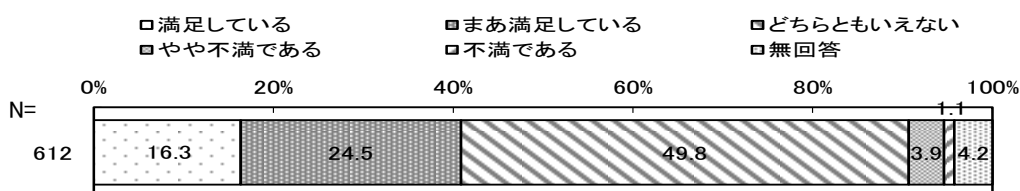


【問2 満足度】

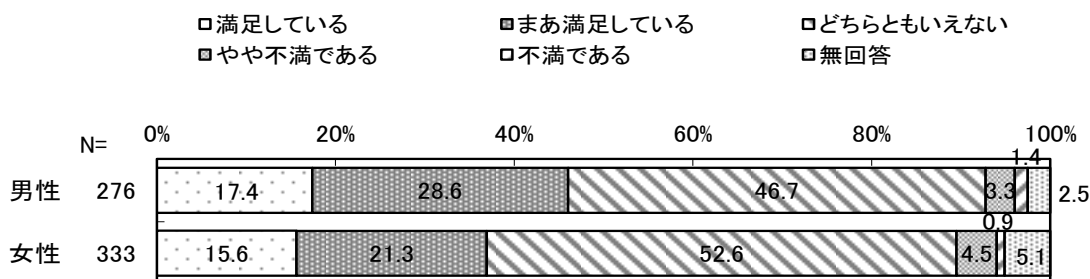
チ 豊かで良質な水道水の確保

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は約4割で、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合よりもかなり高くなっています。性別でみると、女性に比べ男性で満足度の割合が高いです。年代別にみると、20～24歳、65～69歳での満足度の割合が5割以上と高くなっています。居住地別でみると、千福が丘地区での満足度の割合が32.1%とやや低くなっています。

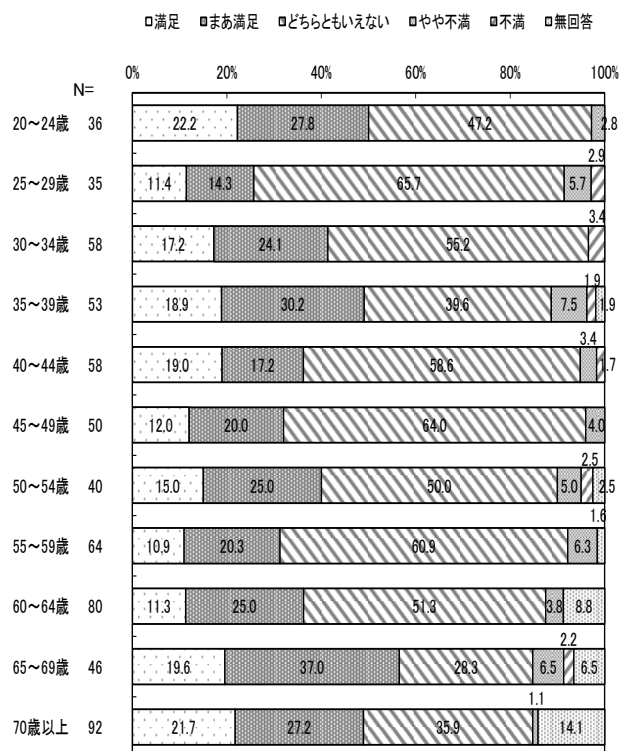
【全体】



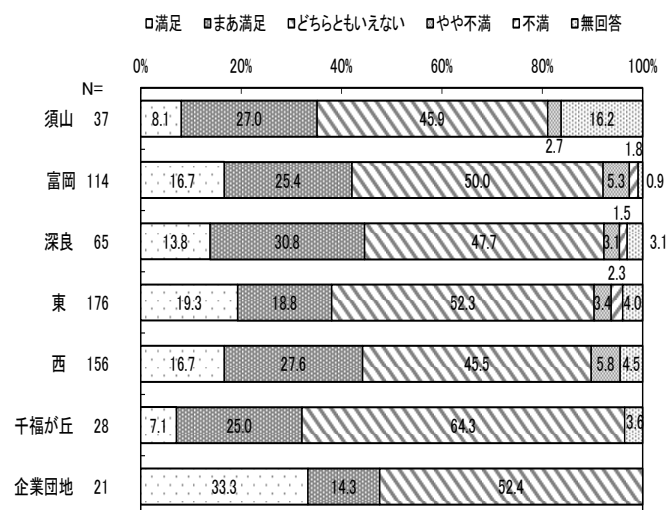
【性別】



【年代別】



【居住地別】

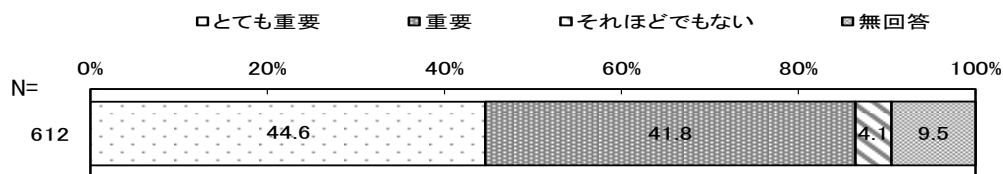


【問 2 重要度】

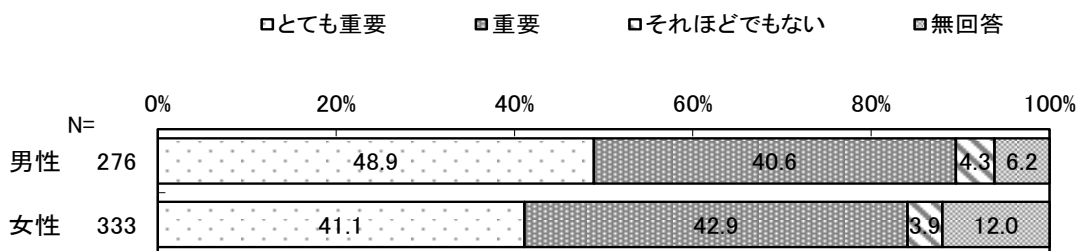
チ 豊かで良質な水道水の確保

全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が非常に高く約9割あります。年代別でみると、若い世代で特に高い傾向があります。またライフステージ別でみると、65歳以上の単身・夫婦のみの世帯と家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））でそれぞれ、「とても重要」の割合が5割を超えており、特に高くなっています。

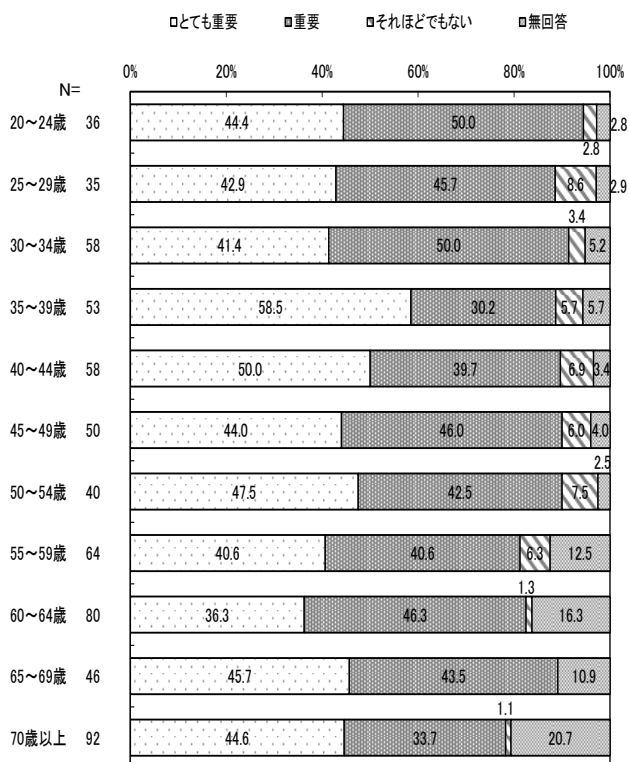
【全体】



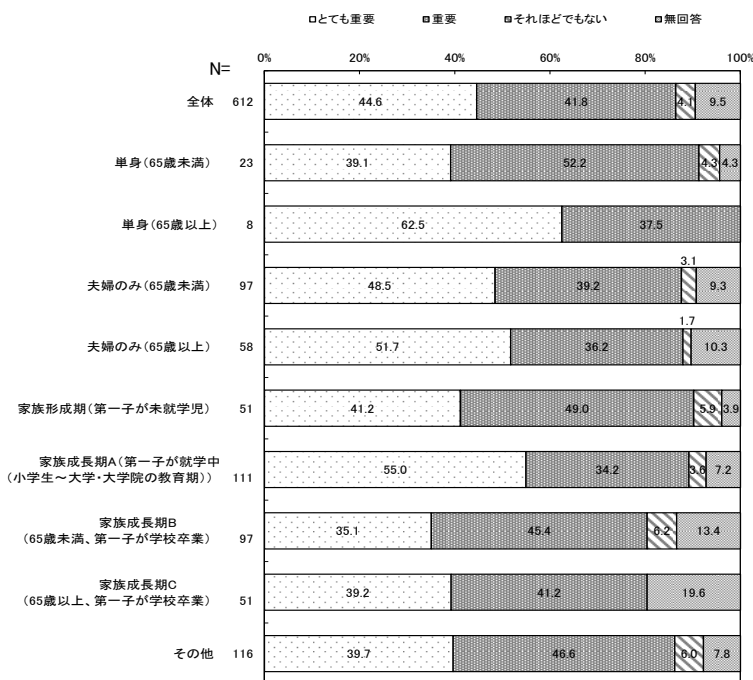
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

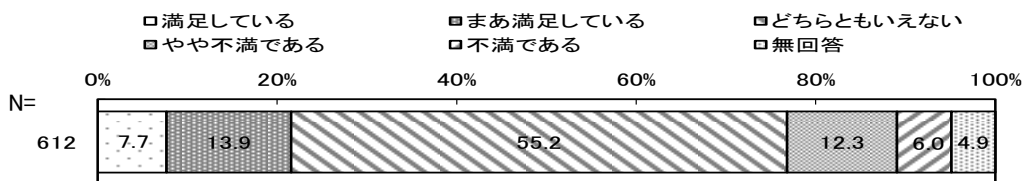


【問 2 満足度】

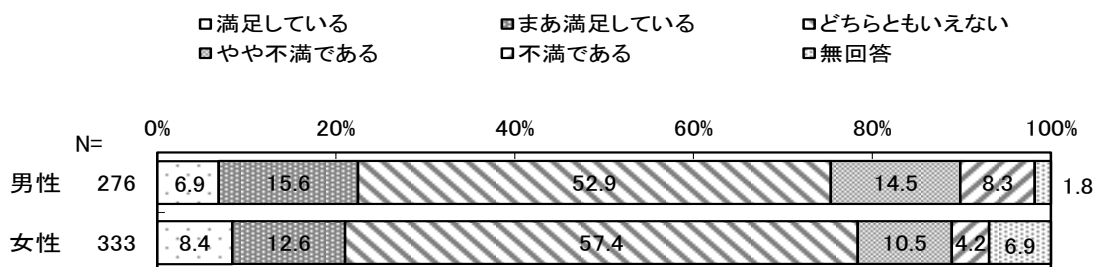
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況

年代別にみると、20～24歳で「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が44.5%と高い一方、40～49歳と60～69歳では「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合の方が満足度の割合を上回っています。居住地別でみると、企業団地地区での満足度の割合は4割以上と高い一方、須山地区、富岡地区、深良地区、千福が丘地区では、不満度の割合の方が満足度の割合を上回っています。

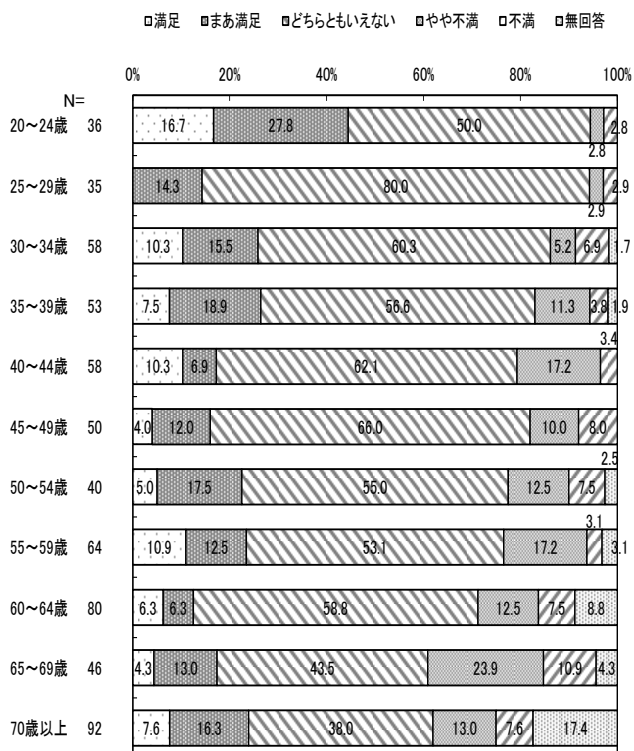
【全体】



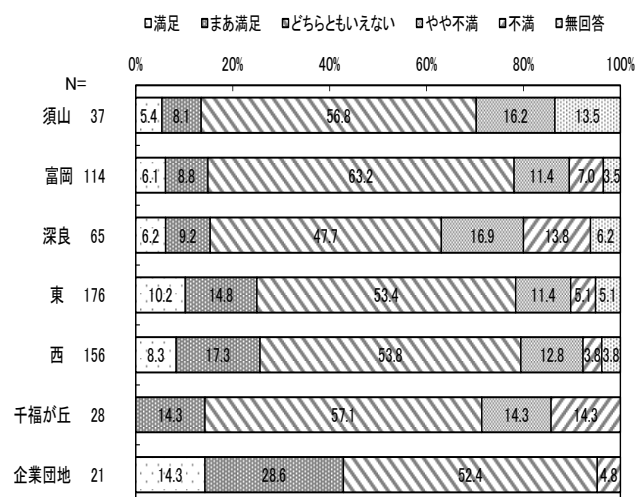
【性別】



【年代別】



【居住地別】

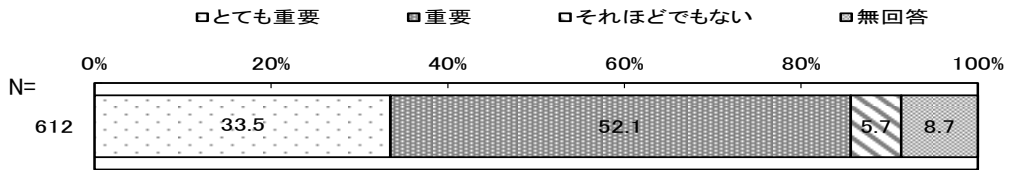


【問2 重要度】

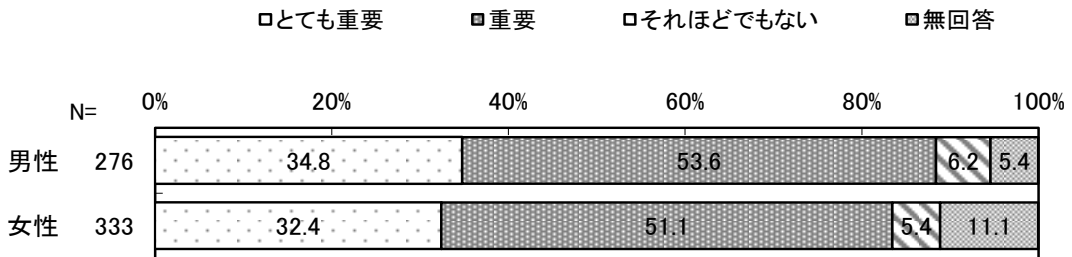
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が85.6%と高くなっています。性別で見ると、35～39歳と65～69歳で「とても重要」の割合が特に高い傾向が見られます。居住地別で見ると、「とても重要」の割合に差が見られ、企業団地地区では52.4%と高い一方、須山地区では16.2%と低くなっています。

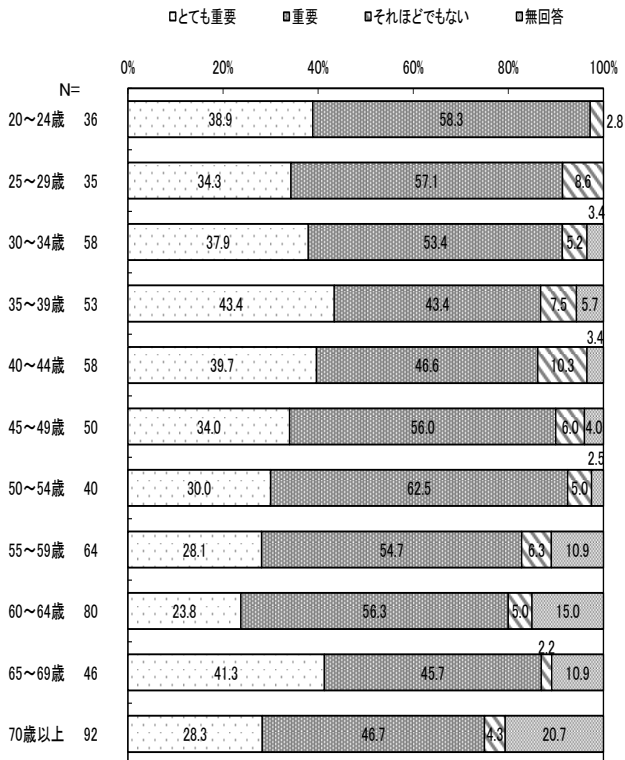
【全体】



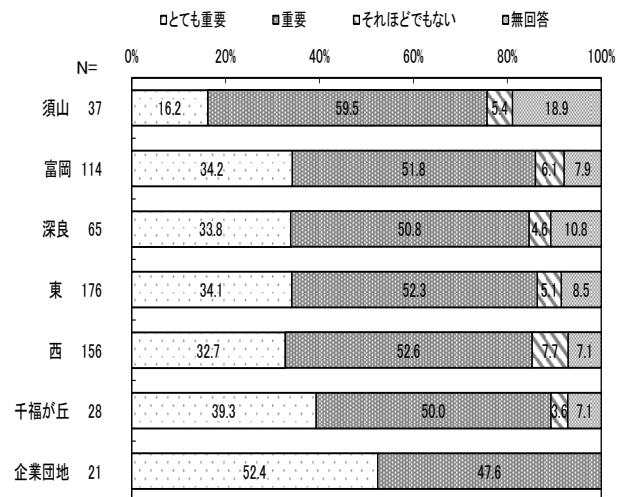
【性別】



【年代別】



【居住地別】

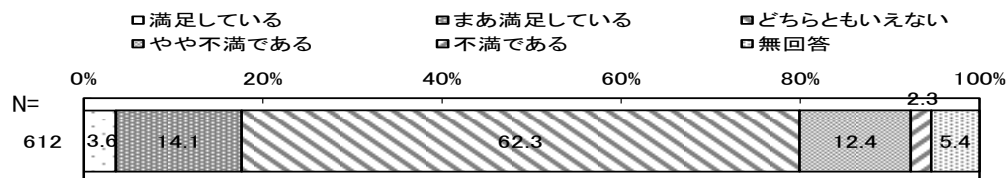


【問2 満足度】

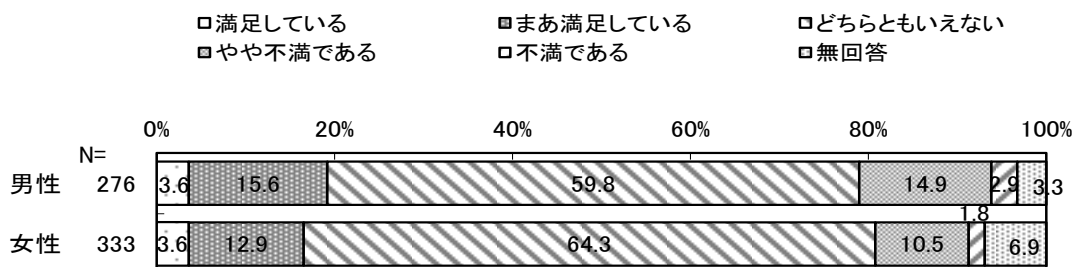
テ 工業を中心とした産業の活性化

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合よりやや高いです。年代別でみると20～24歳、30～34歳で満足度の割合が25%以上と比較的高くなっています。ライフステージ別でみると、単身世帯と家族成長期C(65歳未満、第一子が学校卒業)で満足度の割合がやや高い傾向が見られます。

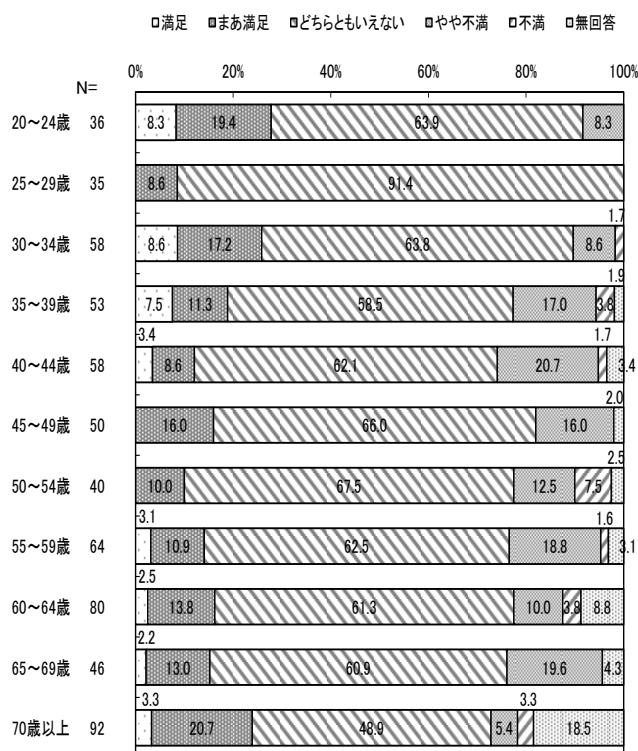
【全体】



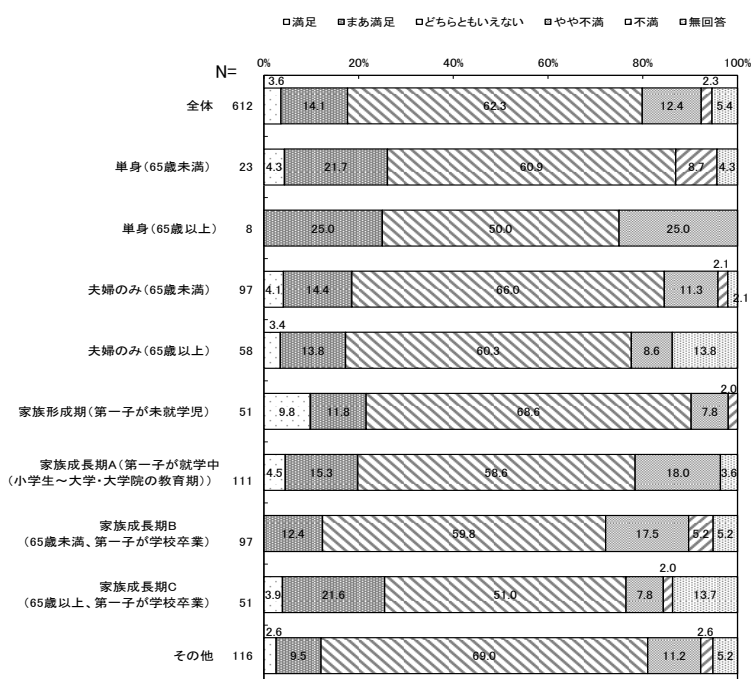
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

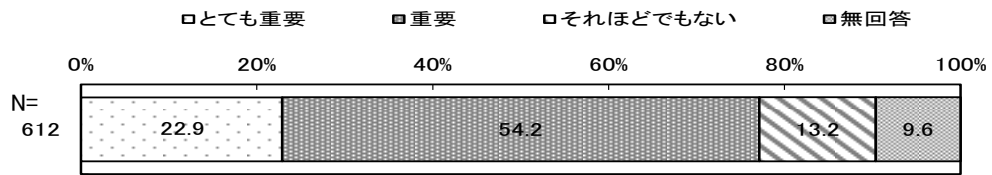


【問 2 重要度】

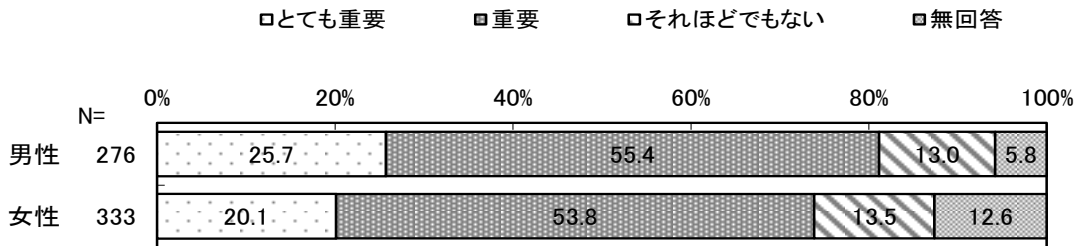
テ 工業を中心とした産業の活性化

性別で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は、女性に比べ男性の方が上回っています。年代別で見ると、65～69歳で重要度の割合が約9割と非常に高くなっています。

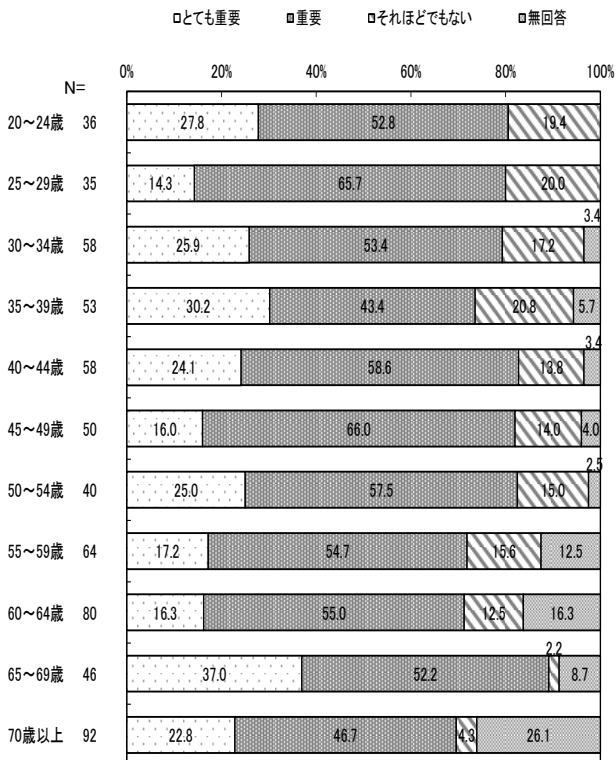
【全体】



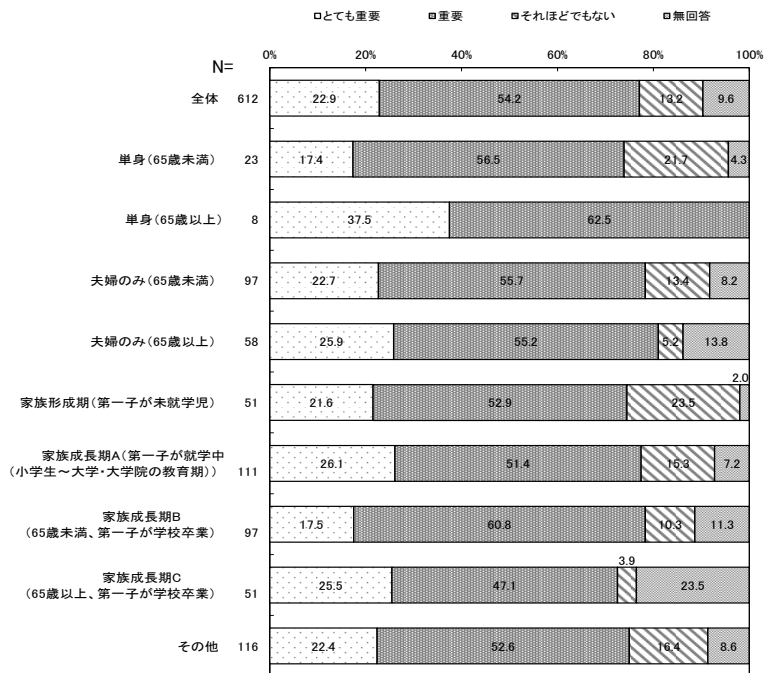
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

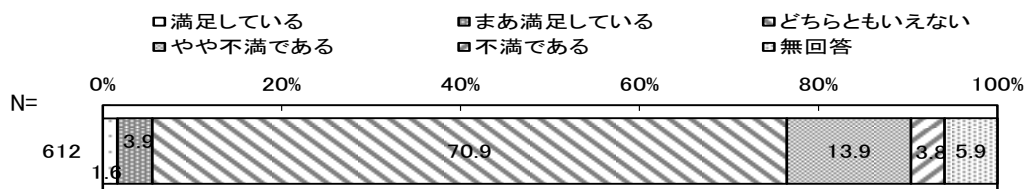


【問2 満足度】

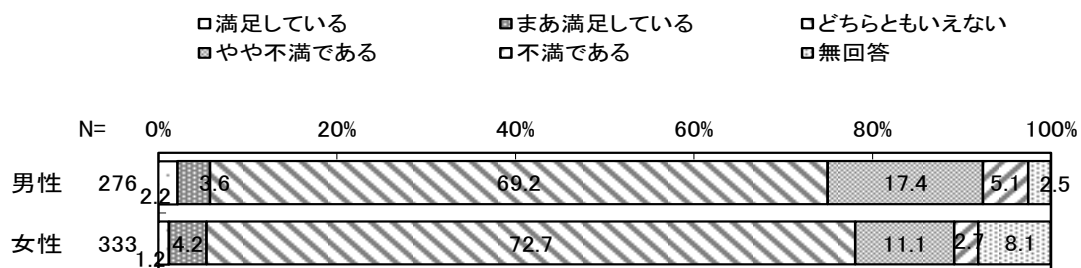
ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。性別でみると、不満度の割合は女性に比べて男性の方が1割ほど高いです。年代別でみると、255～59歳では不満度が高くなっています。

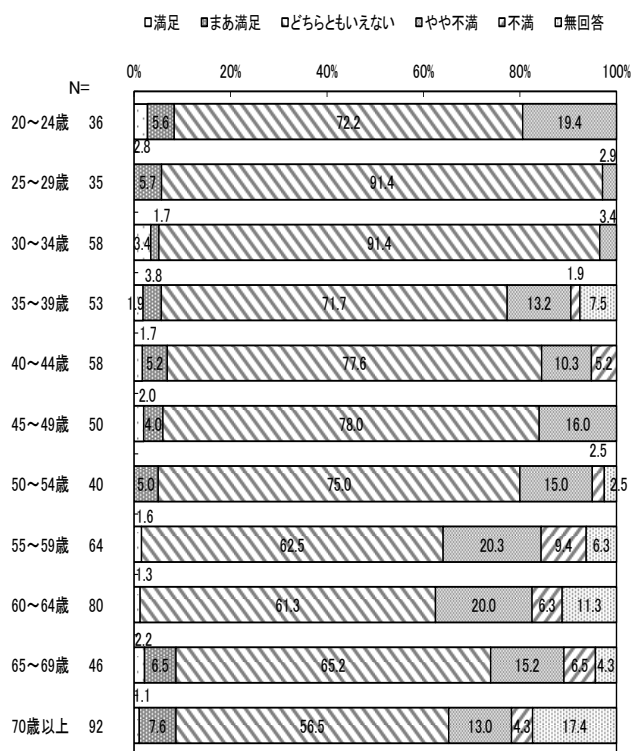
【全体】



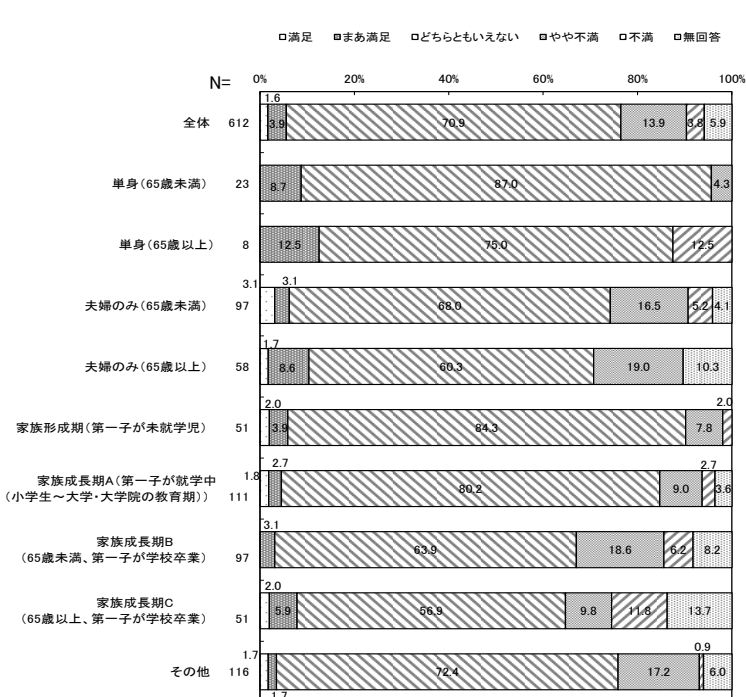
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

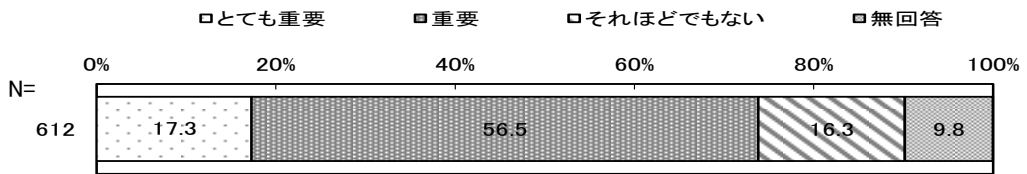


【問 2 重要度】

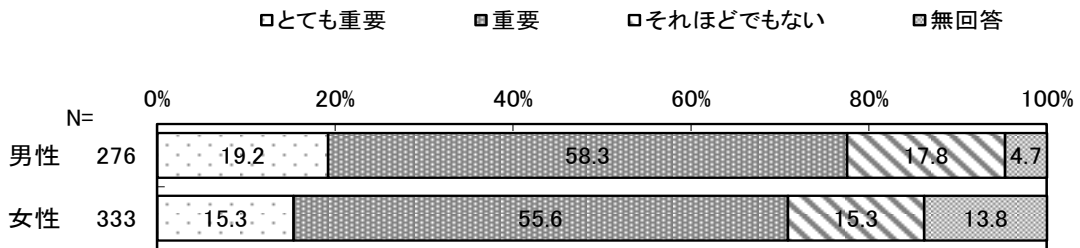
ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

性別で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は、女性に比べ男性の方が高いです。年代別で見ると、20～24歳で「とても重要」の割合が4割以上と高い傾向があります。その一方、25～29歳では、「それほどでもない」の割合が3割を超えています。

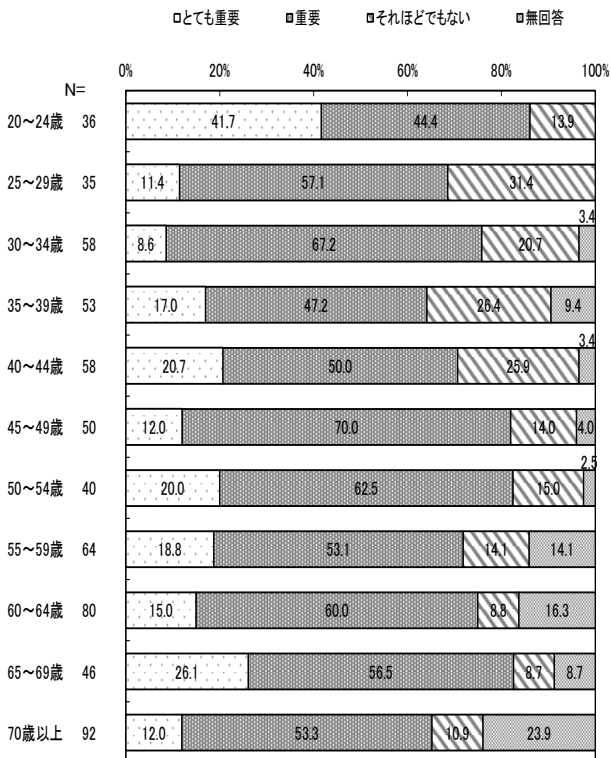
【全体】



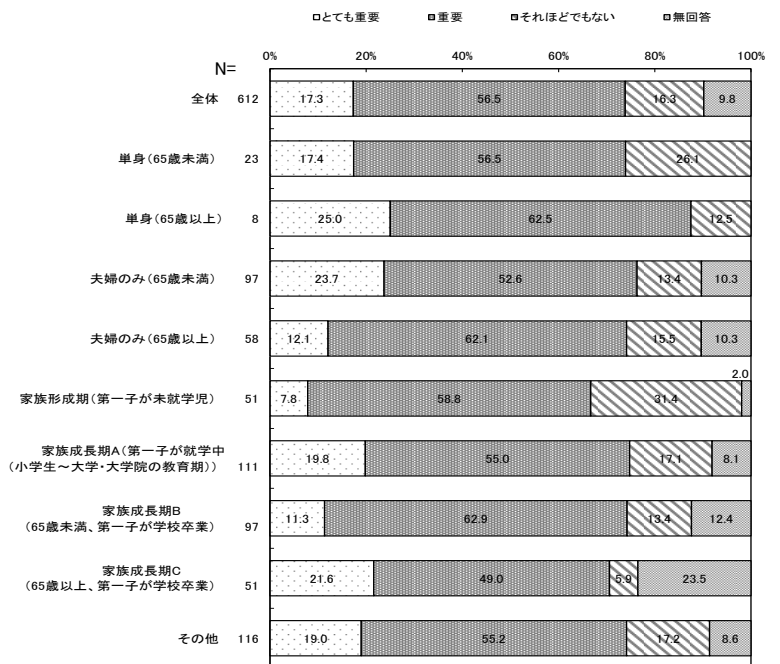
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

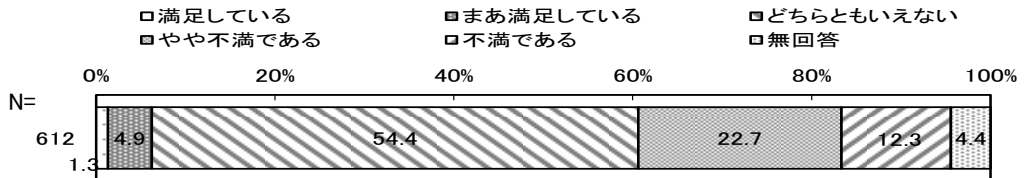


【問2 満足度】

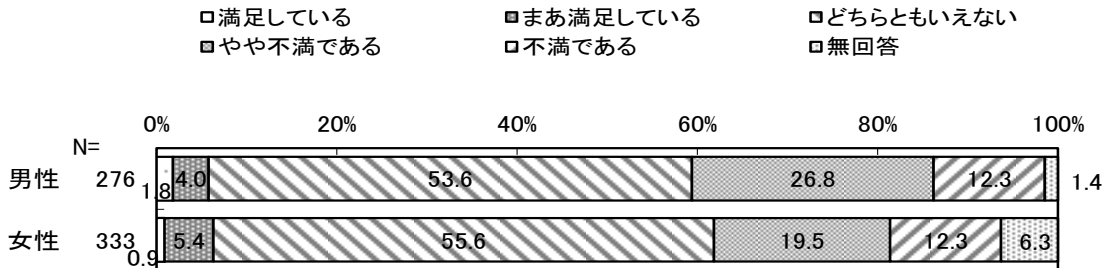
ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は35.0%で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合よりも高くなっています。年代別でみると、40～44歳と50～54歳、65～69歳の世代での不満度が高い傾向です。地域別でみると、深良地区で不満度が高くなっています。

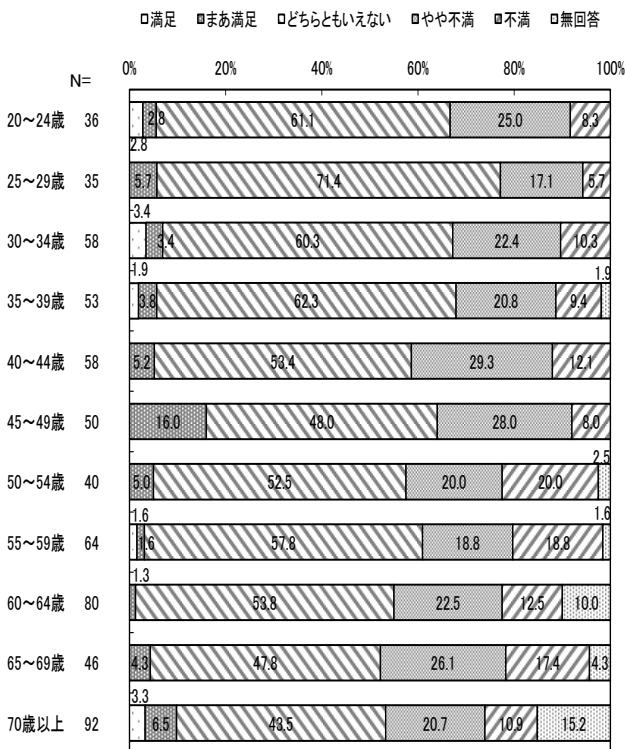
【全体】



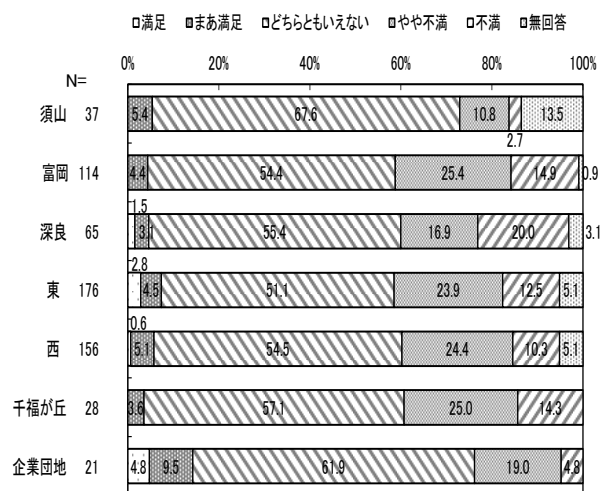
【性別】



【年代別】



【居住地別】

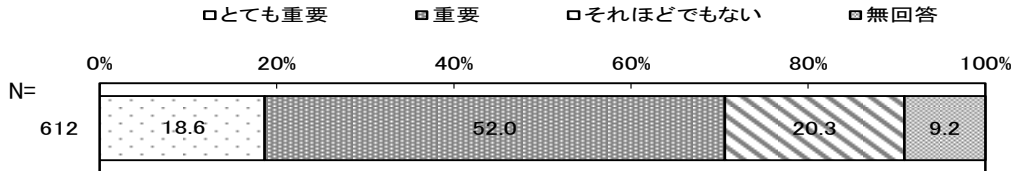


【問2 重要度】

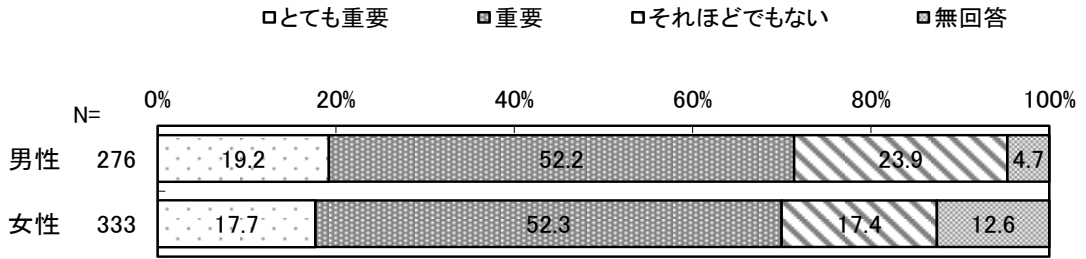
ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合が約7割となっています。年代別でみると、65～69歳で「とても重要」の割合が比較的高く3割を超えています。

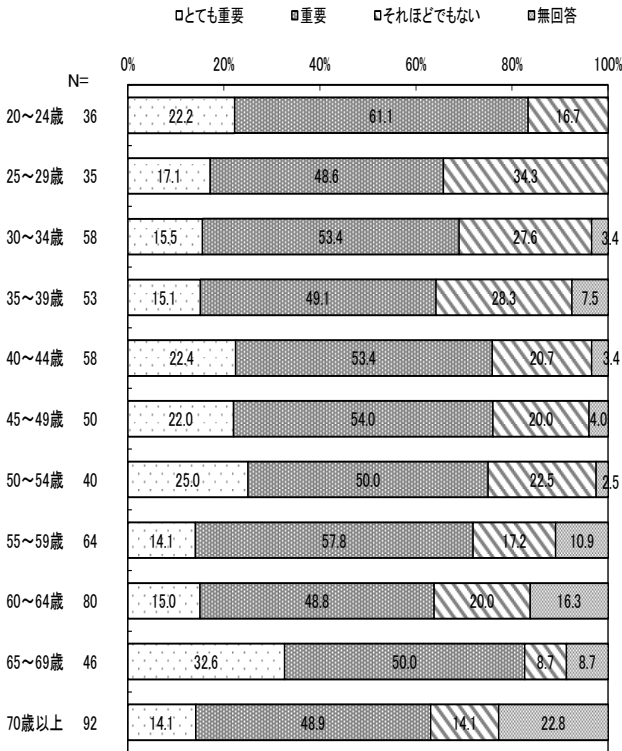
【全体】



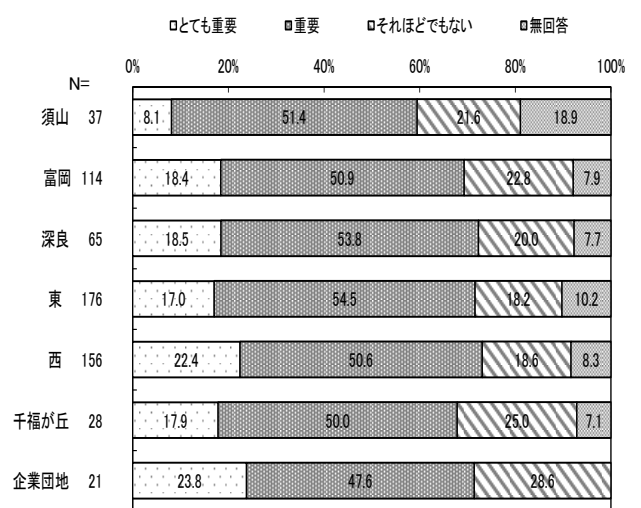
【性別】



【年代別】



【居住地別】

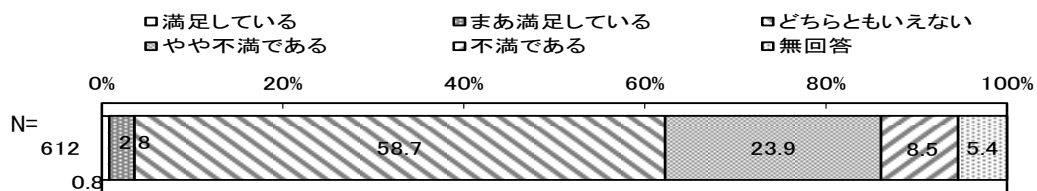


【問2 満足度】

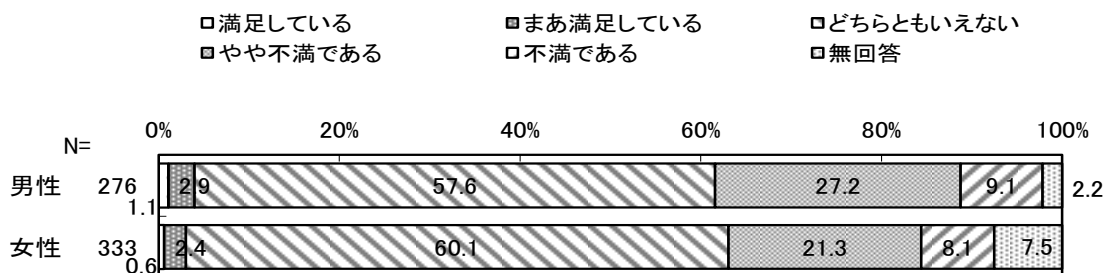
二 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は32.4%で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合よりも高くなっています。性別でみると、女性に比べ男性で、不満度の割合が高いです。年代別でみると、20～24歳、40～44歳と55～59歳で不満度の割合がそれぞれ4割以上と高い傾向です。

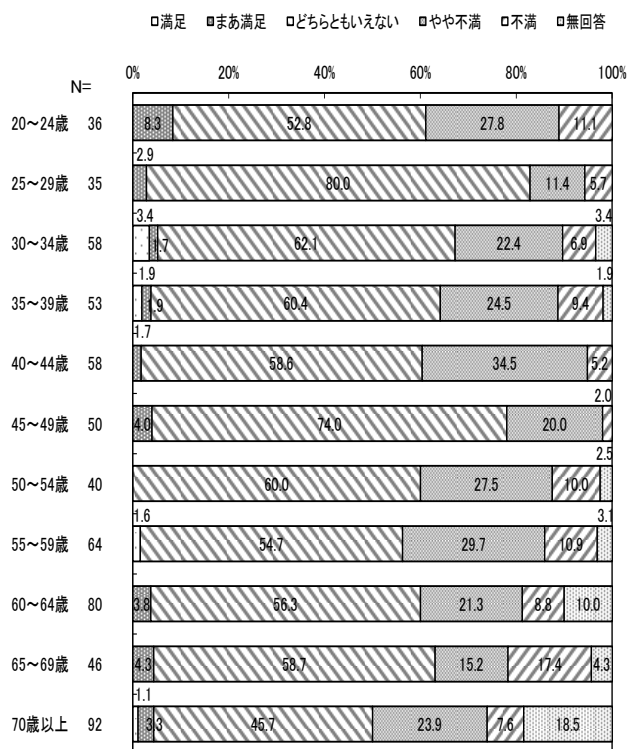
【全体】



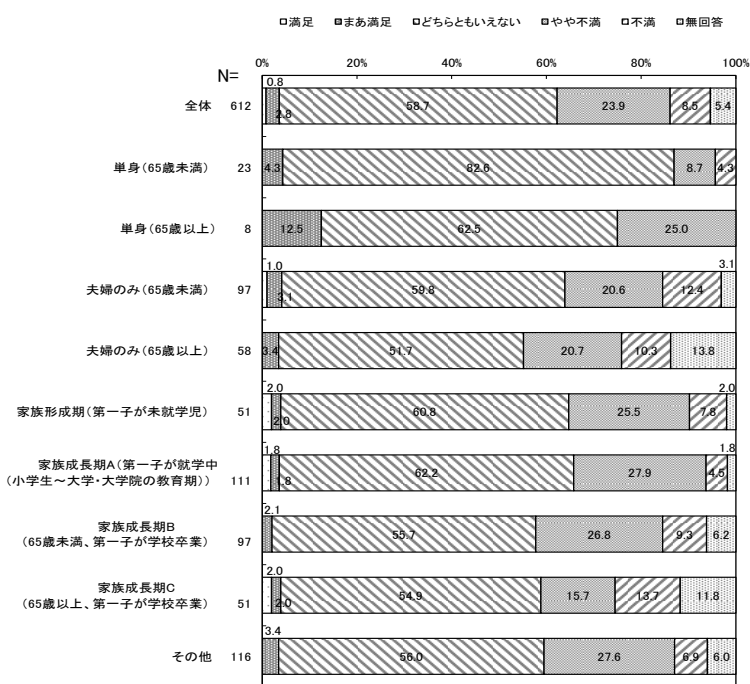
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

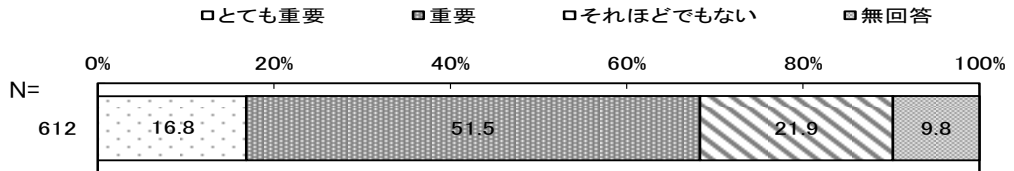


【問 2 重要度】

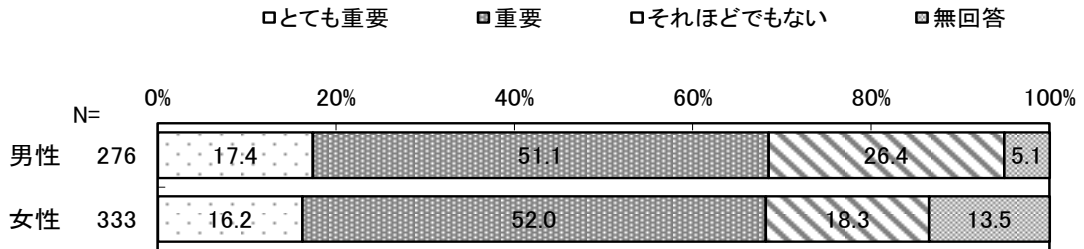
二 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は 68.3%とやや低い傾向です。年代別で見ると、20～24歳と65～69歳で「とても重要」の割合がやや高くなっています。

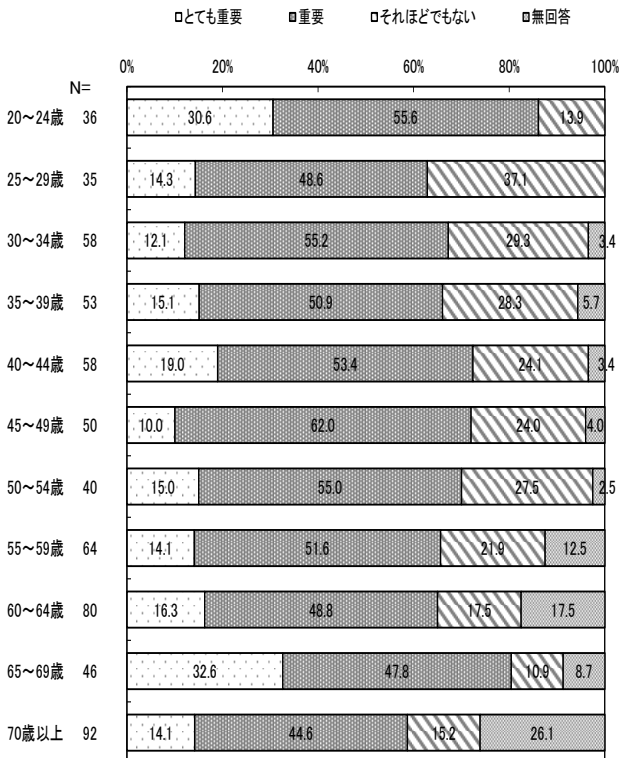
【全体】



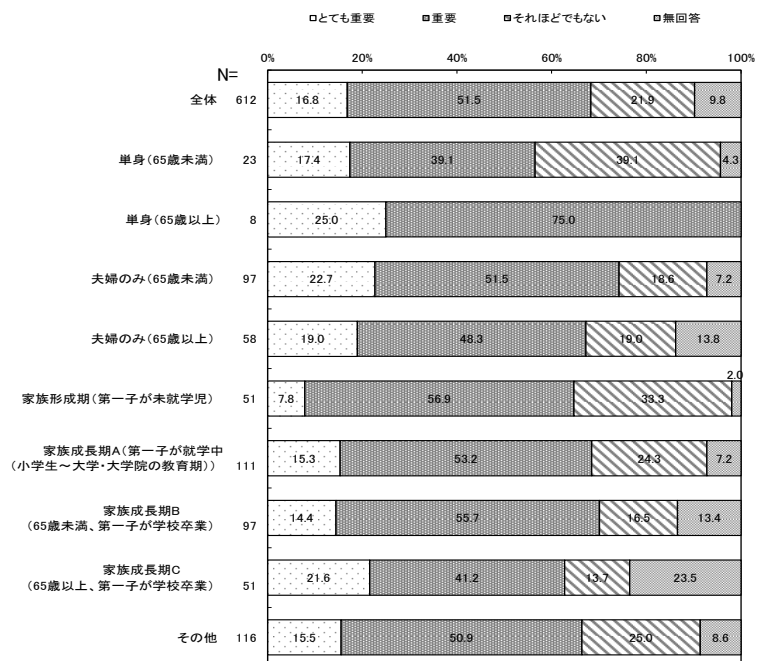
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

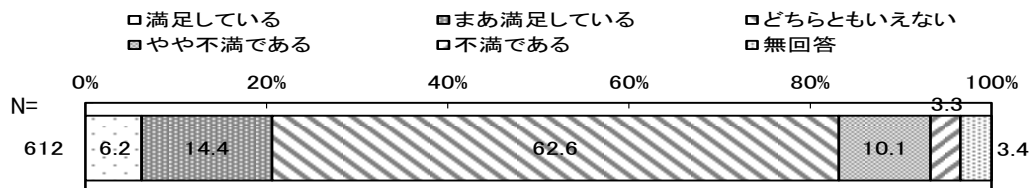


【問2 満足度】

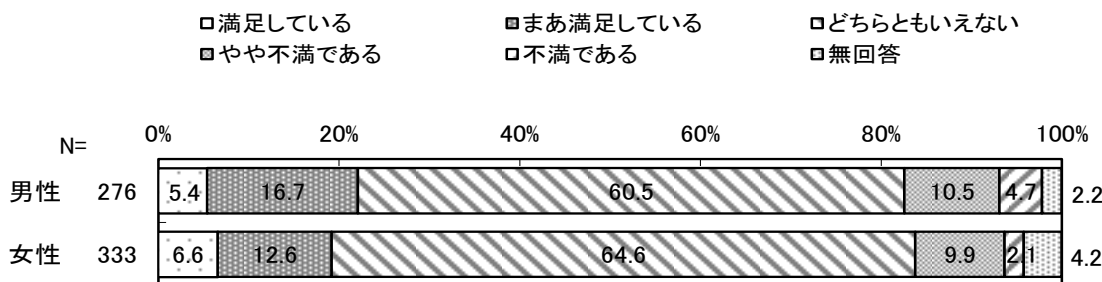
又 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合は、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合よりやや高くなっています。年代別にみると、70歳以上で満足度の割合が高い一方で、50～59歳では満足度の割合よりも不満度の割合の方が高い傾向があります。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳以上）と家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）で満足度の割合が高くなっています。

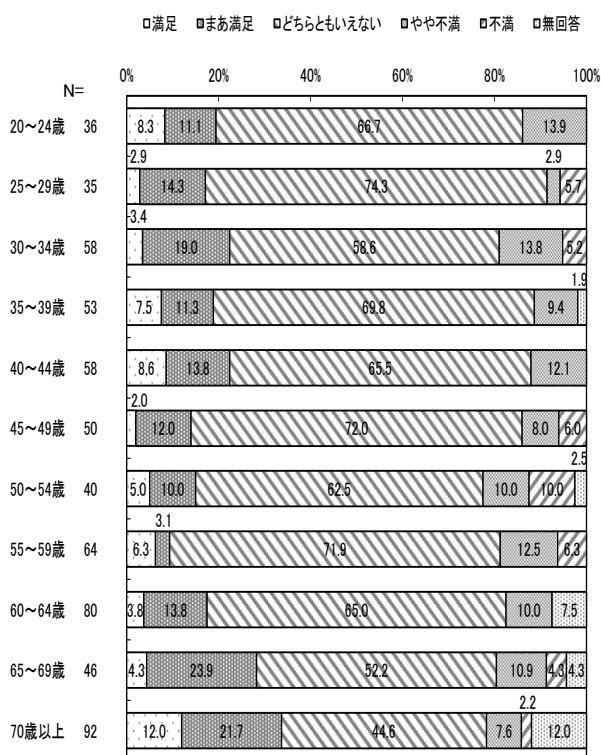
【全体】



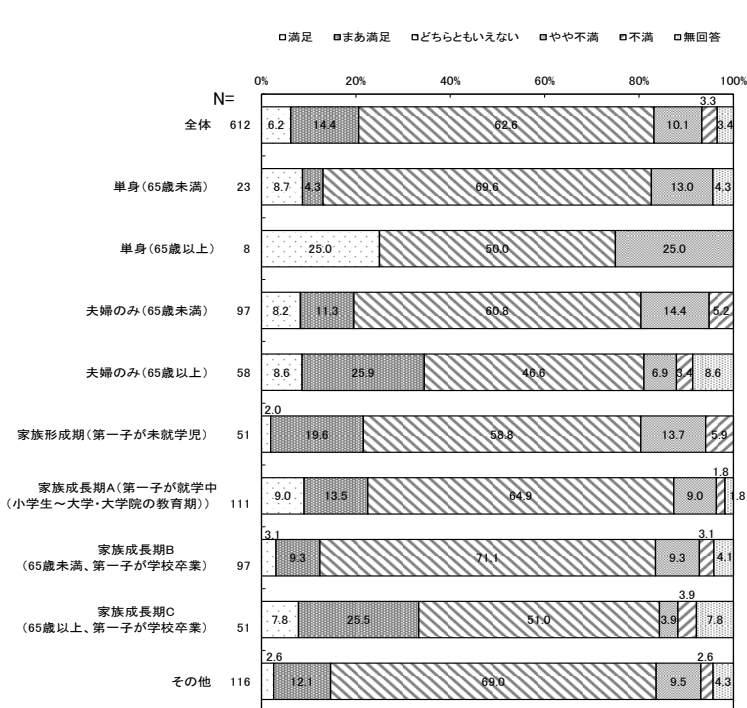
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

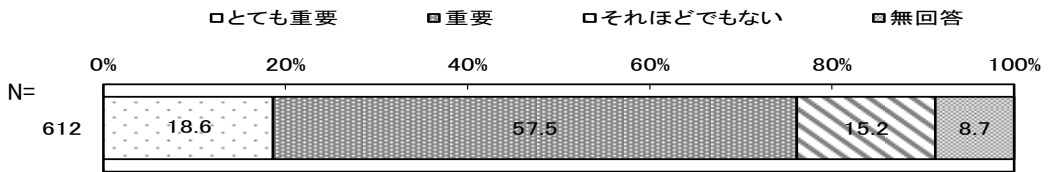


【問 2 重要度】

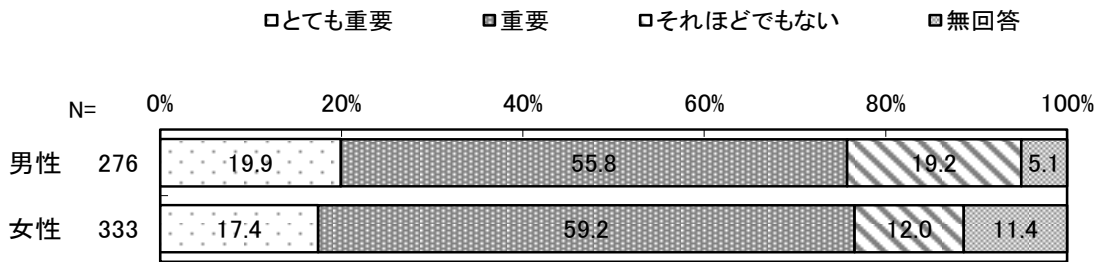
又 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」

年代別でみると、50～54 歳で「とても重要」の割合が高いです。ライフステージ別でみると、家族成長期C（65 歳未満、第一子が学校卒業）で「とても重要」の割合が高い傾向にあります。

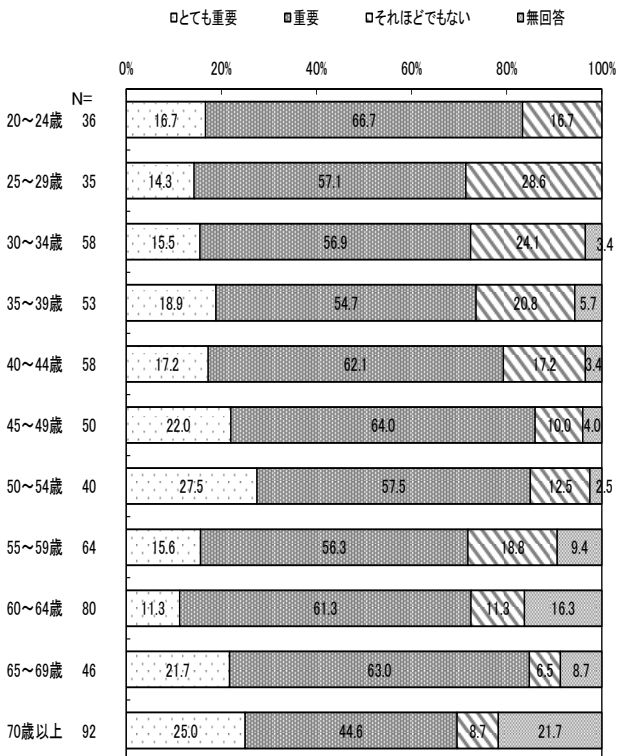
【全体】



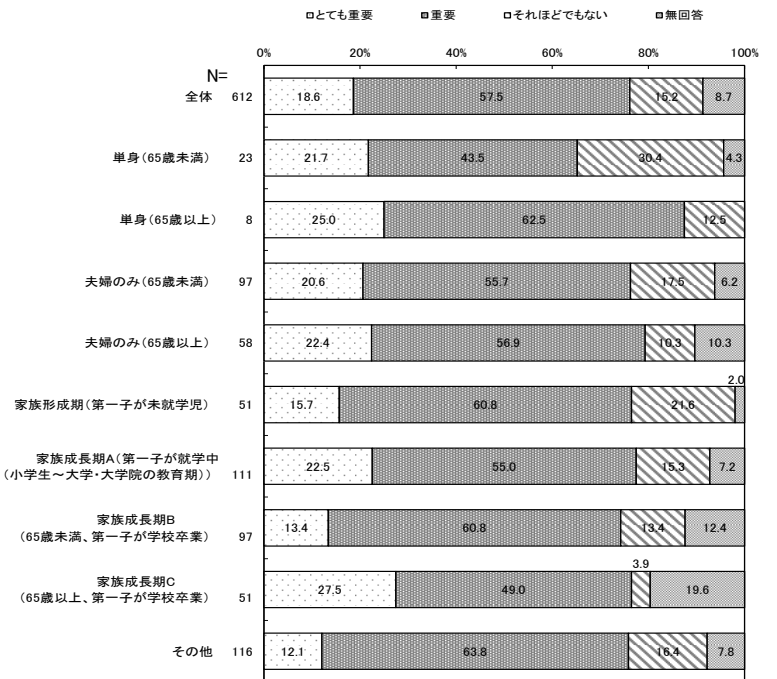
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

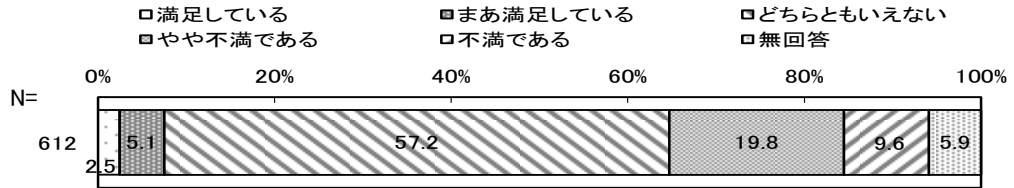


【問2 満足度】

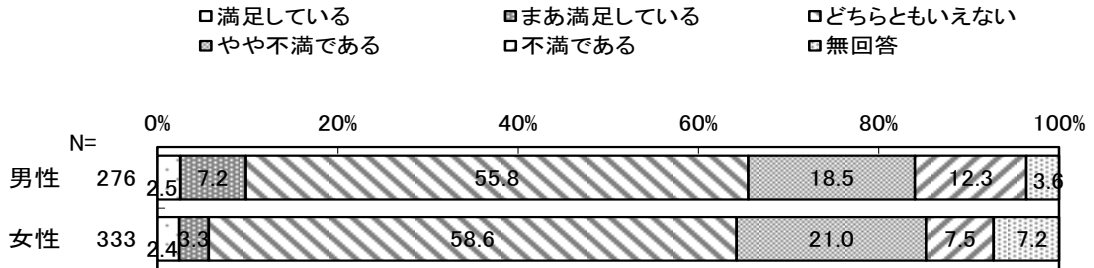
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は約3割で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。年代別にみると、55～59歳で不満度の割合が特に高く、4割を超えています。ライフステージ別でみると、家族成長期B(65歳未満、第一子が学校卒業)で不満度の割合が高い一方で、単身(65歳未満)では、不満度の割合より満足度の割合が高い傾向が見られます。

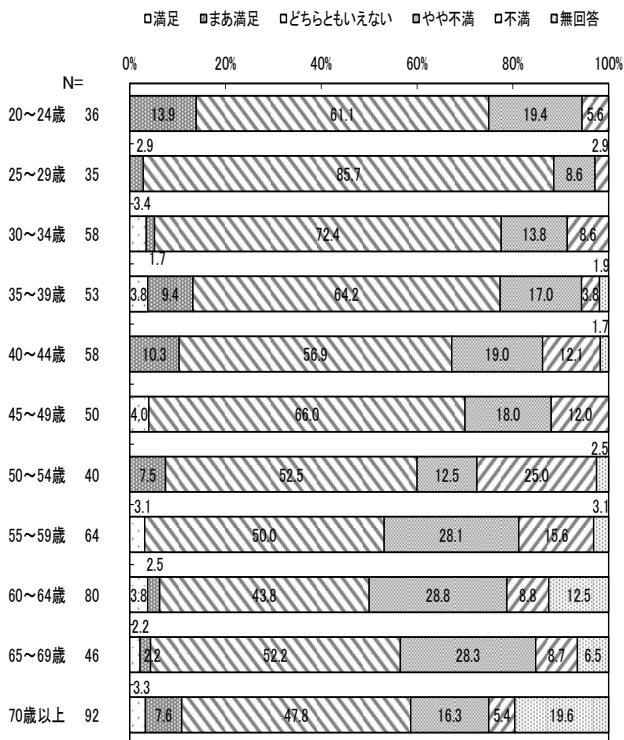
【全体】



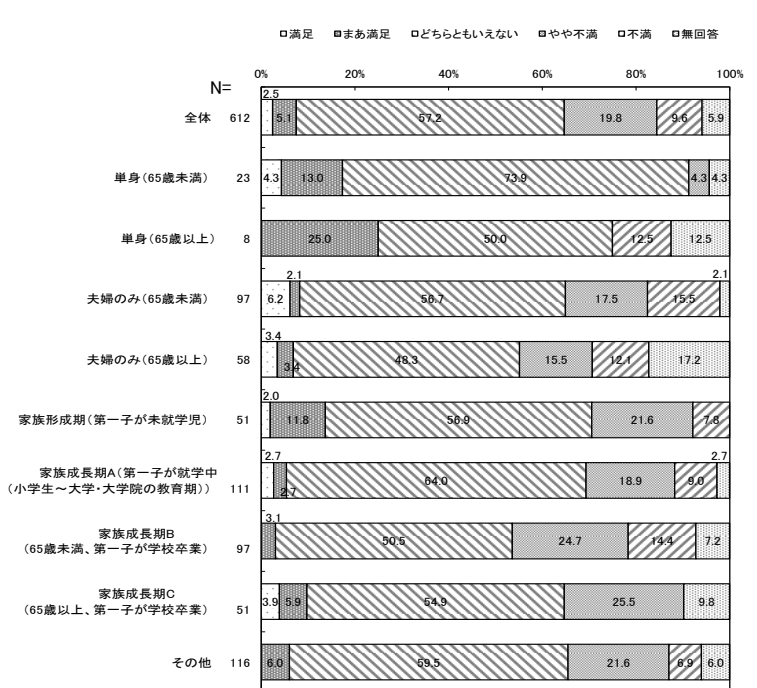
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

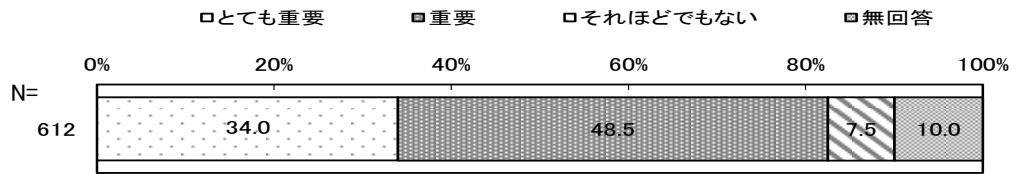


【問2 重要度】

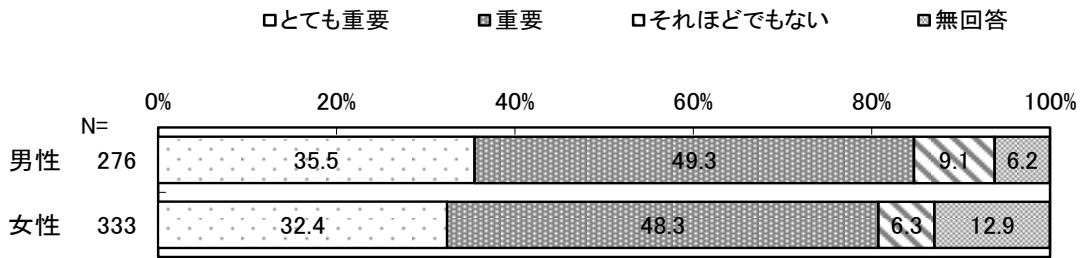
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化

全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は82.5%と高くなっています。年代別でみると、25～29歳、35～44歳、50～54歳の各世代で「とても重要」の割合が高い傾向にあります。ライフステージ別でみると、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））と夫婦のみ（65歳未満）世帯での重要度の割合が高くなっています。

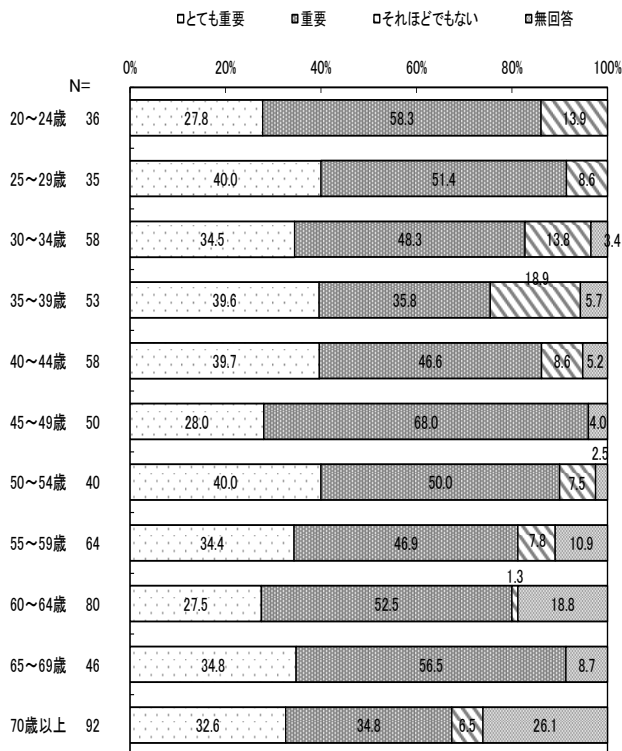
【全体】



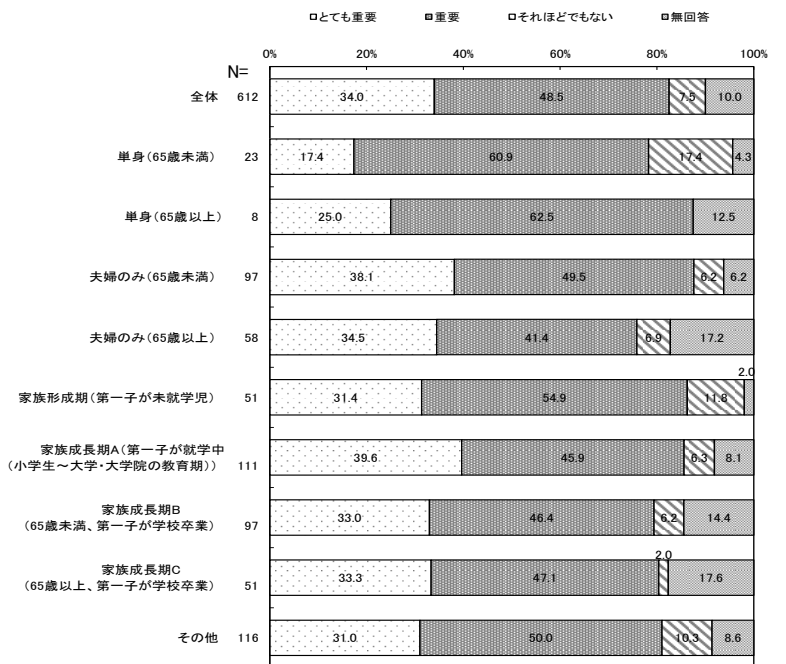
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

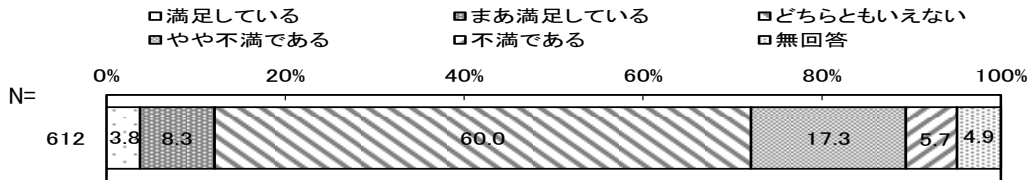


【問2 満足度】

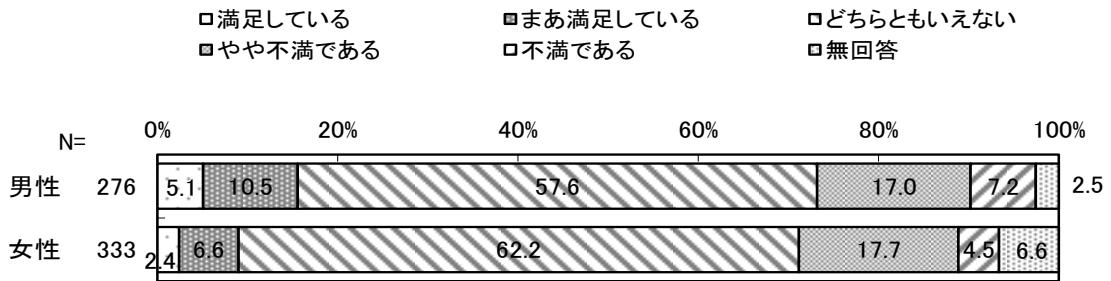
ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合は23.0%で、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。性別でみると、女性より男性の方が満足度が高い傾向です。年代別にみると、50～54歳の不満度は4割を超えています。居住地別でみると、企業団地地区での満足度が4割以上あり、他地区と比べ非常に高くなっています。

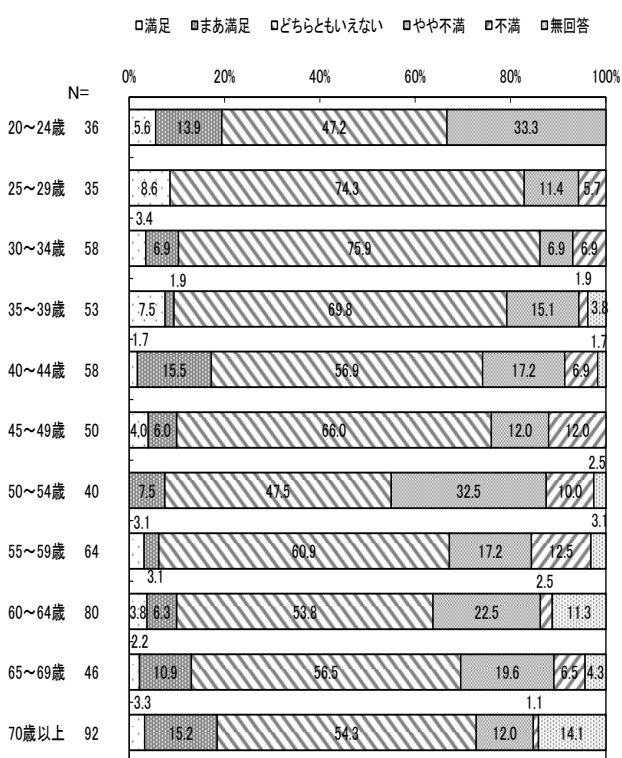
【全体】



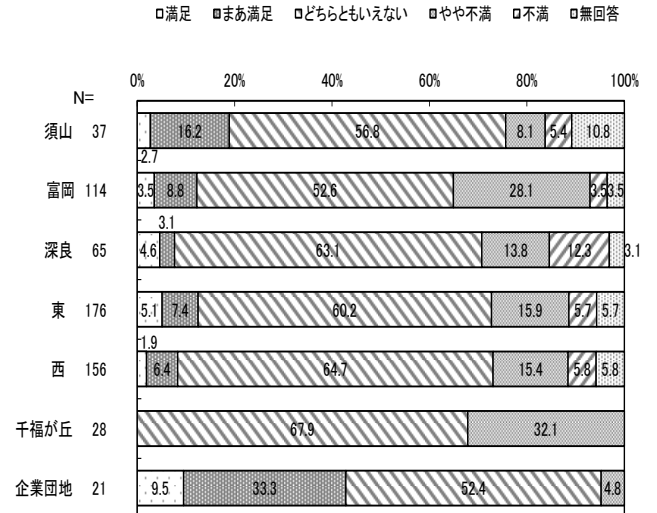
【性別】



【年代別】



【居住地別】

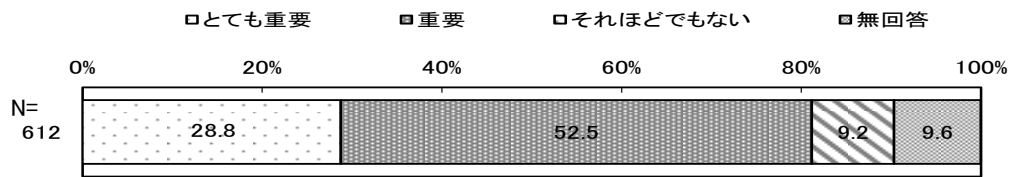


【問2 重要度】

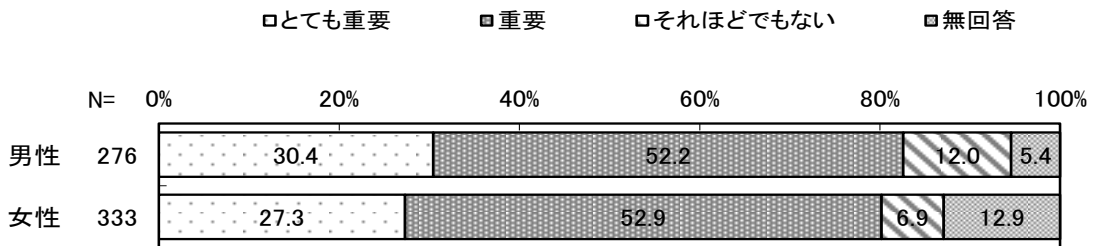
ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は81.3%になっています。年代別で見ると、40～44歳で「とても重要」の割合が特に高いです。ライフステージ別で見ると、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））での「とても重要」の割合がやや高い傾向にあります。

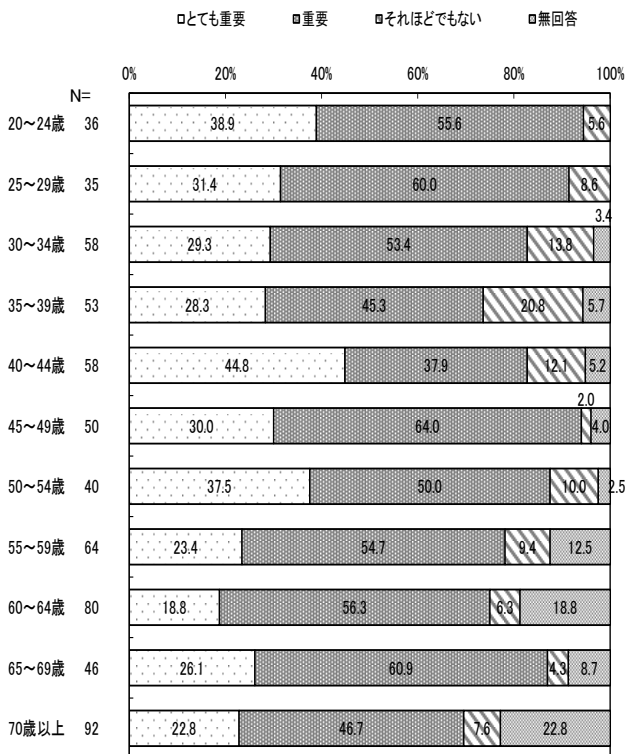
【全体】



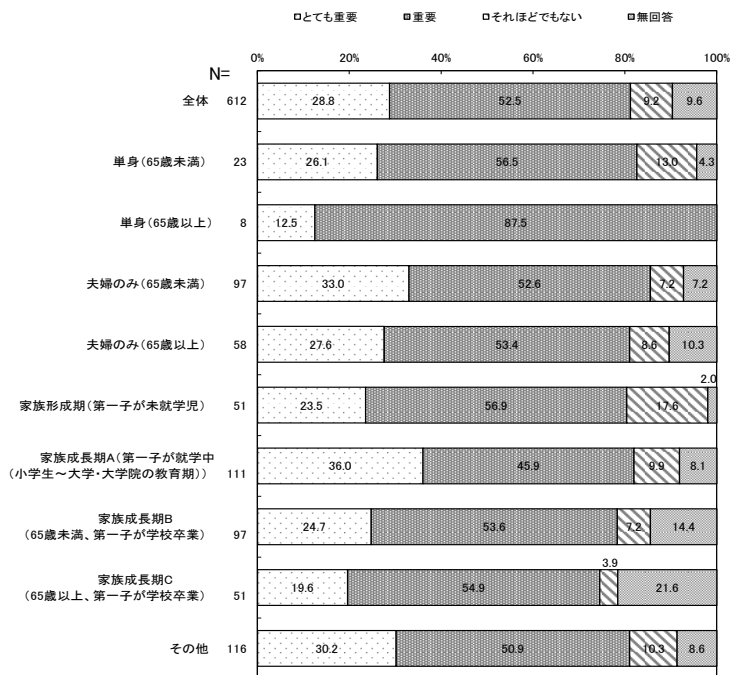
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

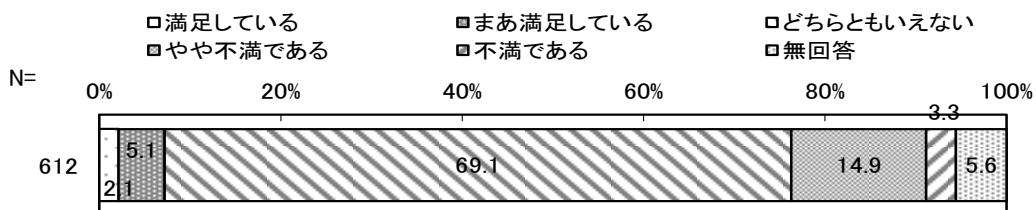


【問2 満足度】

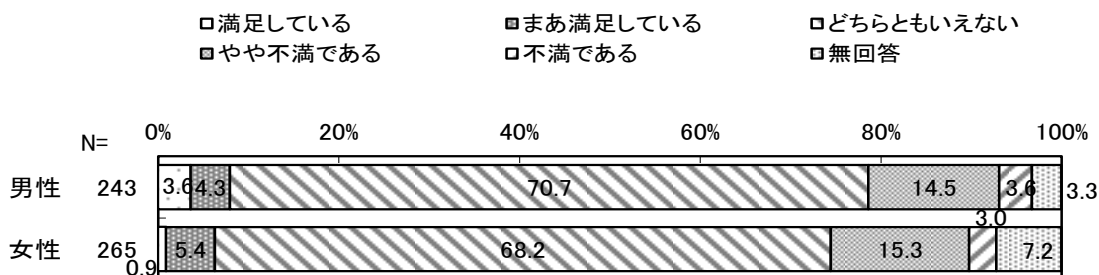
ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度の割合が、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合より高くなっています。年代別にみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満度が55～59歳で約3割とやや高い傾向はあります。居住地別でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足度の割合が、企業団地地区でやや高くなっています。

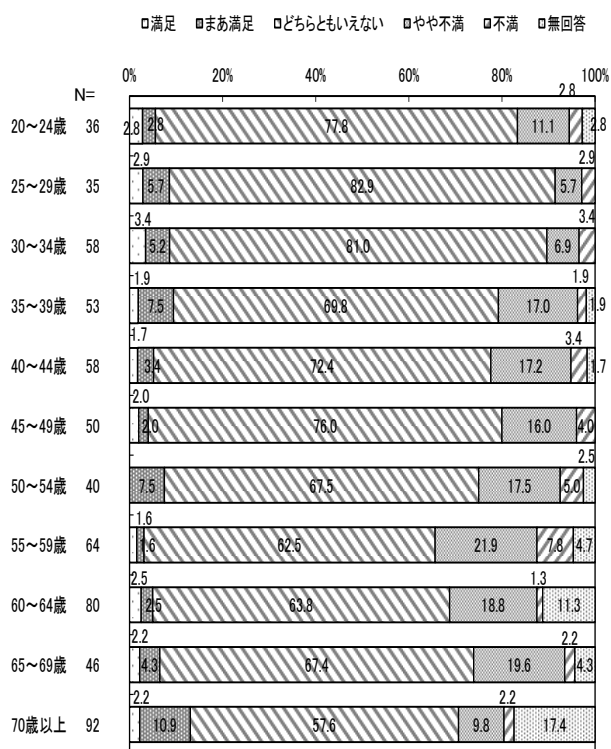
【全体】



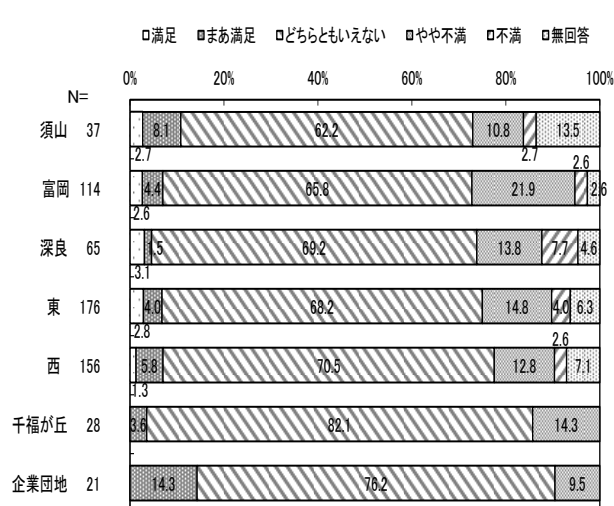
【性別】



【年代別】



【居住地別】

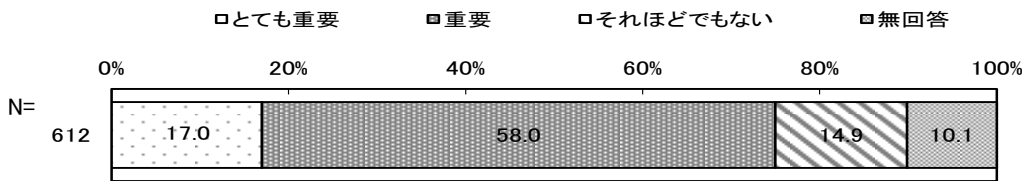


【問2 重要度】

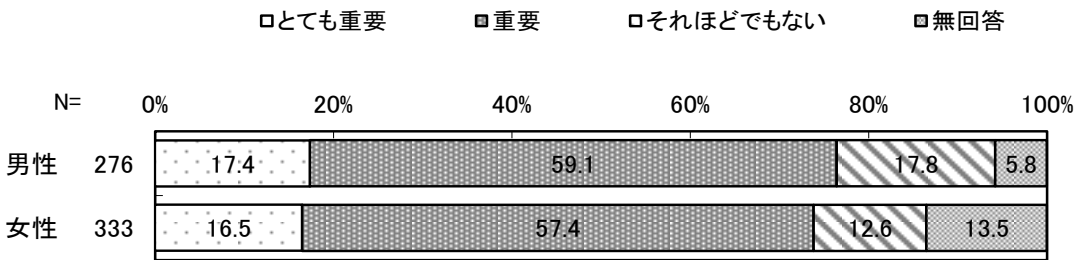
ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進

全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要度の割合は75.0%です。性別、年代別、ライフステージ別でも大きな差異はありません。

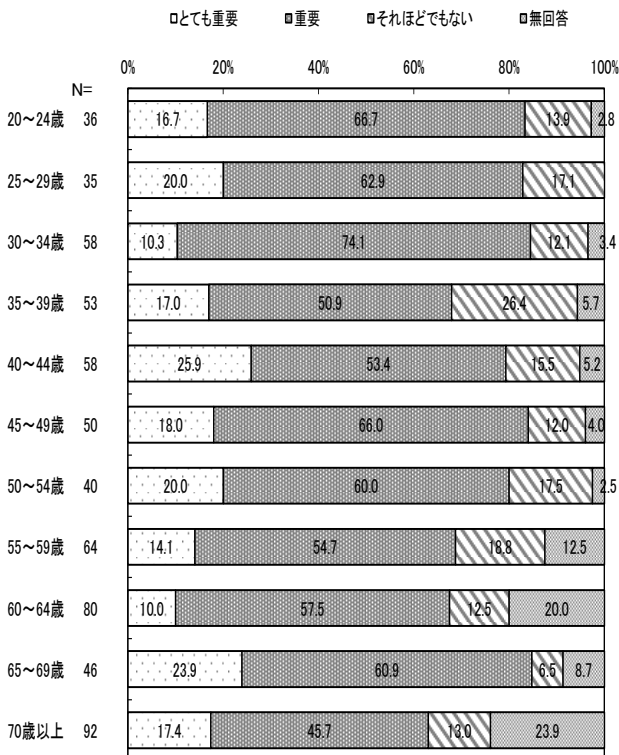
【全体】



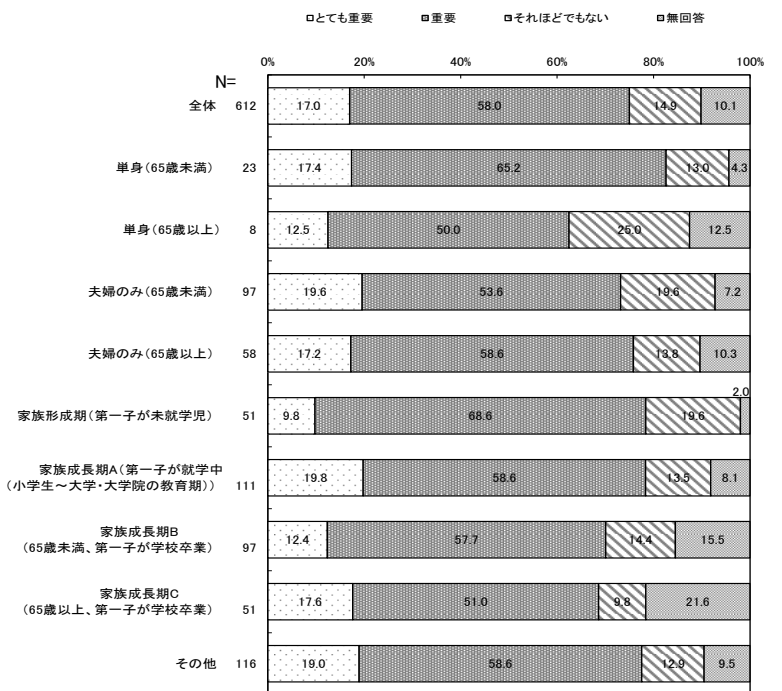
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

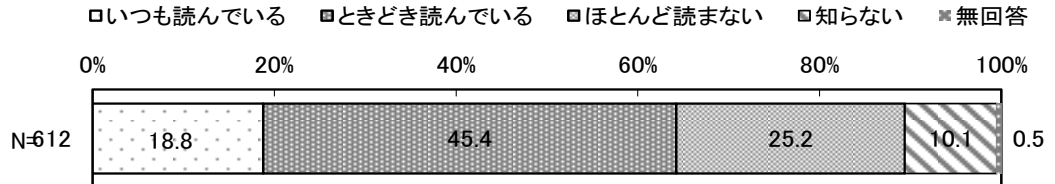


2 特集調査

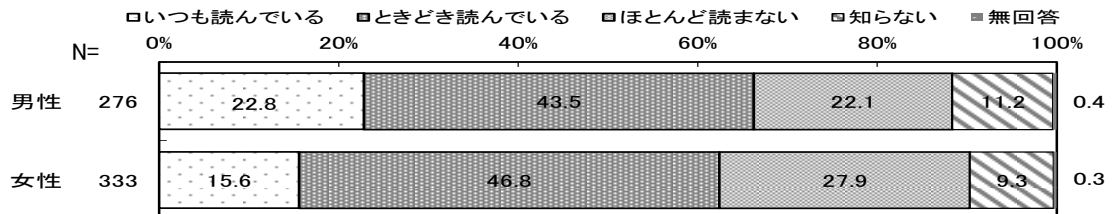
議会の公開について

問3 「議会だより」をご覧になったことがありますか。(1つに○)

「いつも読んでいる」と「ときどき読んでいる」をあわせて読んでいる人の割合は64.2%です。一方、「知らない」の割合は10.1%です。

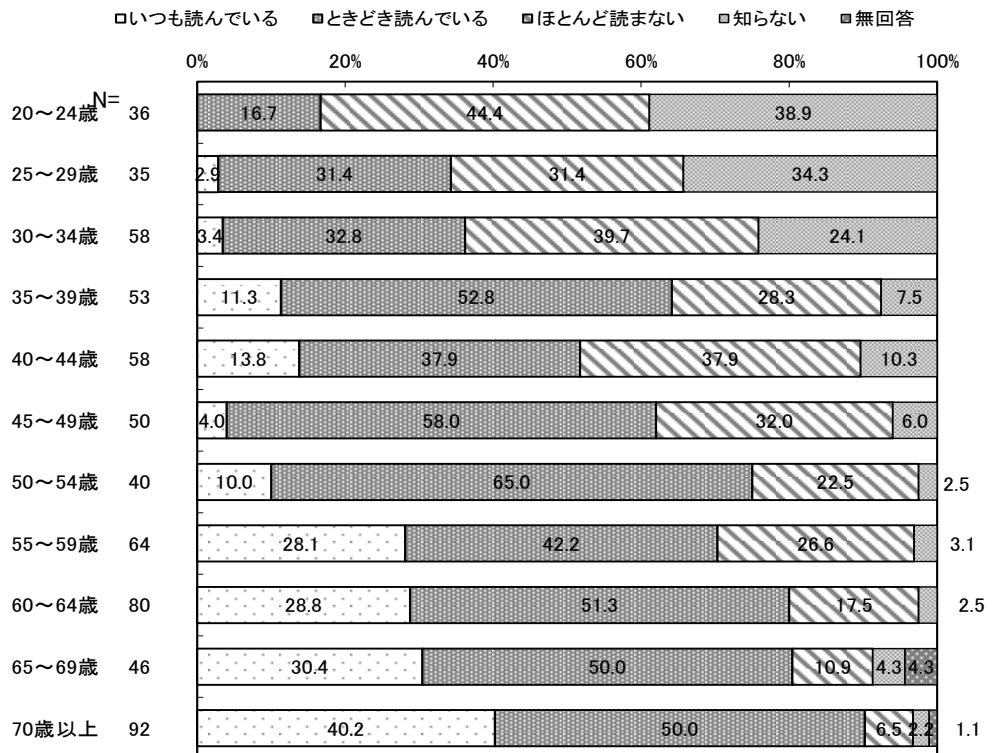


【性別】



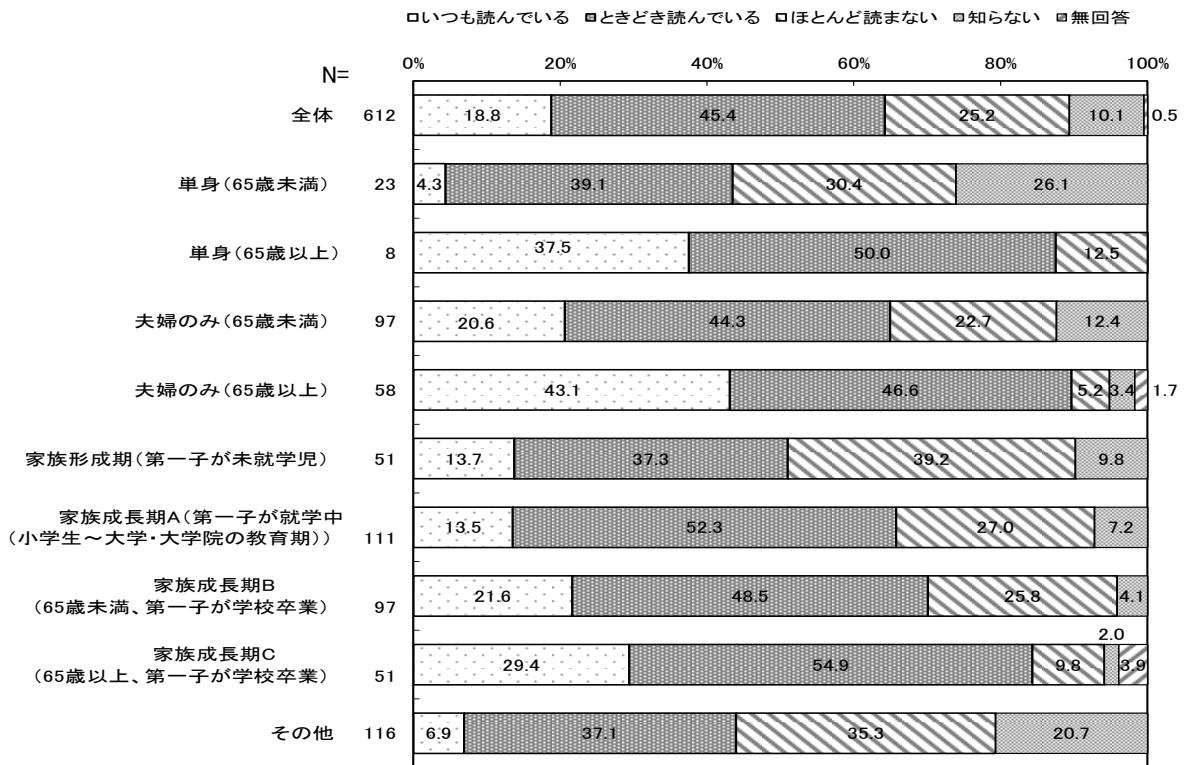
【年代別】

年代別でみると、年齢が上がるほど読んでいる人の割合も高くなる傾向が見られます。



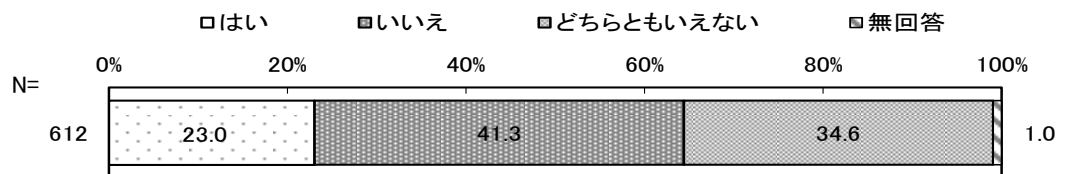
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、単身(65歳以上)と夫婦のみ(65歳以上)世帯では「いつも読んでいる」の割合が特に高い一方で、単身(65歳未満)では「知らない」の割合が高くなっています。



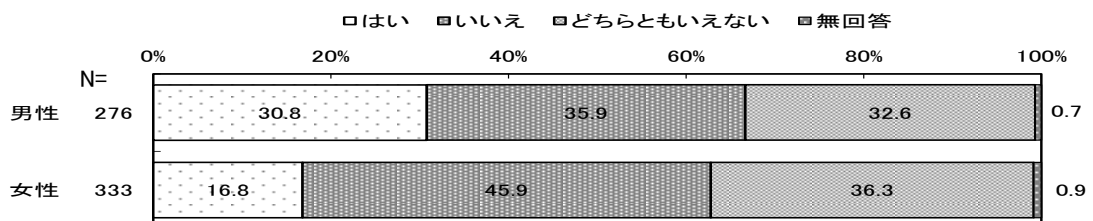
問4 議会を傍聴してみたいと思いますか。(1つに○)

「傍聴してみたい」人の割合は23.0%で、「傍聴したくない」人の割合は、41.3%です。



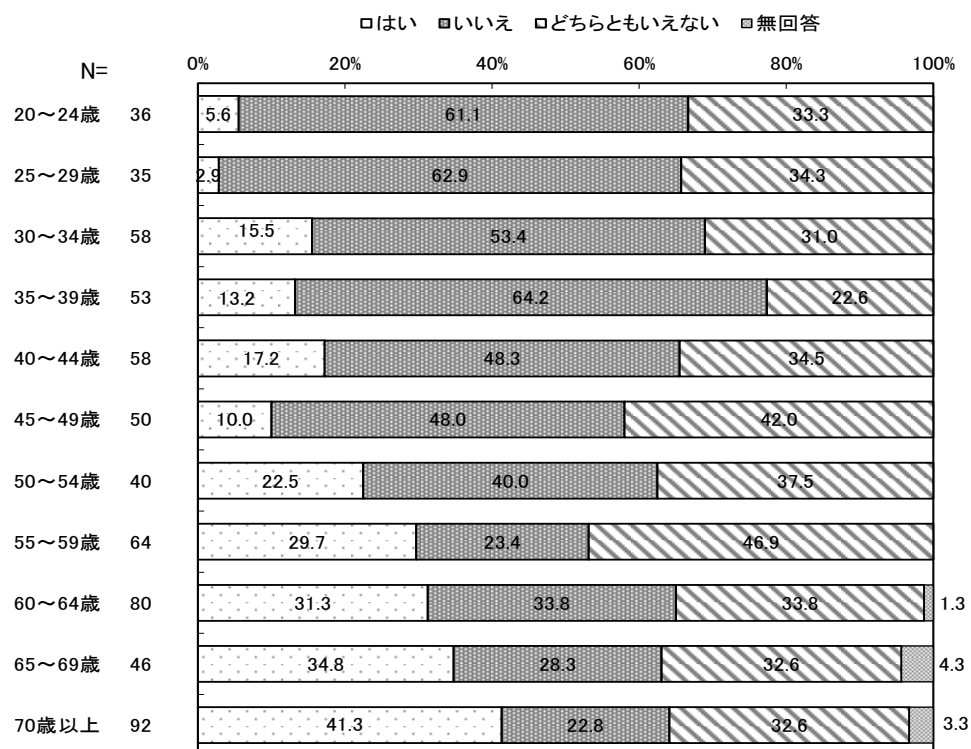
【性別】

性別でみると、「傍聴してみたい」人の割合は、男性が女性の約1.8倍と高くなっています。



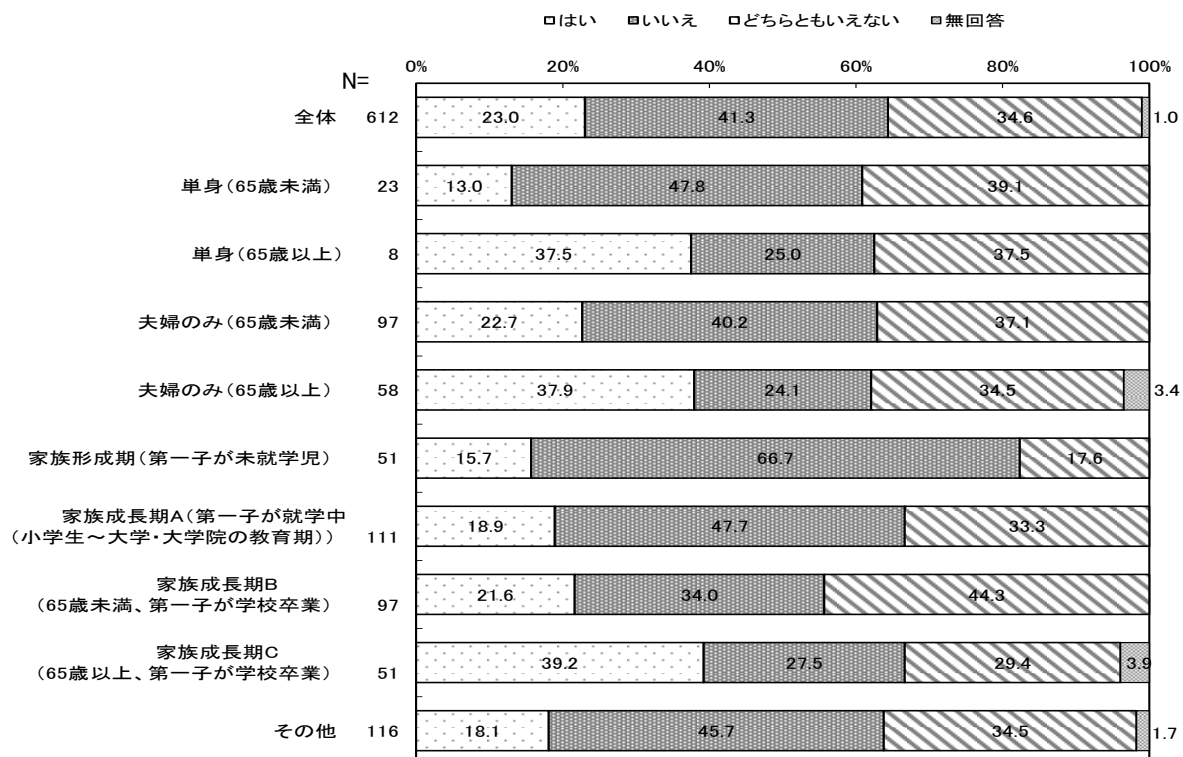
【年代別】

年代別でみると、例外はあるものの、年齢が上がるほど「傍聴したい」の割合も高くなる傾向があります。



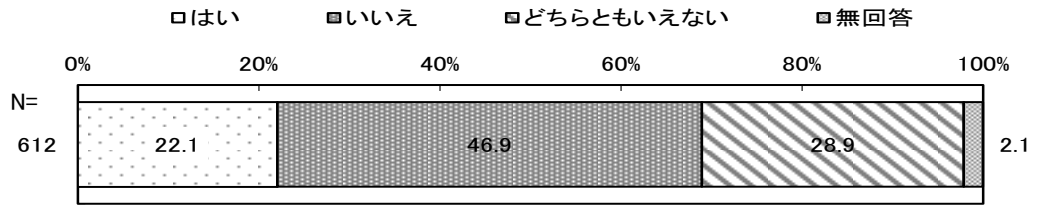
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、家族形成期(第一子が未就学児)で「傍聴したくない」の割合が6割を超えています。



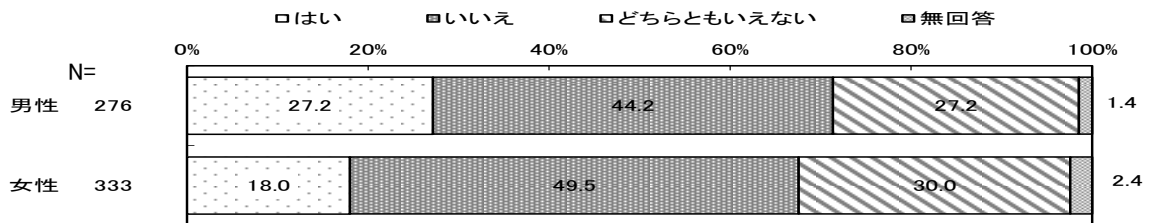
問5 議会の中継をインターネットで見たいと思いますか。(1つに○)

「見たい」人の割合は22.1%で、「見たくない」人の割合は46.9%です。問4と比較すると、希望しない意見が多い傾向があります。



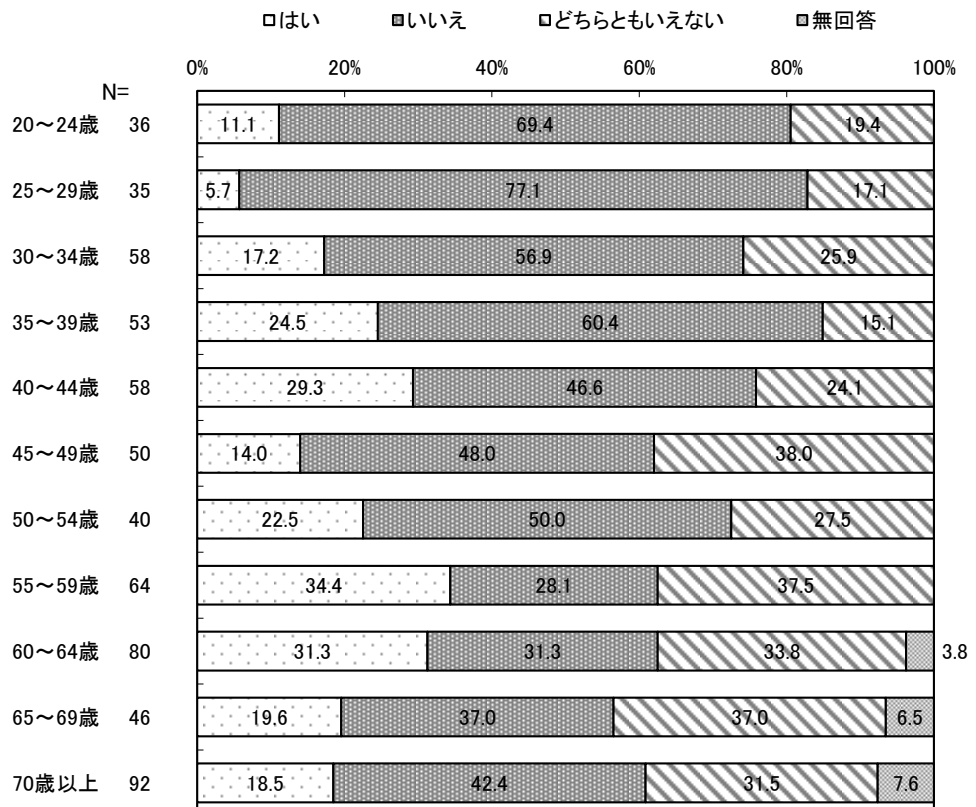
【性別】

性別でみると、「見たい」人の割合は、男性が女性の約1.5倍と、関心が高い傾向が見られます。



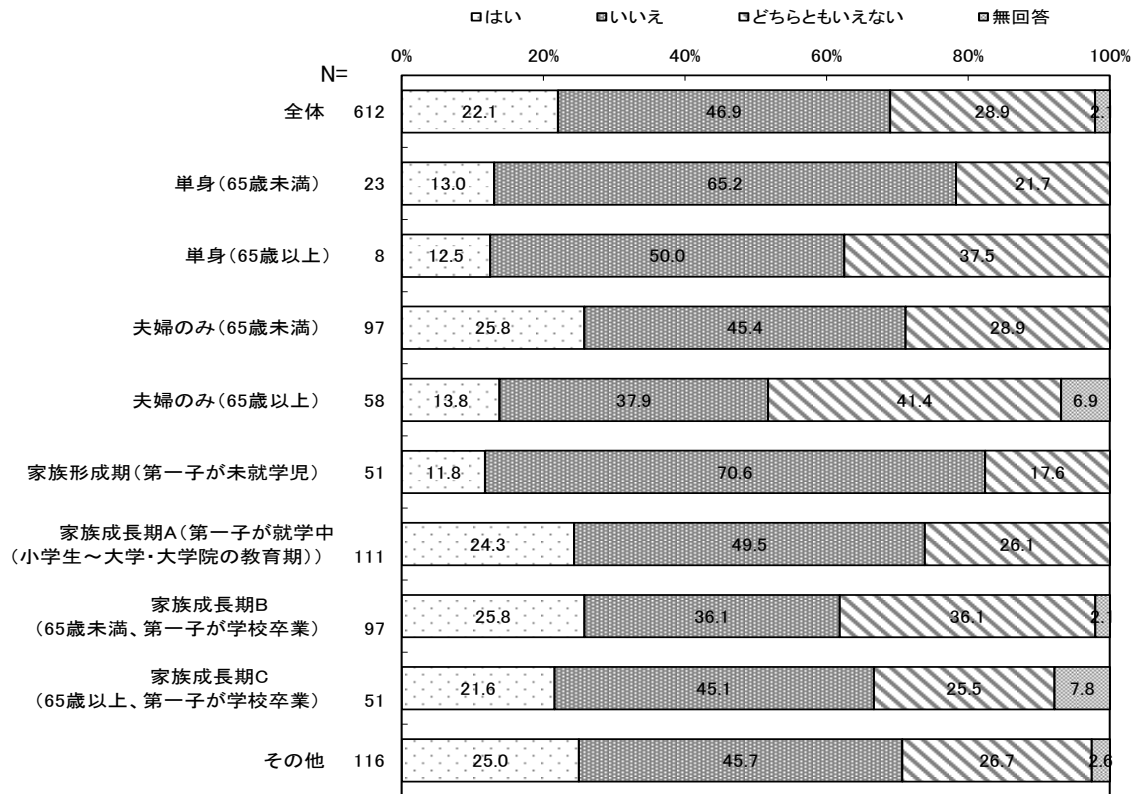
【年代別】

年代別でみると、55～64歳で「見たい」人の割合が高い一方で、20～29歳で特に低くなっています。



【ライフステージ別】

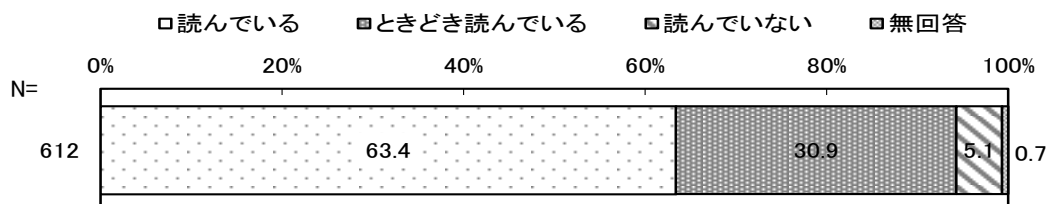
ライフステージ別にみると、家族形成期(第一子が未就学児)で「見たくない」人の割合が高い傾向が見られます。



広報紙「広報すその」について

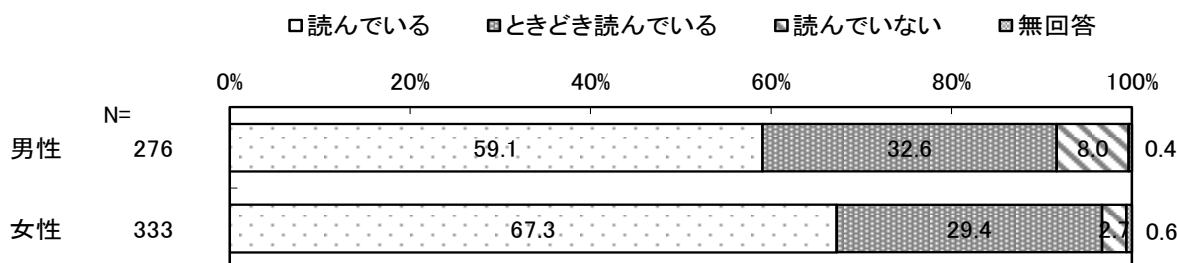
問6 「広報すその」を読んでいますか。(1つに○)

「読んでいる」と「ときどき読んでいる」をあわせた少しでも読んでいる割合が94.3%と非常に高く、「広報すその」は幅広く認識されているものと考えられます。



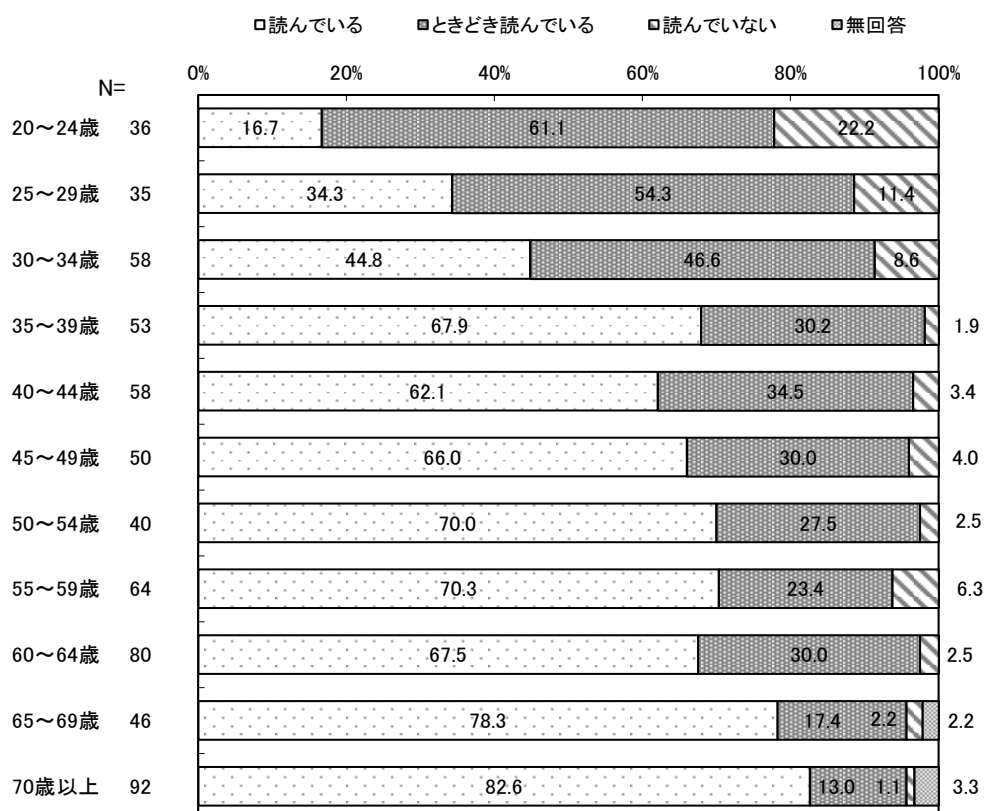
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「読んでいる」の割合が高くなっています。



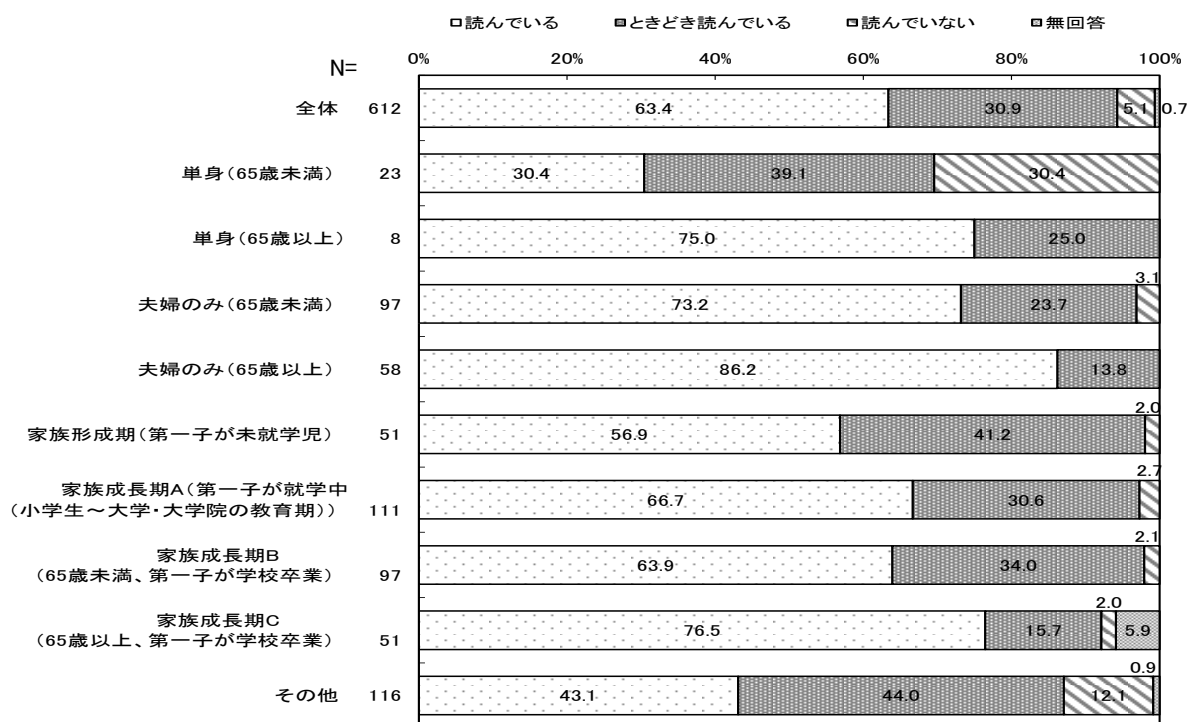
【年代別】

年代別にみると、例外はあるものの、年齢が上がるほど「読んでいる」人の割合も高くなる傾向があります。



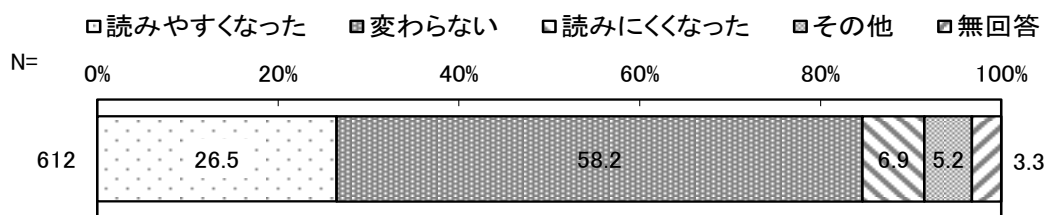
【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、「読んでいる」人の割合が、夫婦のみ(65歳以上)で特に高い一方で、単身(65歳未満)では約3割と低い傾向が見られます。



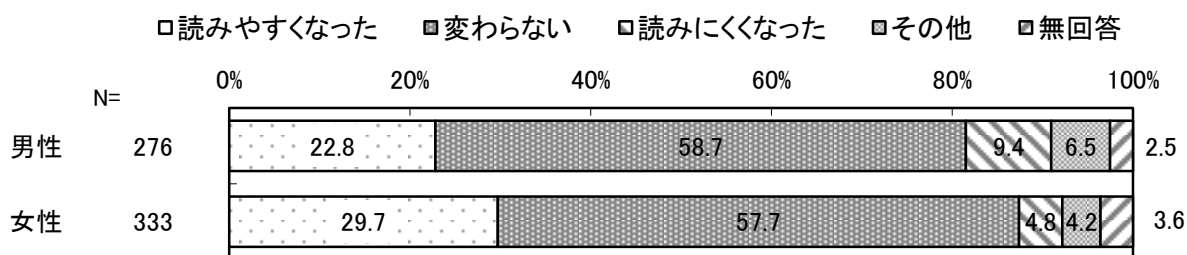
問7 「広報すその」のデザインが変わりましたが、読みやすさはどうですか。(1つに○)

「読みやすくなった」人の割合が26.5%で、「読みにくくなった」人より多くなっています。一方、「変わらない」は約6割となっています。



【性別】

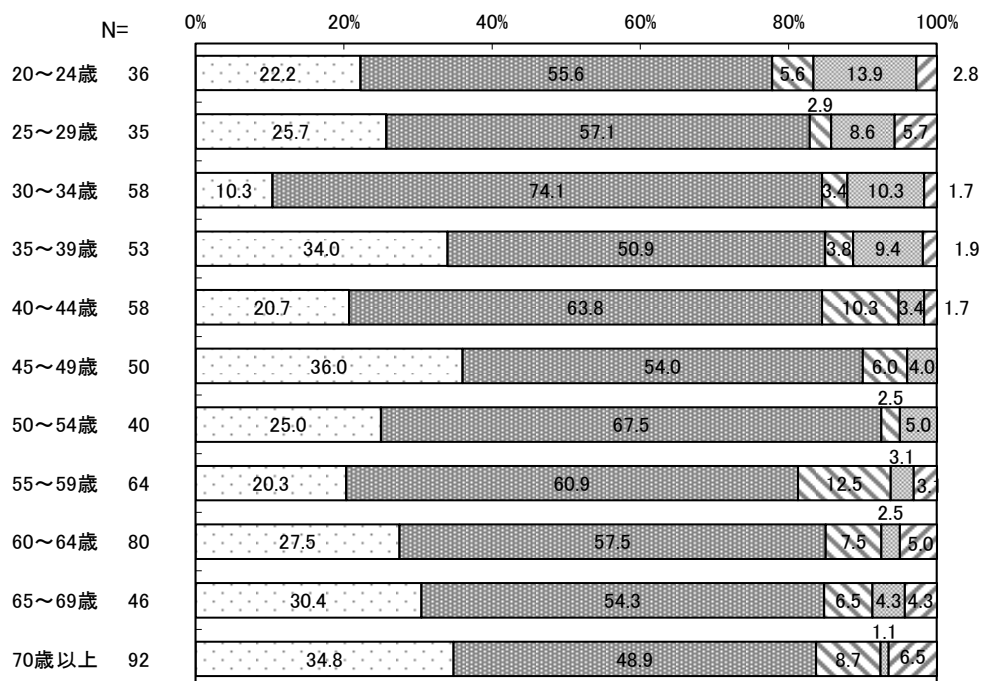
性別でみると、男性に比べて女性で「読みやすくなった」人の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、「読みやすくなった」人の割合は45～49歳が一番高く、30～34歳が一番低くなっています。その一方、「読みにくくなった」人の割合は55～59歳でやや高く見られます。

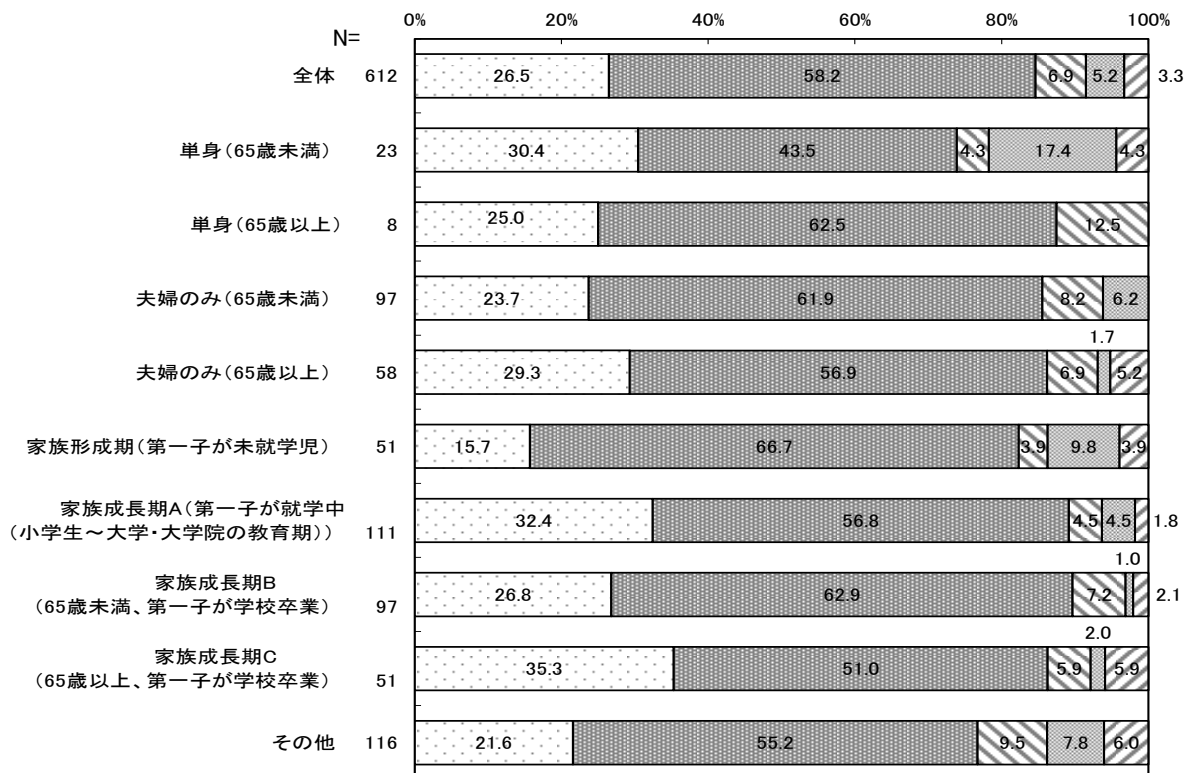
□読みやすくなった □変わらない □読みにくくなった □その他 □無回答



【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、「読みやすくなった」人の割合は家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）で一番高くなっています。

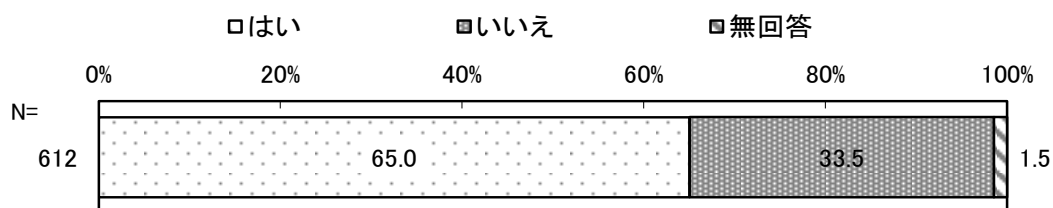
□読みやすくなった □変わらない □読みにくくなった □その他 □無回答



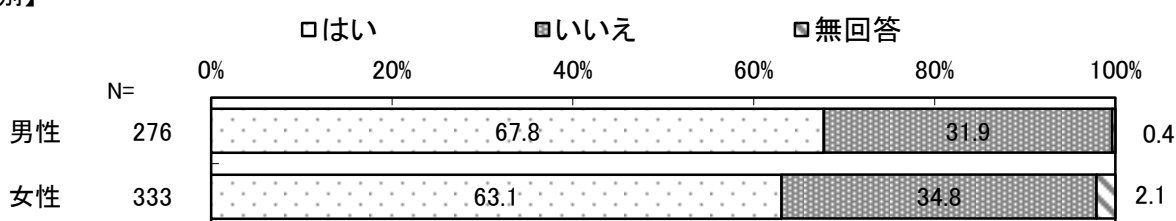
インターネットの利用状況について

問 8 インターネットを利用していますか。(1つに○)

65.0%の人が利用しています。

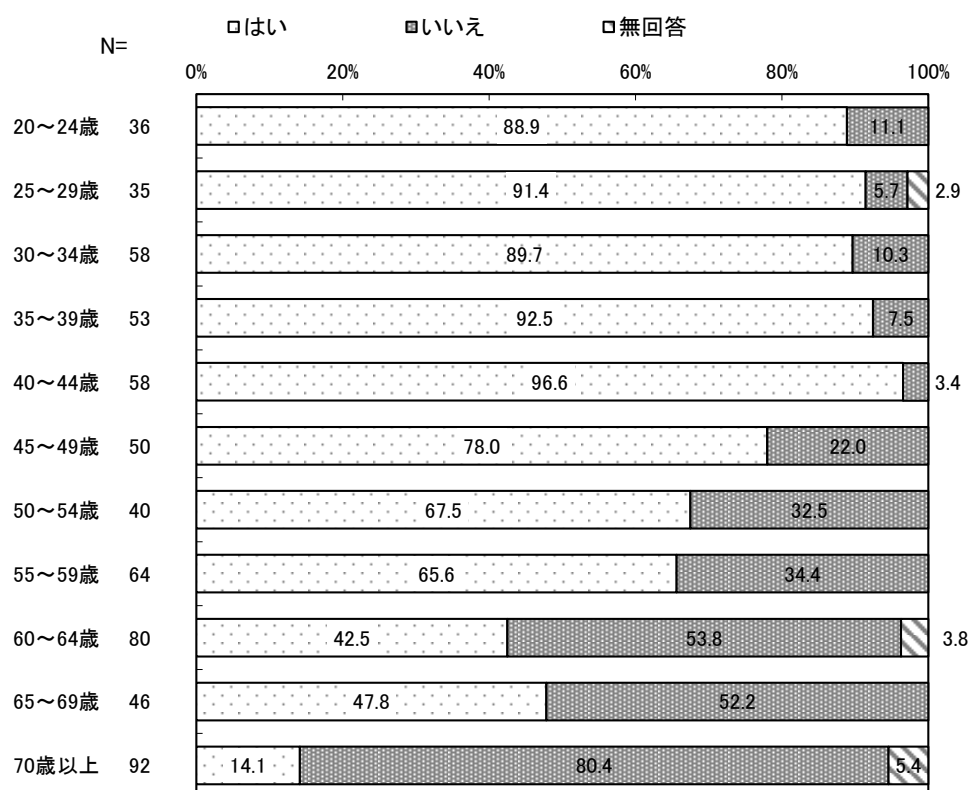


【性別】



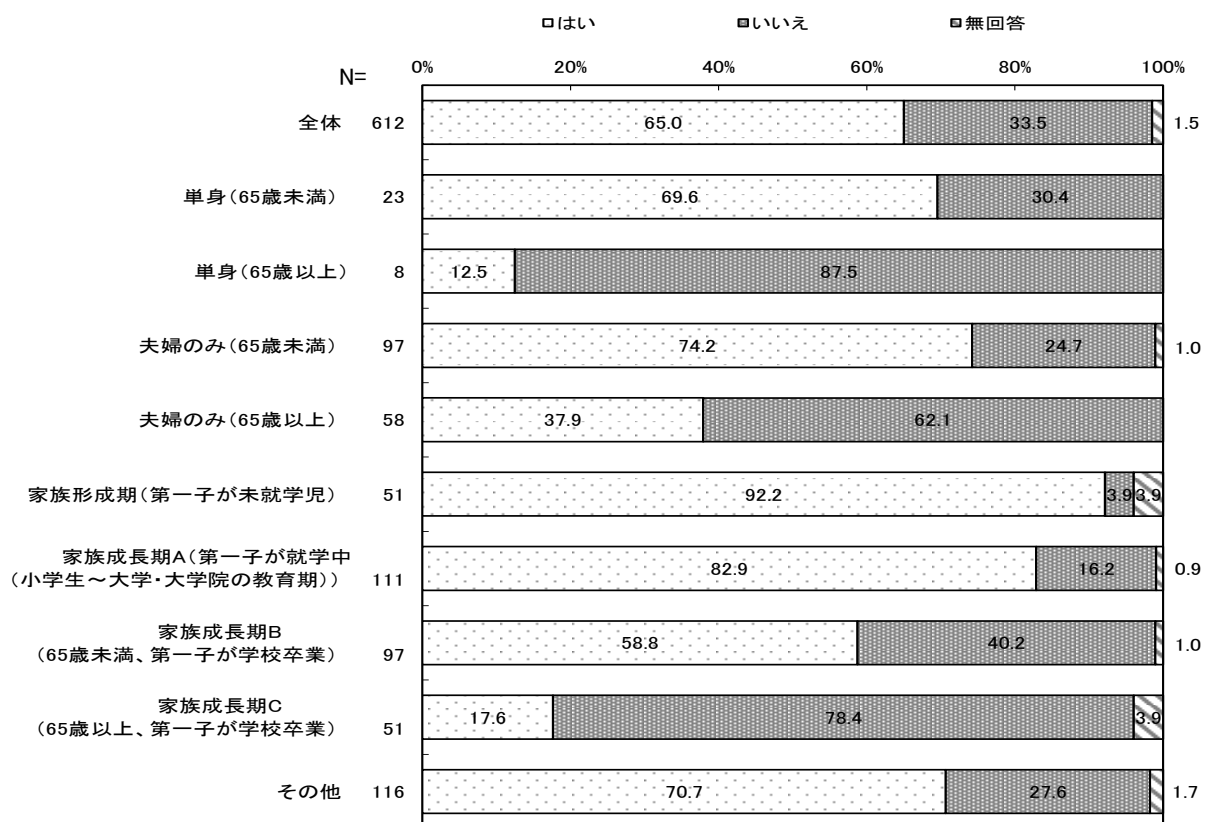
【年代別】

年代別でみると、「利用している」人の割合は、20～44歳までは9割前後と非常に高いですが、それ以降の年代では徐々に減少し、70歳以上では14.1%と低くなっています。



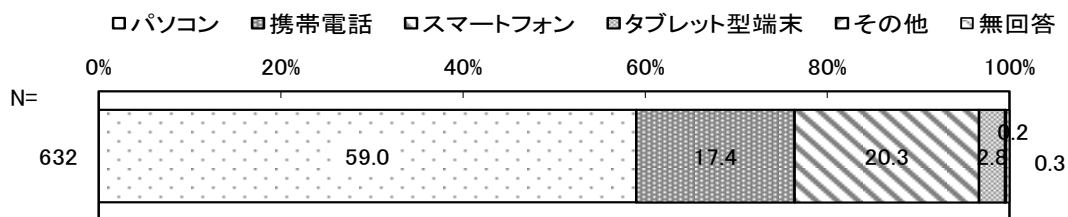
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、「利用していない」人の割合は単身(65歳以上)と家族成長期C(65歳未満、第一子が学校卒業)で高くなっています。一方、「利用している」人の割合は家族形成期(第一子が未就学)で高い傾向が見られます。

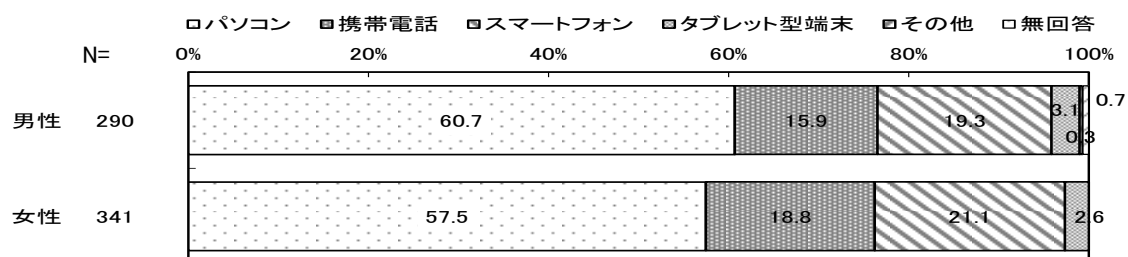


問 9 【問 8 で「はい」と答えた方に対して】どのような端末を利用していますか。(〇はいくつでも)

端末の種類は、「パソコン」、「スマートフォン」、「携帯電話」の順に利用されています。

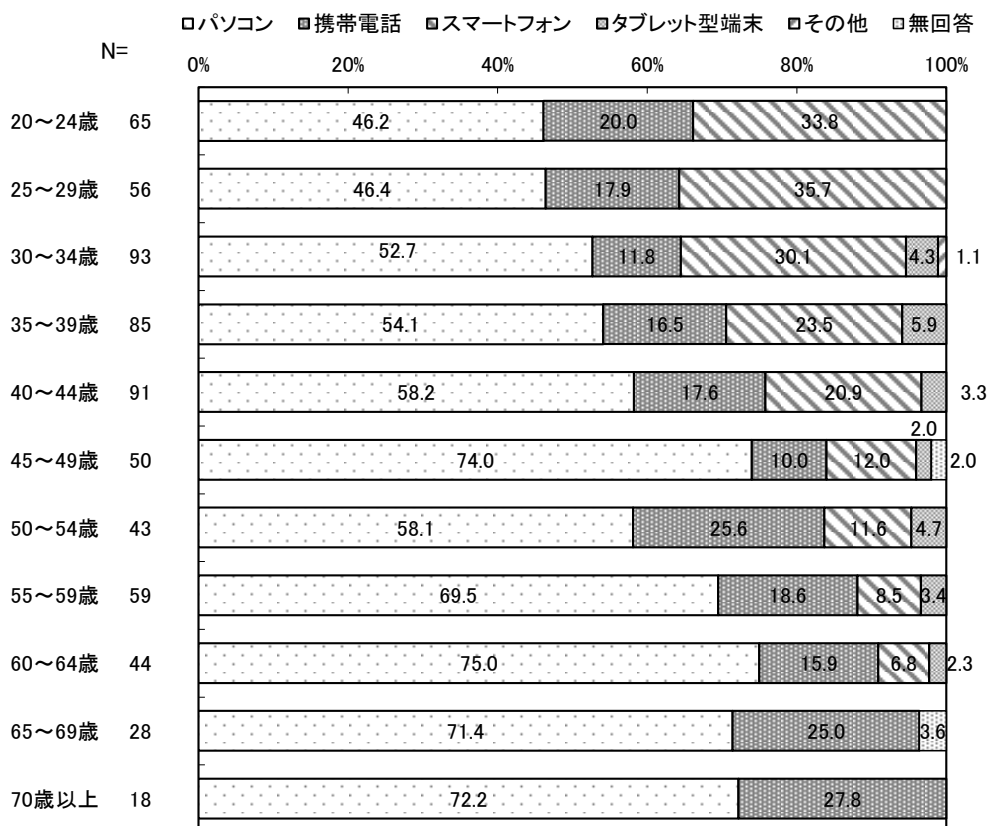


【性別】



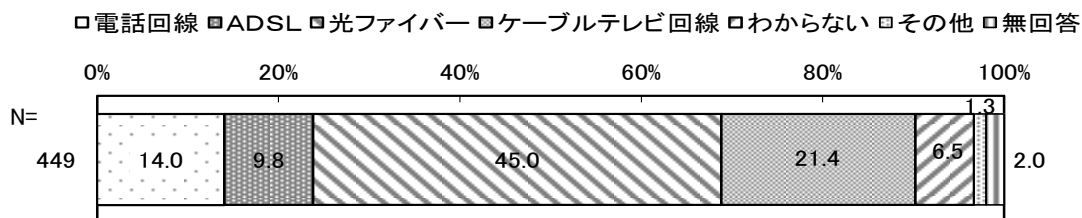
【年代別】

年代別でみると、スマートフォンの利用割合が若者ほど高い傾向があり、年齢が高くなるほどパソコンの利用割合が高くなっています。



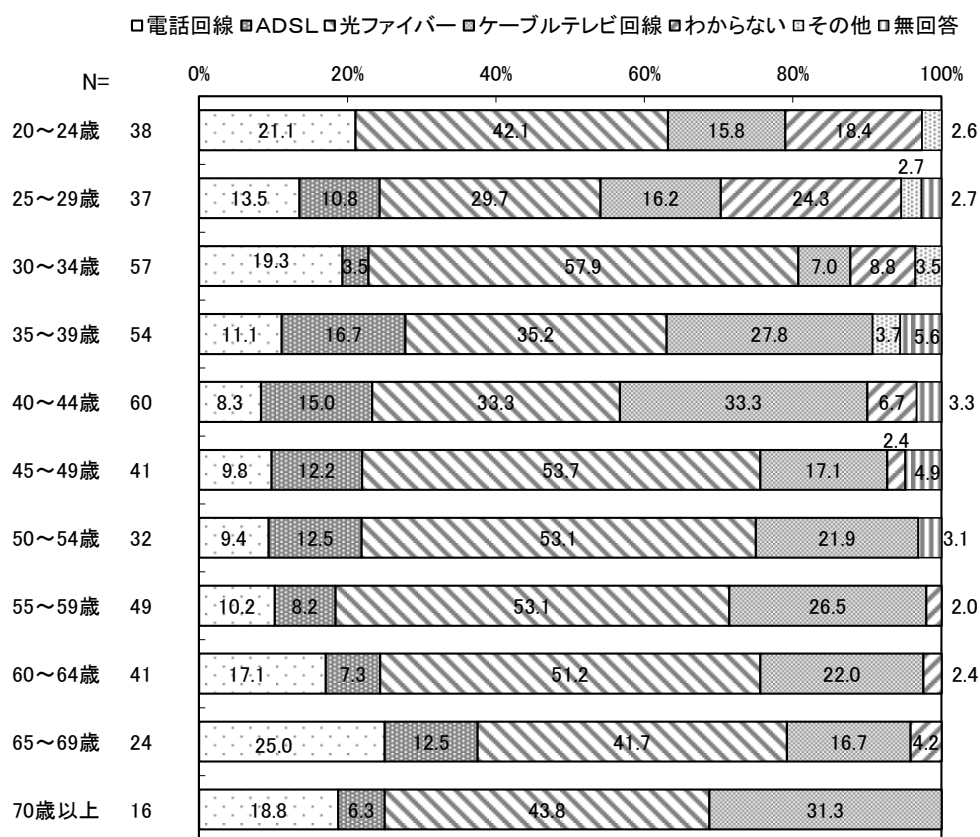
問10 【問8で「はい」と答えた方に対して】通信回線の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

回線の種類は、「光ファイバー」、「ケーブルテレビ回線」、「電話回線」、「ADSL」の順に使用されています。



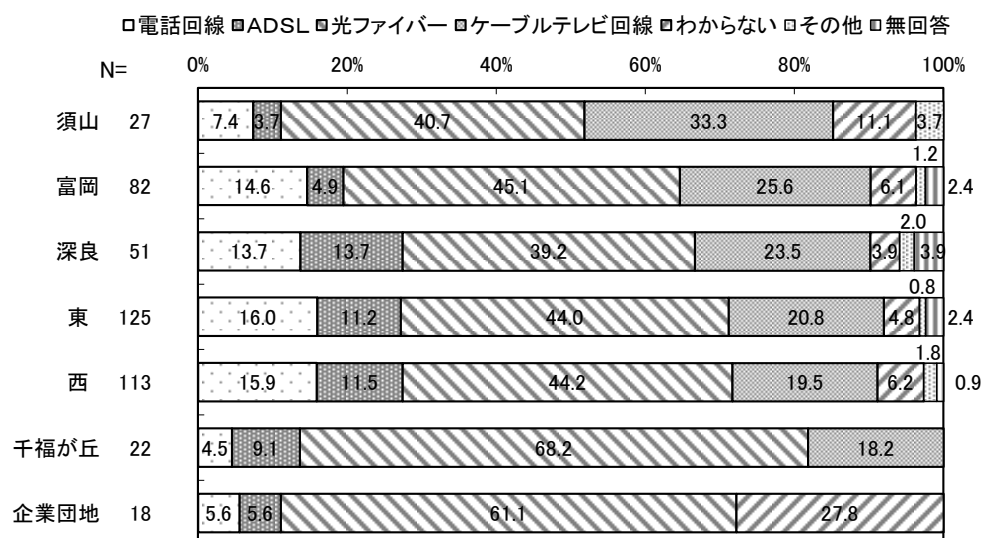
【年代別】

年代別でみると、20～24歳ではADSLの利用がない事が分かります。



【居住地別】

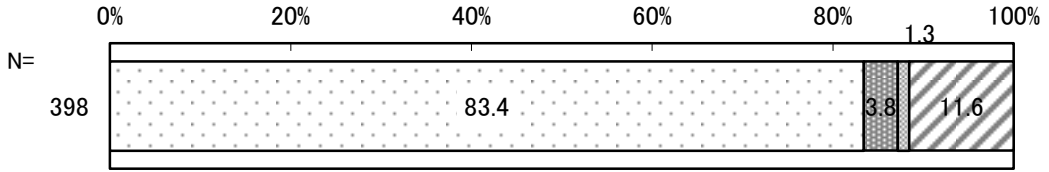
居住地別にみると、企業団地地区でケーブルテレビ回線の使用がありません。また千福が丘地区と企業団地地区では、光ファイバーの割合が高い傾向が見られます。



問 11 【問 8 で「はい」と答えた方に対して】主にどこで利用していますか。(1 つに○)

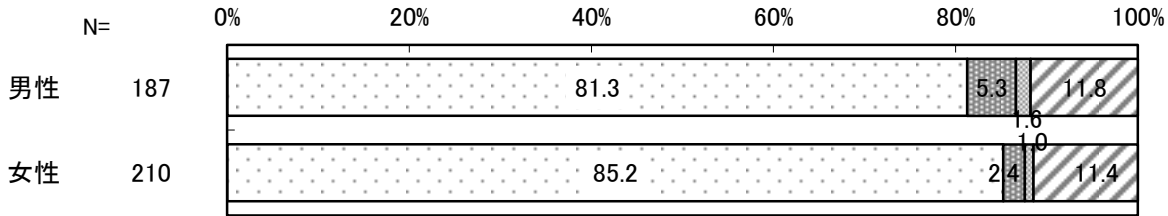
「自宅」利用が 8 割以上と特に高く、「市役所庁舎等にある市民開放端末」の利用はありませんでした。

□自宅 □職場あるいは学校 □市役所庁舎等にある市民開放端末 □その他 □無回答



【性別】

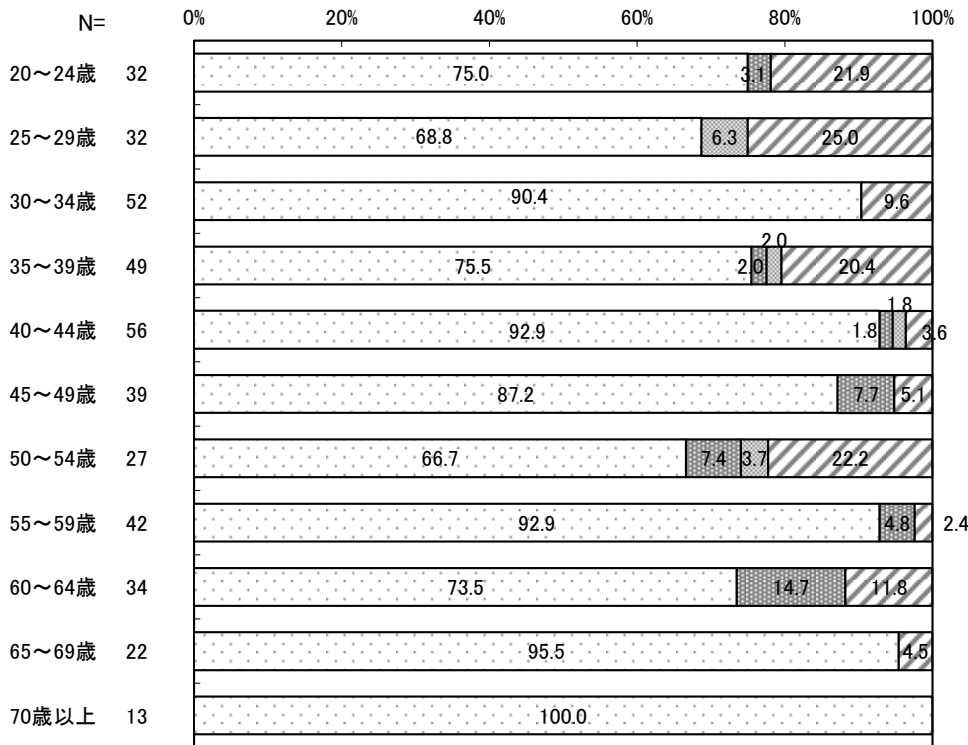
□自宅 □職場あるいは学校 □市役所庁舎等にある市民開放端末 □その他 □無回答



【年代別】

年代別でみると、30～34 歳、40～44 歳、55～59 歳、65 歳以上の各年代で「自宅」利用が非常に高く、9 割を超えています。

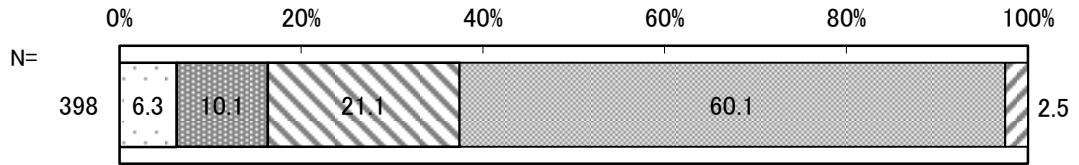
□自宅 □職場あるいは学校 □市役所庁舎等にある市民開放端末 □その他 □無回答



問 12 【問 8 で「はい」と答えた方に対して】裾野市の公式ウェブサイトを利用していますか。(1つに○)

約 6 割の人が「利用しない」と答えています。

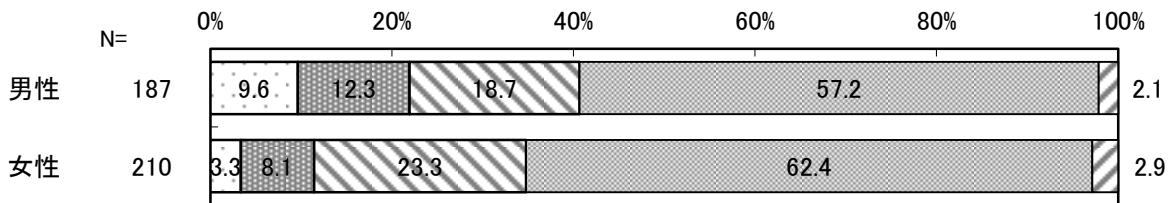
□週に1回以上利用する □月に1回以上利用する □3ヶ月に1回以上利用する □利用しない □無回答



【性別】

女性に比べ男性の方が、利用頻度が高いです。

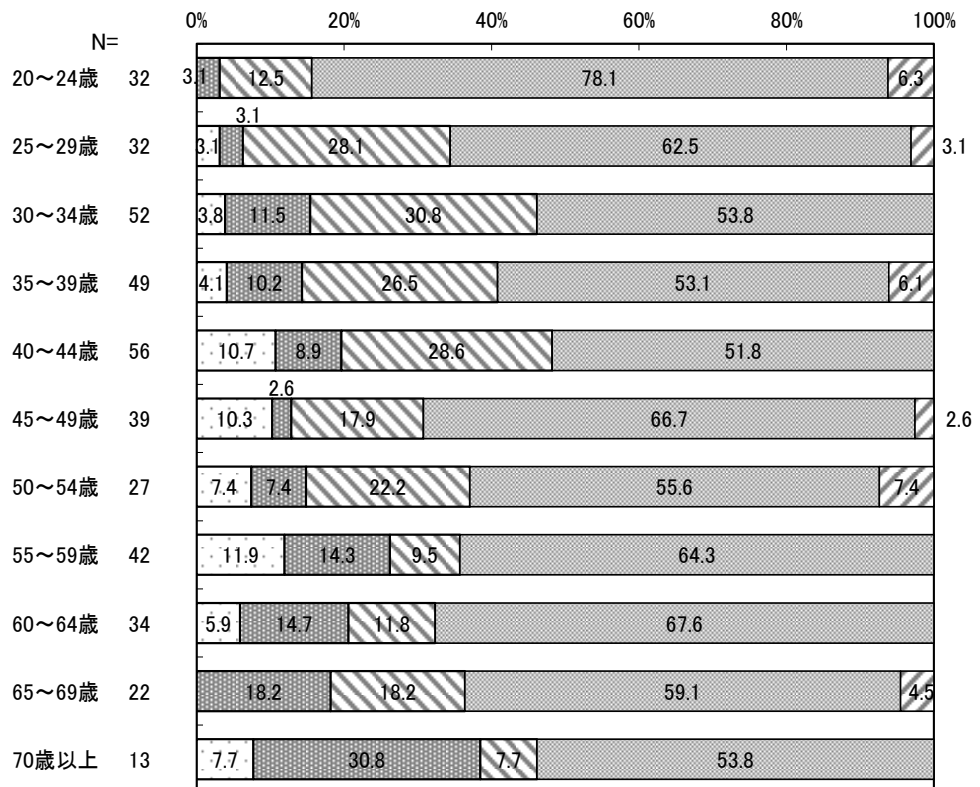
□週に1回以上利用する □月に1回以上利用する □3ヶ月に1回以上利用する □利用しない □無回答



【年代別】

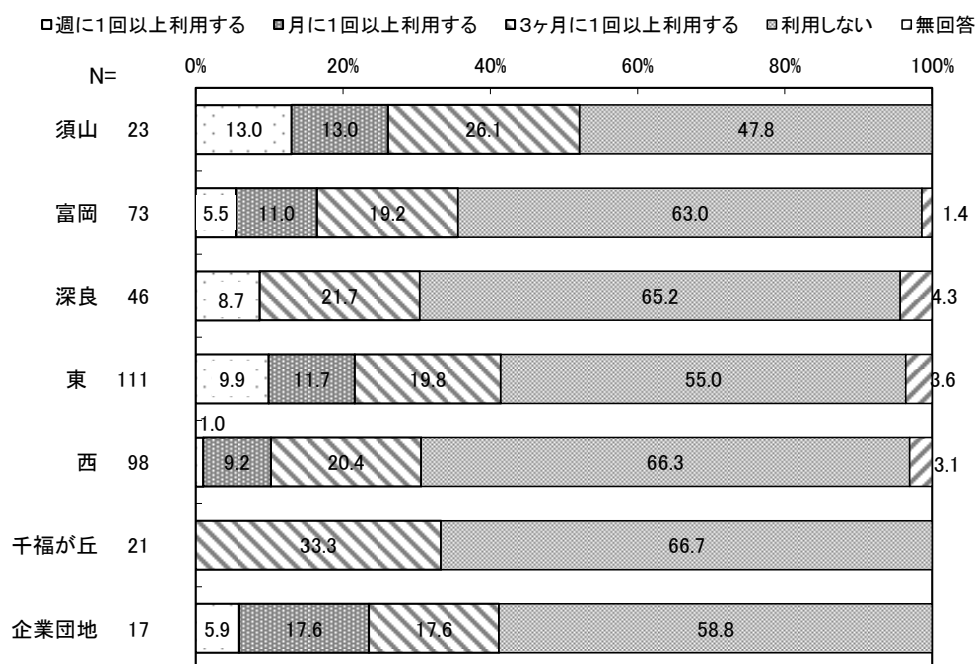
年代別でみると、55～59 歳の利用頻度が一番高く、「月に 1 回以上利用する」人は、25%を超えています。その一方で、20～24 歳の「利用しない」の割合は 8 割近くありました。

□週に1回以上利用する □月に1回以上利用する □3ヶ月に1回以上利用する □利用しない □無回答



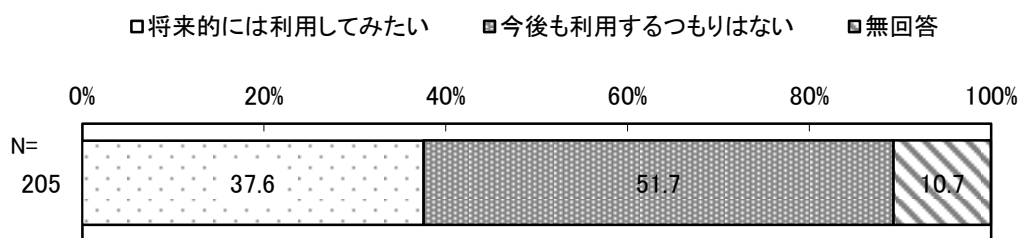
【居住地別】

居住地別にみると、須山地区での利用頻度が一番高く、「月に1回以上利用する」人は26.0%です。一方、千福が丘地区ではほぼ利用されていませんでした。



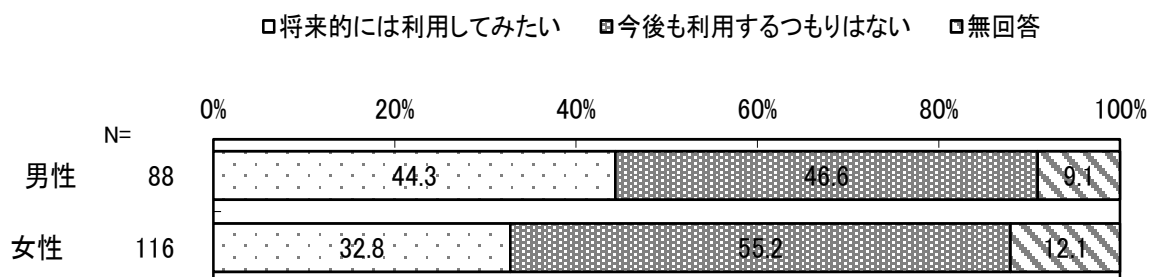
問 13 【問 8 で「いいえ」と答えた方に対して】インターネットを利用する予定はありますか。(1つに○)

「今後も利用するつもりはない」人が全体の17.3%います。



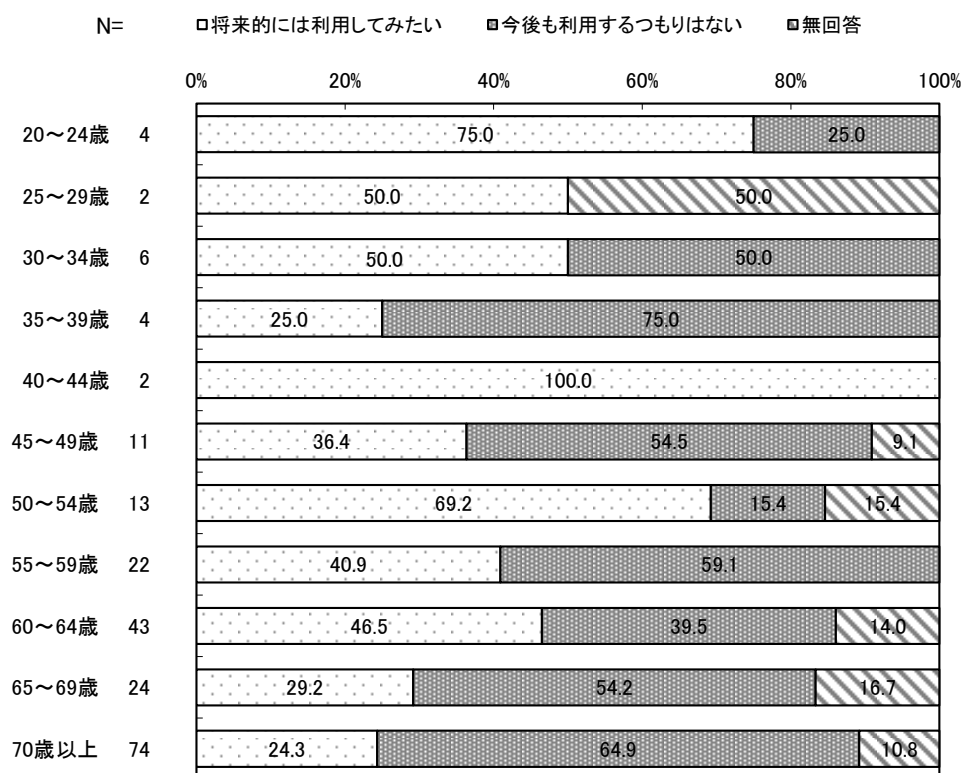
【性別】

男性に比べて女性の方が、「利用するつもりはない」の割合が高くなっています。



【年代別】

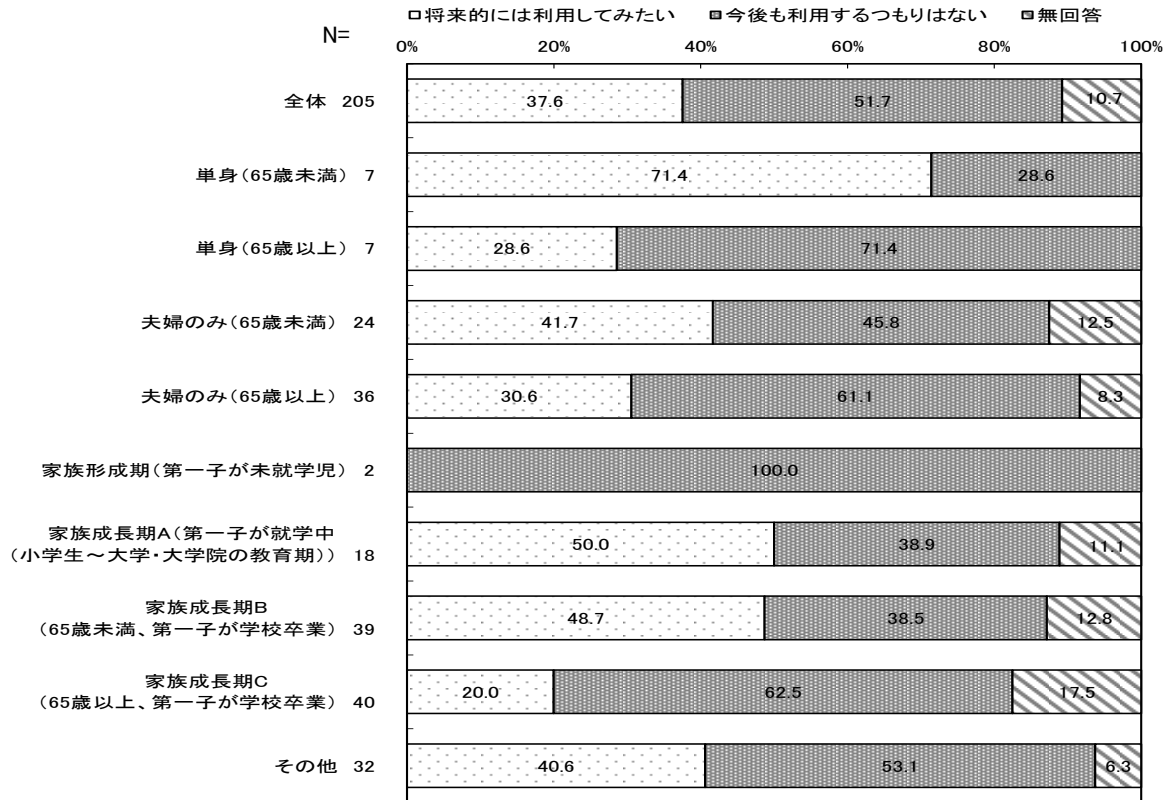
40～44歳では、全員が「将来的には利用してみたい」と考えていることがわかりました。



【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、65歳以上の単身と家族形成期(第一子が未就学児)で「今後も利用するつもりはない」の割合が高い傾向が見られました。

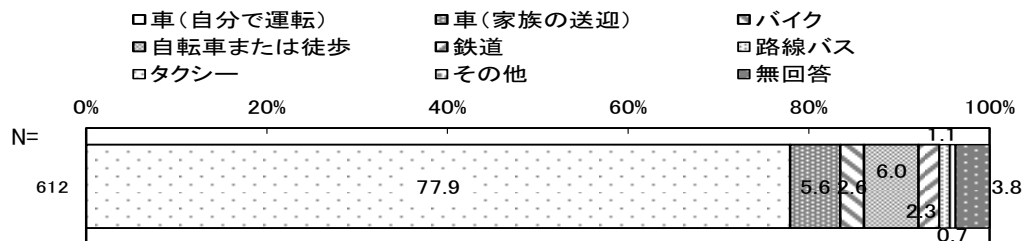
【ライフステージ別】



外出について

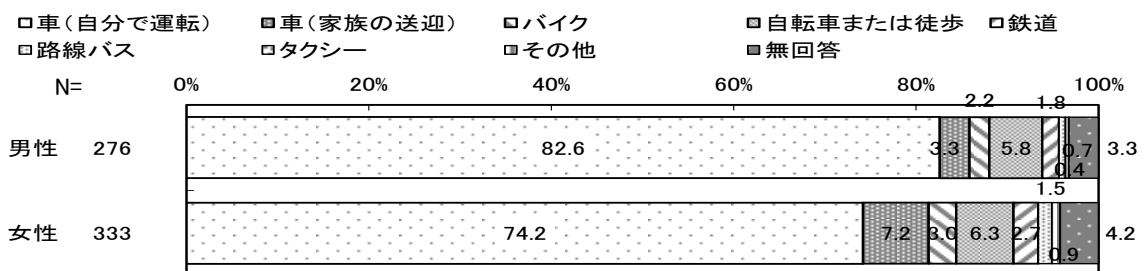
問 14 日常生活で外出(通勤、通学、通院、買い物など)するときの主な移動手段は何ですか。
(1つに○)

「車(自分で運転)」が8割近くと一番高く、次いで「自転車または徒歩」、「車(家族の送迎)」の順となりました。



【性別】

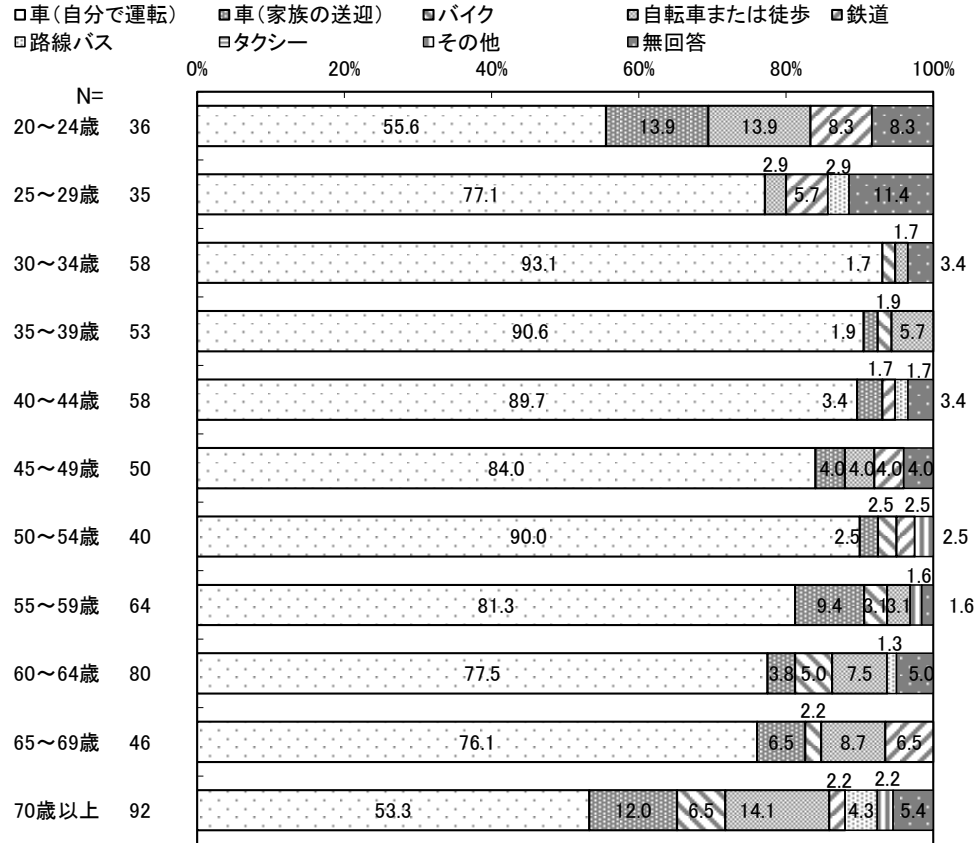
男性に方が女性よりも車(自分で運転)の割合が高い傾向が見られました。



【年代別】

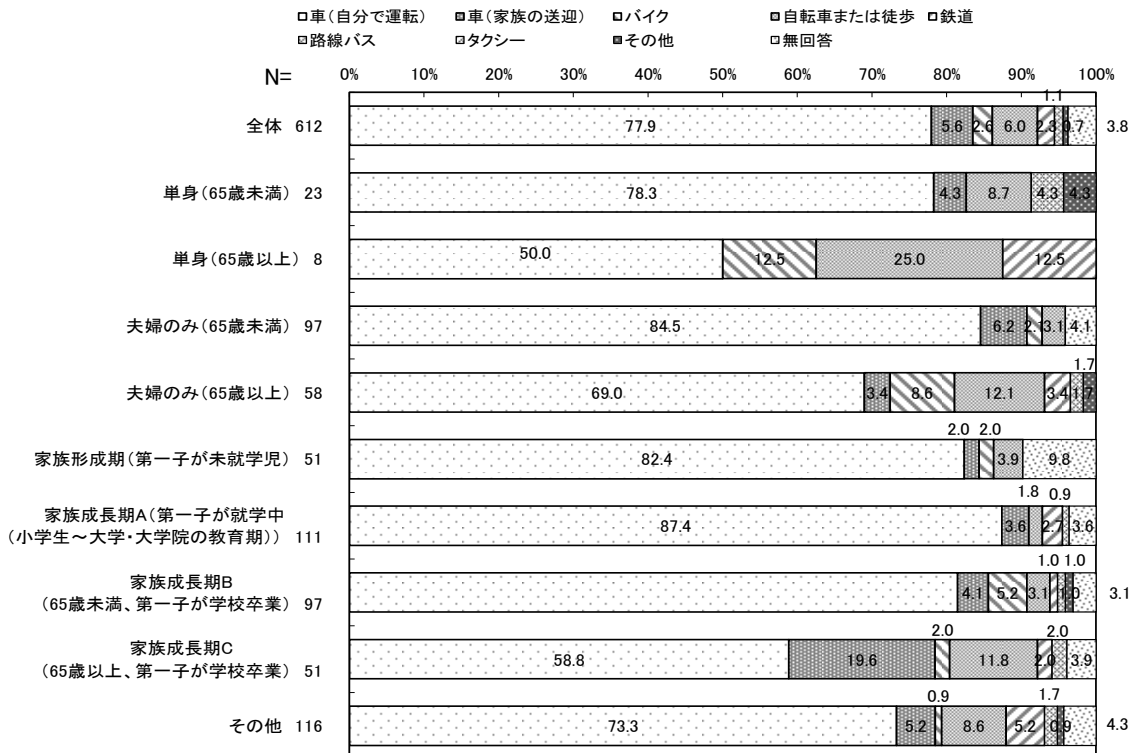
年代別でみると、「車(自分で運転)」の割合は30～54歳が9割前後と非常に高く、その前後の年齢は緩やかな減少傾向が見られました。また20～24歳と70歳以上では、「車(家族の送迎)」と「自転車または徒歩」の割合がやや高くなっています。

【年代別】



【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、単身（65歳以上）と家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で「車(自分で運転)」の割合が比較的少なく、「自転車または徒歩」と「車(家族の送迎)」の割合がやや高い傾向が見られました。



【性別、年代別、居住地別】(表)

年代別でみると、若い世代の方が「鉄道」利用の割合がやや高いです。

居住地別でみると、深良地区での「バイク」の利用がやや高いです。

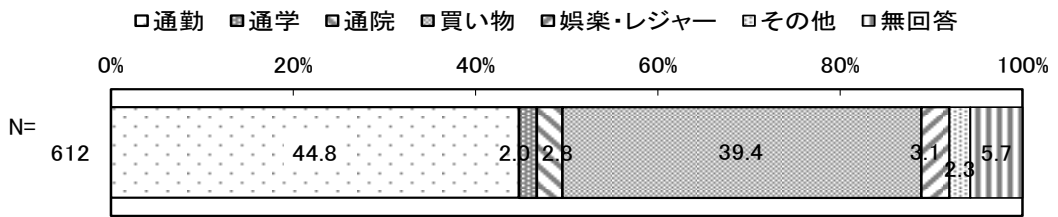
※この表においては、2番目に高い割合のものを■で網かけをしています。(無回答を除く)

単位(%)

区分	有効回答数(件)	車(自分で運転)	車(家族の送迎)	バイク	自転車または徒歩	鉄道	路線バス	タクシー	その他	無回答
男性	276	82.6	3.3	2.2	5.8	1.8	0.7	0.0	0.4	3.3
女性	333	74.2	7.2	3.0	6.3	2.7	1.5	0.0	0.9	4.2
20～24歳	36	55.6	■13.9	0.0	■13.9	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
25～29歳	35	77.1	0.0	0.0	2.9	■5.7	2.9	0.0	0.0	11.4
30～34歳	58	93.1	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
35～39歳	53	90.6	1.9	1.9	■5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～44歳	58	89.7	■3.4	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	3.4
45～49歳	50	84.0	■4.0	0.0	■4.0	■4.0	0.0	0.0	0.0	4.0
50～54歳	40	90.0	■2.5	■2.5	0.0	■2.5	0.0	0.0	2.5	0.0
55～59歳	64	81.3	■9.4	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6
60～64歳	80	77.5	3.8	5.0	■7.5	0.0	1.3	0.0	0.0	5.0
65～69歳	46	76.1	6.5	2.2	■8.7	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	92	53.3	12.0	6.5	■14.1	2.2	4.3	0.0	2.2	5.4
須山	37	83.8	■8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4
富岡	114	77.2	■7.9	0.9	3.5	2.6	0.9	0.0	0.0	7.0
深良	65	75.4	4.6	■7.7	3.1	4.6	1.5	0.0	0.0	3.1
東	176	76.1	4.5	2.3	■8.5	3.4	1.1	0.0	1.1	2.8
西	156	75.6	5.1	3.8	■9.0	1.3	1.3	0.0	0.6	3.2
千福が丘	28	92.9	■7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
企業団地	21	95.2	0.0	0.0	■4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

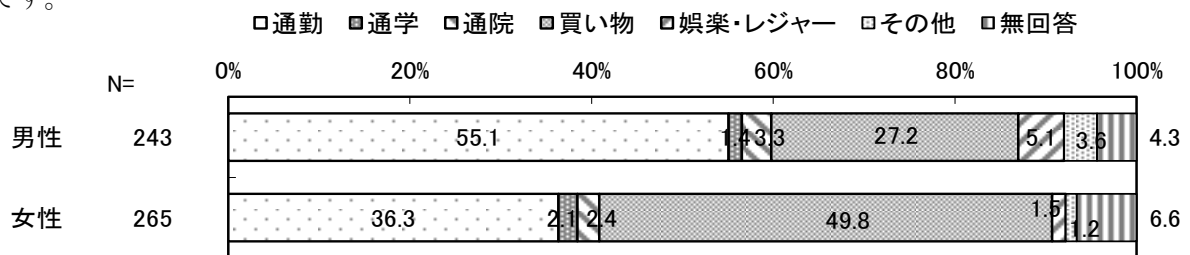
問 15 問 14 で答えた外出の主な目的は何ですか。(1 つに○)

主な目的は「通勤」と「買い物」で 8 割強を占めています。



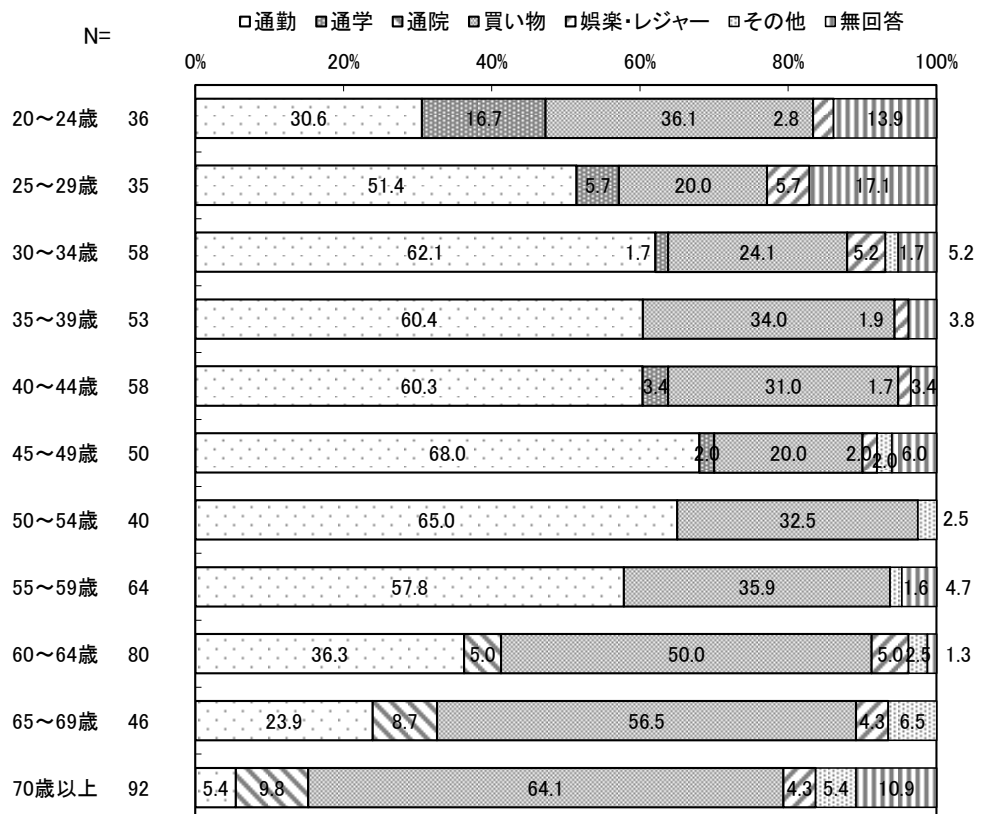
【性別】

「通勤」の割合は、女性に比べて男性の方が高く、「買い物」は男性に比べて女性の方が高い傾向です。



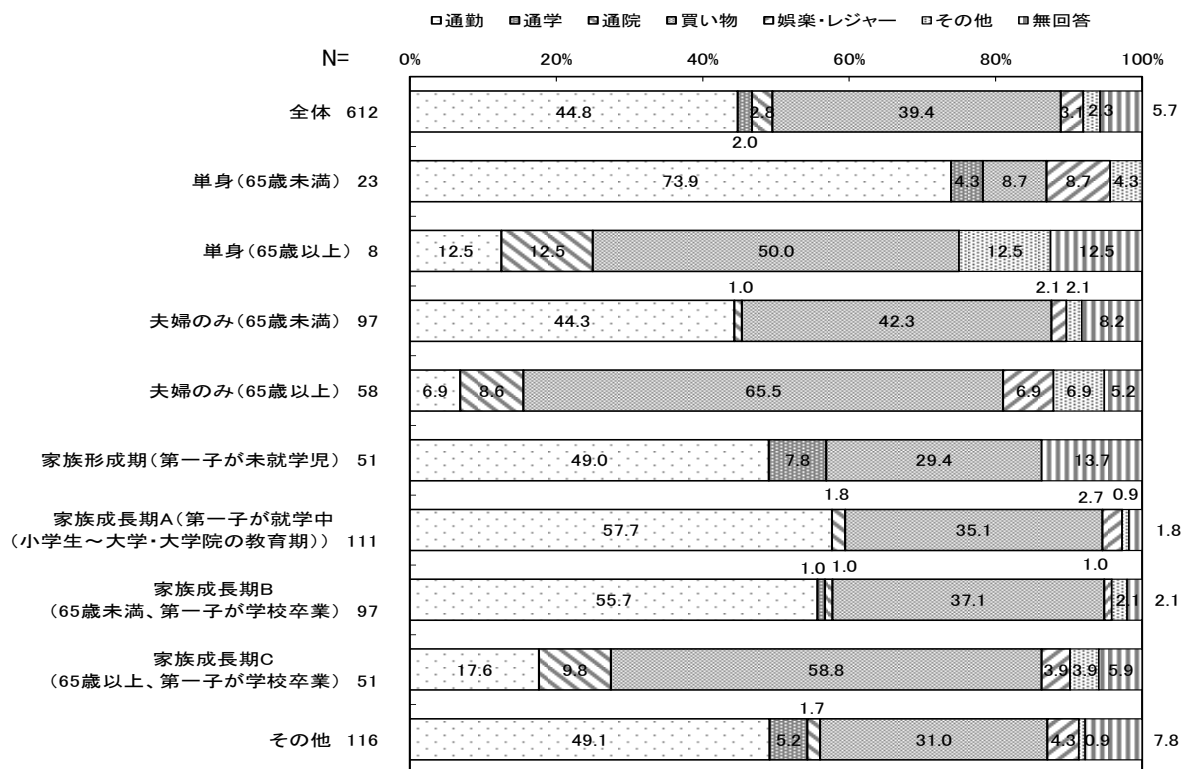
【年代別】

年代別でみると、25～59 歳では「通勤」の割合がもっとも高く、20～24 歳と 60 歳以上では「買い物」がもっとも高くなっています。



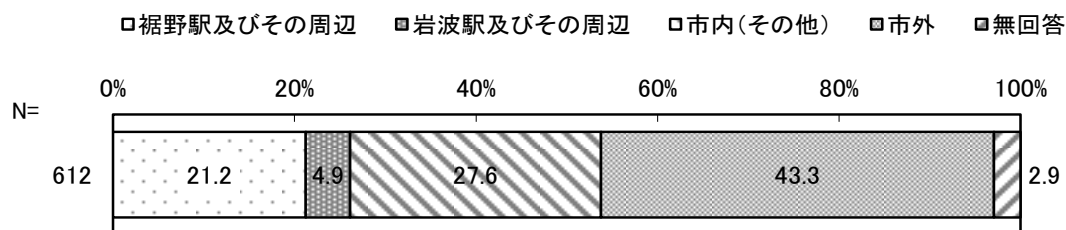
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、単身（65歳未満）で通勤が最も高く、65歳以上の単身と家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で、「通院」の割合が約1割ありました。



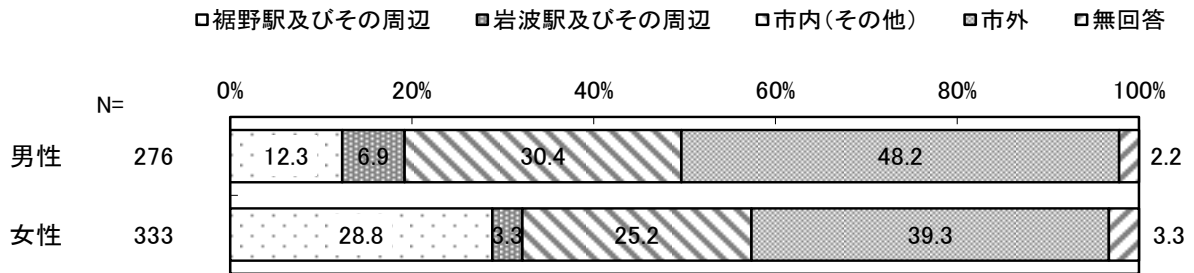
問 16 問 15 で答えた目的で外出するときの外出方面について、主なものを1つお選び下さい。

主な外出先は「市外」の割合が43.3%で一番高く、次いで「市内(その他)」、「裾野駅およびその周辺」の順となりました。



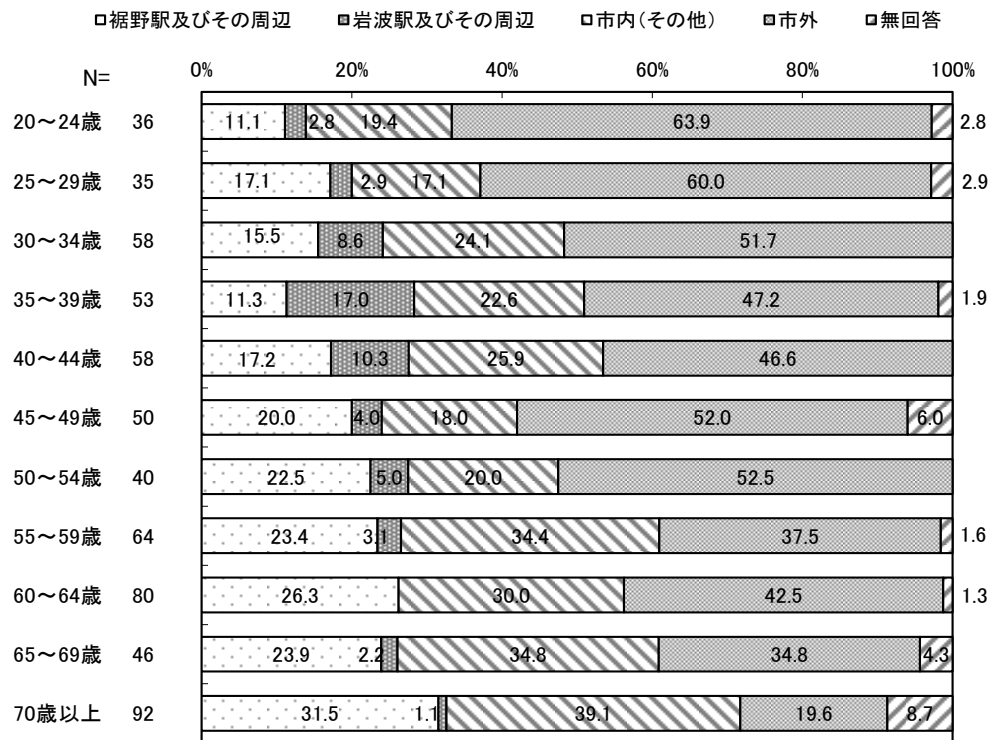
【性別】

性別でみると、「裾野駅およびその周辺」の割合が女性で高く、「市外」の割合は女性に比べて男性の方がやや高い傾向が見られました。



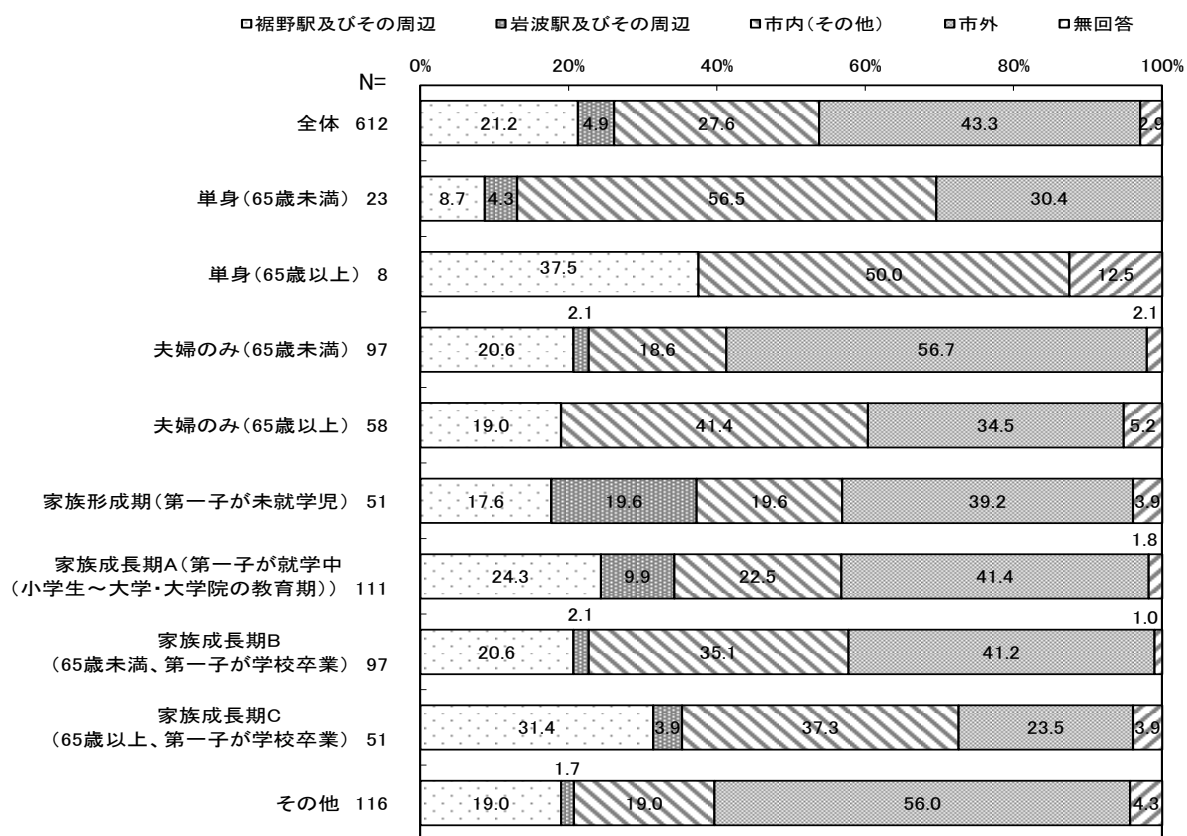
【年代別】

年代別でみると、「市外」の割合がもっとも高いのは20～29歳で、「裾野駅及びその周辺」と「市内(その他)」の割合がもっとも高いのは70歳以上でした。「岩波駅及びその周辺」は35～39歳で一番高い傾向が見られました。



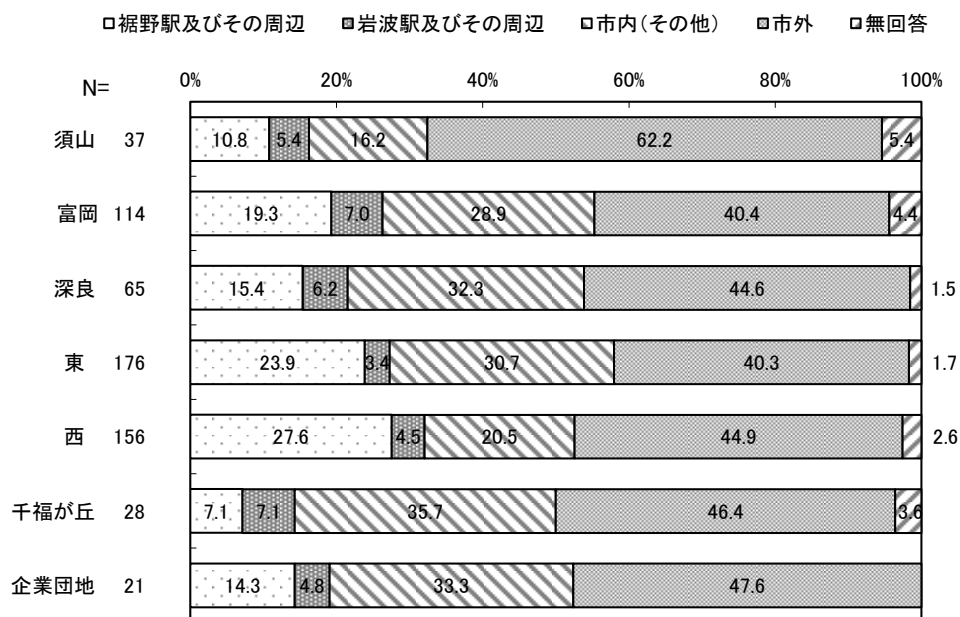
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、「市内(その他)」は単身世帯での割合が高く5割以上となっています。また、「岩波駅及びその周辺」がもっとも高いのは、家族形成期(第一子が未就学児)でした。



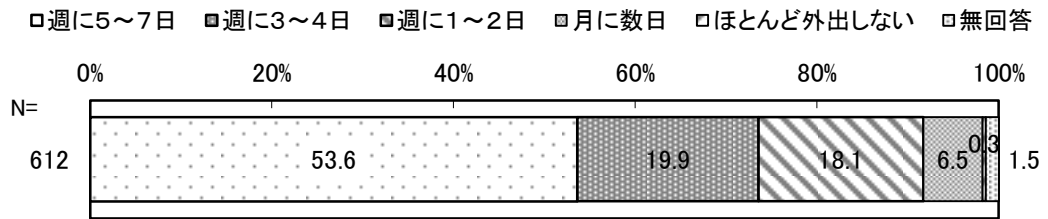
【居住地別】

須山地区では、「市外」の割合が高く6割を超えています。



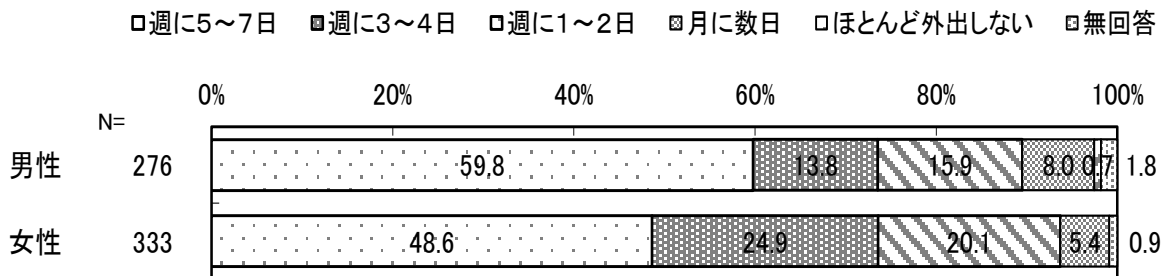
問 17 問 15 で答えた目的で外出する頻度は、どのくらいですか。(主なもの1つに○)

「週に5～7日」の割合が半数以上で、多くの方がほぼ毎日外出しています。



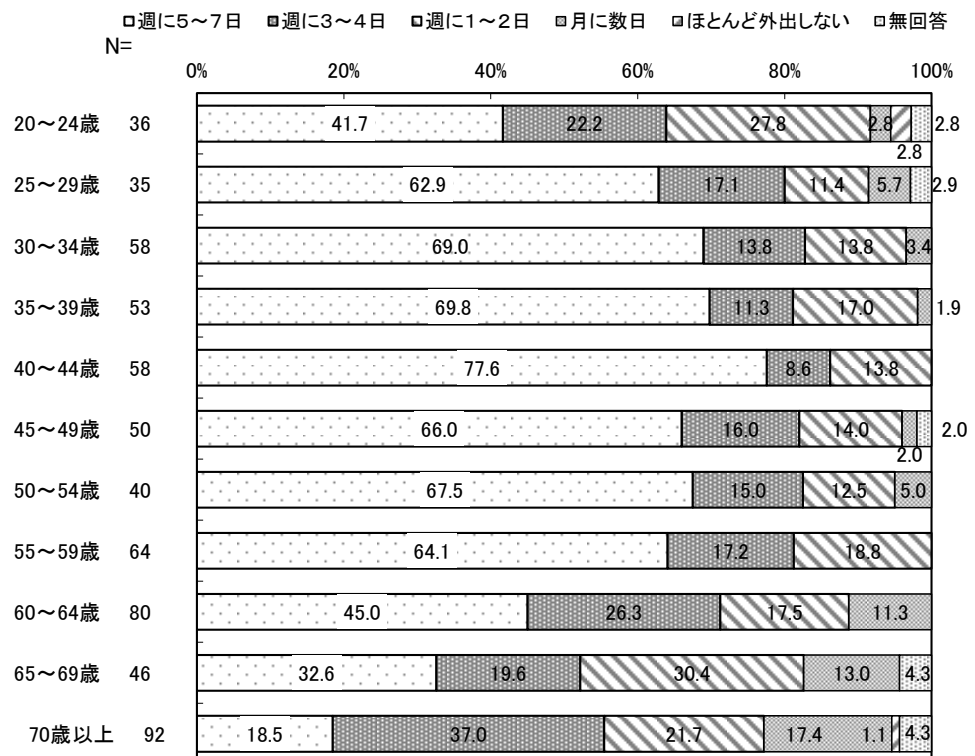
【性別】

性別でみると、「週に5～7日」のほぼ毎日外出する割合は、女性に比べて男性の方が高くなっています。一方、「ほとんど外出しない」の女性の該当者はいませんでした。



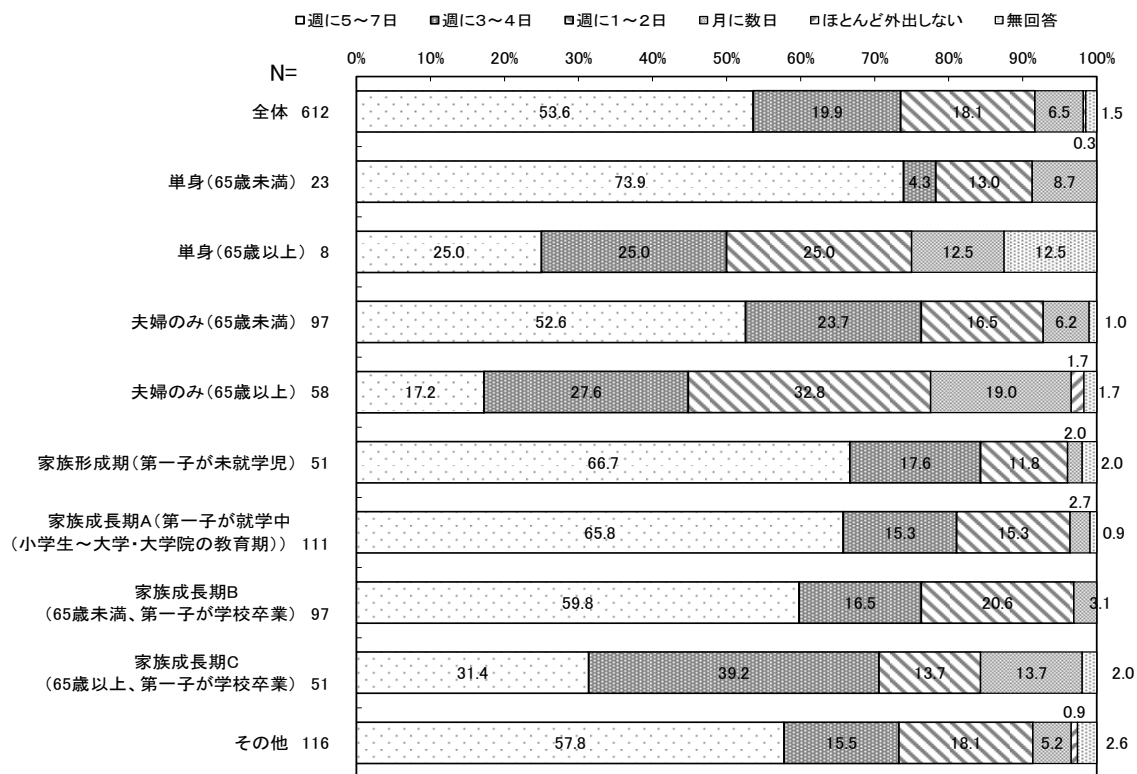
【年代別】

年代別でみると、外出頻度の割合は、40～44歳が一番高い傾向が見られました。



【ライフステージ別】

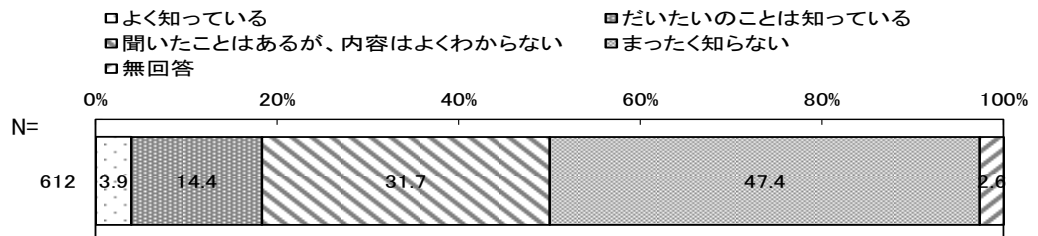
ライフステージ別にみると、外出頻度がもっとも低いのは夫婦のみ(65歳以上)の世帯でした。



市民協働について

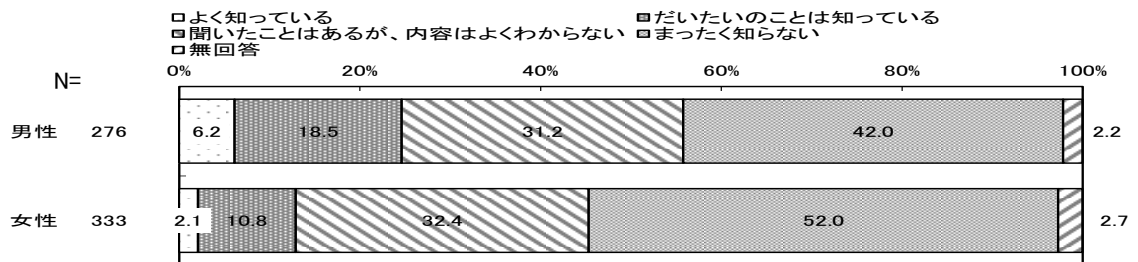
問 18 行政と市民、事業者が対等な立場でお互いに協力・連携して、公共的な課題の解決や住みよい地域づくりに取り組むことを「協働」といいます。あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(1つに○)

「よく知っている」「だいたいのことは知っている」の割合は18.3%でした。



【性別】

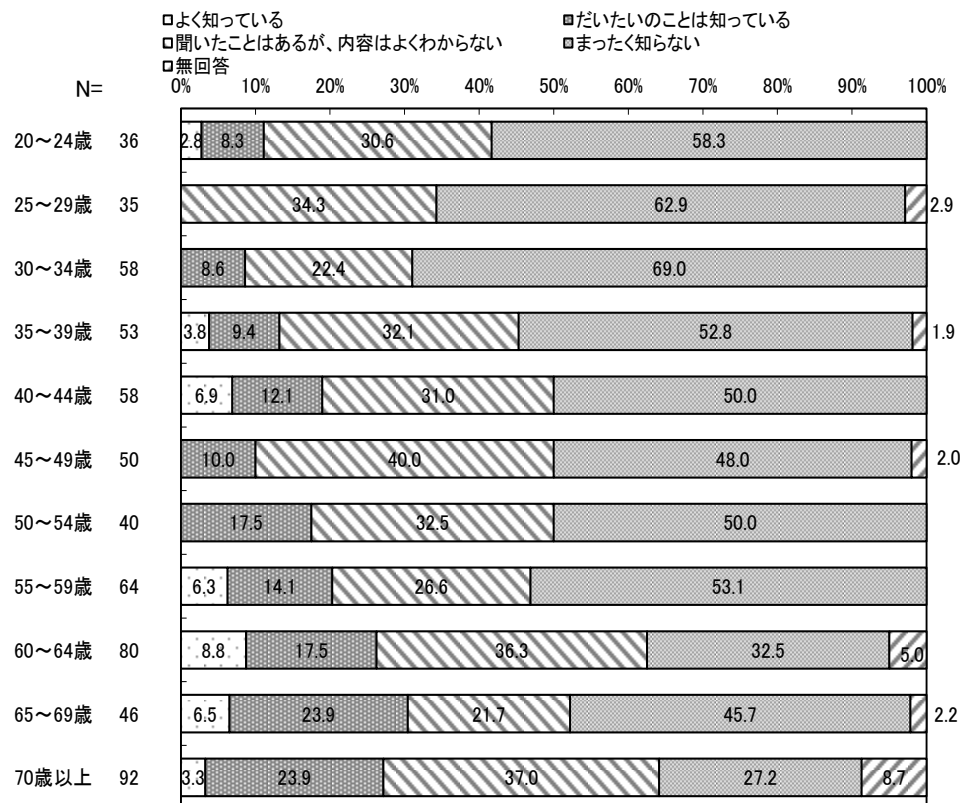
性別でみると、女性より男性の方が、「よく知っている」と「だいたいのことは知っている」をあわせた認識度が高くなっています。



【年代別】

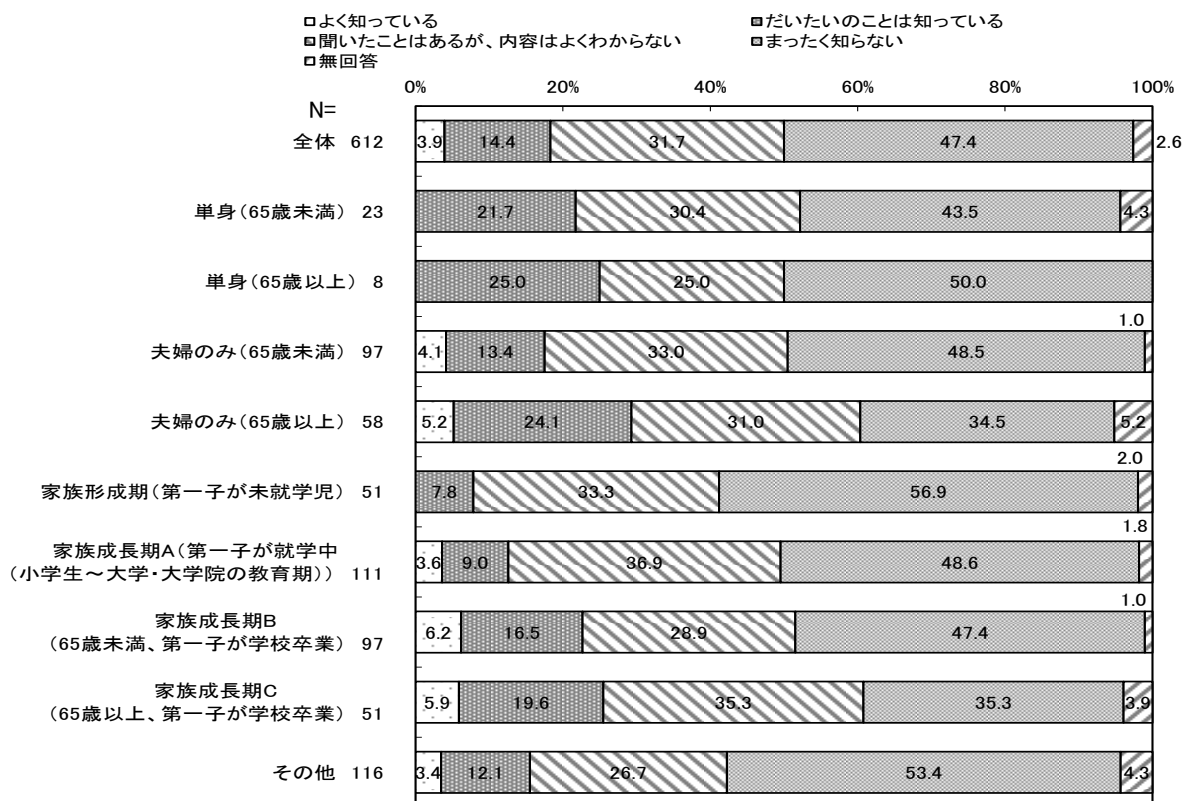
年代別でみると、認識度が高いのは60歳以上でした。

【年代別】



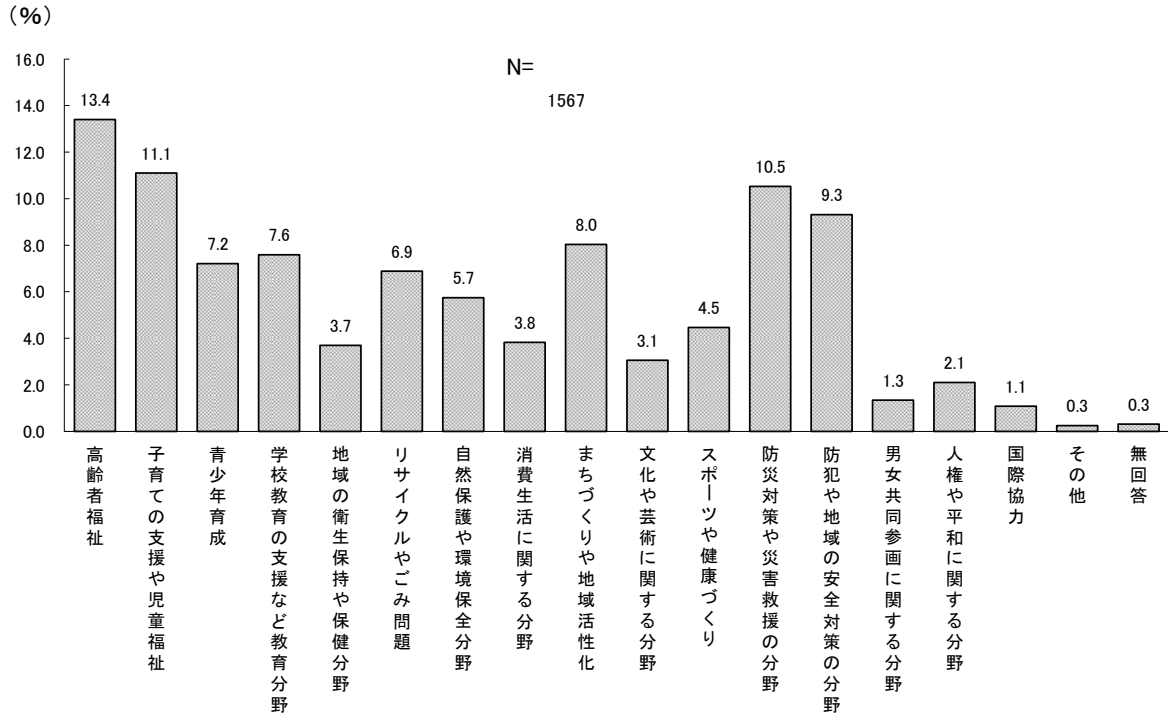
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、65歳以上の方は偏りなく認識度が高くなっています。一方、家族形成期（第一子が未就学児）での認識度は低い傾向があります。



問 19 【問 18 で「1~3」を選んだ方のみ】協働して取り組む必要性が高い分野はどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

協働して取り組む必要性が高い分野は、「高齢者福祉」、「子育ての支援や児童福祉」、「防災対策や災害救援の分野」の順になりました。



【性別、年代別、居住地区別】

年代別でみると、20～39歳の若い世代では「子育て支援や児童福祉」について関心が高く、40～64歳と70歳以上では「高齢者福祉」、65～69歳では「防災対策や災害救援」の分野で関心が高い傾向が見られます。

居住地区別でみると、深良地区と千福が丘地区で「防犯や地域の安全対策の分野」の割合が高くなっています。

単位(%)

区分	有効回答件数(件)	高齢者福祉	子育ての支援や児童福祉	青少年育成	学校教育の支援など教育分野	地域の衛生保持や保健分野	リサイクルやごみ問題	自然保護や環境保全分野	消費生活に関する分野	まちづくりや地域活性化	文化や芸術に関する分野	スポーツや健康づくり
男性	767	12.5	9.5	7.2	6.5	3.9	6.4	7.3	4.2	8.6	3.1	4.3
女性	796	14.3	12.7	7.2	8.7	3.5	7.4	4.3	3.4	7.4	3.0	4.6
20～24歳	67	11.9	13.4	3.0	9.0	7.5	7.5	6.0	3.0	11.9	-	1.5
25～29歳	63	11.1	15.9	3.2	6.3	3.2	11.1	11.1	1.6	4.8	1.6	4.8
30～34歳	78	11.5	15.4	5.1	14.1	3.8	2.6	3.8	2.6	7.7	2.6	2.6
35～39歳	113	10.6	15.0	6.2	11.5	3.5	6.2	3.5	4.4	8.8	2.7	4.4
40～44歳	144	15.3	12.5	6.3	11.1	1.4	5.6	4.2	2.8	9.7	2.8	4.9
45～49歳	142	13.4	10.6	9.2	7.0	2.8	6.3	3.5	4.9	7.7	3.5	5.6
50～54歳	116	14.7	11.2	8.6	6.9	3.4	6.9	6.9	4.3	8.6	1.7	3.4
55～59歳	176	11.9	7.4	7.4	5.7	2.3	7.4	7.4	4.5	9.7	5.1	3.4
60～64歳	253	14.2	11.1	9.1	6.3	4.3	6.7	3.6	2.8	7.1	4.0	4.0
65～69歳	127	12.6	9.4	7.1	5.5	4.7	6.3	7.9	3.1	5.5	3.9	6.3
70歳以上	288	14.9	9.4	7.3	6.3	4.5	8.3	7.3	5.2	7.6	2.4	5.6
須山	26	16.9	10.1	7.9	3.4	3.4	5.6	4.5	4.5	9.0	6.7	3.4
富岡	92	15.8	12.0	7.4	8.5	2.1	9.2	5.3	3.5	5.6	2.1	4.2
深良	62	11.0	8.7	7.0	6.4	1.2	7.6	6.4	2.9	7.6	6.4	6.4
東	155	13.5	11.1	7.8	7.8	4.2	6.0	5.8	4.4	9.3	2.4	3.5
西	117	11.5	11.5	6.7	8.3	5.0	6.7	6.4	3.2	7.8	3.0	5.0
千福が丘	31	15.7	11.8	11.8	5.9	3.9	5.9	3.9	7.8	11.8	-	2.0
企業団地	20	11.6	14.0	4.7	9.3	7.0	4.7	4.7	2.3	9.3	2.3	4.7

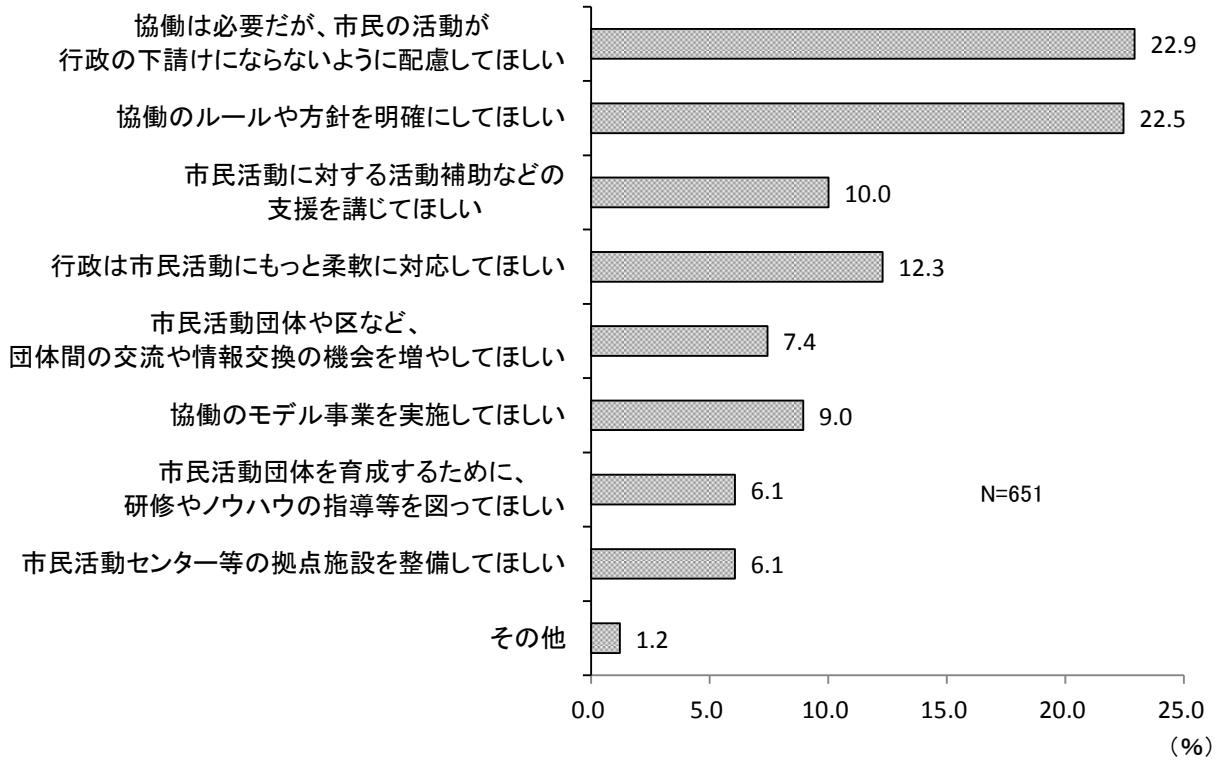
【性別、年代別、居住地区別】

単位(%)

防災対策や災害救援の分野	防犯や地域の安全対策の分野	男女共同参画に関する分野	人権や平和に関する分野	国際協力	その他	無回答
11.2	9.8	1.4	2.3	0.8	0.4	0.5
9.8	8.9	1.3	1.9	1.4	0.1	0.1
11.9	10.4	-	3.0	-	-	-
11.1	12.7	1.6	-	-	-	-
12.8	12.8	-	1.3	1.3	-	-
9.7	8.8	0.9	1.8	0.9	0.9	-
11.1	9.0	1.4	0.7	1.4	-	-
9.2	9.9	0.7	2.8	1.4	1.4	-
9.5	9.5	0.9	2.6	0.9	-	-
9.7	9.7	1.7	4.0	2.3	-	0.6
12.3	8.7	1.6	1.6	2.0	0.4	0.4
13.4	8.7	2.4	2.4	-	-	0.8
8.3	8.0	1.7	2.1	0.3	-	0.7
11.2	6.7	2.2	2.2	1.1	-	1.1
11.6	9.5	0.7	1.8	0.7	-	-
9.9	12.2	1.2	2.9	1.7	-	0.6
10.9	7.5	1.8	2.2	1.1	0.4	0.2
10.1	9.9	0.9	2.1	1.4	0.2	0.5
7.8	11.8	-	-	-	-	-
9.3	9.3	4.7	2.3	-	-	-

問 20 【問 18 で「1~3」を選んだ方のみ】協働を進めていく上で、行政にどのような施策を期待しますか。(〇はいくつでも)

期待度は、「協働は必要だが、市民の活動が行政の下請けにならないように配慮してほしい」、「協働のルールや方針を明確にしてほしい」、「行政は市民活動にもっと柔軟に対応してほしい」の順になりました。



【性別、年代別、居住地区別】

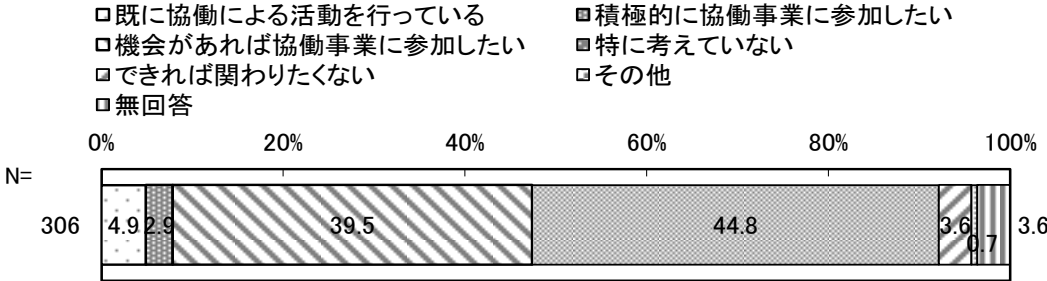
性別、年代別、居住地区別でみると、「協働のルールや方針を明確にしてほしい」の割合は、20～29歳の若者と千福が丘地区で高い傾向が見られます。また「協働のモデル事業を実施してほしい」の割合は、30～34歳と45～49歳でやや高くなっています。

- ①協働は必要だが、市民の活動が行政の下請けにならないように配慮してほしい
 ②協働のルールや方針を明確にしてほしい
 ③市民活動に対する活動補助などの支援を講じてほしい
 ④行政は市民活動にもっと柔軟に対応してほしい
 ⑤市民活動団体や区など、団体間の交流や情報交換の機会を増やしてほしい
 ⑥協働のモデル事業を実施してほしい
 ⑦市民活動団体を育成するために、研修やノウハウの指導等を図ってほしい
 ⑧市民活動センター等の拠点施設を整備してほしい
- 単位(%)

	有効回答数(件)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	その他	無回答
男性	354	24.6	20.6	10.7	12.7	7.3	9.6	5.9	5.1	1.4	2.0
女性	303	20.8	24.4	9.2	11.9	7.6	8.3	6.3	7.3	1.0	3.3
20～24歳	27	22.2	29.6	14.8	18.5	3.7	7.4	3.7	-	-	-
25～29歳	17	23.5	35.3	11.8	17.6	-	5.9	-	-	-	5.9
30～34歳	30	26.7	13.3	6.7	16.7	3.3	16.7	3.3	6.7	6.7	-
35～39歳	48	16.7	22.9	10.4	6.3	10.4	10.4	10.4	2.1	4.2	6.3
40～44歳	53	22.6	26.4	5.7	15.1	3.8	13.2	5.7	5.7	-	1.9
45～49歳	46	19.6	19.6	8.7	15.2	6.5	17.4	6.5	6.5	-	-
50～54歳	45	24.4	20.0	11.1	15.6	8.9	4.4	8.9	4.4	2.2	-
55～59歳	68	25.0	19.1	13.2	17.6	5.9	4.4	2.9	10.3	-	1.5
60～64歳	125	24.0	22.4	8.8	7.2	12.0	10.4	7.2	4.8	-	3.2
65～69歳	59	25.4	23.7	11.9	10.2	6.8	3.4	3.4	8.5	1.7	5.1
70歳以上	141	22.0	22.7	9.9	11.3	7.1	7.8	7.1	7.8	1.4	2.8
須山	37	16.2	18.9	16.2	10.8	13.5	10.8	5.4	5.4	2.7	-
富岡	127	22.8	24.4	14.2	9.4	5.5	7.1	4.7	7.9	0.8	3.1
深良	69	26.1	24.6	4.3	11.6	5.8	11.6	4.3	7.2	1.4	2.9
東	200	24.0	21.5	6.0	13.0	8.0	10.5	6.0	6.5	2.0	2.5
西	173	23.1	19.1	12.7	13.9	6.9	6.4	8.7	5.8	0.6	2.9
千福が丘	22	13.6	31.8	13.6	18.2	9.1	9.1	-	-	-	4.5
企業団地	16	18.8	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	6.3	-	-	-

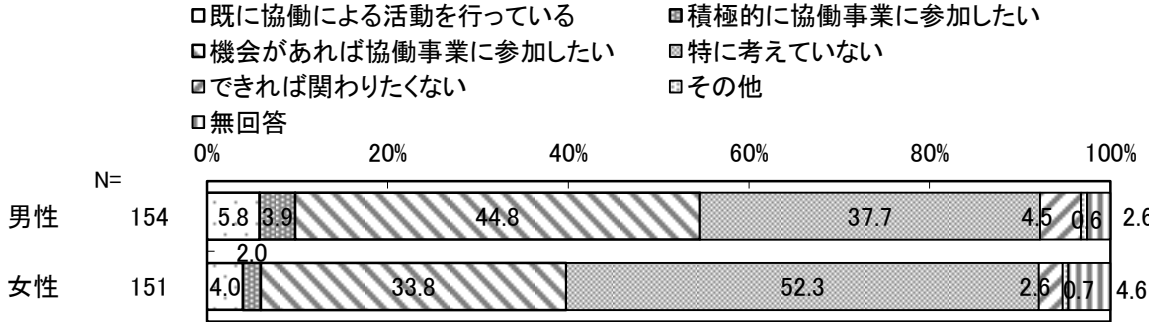
問 21 【問 18 で「1～3」を選んだ方のみ】あなたは、協働への関わりについてどのように思っていますか。(1つに○)

「機会があれば協働事業に参加したい」の割合が4割近くありました。一方、「特に考えていない」の割合も4割強となっています。



【性別】

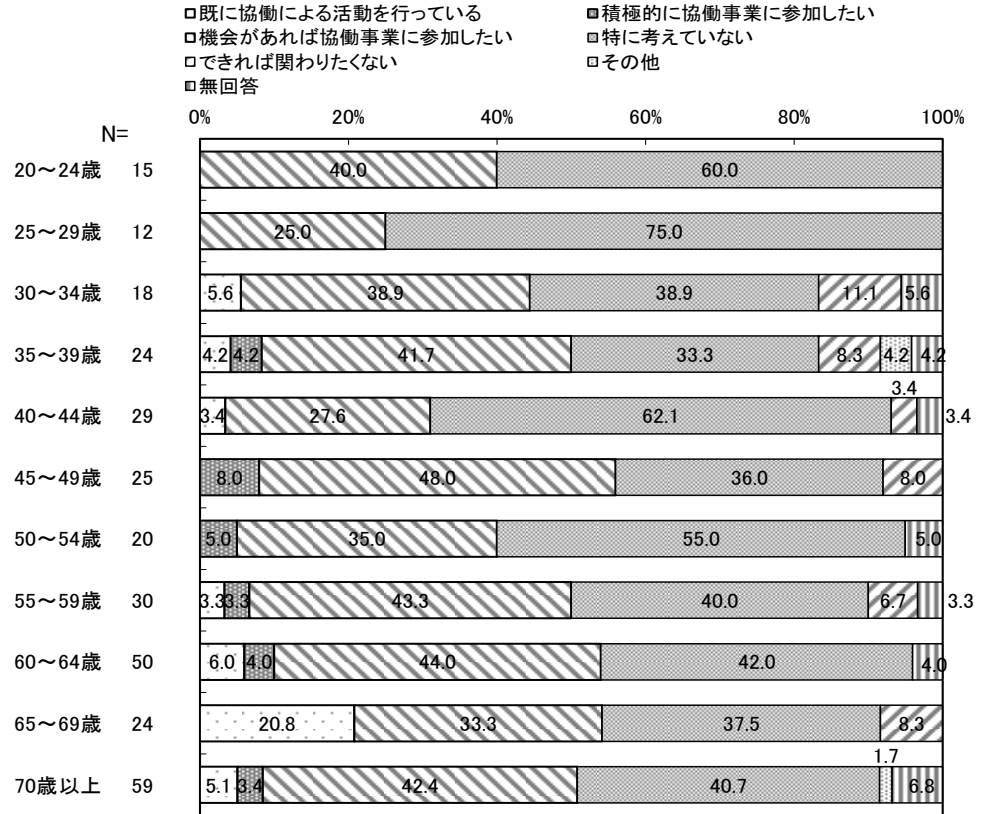
性別でみると、女性より男性の方が参加したいと考えている割合が高くなっています。



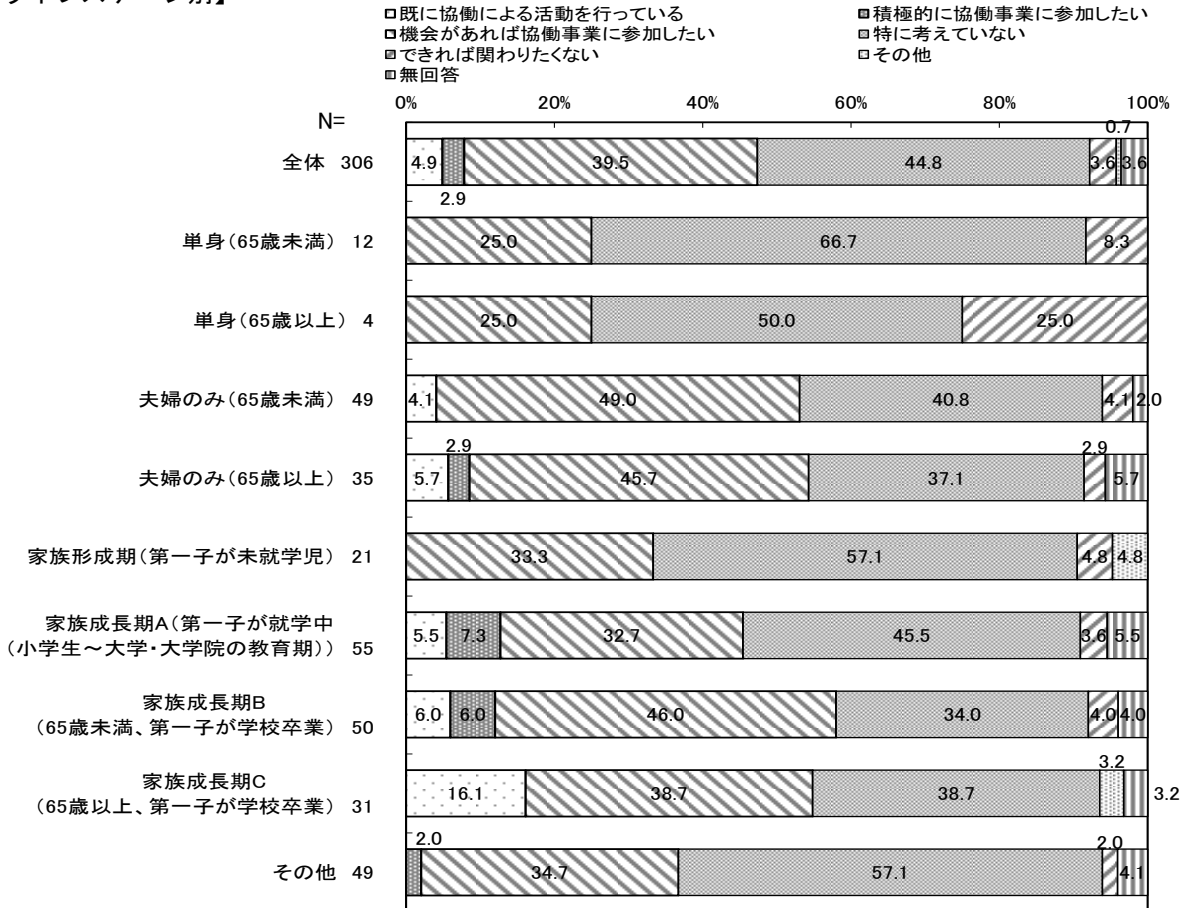
【年代別】

年代別でみると、「既に協働による活動を行っている」は65～69歳で高い傾向が見られます。また「機会があれば協働事業に参加したい」は45～49歳の働き盛り世代で約半数と高い一方、「できれば関わりたくない」がもっとも多かったのは30～34歳でした。

【年代別】



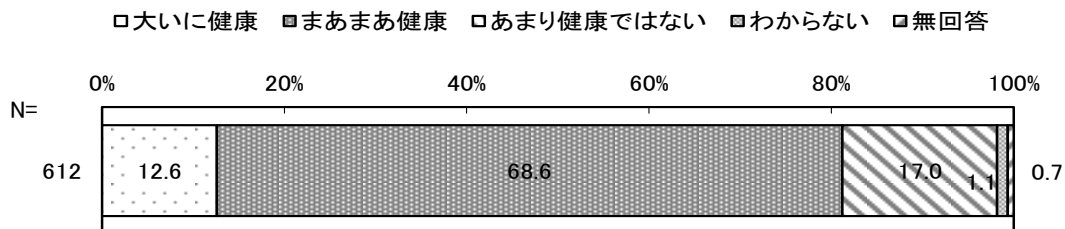
【ライフステージ別】



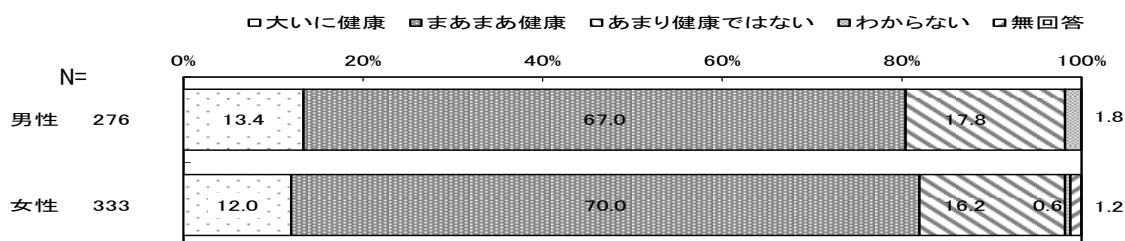
スポーツ活動と健康について

問 22 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(1つに○)

「大いに健康」と「まあまあ健康」をあわせた健康だと感じている割合は高く、8割を超えています。

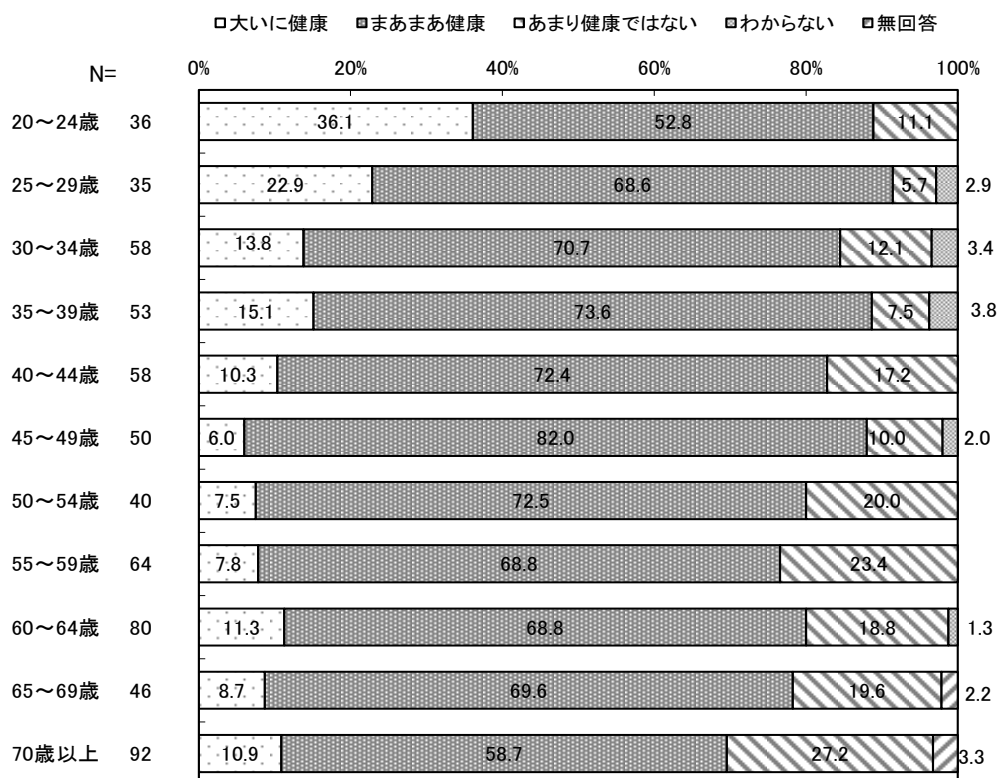


【性別】



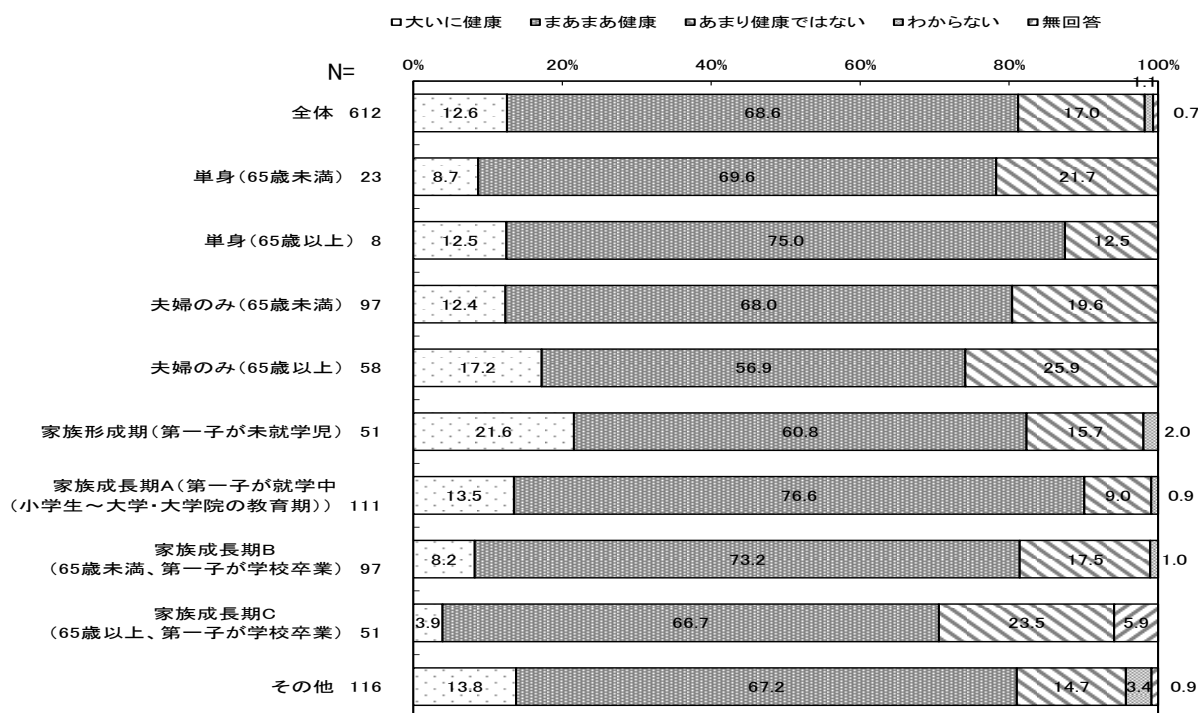
【年代別】

年代別でみると、「あまり健康でない」の回答が多かったのは50～59歳と70歳以上の世代で、2割を超えています。



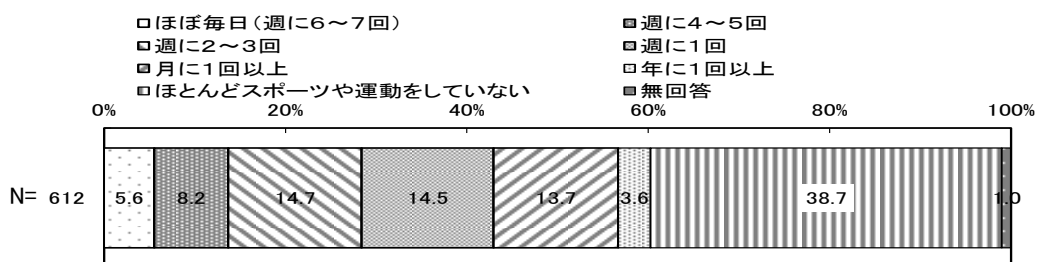
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、「あまり健康でない」の割合が高かったのは、夫婦のみ（65歳以上）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）と単身（65歳未満）の世帯で、2割を超えていました。



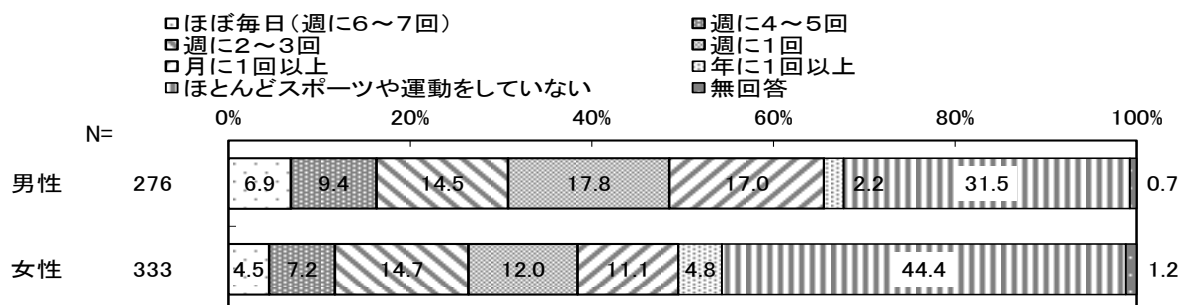
問 23 この1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。(1つに○)

「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合がもっとも高く、「週に2~3回」「週に1回」「月に1回」の順となりました。



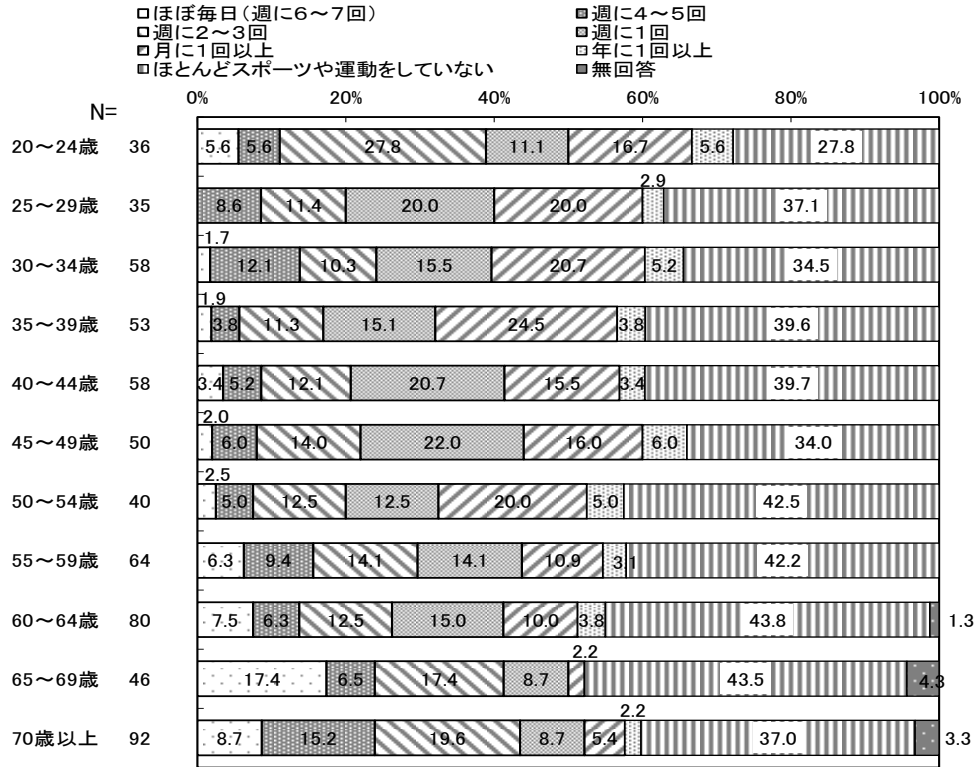
【性別】

性別でみると、女性より男性の方が運動する頻度は高い傾向が見られます。



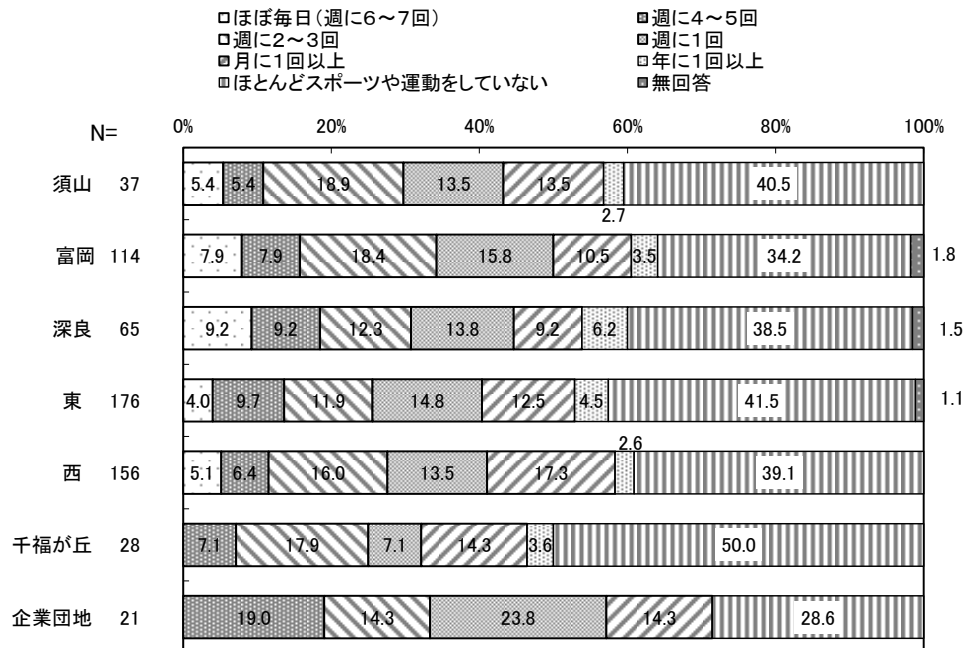
【年代別】

年代別でみると、20～24歳と55歳以上で運動する頻度が高い傾向が見られます。



【居住地別】

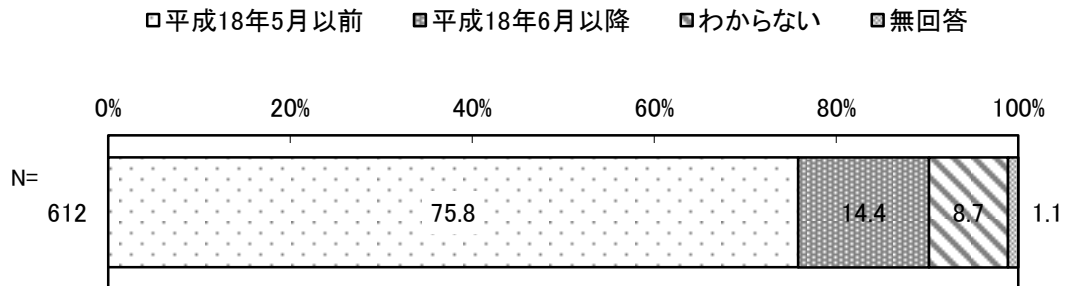
居住地別でみると、「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合がもっとも高いのは千福が丘地区で、5割を超えています。



住宅用火災警報器の設置について

問 24 お住まいの住宅が建てられた時期はいつですか。(1つに○)

「平成 18 年 5 月以前」に建てられた割合が 75.8%と高いです。

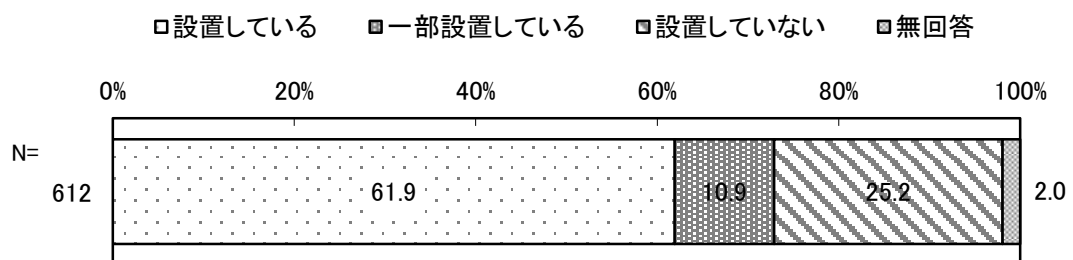


問 25 平成 21 年 6 月 1 日より、お住まいの住宅では、①寝室 ②階段（寝室が 2 階以上の階にある場合）に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。

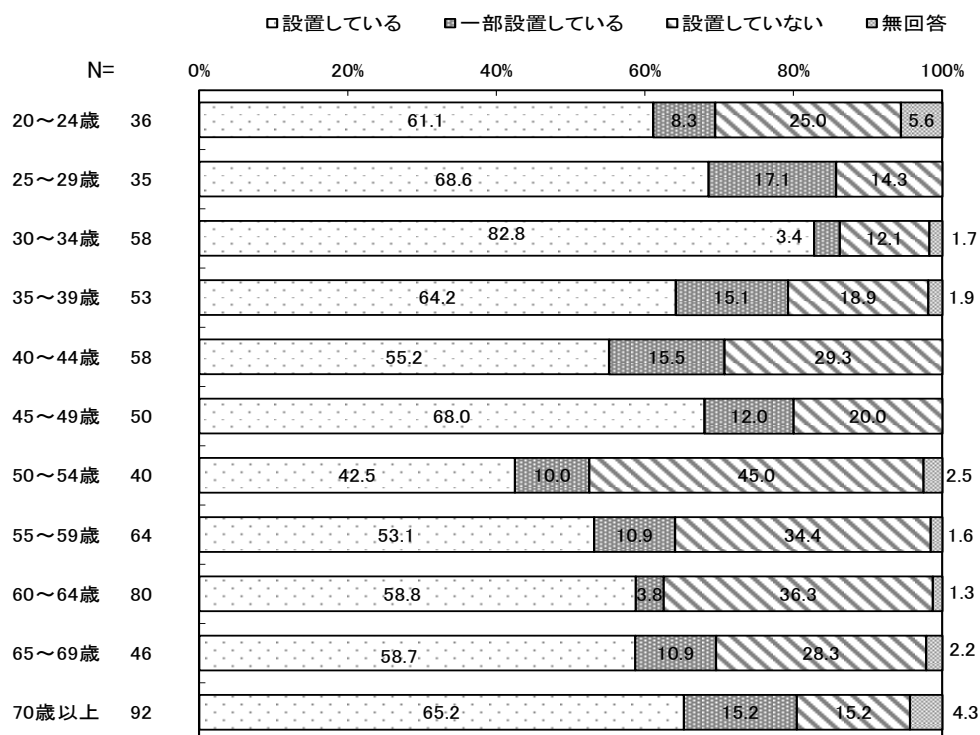
(1つに○)

「設置している」と「一部設置している」をあわせると 7 割を超えています。この値は、昨年よりも高いものとなっています。



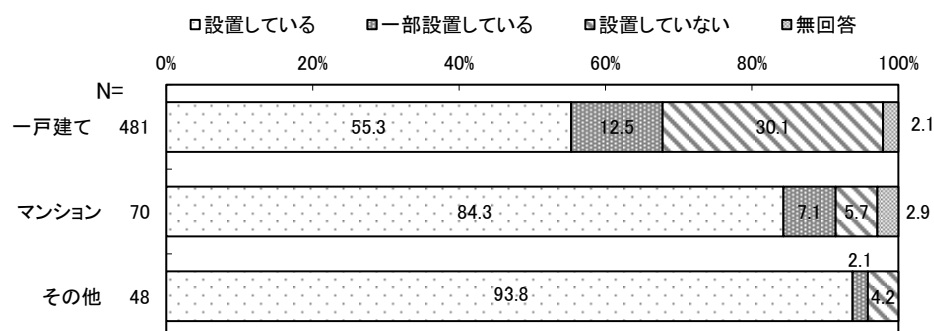
【年代別】

年代別でみると、「設置している」の割合がもっとも低いのは50～54歳でした。



【住居の形態別】

住居の形態別でみると、マンションでは「設置している」と「一部設置している」をあわせた割合が、9割以上となっています。一方、一戸建てで「設置している」の割合は比較的低い傾向が見られます。



IV 参考資料

1 追加クロス集計

問2 タ 市内の土地利用のバランスの良さ

× 問1 シ 鉄道やバスの便利さ

○ 「市内の土地利用のバランスの良さ」に不満を感じている人は、「鉄道やバスの便利さ」に対しても不満を感じていることが分かります。

市内の土地利用の バランスの良さ × 鉄道やバスの便利さ	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答	総計
満足	4 25.0% 40.0%	4 25.0% 16.7%	4 25.0% 1.3%	3 18.8% 2.1%	1 6.3% 1.1%	0 0.0% 0.0%	16 100.0% 2.6%
まあ満足	1 3.0% 10.0%	6 18.2% 25.0%	16 48.5% 5.1%	5 15.2% 3.5%	2 6.1% 2.3%	3 9.1% 8.3%	33 100.0% 5.4%
普通	4 2.5% 40.0%	5 3.1% 20.8%	101 63.1% 32.5%	28 17.5% 19.4%	14 8.8% 16.1%	8 5.0% 22.2%	160 100.0% 26.1%
やや不満	0 0.0% 0.0%	4 2.0% 16.7%	119 58.0% 38.3%	50 24.4% 34.7%	20 9.8% 23.0%	12 5.9% 33.3%	205 100.0% 33.5%
不満	1 0.6% 10.0%	4 2.3% 16.7%	68 38.4% 21.9%	54 30.5% 37.5%	45 25.4% 51.7%	5 2.8% 13.9%	177 100.0% 28.9%
無回答	0 0.0% 0.0%	1 4.8% 4.2%	3 14.3% 1.0%	4 19.0% 2.8%	5 23.8% 5.7%	8 38.1% 22.2%	21 100.0% 3.4%
総計	10 1.6% 100.0%	24 3.9% 100.0%	311 50.8% 100.0%	144 23.5% 100.0%	87 14.2% 100.0%	36 5.9% 100.0%	612 100.0% 100.0%

問5 議会中継をインターネットで見たいですか

× 問8 インターネットを利用していますか

○ 「ネットを利用して」、「中継を見たい」人が全体の82.2%います。

議会のネット中継 × ネット利用	見たい	見たくない	どちらでもない	無回答	総計
利用している	111 27.9% 82.2%	187 47.0% 65.2%	98 24.6% 55.4%	2 0.5% 15.4%	398 100.0% 65.0%
利用していない	24 11.7% 17.8%	97 47.3% 33.8%	76 37.1% 42.9%	8 3.9% 61.5%	205 100.0% 33.5%
無回答	0 0.0% 0.0%	3 33.3% 1.0%	3 33.3% 1.7%	3 33.3% 23.1%	9 100.0% 1.5%
総計	135 22.1% 100.0%	287 46.9% 100.0%	177 28.9% 100.0%	13 2.1% 100.0%	612 100.0% 100.0%

問6 「広報すその」を読んでいますか

× 問2 ヌ 市が行う広報のわかりやすさや情報の量(満足度)

○ 「広報すその」を読んでいる人ほど、「広報の分かりやすさ」に満足している傾向が見られます。

広報すその × 広報の分かりやすさ	読んでいる	ときどき 読んでいる	読んでいない	無回答	総計
満足	31	6	1	0	38
	81.6%	15.8%	2.6%	0.0%	100.0%
	8.0%	3.2%	3.2%	0.0%	6.2%
まあ満足	62	24	1	1	88
	70.5%	27.3%	1.1%	1.1%	100.0%
	16.0%	12.7%	3.2%	25.0%	14.4%
普通	238	126	18	1	383
	62.1%	32.9%	4.7%	0.3%	100.0%
	61.3%	66.7%	58.1%	25.0%	62.6%
やや不満	38	20	4	0	62
	61.3%	32.3%	6.5%	0.0%	100.0%
	9.8%	10.6%	12.9%	0.0%	10.1%
不満	9	7	4	0	20
	45.0%	35.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	2.3%	3.7%	12.9%	0.0%	3.3%
無回答	10	6	3	2	21
	47.6%	28.6%	14.3%	9.5%	100.0%
	2.6%	3.2%	9.7%	50.0%	3.4%
総計	388	189	31	4	612
	63.4%	30.9%	5.1%	0.7%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問12 裾野市の公式Webサイトを利用していますか

× 問2 サ わかりやすく迅速で丁寧な窓口対応(満足度)

○ 「Webサイトの利用頻度が高い」人ほど、「窓口対応への満足度」も高い傾向が見られます。

市Webサイトの利用頻度 × 窓口対応	週に1回以上	月に1回	3ヶ月に1回	利用しない	無回答	総計
満足	3	1	4	7	0	15
	20.0%	6.7%	26.7%	46.7%	0.0%	100.0%
	12.0%	2.5%	4.8%	2.9%	0.0%	3.8%
まあ満足	4	12	15	26	2	59
	6.8%	20.3%	25.4%	44.1%	3.4%	100.0%
	16.0%	30.0%	17.9%	10.9%	20.0%	14.8%
普通	16	22	46	152	5	241
	6.6%	9.1%	19.1%	63.1%	2.1%	100.0%
	64.0%	55.0%	54.8%	63.6%	50.0%	60.6%
やや不満	1	3	14	31	1	50
	2.0%	6.0%	28.0%	62.0%	2.0%	100.0%
	4.0%	7.5%	16.7%	13.0%	10.0%	12.6%
不満	1	2	5	18	1	27
	3.7%	7.4%	18.5%	66.7%	3.7%	100.0%
	4.0%	5.0%	6.0%	7.5%	10.0%	6.8%
無回答	0	0	0	5	1	6
	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	100.0%
	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	10.0%	1.5%
総計	25	40	84	239	10	398
	6.3%	10.1%	21.1%	60.1%	2.5%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 13 インターネットを利用する予定はありますか

× 問 1 セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる環境(満足度)

○「将来インターネットを利用するつもりはない」人は、「平等に情報を受けられる環境」に満足している傾向があります。

将来のインターネット利用 × 平等な情報環境	したい	するつもり はない	無回答	総計
満足	3	12	0	15
	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
まあ満足	15	16	4	35
	42.9%	45.7%	11.4%	100.0%
普通	50	66	14	130
	38.5%	50.8%	10.8%	100.0%
やや不満	1	8	0	9
	11.1%	88.9%	0.0%	100.0%
不満	3	2	1	6
	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
無回答	5	2	3	10
	50.0%	20.0%	30.0%	100.0%
総計	77	106	22	205
	37.6%	51.7%	10.7%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 13 インターネットを利用する予定はありますか

× 問 1 セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる環境(重要度)

○「将来インターネットを利用するつもりはない」人は、「平等に情報を受けられる環境」を重要だと考えている傾向が見られます。

将来のインターネット利用 × 平等な情報環境	したい	するつもり はない	無回答	総計
とても重要	12	22	2	46
	26.1%	47.8%	4.3%	100.0%
重要	41	57	12	108
	38.0%	52.8%	11.1%	100.0%
それほどでもない	14	17	1	32
	43.8%	53.1%	3.1%	100.0%
無回答	10	10	7	27
	37.0%	37.0%	25.9%	100.0%
総計	77	106	22	205
	37.6%	51.7%	10.7%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 15 日常生活で、外出時の主な目的は何ですか

× 問 14 日常生活で外出するときの主な移動手段は何ですか

○移動手段を外出目的別でみると、「車（家族の送迎）」「バイク」「自転車または徒歩」「路線バス」でもっとも高かったのは「買い物」でした。「買い物」に関しては、車以外にも多くの移動手段があることがわかります。

外出の目的 × 外出の移動手段	通勤	通学	通院	買い物	娯楽・レジャー	その他	無回答	総計
車(自分で運転)	248	5	8	171	15	12	18	477
	52.0%	1.0%	1.7%	35.8%	3.1%	2.5%	3.8%	100.0%
	90.5%	41.7%	47.1%	71.0%	78.9%	85.7%	51.4%	77.9%
車(家族の送迎)	4	2	5	19	1	1	2	34
	11.8%	5.9%	14.7%	55.9%	2.9%	2.9%	5.9%	100.0%
	1.5%	16.7%	29.4%	7.9%	5.3%	7.1%	5.7%	5.6%
バイク	6	0	0	9	0	0	1	16
	37.5%	0.0%	0.0%	56.3%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
	2.2%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	2.9%	2.6%
自転車または徒歩	2	2	2	27	1	1	2	37
	5.4%	5.4%	5.4%	73.0%	2.7%	2.7%	5.4%	100.0%
	0.7%	16.7%	11.8%	11.2%	5.3%	7.1%	5.7%	6.0%
鉄道	5	3	1	3	2	0	0	14
	35.7%	21.4%	7.1%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	1.8%	25.0%	5.9%	1.2%	10.5%	0.0%	0.0%	2.3%
路線バス	2	0	0	5	0	0	0	7
	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	0.7%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
その他	1	0	0	3	0	0	0	4
	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	0.4%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
無回答	6	0	1	4	0	0	12	23
	26.1%	0.0%	4.3%	17.4%	0.0%	0.0%	52.2%	100.0%
	2.2%	0.0%	5.9%	1.7%	0.0%	0.0%	34.3%	3.8%
総計	274	12	17	241	19	14	35	612
	44.8%	2.0%	2.8%	39.4%	3.1%	2.3%	5.7%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 16 日常生活で、外出時の主な目的地はどこですか

× 問 2 ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進(満足度)

○「裾野駅及びその周辺」に外出する人の「商業地づくりに関する」不満度の割合は、他地域に比べ低い傾向があります。その一方で、「岩波駅及びその周辺」に外出する人の「商業地づくりに関する」不満度がやや高くなっています。

外出の目的地 × 商業づくり	裾野駅及び その周辺	岩波駅及び その周辺	市内 (その他)	市外	無回答	総計
満足	2	0	2	4	0	8
	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	1.5%	0.0%	1.2%	1.5%	0.0%	1.3%
まあ満足	11	1	9	8	1	30
	36.7%	3.3%	30.0%	26.7%	3.3%	100.0%
	8.5%	3.3%	5.3%	3.0%	5.6%	4.9%
普通	63	15	94	152	9	333
	18.9%	4.5%	28.2%	45.6%	2.7%	100.0%
	48.5%	50.0%	55.6%	57.4%	50.0%	54.4%
やや不満	28	11	36	64	0	139
	20.1%	7.9%	25.9%	46.0%	0.0%	100.0%
	21.5%	36.7%	21.3%	24.2%	0.0%	22.7%
不満	16	3	23	30	3	75
	21.3%	4.0%	30.7%	40.0%	4.0%	100.0%
	12.3%	10.0%	13.6%	11.3%	16.7%	12.3%
無回答	10	0	5	7	5	27
	37.0%	0.0%	18.5%	25.9%	18.5%	100.0%
	7.7%	0.0%	3.0%	2.6%	27.8%	4.4%
総計	130	30	169	265	18	612
	21.2%	4.9%	27.6%	43.3%	2.9%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 16 日常生活で、外出時の主な目的地はどこですか

× 問 14 日常生活で外出するときの主な移動手段は何ですか

○目的地を移動手段別で見ると、全項目で「車（自分で運転）」の割合が高くなっています。特に「岩波駅及びその周辺」では、「車」利用が9割以上を占めています。一方、「市外」以外では、「自転車または徒歩」の割合が2番目に高くなっています。

外出の目的地 × 外出の移動手段	裾野駅及び その周辺	岩波駅及び その周辺	市内 (その他)	市外	無回答	総計
車(自分で運転)	86	25	137	223	6	477
	18.0%	5.2%	28.7%	46.8%	1.3%	100.0%
	66.2%	83.3%	81.1%	84.2%	33.3%	77.9%
車(家族の送迎)	7	3	7	15	2	34
	20.6%	8.8%	20.6%	44.1%	5.9%	100.0%
	5.4%	10.0%	4.1%	5.7%	11.1%	5.6%
バイク	5	0	8	3	0	16
	31.3%	0.0%	50.0%	18.8%	0.0%	100.0%
	3.8%	0.0%	4.7%	1.1%	0.0%	2.6%
自転車または徒歩	17	1	13	4	2	37
	45.9%	2.7%	35.1%	10.8%	5.4%	100.0%
	13.1%	3.3%	7.7%	1.5%	11.1%	6.0%
鉄道	3	0	1	10	0	14
	21.4%	0.0%	7.1%	71.4%	0.0%	100.0%
	2.3%	0.0%	0.6%	3.8%	0.0%	2.3%
路線バス	6	0	1	0	0	7
	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	4.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%
その他	2	0	1	1	0	4
	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%
	1.5%	0.0%	0.6%	0.4%	0.0%	0.7%
無回答	4	1	1	9	8	16
	25.0%	6.3%	6.3%	56.3%	50.0%	100.0%
	3.1%	3.3%	0.6%	3.4%	44.4%	2.6%
総計	130	30	169	265	18	612
	21.2%	4.9%	27.6%	43.3%	2.9%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 18 あなたは「協働」という言葉の意味を知っていますか

× 問 2 コ 市民が関わることのできるまちづくり(満足度)

○「協働の意味をよく知っている」方は、「市民が関わる事のできるまちづくり」に不満がある割合がやや高くなっています。一方、「だいたいのことは知っている」方は、「まあ満足」の割合が高い傾向が見られます。

協働の意味 × 市民によるまちづくり	よく知っている	だいたいのことは知っている	聞いたことはあるが、内容はよく分からない	全く知らない	無回答	総計
満足	1	3	6	2	0	12
	8.3%	25.0%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%
	4.2%	3.4%	3.1%	0.7%	0.0%	2.0%
まあ満足	2	7	13	7	1	30
	6.7%	23.3%	43.3%	23.3%	3.3%	100.0%
	8.3%	8.0%	6.7%	2.4%	6.3%	4.9%
普通	9	59	132	213	5	418
	2.2%	14.1%	31.6%	51.0%	1.2%	100.0%
	37.5%	67.0%	68.0%	73.4%	31.3%	68.3%
やや不満	10	16	29	43	0	98
	10.2%	16.3%	29.6%	43.9%	0.0%	100.0%
	41.7%	18.2%	14.9%	14.8%	0.0%	16.0%
不満	2	2	7	9	1	21
	9.5%	9.5%	33.3%	42.9%	4.8%	100.0%
	8.3%	2.3%	3.6%	3.1%	6.3%	3.4%
無回答	0	1	7	16	9	33
	0.0%	3.0%	21.2%	48.5%	27.3%	100.0%
	0.0%	1.1%	3.6%	5.5%	56.3%	5.4%
総計	24	88	194	290	16	612
	3.9%	14.4%	31.7%	47.4%	2.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 18 あなたは「協働」という言葉の意味を知っていますか

× 問 2 コ 市民が関わることのできるまちづくり(重要度)

○「市民によるまちづくり」の重要度別で「協働の意味」の理解度をみると、認知度が高くなるにつれ、重要度も増していく傾向が見られます。

協働の意味 × 市民によるまちづくり	よく知っている	だいたいのことは知っている	聞いたことはあるが、内容はよく分からない	全く知らない	無回答	総計
とても重要	8	14	23	30	2	77
	10.4%	18.2%	29.9%	39.0%	2.6%	100.0%
	33.3%	15.9%	11.9%	10.3%	12.5%	12.6%
重要	12	54	123	152	3	344
	3.5%	15.7%	35.8%	44.2%	0.9%	100.0%
	50.0%	61.4%	63.4%	52.4%	18.8%	56.2%
それほどでもない	1	17	32	78	0	128
	0.8%	13.3%	25.0%	60.9%	0.0%	100.0%
	4.2%	19.3%	16.5%	26.9%	0.0%	20.9%
無回答	3	3	16	30	11	63
	4.8%	4.8%	25.4%	47.6%	17.5%	100.0%
	12.5%	3.4%	8.2%	10.3%	68.8%	10.3%
総計	24	88	194	290	16	612
	3.9%	14.4%	31.7%	47.4%	2.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

まちづくりにあなたの声を！

裾野市市民意識調査ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より裾野市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、将来の都市像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現に向けて各種の施策を進めております。

裾野市では、市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となったまちづくりをめざして、「裾野市市民意識調査」を実施しております。この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,000人の方に回答をお願いしています。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してございません。

また、調査結果は広報紙、市ホームページに掲載し、諸施策推進のための基礎資料として活用させていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

ご記入後は同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**9月30日(日)**までに ご投函くださいますようお願いいたします。

平成24年 9月

裾野市長 大橋 俊二

調査票 記入上の注意

- 1 宛名のご本人がご回答ください。
- 2 ご記入は、えんぴつまたは黒のボールペンをお使いください。
- 3 ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
- 4 「その他()」の場合には、番号に○をつけ、()の中に具体的に記入してください。
- 5 調査票の最後にある記入式回答の には、直接ご記入ください。
- 6 返信用封筒には、この調査票を三折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについて、不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。
裾野市企画部企画政策課 電話 995-1804

(それぞれの設問ごとにあてはまる番号1つに○をつけてください。)

1 お住まいの周辺環境について

問1 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、現在お住まいの場所の周辺環境について、感じていることをお答えください。

施策	満足度 ※1					重要度 ※2		
	1	2	3	4	5	A	B	C
ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境	1	2	3	4	5	A	B	C
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉	1	2	3	4	5	A	B	C
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域巡視隊など)への参加のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C
エ 地震災害に強いまちづくり	1	2	3	4	5	A	B	C
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり	1	2	3	4	5	A	B	C
カ 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活	1	2	3	4	5	A	B	C
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実	1	2	3	4	5	A	B	C
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5	A	B	C
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	1	2	3	4	5	A	B	C
サ 道路網の便りやすさや快適さと歩道の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C
シ 鉄道やバスの便りやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C
ス まちなみや自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5	A	B	C
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ネット、TVなど)環境	1	2	3	4	5	A	B	C
ソ 空気が河川の水のきれいさ	1	2	3	4	5	A	B	C
タ 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	1	2	3	4	5	A	B	C
チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	1	2	3	4	5	A	B	C
ツ 河川や水路の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C
テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度	1	2	3	4	5	A	B	C

※1 あなたが今、どのように感じているか率直にお答えください

※2 今後、あなたがどの施策に力を入れてほしいと考えるかお答えください

2 裾野市の取り組みについて

問2 裾野市行政の取り組みについて、今あなたが感じていることをお答えください。

施策	満足度					重要度		
	1	2	3	4	5	A	B	C
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	1	2	3	4	5	A	B	C
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	1	2	3	4	5	A	B	C
ウ 障がいのある人の社会参加と自立	1	2	3	4	5	A	B	C
エ 安心して子育てができる環境の充実	1	2	3	4	5	A	B	C
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度	1	2	3	4	5	A	B	C
キ 次世代を担う青少年の育成	1	2	3	4	5	A	B	C
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備	1	2	3	4	5	A	B	C
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	1	2	3	4	5	A	B	C
コ 市民が関わることでできるまちづくり	1	2	3	4	5	A	B	C
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応	1	2	3	4	5	A	B	C
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」	1	2	3	4	5	A	B	C
ス ごみの不法投棄や公署への対策	1	2	3	4	5	A	B	C
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5	A	B	C
タ 市内の土地利用のバランスの良さ	1	2	3	4	5	A	B	C
チ 豊かで良質な水道水の確保	1	2	3	4	5	A	B	C
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C
テ 工業を中心とした産業の活性化	1	2	3	4	5	A	B	C
ト 農地利用や農業の活性化を旨とした、農林業の推進	1	2	3	4	5	A	B	C
ナ にぎわいのある商業地づくりと、それぞれのブランドの活用推進	1	2	3	4	5	A	B	C
ニ 新たな観光資源の創出と観光情報の発信	1	2	3	4	5	A	B	C
ヌ 市が行う広報紙(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	1	2	3	4	5	A	B	C
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化	1	2	3	4	5	A	B	C
ノ 市職員の仕事や地域活動に任せられる、職員の活躍	1	2	3	4	5	A	B	C
ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進	1	2	3	4	5	A	B	C

3 議会の公開について

問3 「議会だより」をご覧になったことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. いつも読んでいる | 2. ときどき読んでいる |
| 3. ほとんど読まない | 4. 知らない |

問4 議会を傍聴してみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
| 3. どちらともいえません | |

問5 議会の中継をインターネットで見たいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
| 3. どちらともいえません | |

4 「広報その」について

問6 「広報その」を読んでいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 読んでいる | 2. ときどき読んでいる |
| 3. 読んでいない | |

問7 「広報その」のデザインが羨まりましたが、読みやすさはどうですか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 読みやすくなった | 2. 変わらない |
| 3. 読みにくくなった | 4. その他() |

5 インターネットの利用状況について

問8 インターネットを利用していますか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. はい | → 問9～問12へ |
| 2. いいえ | → 問13へ |

問9 【問8で「はい」と答えた方について】どのような端末を利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. パソコン | 2. 携帯電話 |
| 3. スマートフォン | 4. タブレット型端末 |
| 5. その他() | |

問10 【問8で「はい」と答えた方について】通信回線の種類は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 電話回線 | 2. ADSL |
| 3. 光ファイバー | 4. ケーブルテレビ回線 |
| 5. わからない | 6. その他() |

問11 【問8で「はい」と答えた方について】主にどこで利用していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 自宅 | 2. 職場あるいは学校 |
| 3. 市役所庁舎等にある市民開放端末 | 4. その他() |

問12 【問8で「はい」と答えた方について】裾野市の公式ウェブサイトを利用していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 週に1回以上利用する | 2. 月に1回以上利用する |
| 3. 3ヶ月に1回以上利用する | 4. 利用しない |

問13 【問8で「はい」と答えた方について】インターネットを利用する予定はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 将来的には利用してみたい | 2. 今後利用するつもりはない |
|-----------------|-----------------|

6 外出について

問14 日常生活で外出(通勤、通学、通院、買い物など)するときの主な移動手段は何ですか。1つお選びください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 車(自分で運転) | 2. 車(家族の送迎) |
| 3. ハイイク | 4. 自転車または徒歩 |
| 5. 鉄道 | 6. 路線バス |
| 7. タクシー | 8. その他() |

問15 問14で答えた外出の主な目的は何ですか。1つお選びください。

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院 |
| 4. 買い物 | 5. 娯楽・レジャー | 6. その他() |

問16 問15で答えた目的で外出するときの外出の方面について、主なものを1つお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 裾野駅及びその周辺 | 2. 岩波駅及びその周辺 |
| 3. 市内(1・2以外) | 4. 市外 |

問17 問15で答えた目的で外出する頻度は、どのくらいですか。主なものを1つお選びください。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 週5～7日 | 2. 週3～4日 |
| 3. 週1～2日 | 4. 月に数回 |
| 5. ほとんど外出しない | |

7 市民協働について

問18 行政と市民、事業者が対等な立場でお互いに協力・連携して、公共的な課題の解決や住みよき地域づくりに取り組むことを「協働」といいます。あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(1つに○)

1. よく知っている	}	問19へ
2. 知りたいことは知っている		
3. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない		
4. まったく知らない		問22へ

問19 【問18で「1～3」を選んだ方のみ】協働して取り組む必要が高い分野はどれだと思いますか。該当する分野に○してください。(○はいくつでも)

1. 高齢者福祉	2. 子育ての支援や児童福祉
3. 青少年育成	4. 学校教育の支援など教育分野
5. 地域の衛生保持や保健分野	6. リサイクルやごみ問題
7. 自然保護や環境保全分野	8. 消費生活に関する分野
9. まちづくりや地域活性化	10. 文化や芸術に関する分野
11. スポーツや健康づくり	12. 防災対策や災害救援の分野
13. 防犯や地域の安全対策の分野	14. 男女共同参画に関する分野
15. 人権や平和に関する分野	16. 国際協力
17. その他()	

問20 【問18で「1～3」を選んだ方のみ】協働を進めていく上で、行政にどのような施策を期待しますか。該当施策に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 協働は必要だが、市民の活動が行政の下請けにならないよう配慮してほしい
2. 協働のルールや方針を明確にしてほしい
3. 市民活動に対する活動補助などの支援を請じてほしい
4. 行政は市民活動にもっと柔軟に対応してほしい
5. 市民活動団体や区など、団体間の交流や情報交換の機会を増やしてほしい
6. 協働のモデル事業を実施してほしい
7. 市民活動団体を育成するために、研修やノウハウの指導等を図ってほしい
8. 市民活動センター等の拠点施設を整備してほしい
9. その他()

問21 【問18で「1～3」を選んだ方のみ】あなたは、協働への関わりについてどのように思っていますか。(1つに○)

1. 既に協働による活動を行っている	2. 積極的に協働事業に参加したい
3. 機会があれば協働事業に参加したい	4. 特に考えていない
5. できれば関わりたくない	6. その他()

8 スポーツ活動と健康について

問22 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(1つに○)

1. 大いに健康	2. まあまあ健康
3. あまり健康ではない	4. わからない

問23 この1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。(1つに○)

1. ほぼ毎日(週に6～7回)	2. 週に4～5回
3. 週に2～3回	4. 週に1回
5. 月に1回以上	6. 年に1回以上
7. ほとんどスポーツや運動をしていない	

9 住宅用火災警報器について

問24 お住まいの住宅が建てられた時期はいつですか。(1つに○)

1. 平成18年5月以前	2. 平成18年6月以降
3. わからない	

問25 平成21年6月1日より、お住まいの住宅では、①寝室 ②階段(寝室が2階以上の階にある場合)に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。(1つに○)

1. 設置している	2. 一部設置している
3. 設置していない	

その他、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

--

アンケートは以上で終わります。この用紙を返信用封筒に入れ、9月30日(日)までに投函してください。ご協力ありがとうございます。

裾野市市民意識調査
報 告 書

平成 25 年 2 月 発行

裾野市 企画部 企画政策課

〒410-1192

静岡県裾野市佐野 1059 番地

T E L 055-995-1804

F A X 055-995-1861